

別添書類第3号 添付資料

地質柱状図（中部圏）

- ※一部のボーリングの柱状図は、JACIC 様式に修正して掲載しております。
- ※孔口標高は、東京湾平均海面（T.P.）からの標高を記載しております。
- ※個人情報等に係る内容については、一部、空白（白抜き）としております。

ボーリング柱状図

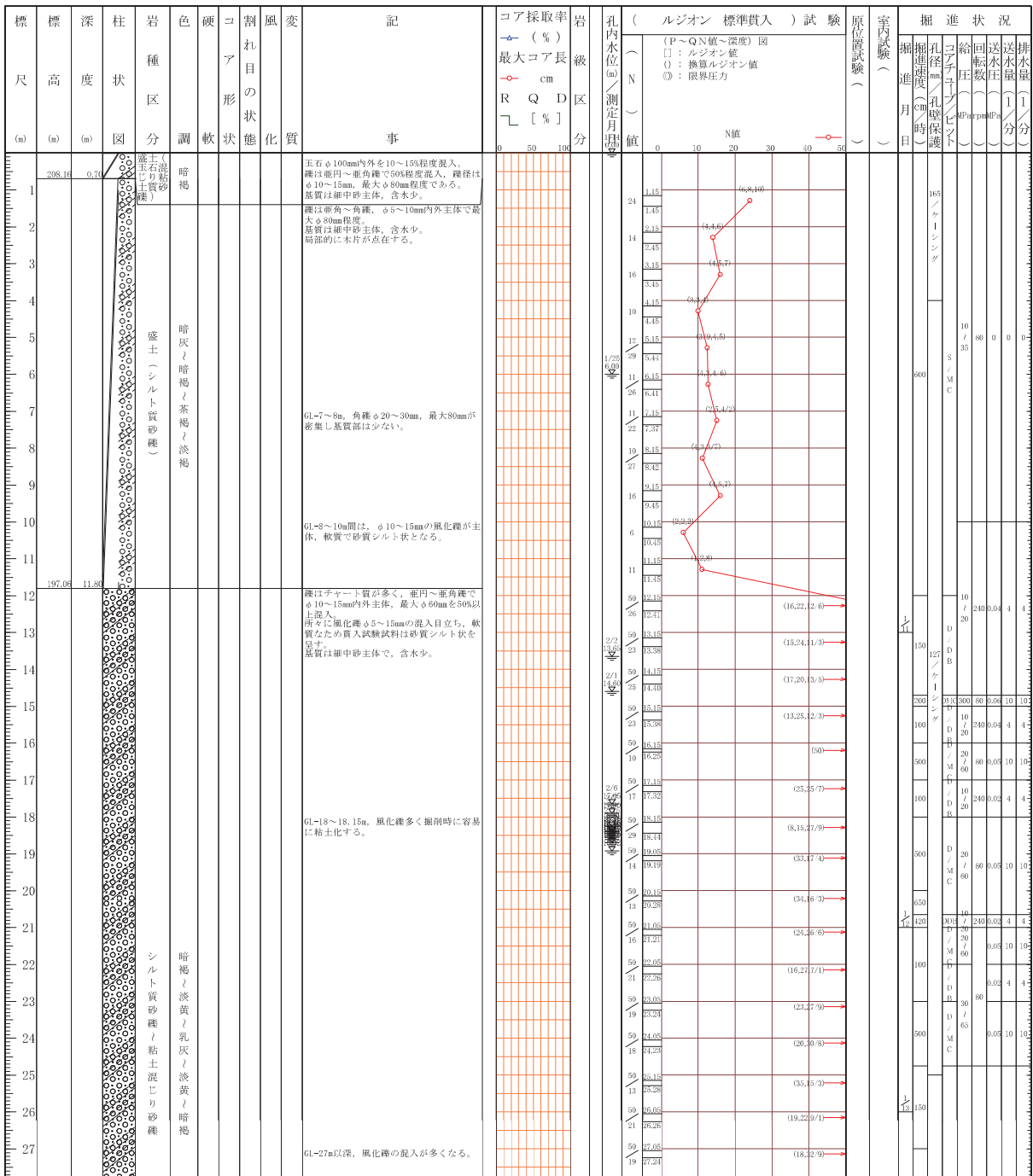
調査名

事業・工事名

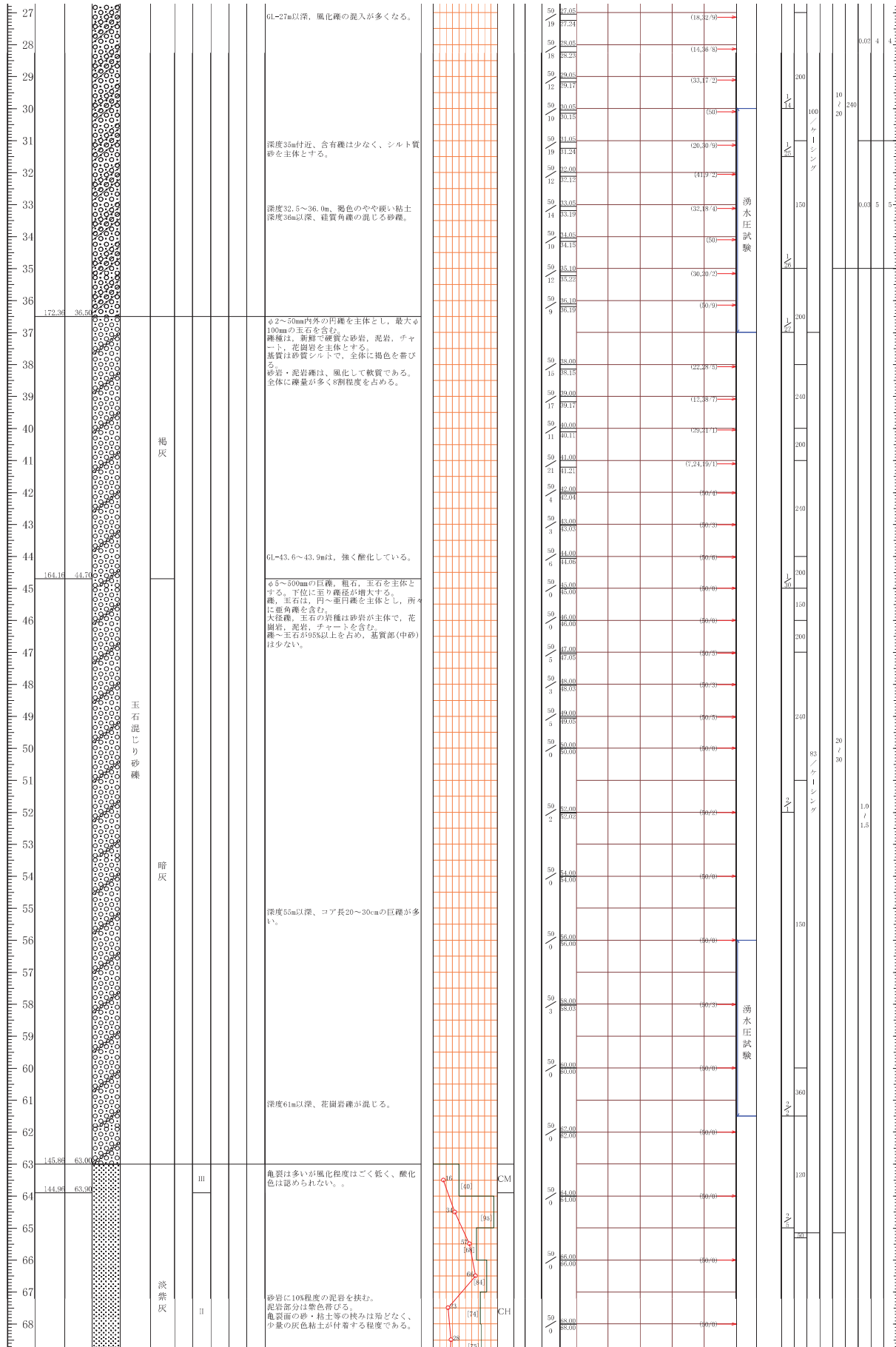
ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

シートNo

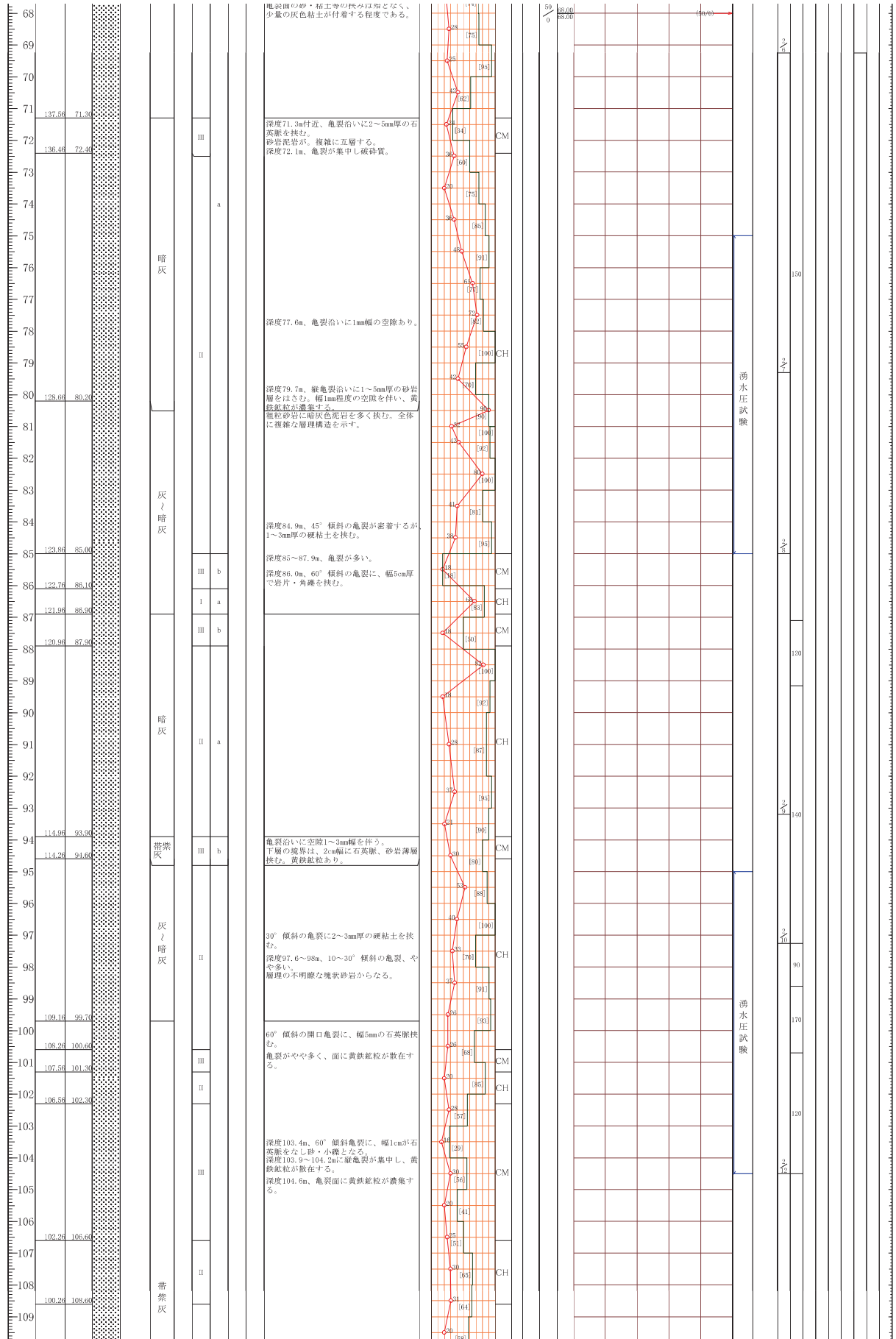
ボーリング名	調査位置			北緯
発注機関	調査期間			東経
調査業者名	主任技師	現場代理人	コアア	
孔口標高	208.86m	角	180°	上
総掘進長	203.00m	度	0°	下
		方	270°	西
		向	180°	南
		地盤勾配	鉛直	水平
		使用機種	試錐機	エンジン
				ポンプ



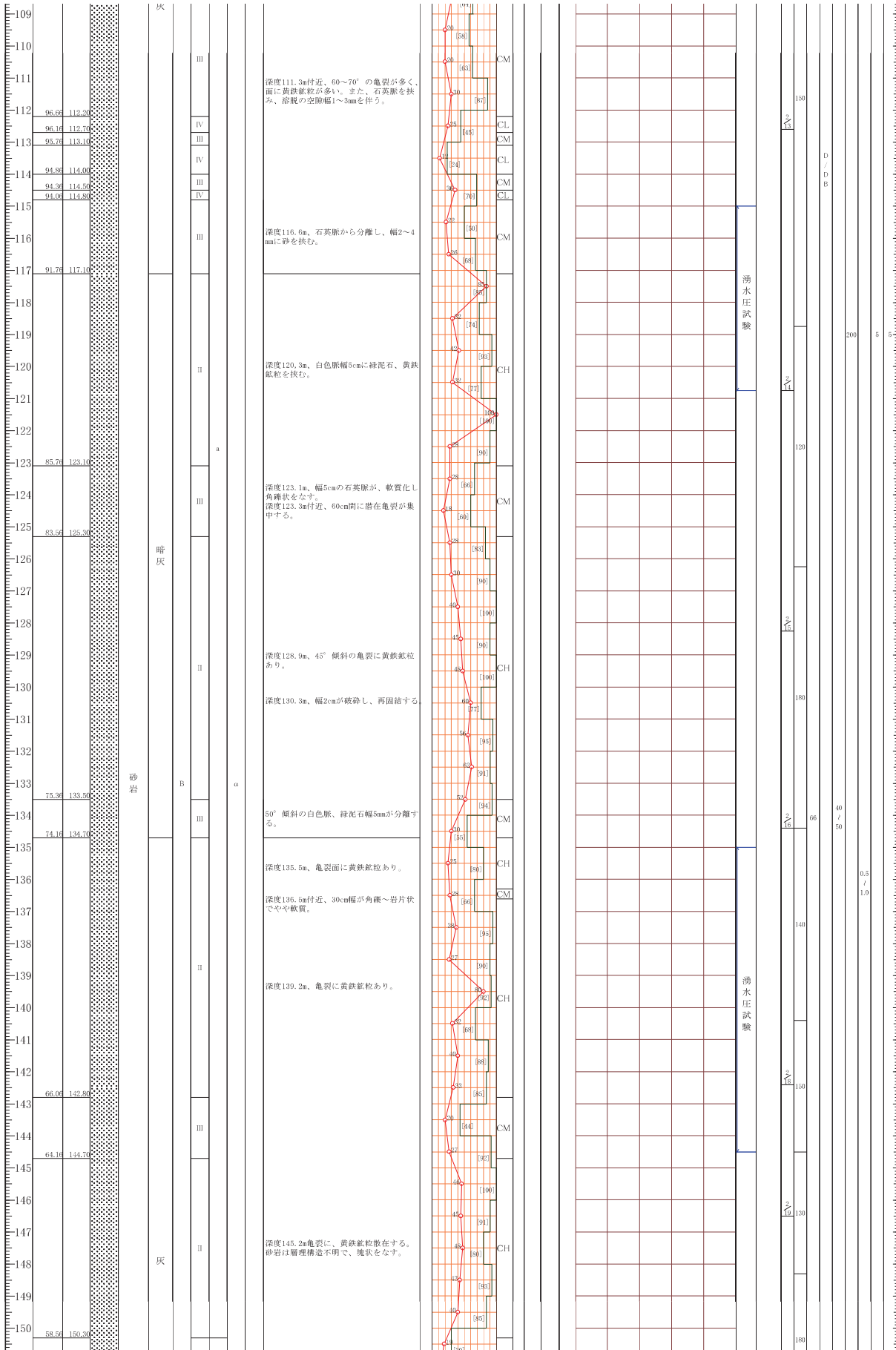
(JR-1)

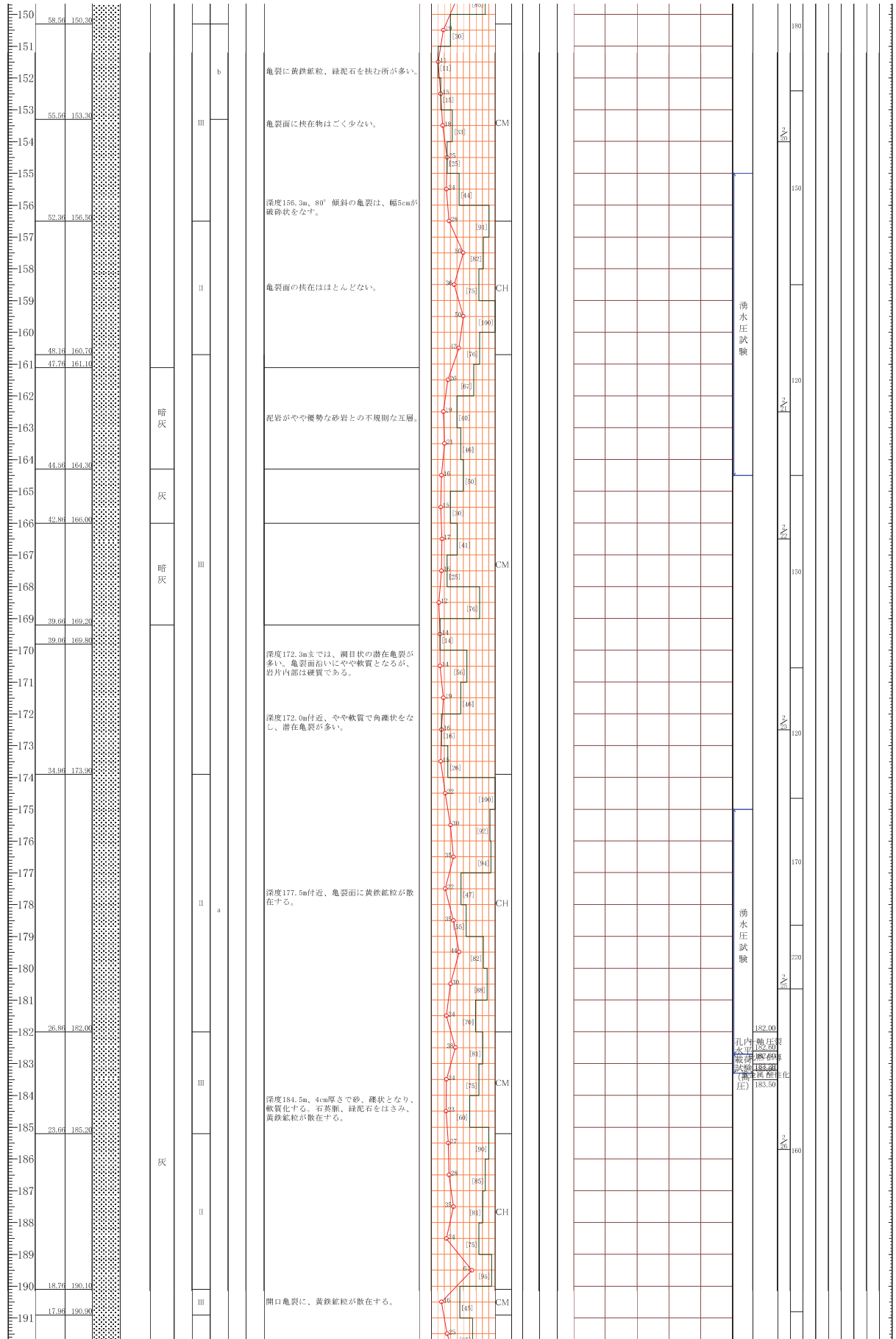


(JR-1)

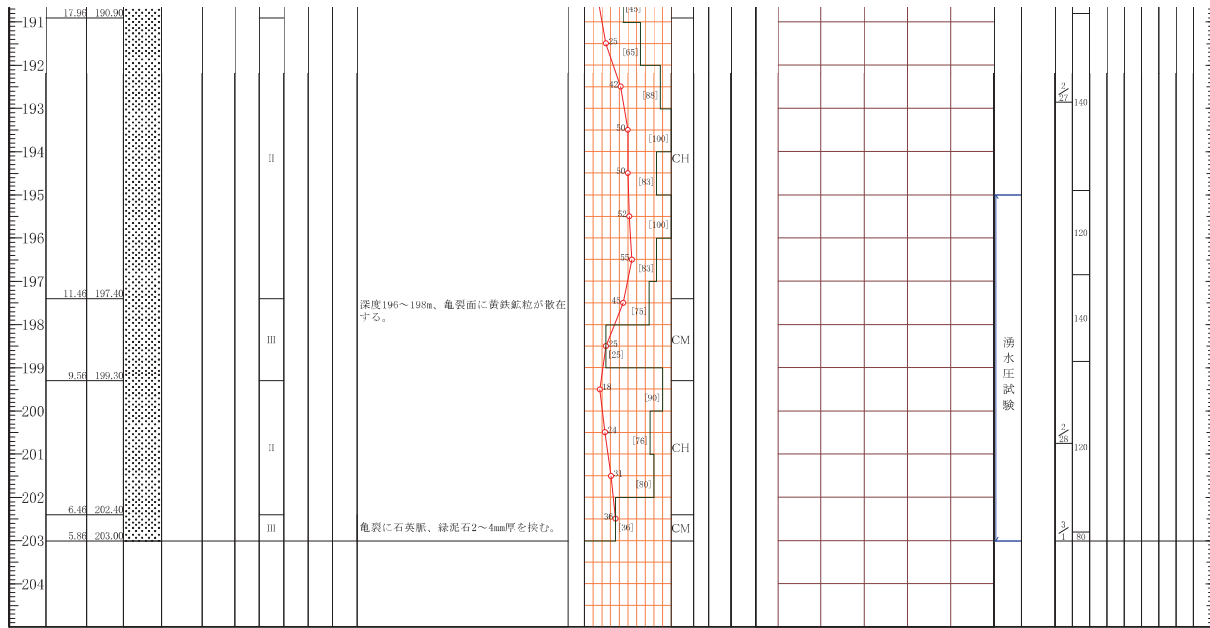


(JR-1)





(JR-1)



ボーリング柱状図

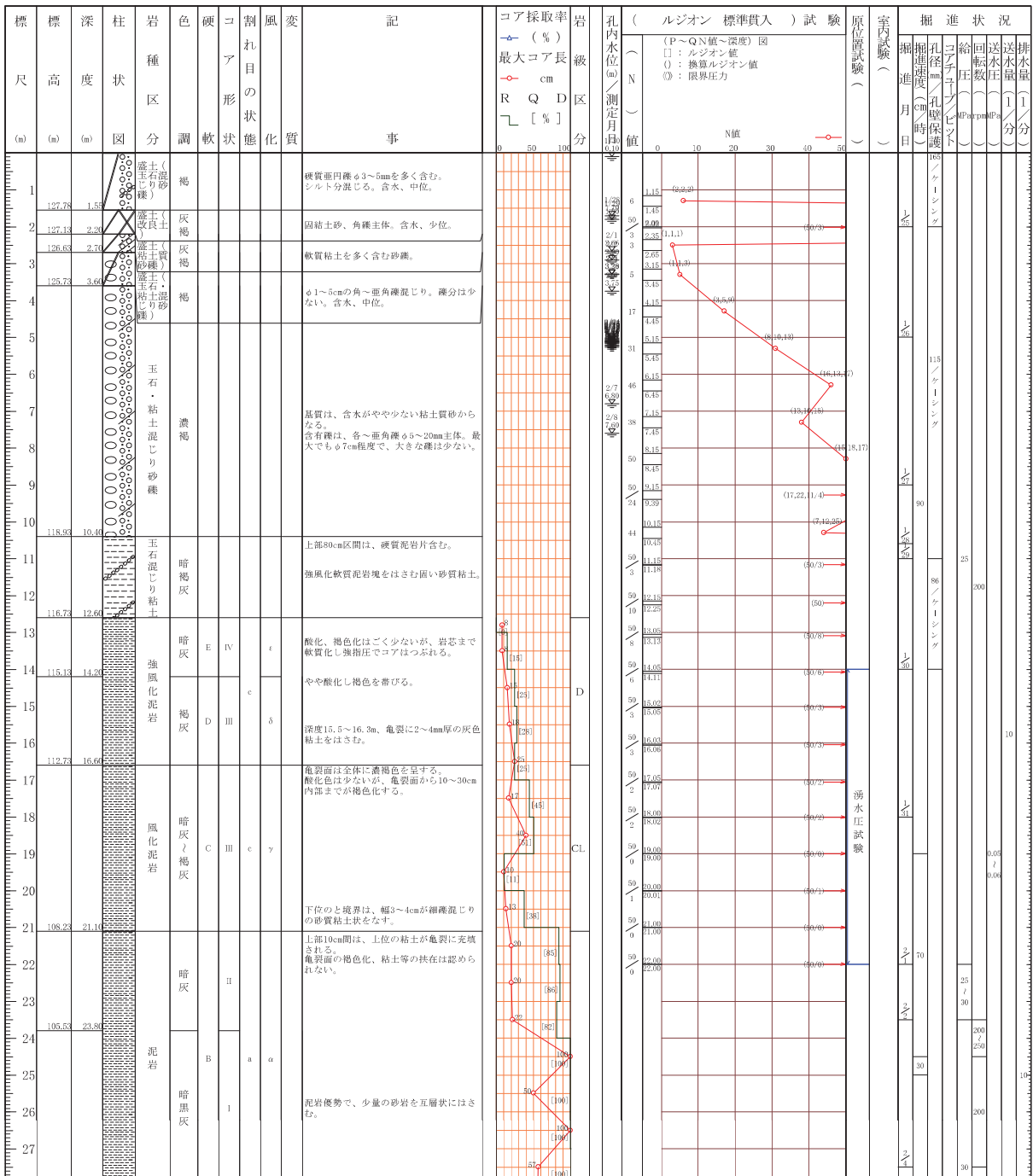
調査名

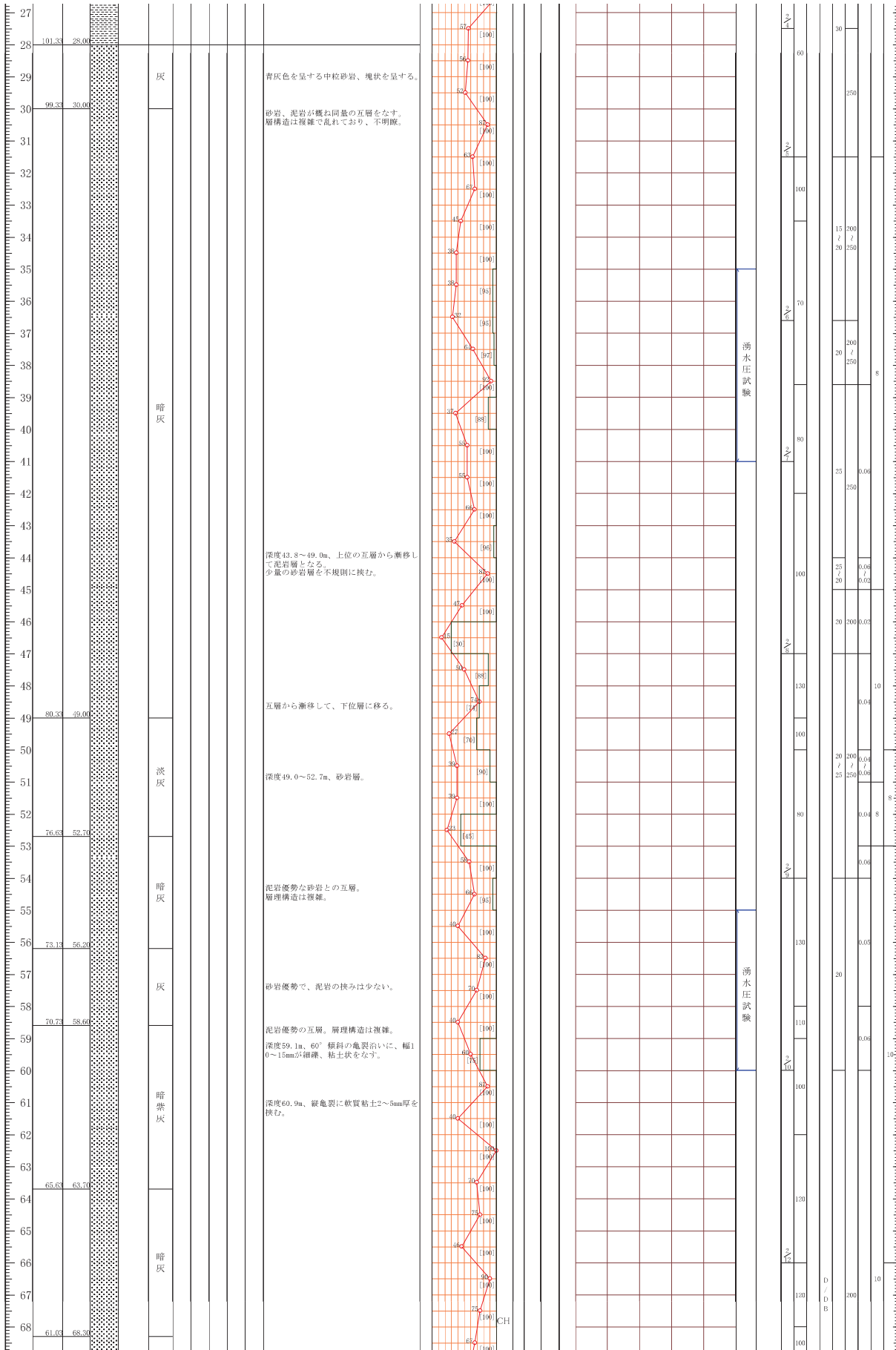
ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

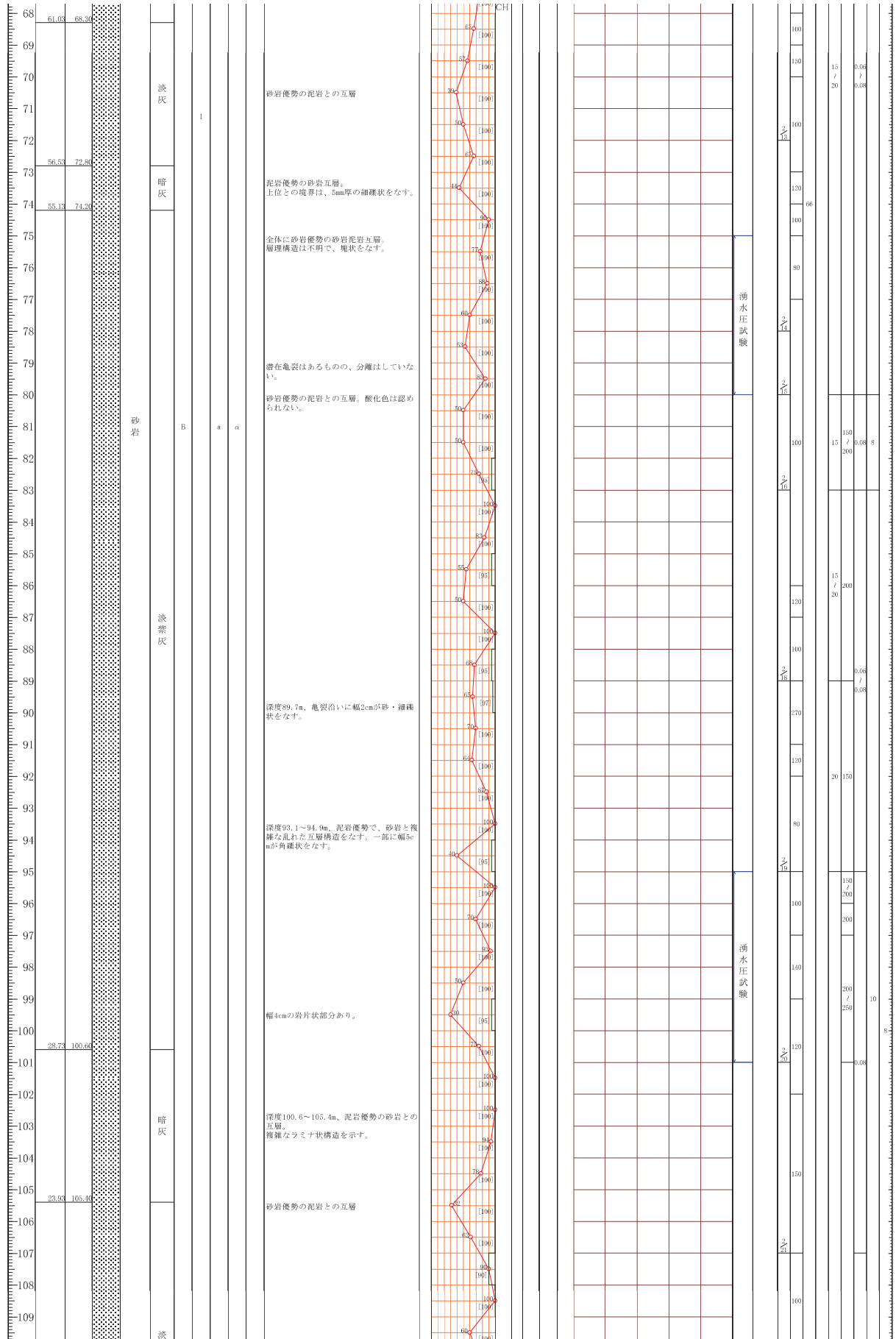
シートNo

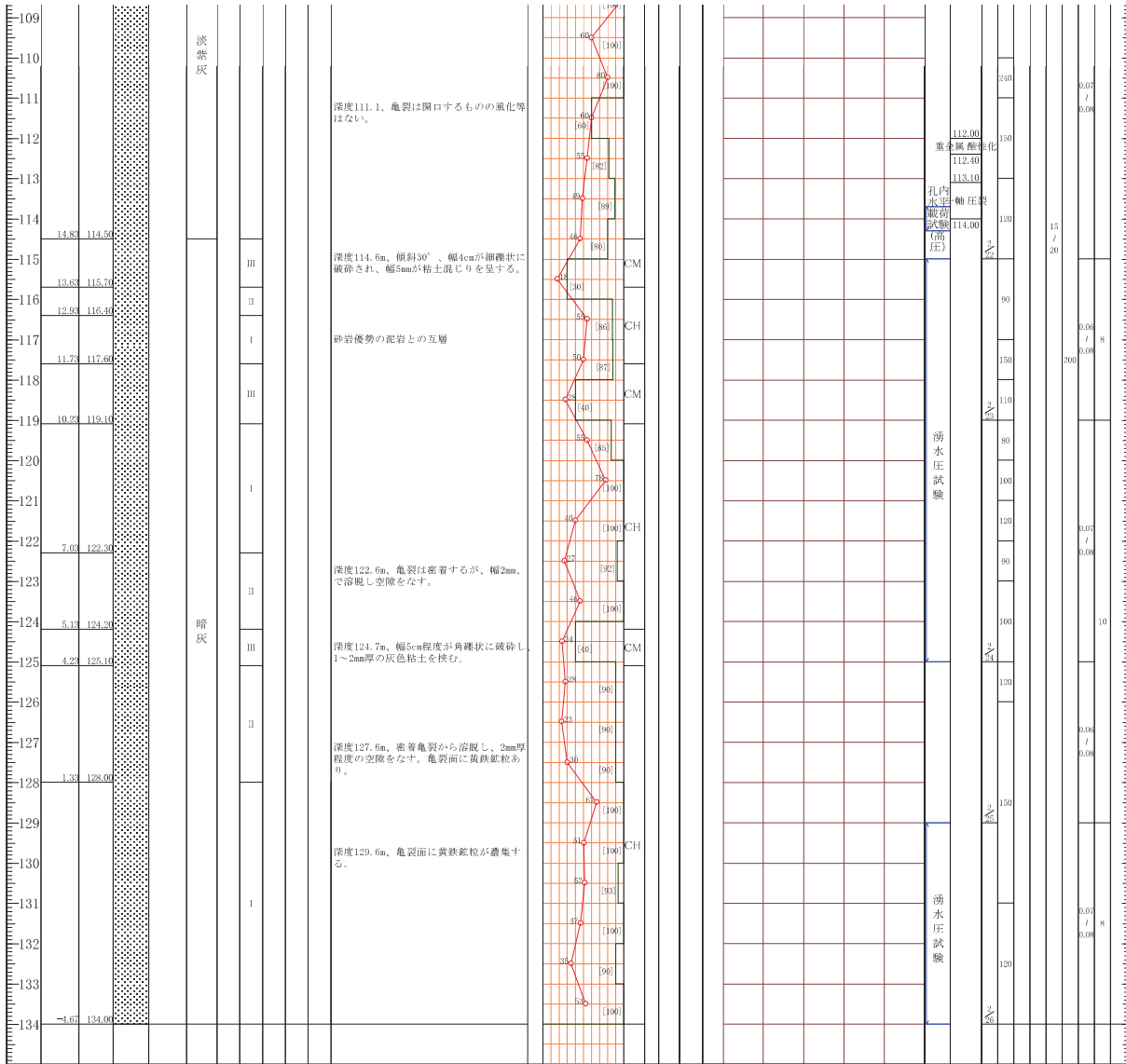
ボーリング名	調査位置				北緯					
発注機関	調査期間			東経						
調査業者名	主任技師		現場代理人		ボーリング責任者					
孔口標高	129.33m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 0° 水平 0°	使用機種	試錐機	ポンプ
総掘進長	134.00m									





(JR-2)





ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo					
---------	--	--	--	--	--

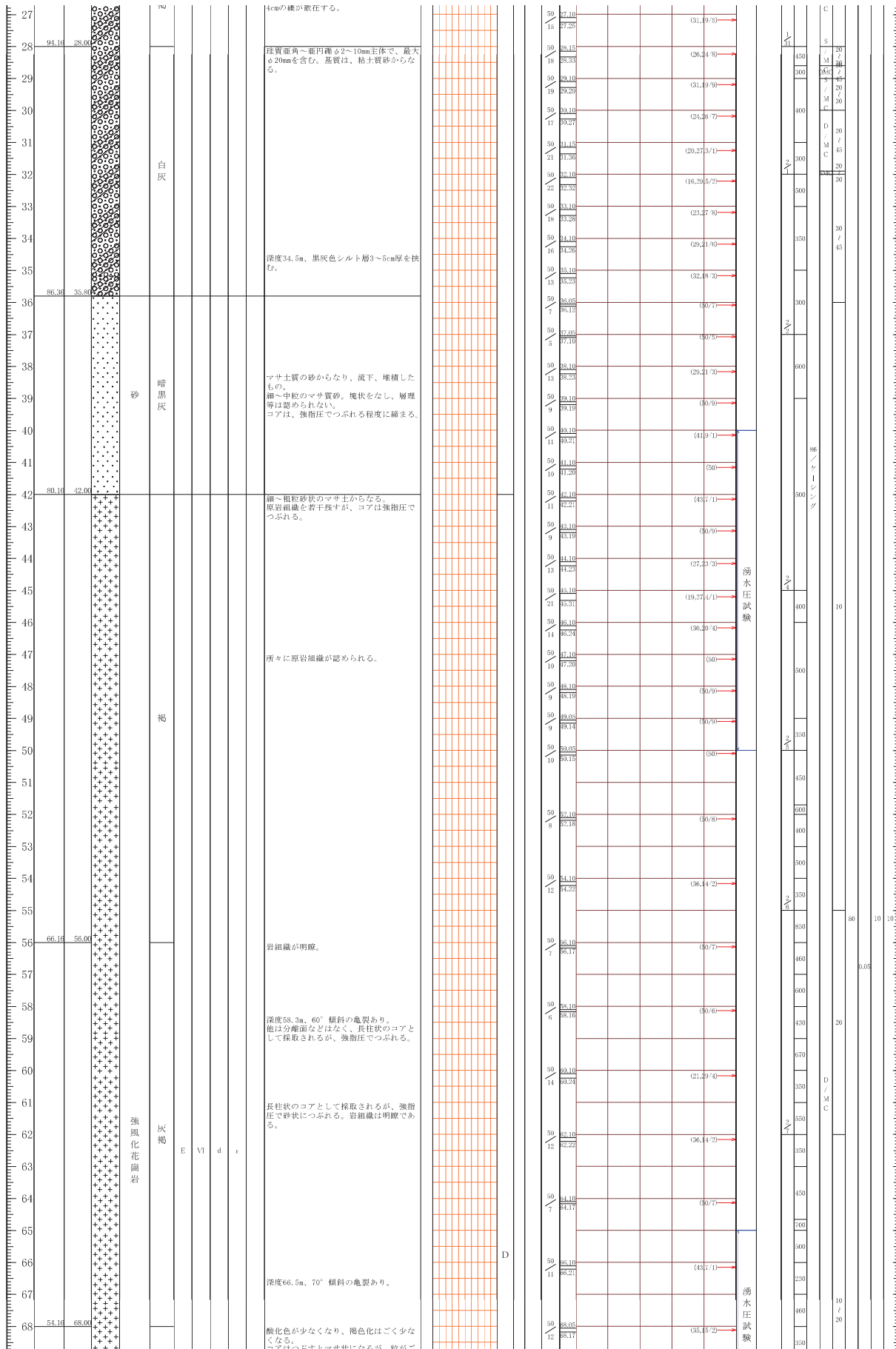
事業・工事名

シートNo

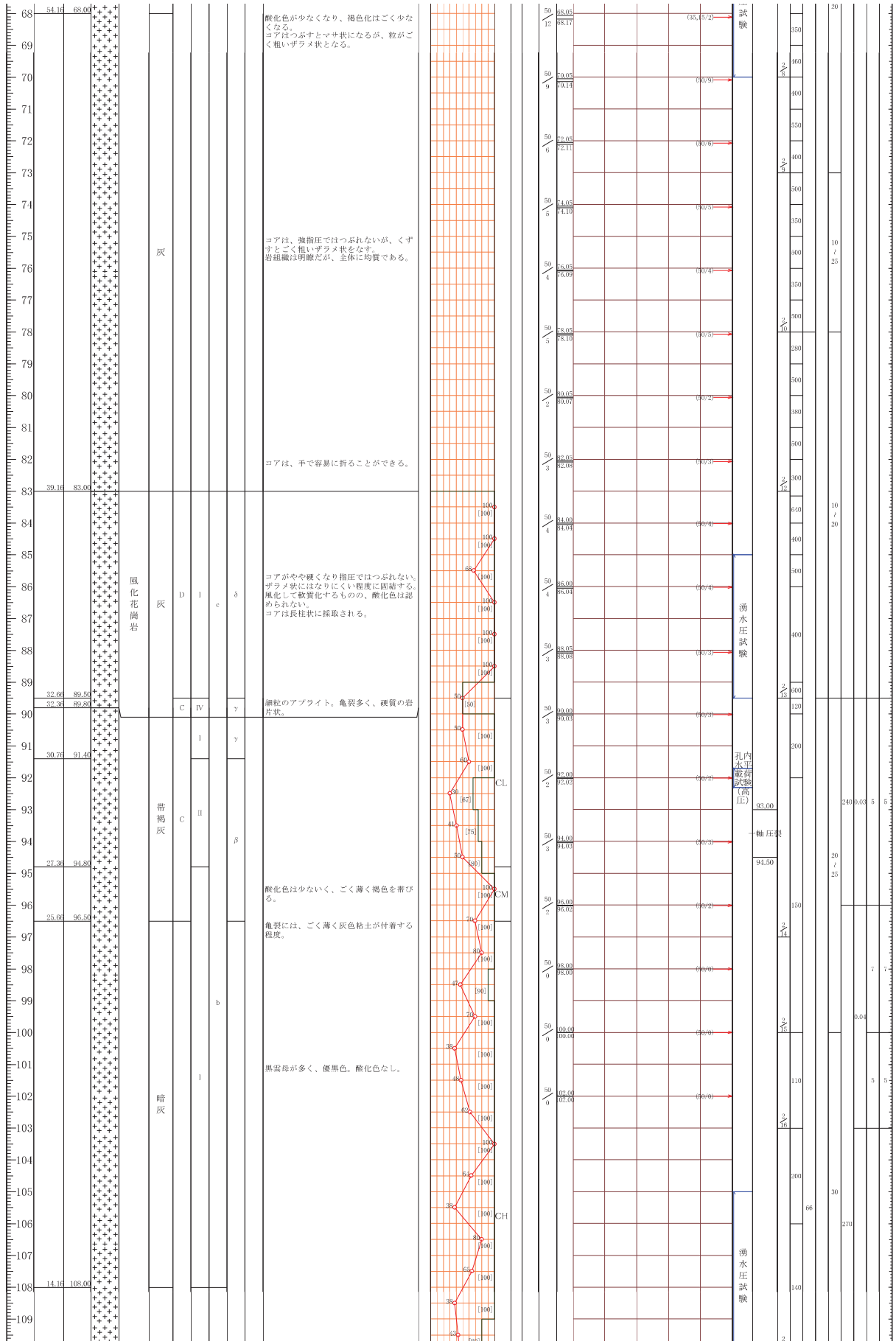
ボーリング名		調査位置		北緯	
発注機関				調査期間	東経
調査業者名	主任技師		現場代理人	コア 鑑定者	ボーリング 責任者
孔口標高	122.16m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北0° 西270° 東90° 南180°
総掘進長	133.00m	地盤勾配	鉛直90°	使用機種	ポンプ
		試験機	エンジン		

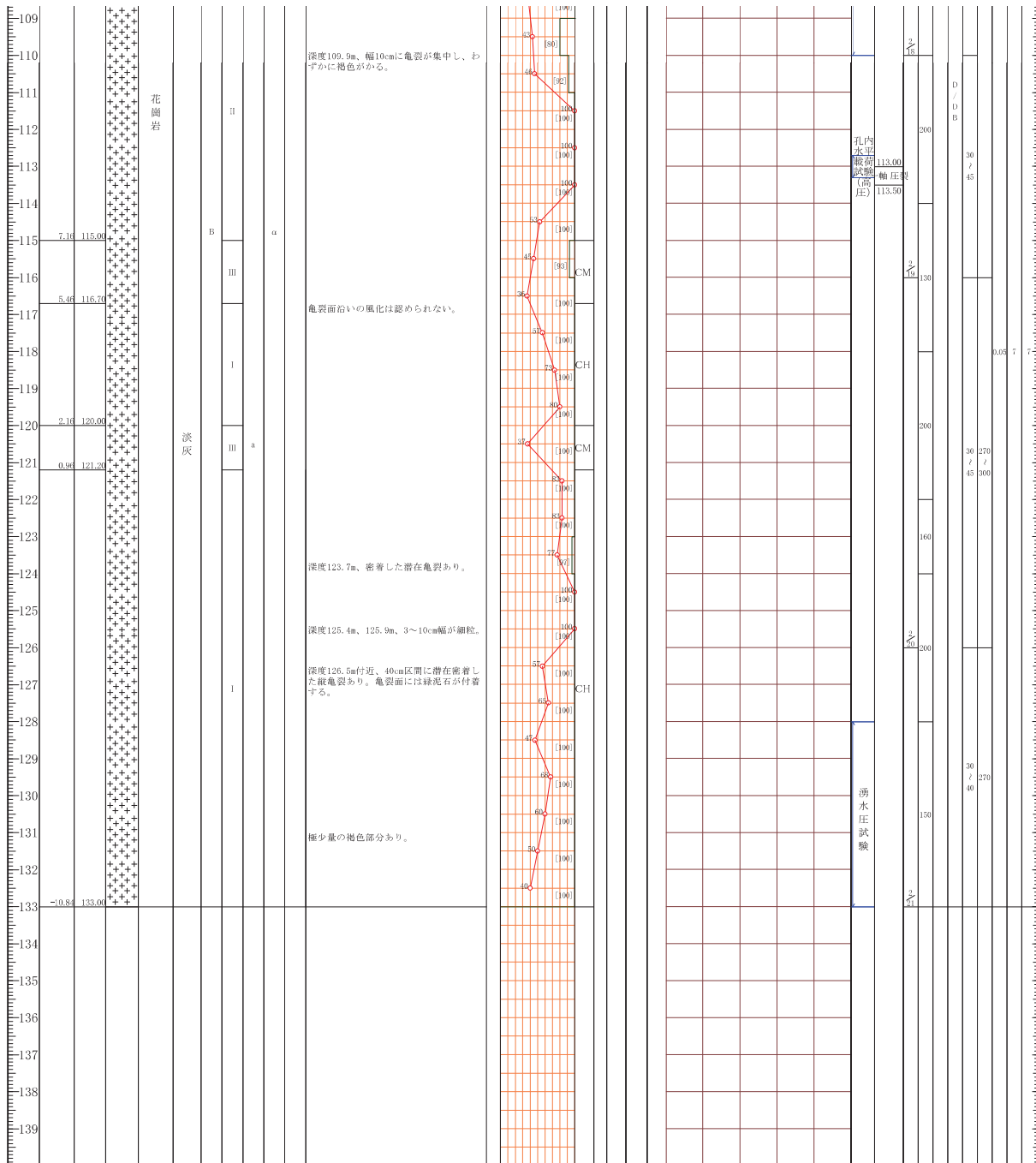
標尺	標高	深	柱状	岩	色	硬	コ	割	風	変	記	コア採取率 最大コア長 R Q D [%]	岩級	孔内水位	試験		原位置試験	室内試験	掘進状況	掘進速度	給送量	回転数	送水量	排水量		
															(P~QN値~深度) 図	N値									掘進状況	掘進速度
(m)	(m)	(m)	区	種	調	軟	形	目	化	質	事	0 50 100	区	(m)	(mm)	(%)	(mm)	(mm)	(%)	(cm/min)	(m³/min)	(rpm)	(L/min)	(L/min)		
	121.88	0.33		腐土							シルト混じり砂礫からなる。垂角～垂円礫φ2~15mmを多く含む。			1.15	8.54											
1											深度1~2m、赤褐色の礫混じりの砂質シルト			12 1.45												
2											深度3.5m、黒灰色炭質の固結シルト10cm厚を挟む。			23 2.38	(15.26/3)											
3														50 3.15	(26.24/9)											
4														19 3.37												
5											垂角～垂円礫φ2~20mm、最大φ5cmの珪質礫を主体とし、褐色シルトを多く含む。シルト層2~10cm厚を水平に挟む。			41 4.15	(4.41/5)											
6														50 5.00	(0.0/9)											
7														9 5.09												
8														50 6.15	(11.19/2)											
9											深度8.6~9.0m、小礫混じりのシルトをはきむ。			26 6.11	(19.27/2)											
10		113.16	9.0								珪質垂角～垂円礫φ2~10mmが主体であるが、礫量がやや減少する。大礫の含有はない。コアは、幾指圧でつぶれる程度の固結度。			50 7.15	(12.19/7)											
11														27 8.42	(9.25/6)											
12														50 9.15	(0.14/5)											
13														23 9.40	(18.29/4)											
14														47 10.15	(33.17/6)											
15											深度15.3m、φ5~20mmの珪質礫が多い。			50 11.15												
16		106.46	15.7								礫量が減少し、シルト分が多くなる。礫は、2~5cm幅に集中して分布する。			24 11.89	(29.21/6)											
17														16 12.27	(21.29/8)											
18		104.16	18.0								珪質礫φ2~15mmが主体だが、φ1~8cmの中～大礫が混じる。礫には新鮮色のものが多い。シルト分は少ない。			50 13.15	(50)											
19														18 17.33	(41.9/2)											
20											深度20.7m、φ2~5mmの礫が主体で、φ10mm以上の礫はごく少ない。			50 16.10												
21														12 20.27	(48.7/3)											
22														50 21.10	(34.16/8)											
23														9 27.19	(21.27/7)											
24											深度24.5m、褐灰色のシルト20cm厚を挟む。			50 22.10	(39.11/3)											
25		97.46	24.7											13 27.23	(23.24/1)											
26											シルト混じり砂礫からなる。基質のシルト分が乳灰～乳褐色を呈する。含有礫は、垂角礫φ2~5mm主体で、φ1~4cmの礫が散在する。			50 30.10	(51.19/5)											
27														21 25.31												
														15 27.25												

(JR-3)



(JR-3)





ボーリング柱状図

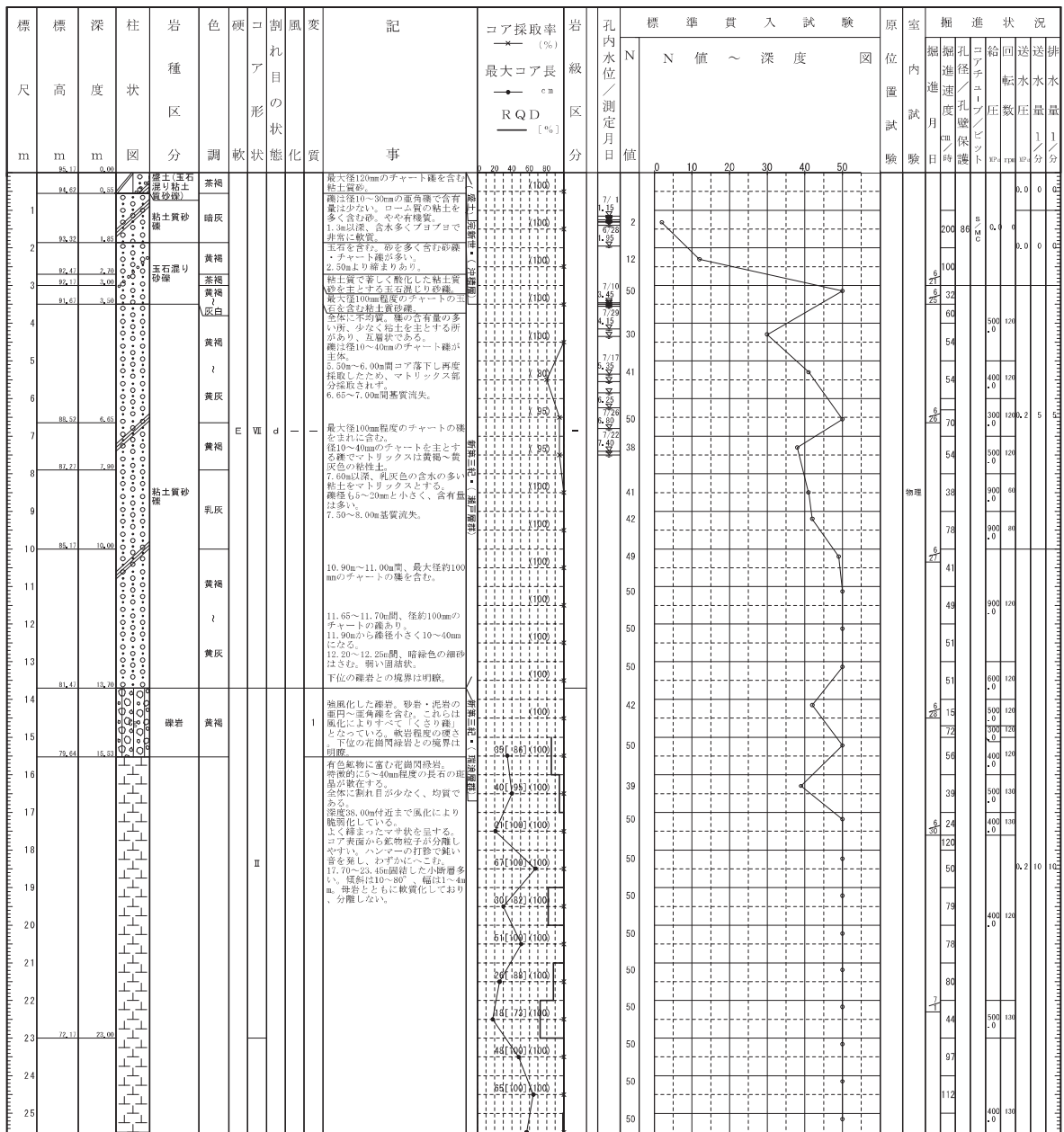
調査名

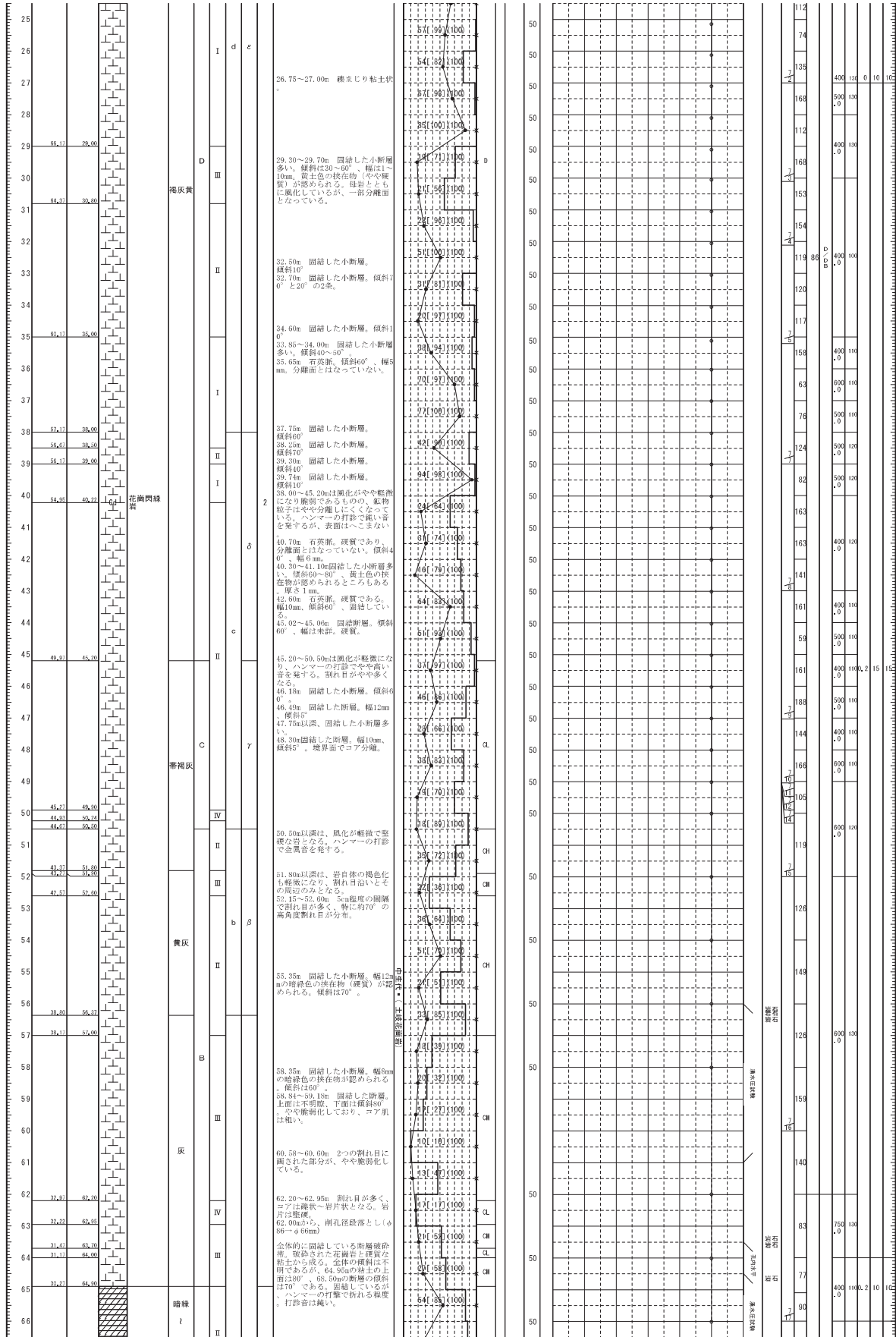
事業・工事名

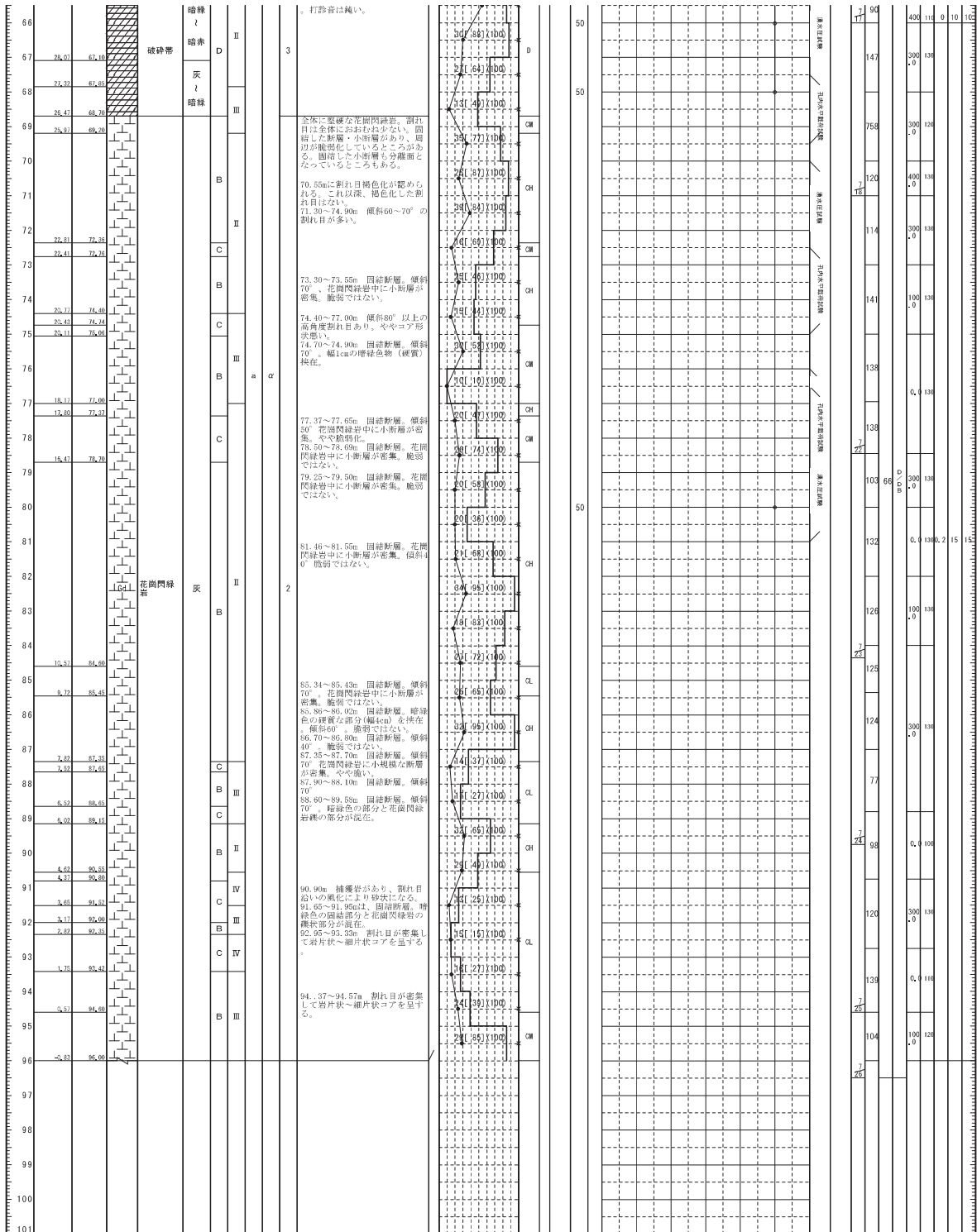
ボーリングNo. _____

シートNo. _____

ボーリング名		調査位置		北緯	
発注機関		調査期間		東経	
調査業者名		主任技師		現場代理人	
孔口標高 95.17m		角 180°		方 北	
総掘進長 96.00m		度 0°		向 西	
コ 隆 定 者		試 験 機		ボーリン グ 責 任 者	
ポン プ		使 用 機 種		エ ン ジ ン	







(JR-4)

ボーリング柱状図

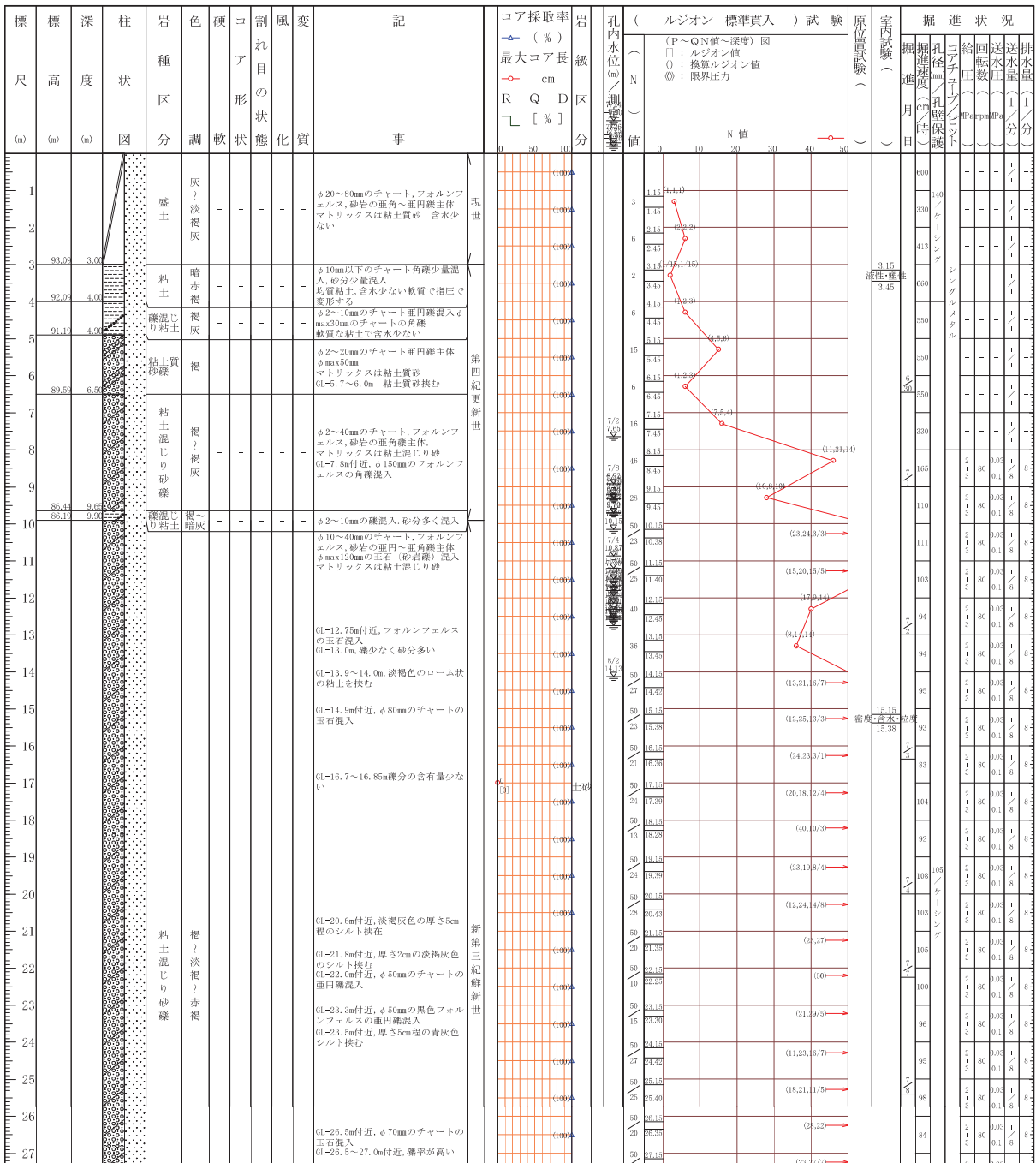
調査名

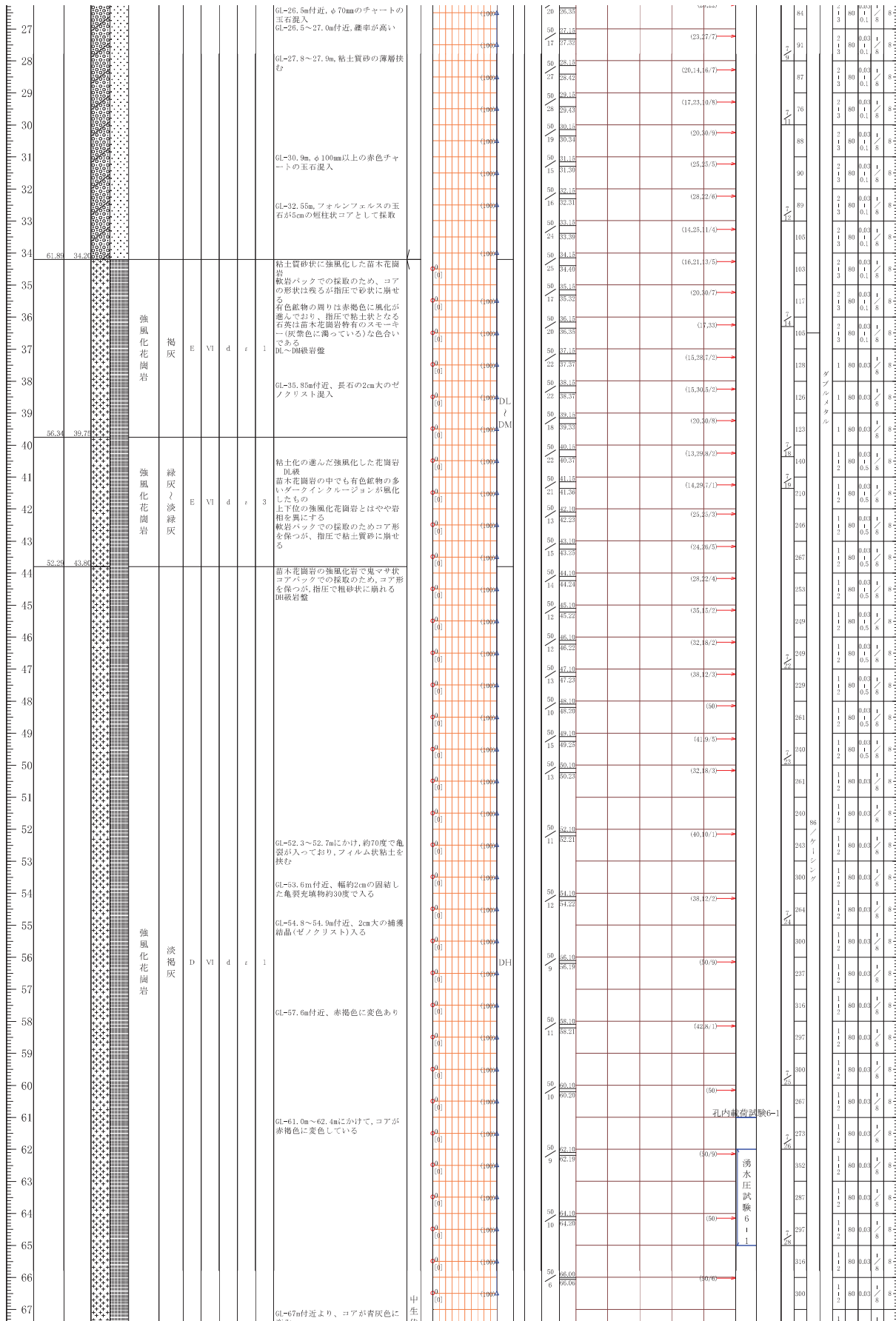
事業・工事名

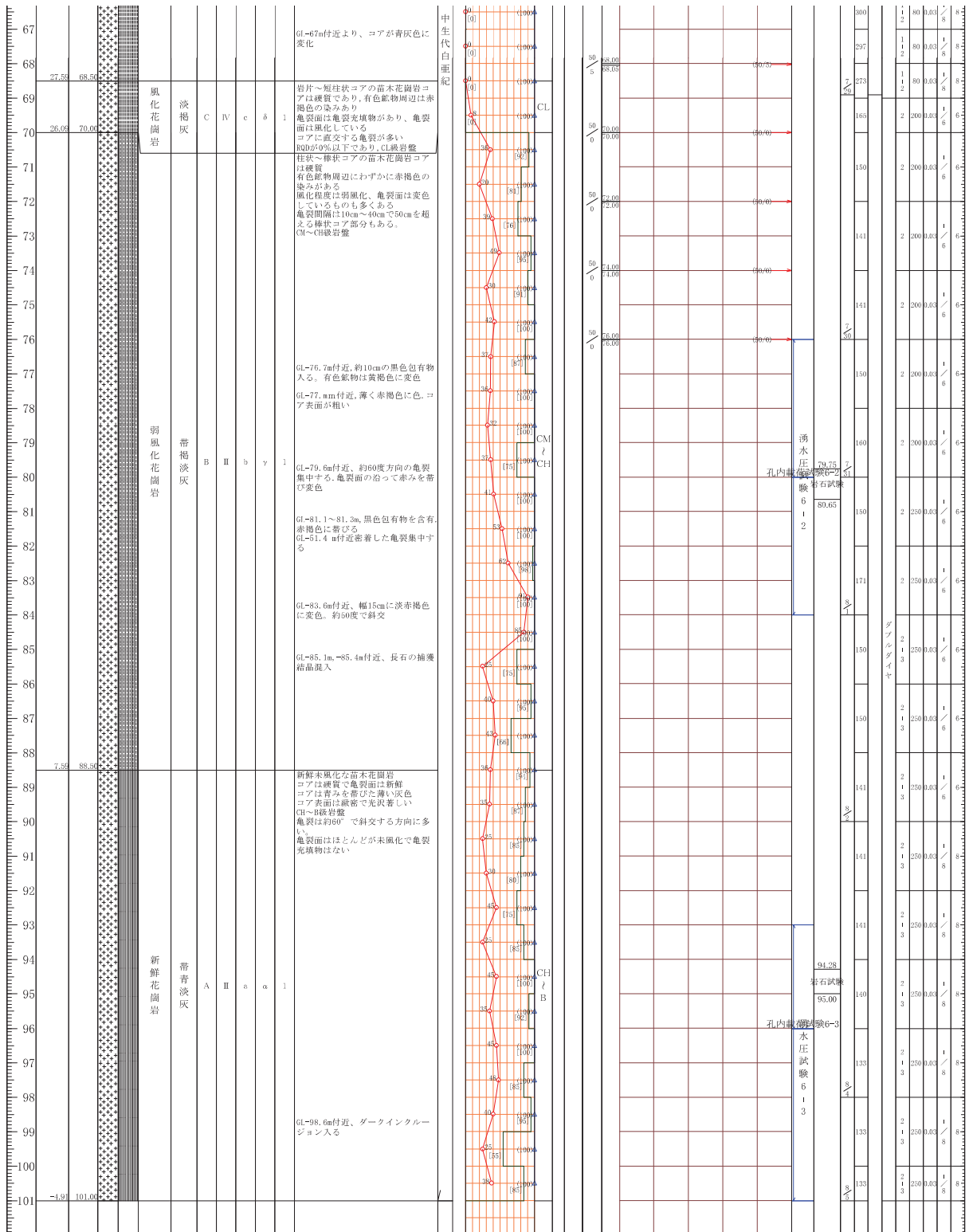
ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

シートNo

ボーリング名	調査位置				北緯
発注機関	調査期間			東経	
調査業者名	主任技師		現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	96.093m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°
総掘進長	101.00m	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	ポンプ
				試験機	エンジン







(JR-5)

ボーリング柱状図

調査名

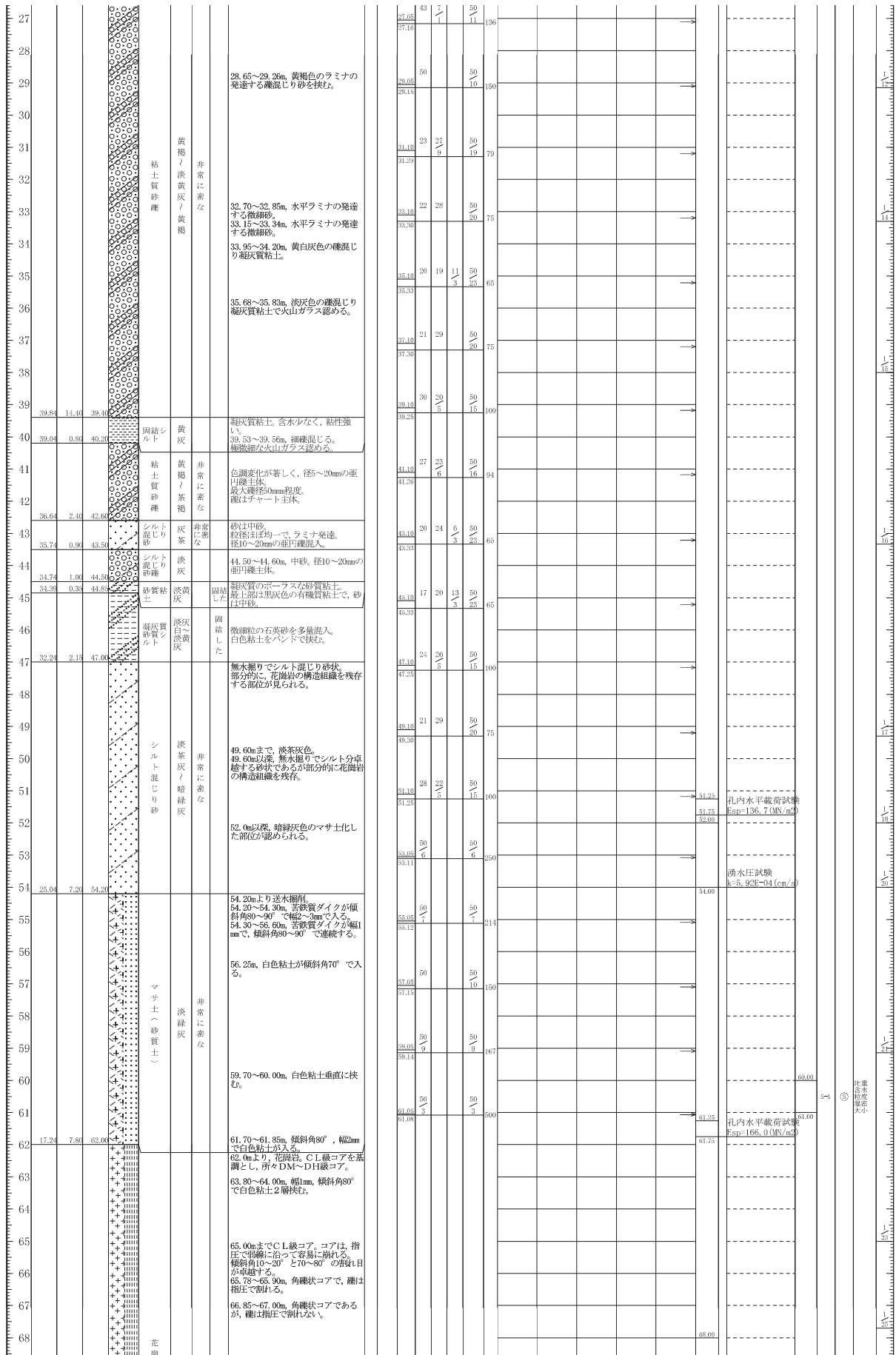
ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

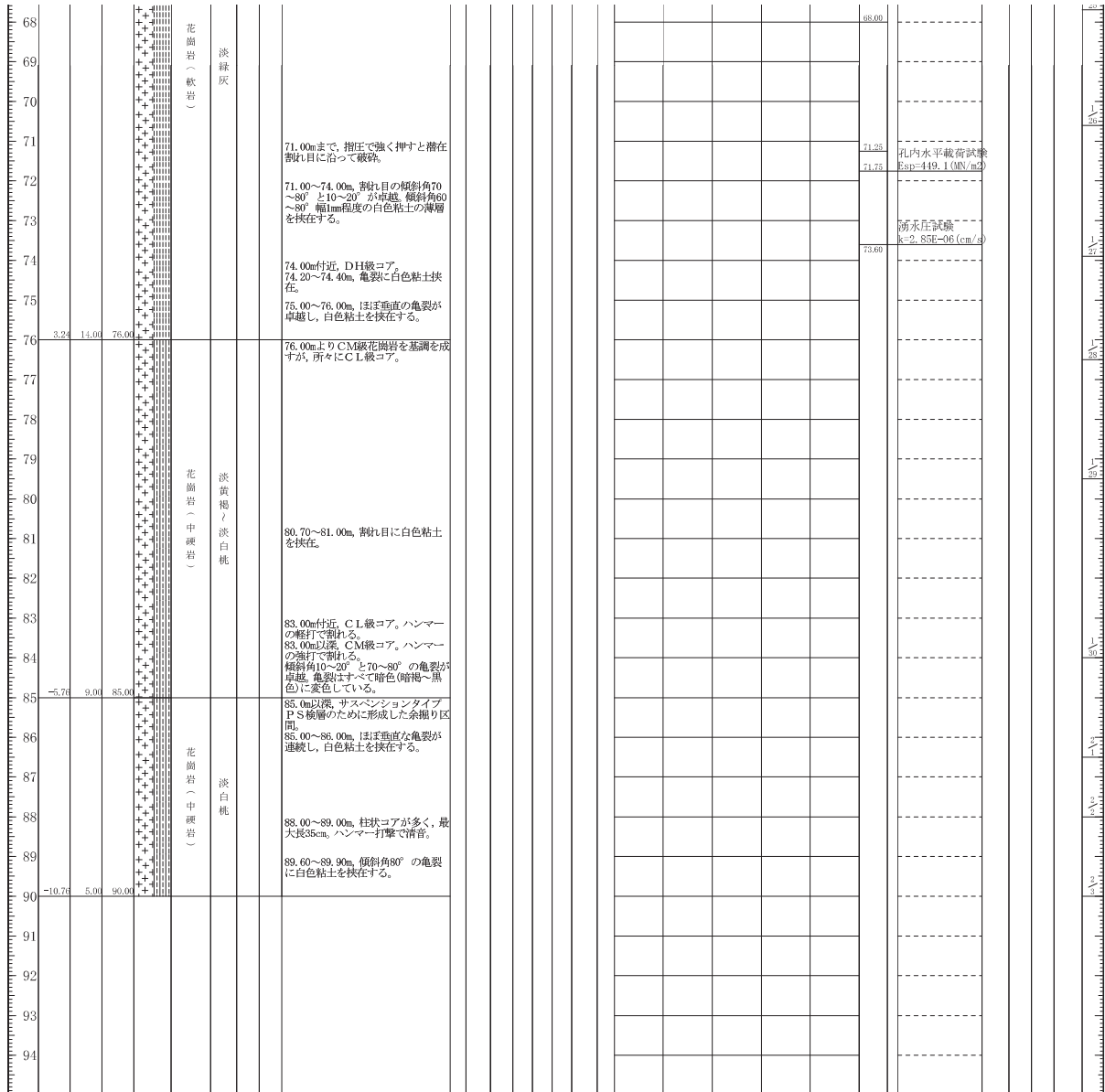
シートNo

ボーリング名	調査位置										北緯		
発注機関	調査期間										東経		
調査業者名	主任技師					現場代理人					ボーリング責任者		
孔口標高	79.24m	角	180° 上 0°	90° 下 0°	方	北 270° 西 180°	0° 東 90°	地盤勾配	鉛直 90°	水平 90°	使用機種	試錐機	ハンマー 落下用具
総掘進長	90.00m	度			向						エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	層高 (m)	厚 (m)	深 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記述	標準貫入試験					原位置試験 深 (m)	試験名 および結果	試料採取 深 (m)	採取 番号	室内試験 方法	掘進 月日
										深 (m)	10cmごとの 打撃回数 0 10 20	10 20 30	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値						
78.74	0.50	0.50	0.50	○	玉石混じり砂礫(表土)	茶褐色			基質はぐちゃぐちゃの中砂主体、径150~200mmの玉石を混入する。	10.00										
77.74	1.00	1.50	1.50		中砂	黄褐色			ほぼ均質な中砂主体、所々、径2~5mm程度の細礫混入。基質は、粘土混じり中砂。	10.00										
75.74	2.00	3.50	3.50		砂礫	黄褐色	密	中	2.0mより、径20~60mmの亜円~亜角礫を混入する。 径120mmのチャート質玉石混入。	10.00	11	13	15	39	39					
74.34	1.40	4.90	4.90		玉石混じり砂礫	黄褐色			礫径50~80mmの亜円礫主体。 4.0m付近より含木大、最大径100~120mm程度の玉石混入。河成堆積物底部と推定される。	10.00	8	8	10	26	26					
									全体に色調変化激しく、径10~30mmの亜円礫主体。礫種はチャートが主体。	10.00	10	13	16	39	39					
									11.00~11.15m、粒径の均一な微細砂礫状。	10.00	14	16	20	50	50					
									12.10~12.30m、淡灰色の礫混じり微細砂礫状。	10.00	16	23	11	50	50					
									15.45~15.55m、径100mmのチャート質玉石。 15.55~16.30m、礫混じり凝灰質粘土で、黒色の炭化物起源のシルト点存在。	10.00	18	32		50	50					
									17.82~17.84m、暗灰色のシルト挟む。 17.85~17.90m、黄白色の花崗岩起源のくより礫(砂状)。	10.00	17	20	13	50	50					
									22.00~23.00m、最大径100mm程度の玉石が多く混じる。	10.00	21	29	7	50	50					
									23.64m、暗黒色の有機質砂挟む。 23.90~24.70m、凝灰質粘土状。火山ガラス認め。	10.00	27	23	5	50	50					
54.24	20.10	25.00	25.00						全体に色調の変化が激しい。	10.00	43	7		50	50					
									26.0m以降、径5~20mmの亜円礫主体。礫種はチャートが主体。	10.00	43	7		50	50					

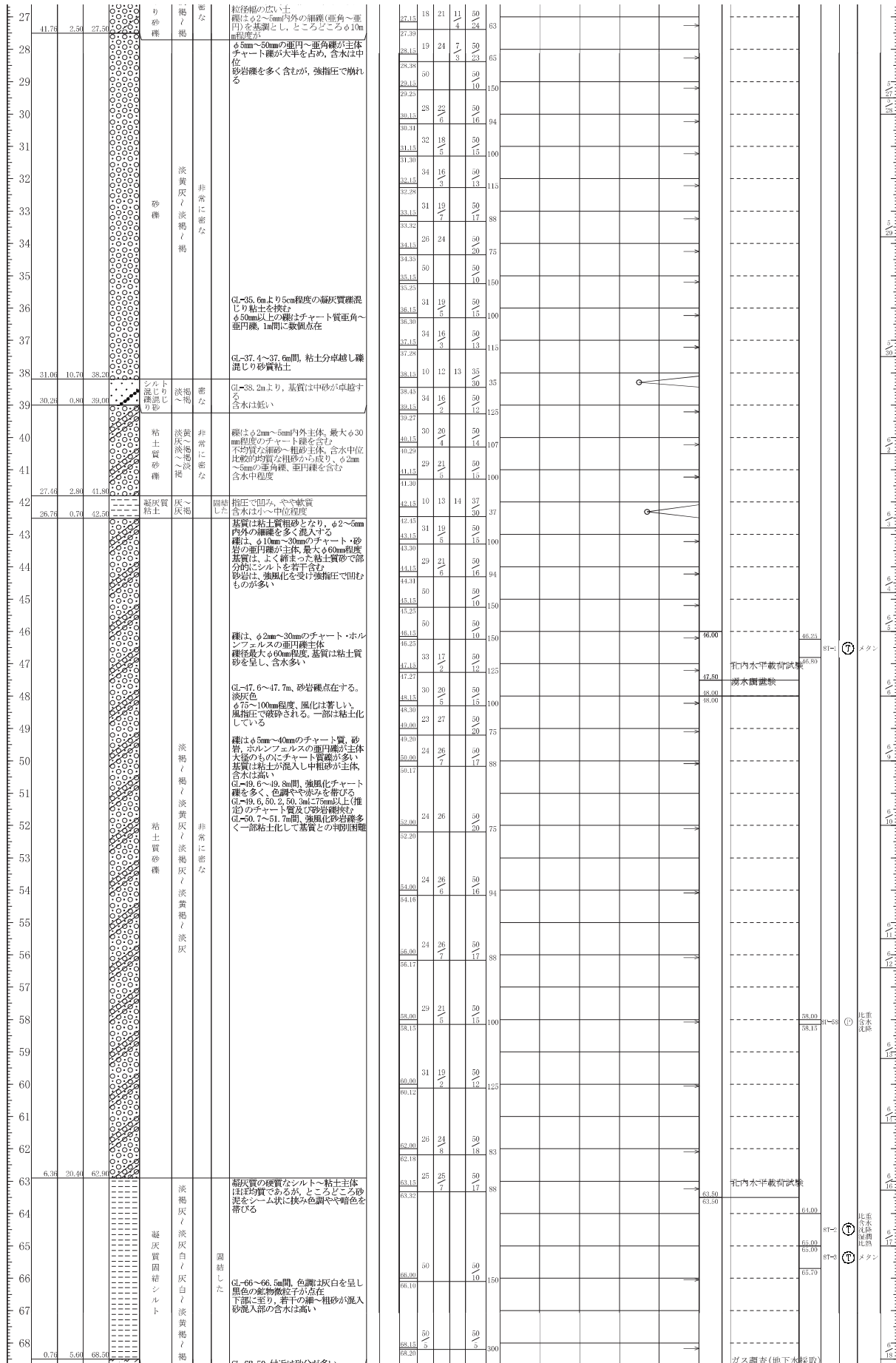


(JR-6)

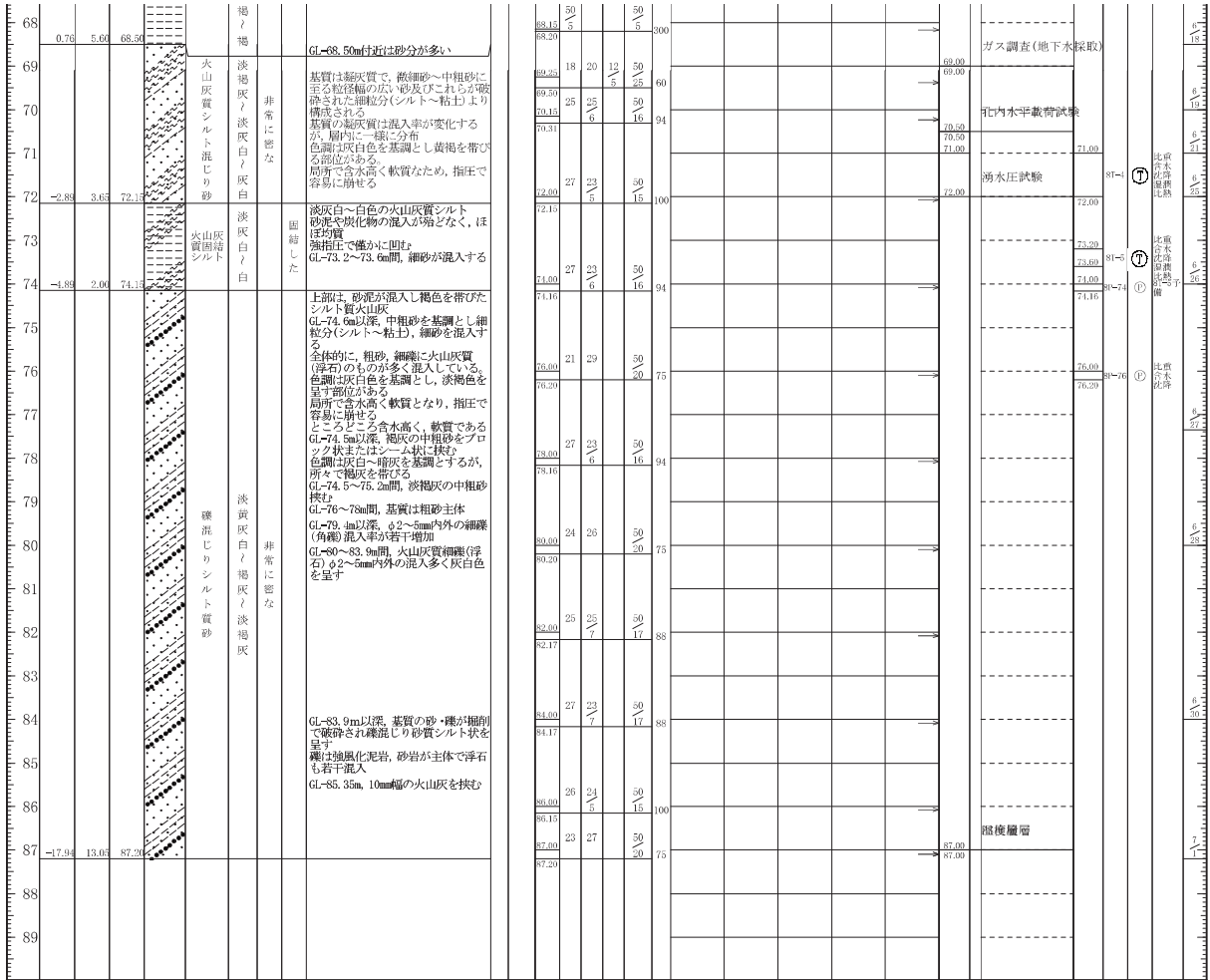


(JR-6)

(JR-7)



(JR-8)



(JR-8)

ボーリング柱状図

調査名

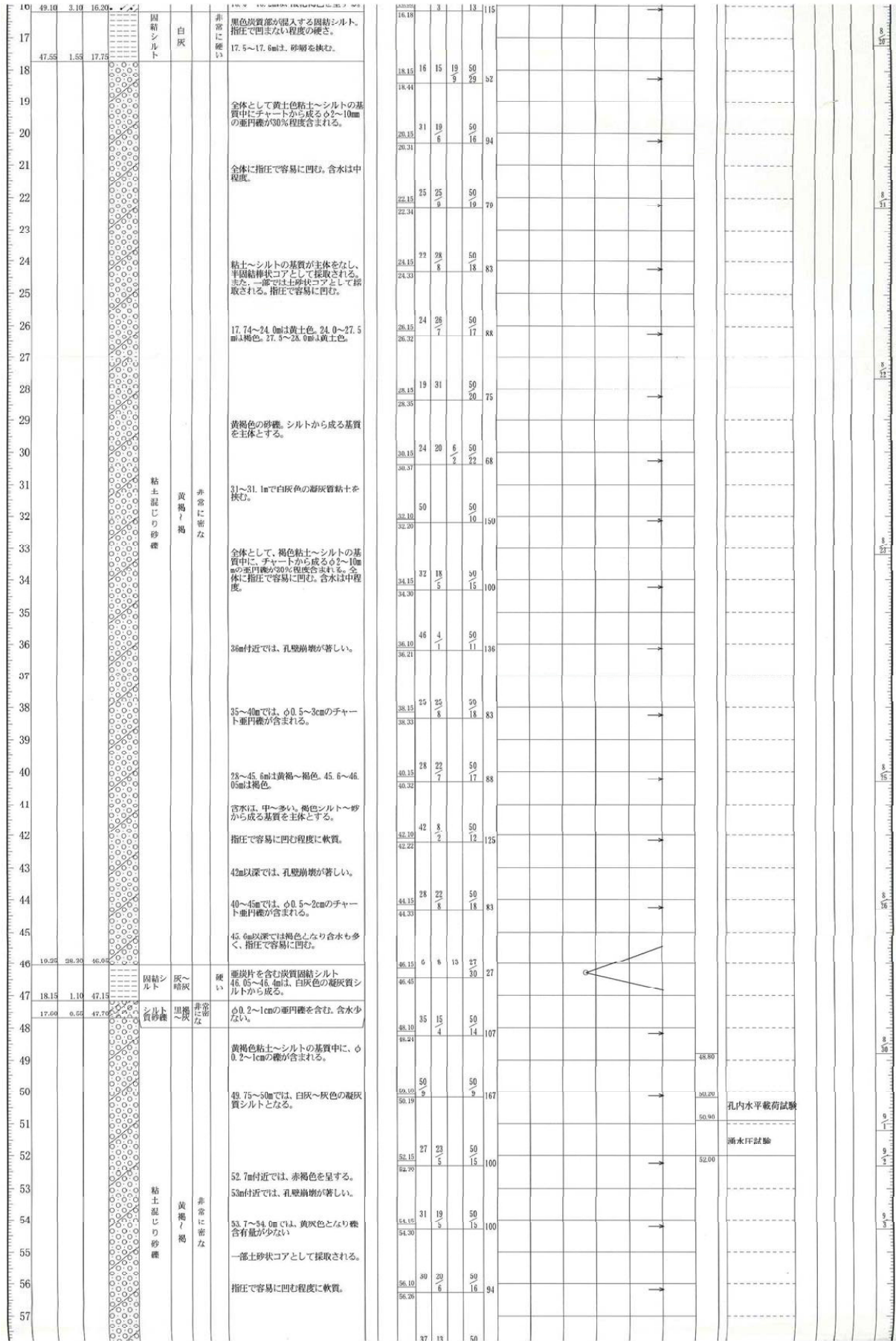
事業・工事名

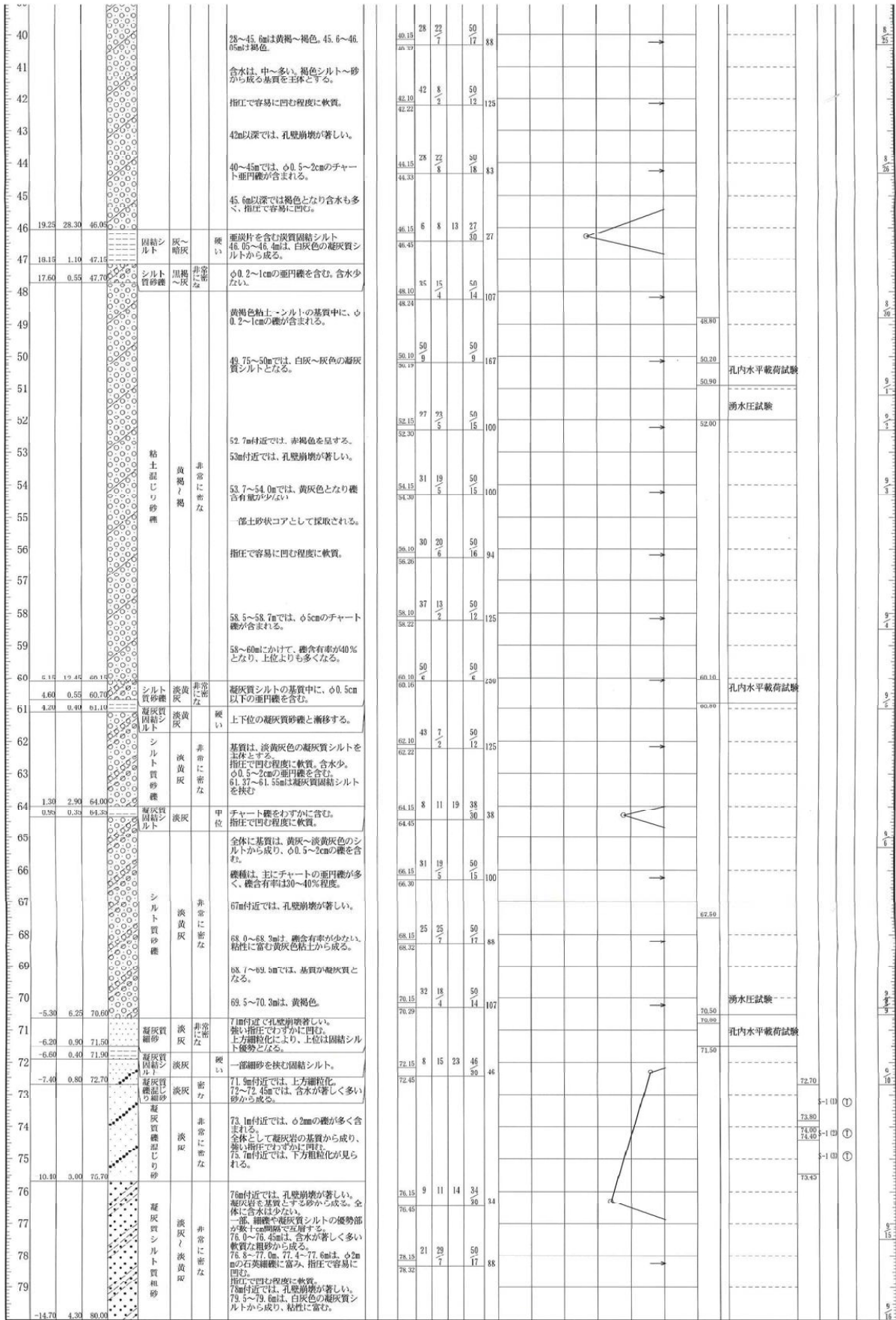
ボーリングNo

シートNo

ボーリング名	調査位置			北緯
発注機関	調査期間			東経
調査業者名	主任技師		現場代理人	ボーリング責任者
孔口標高	65.30m	角	180° 上 90° 下	ハンマー 落下用具
総掘進長	80.00m	度	0°	ポンプ
方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 0° 水平 0°	
使用機種	試錐機	エンジン	コ	ア
			鑑定者	

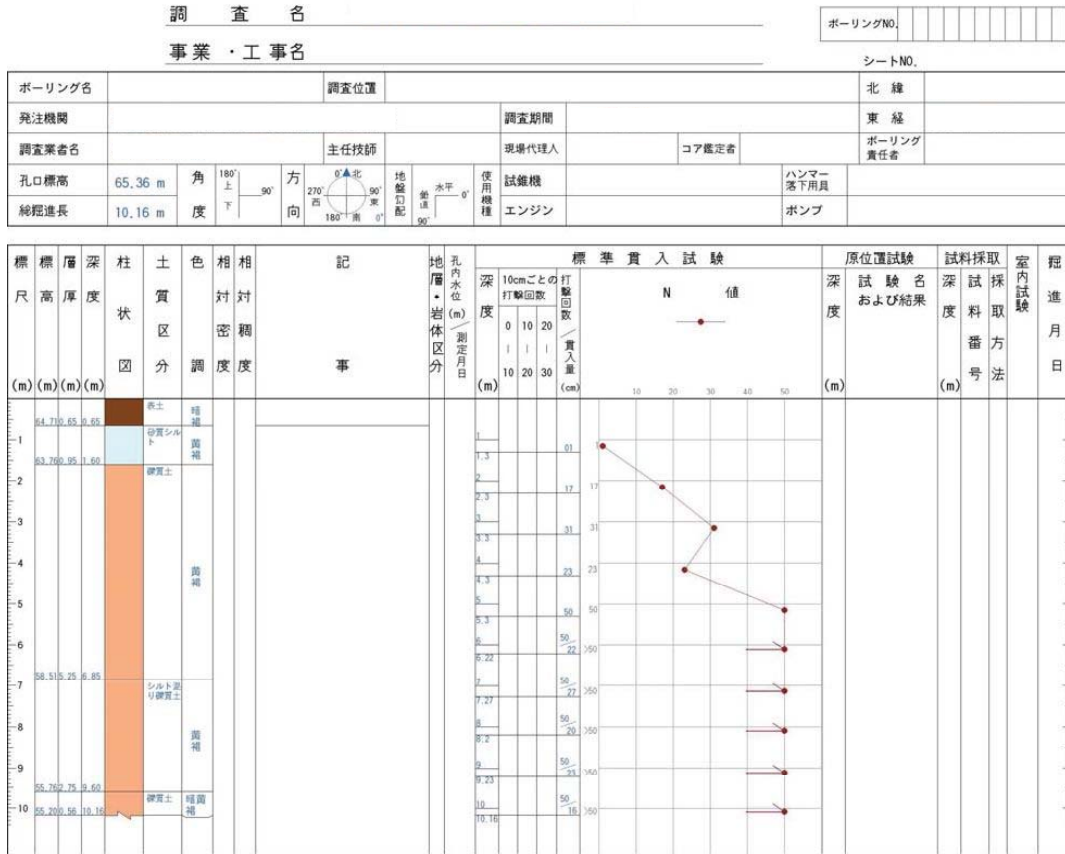
標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色相対調度	相対稠度	相対稠度	記述	標準貫入試験				原位置試験	試験名	試験結果	採取番号	採取方法	室内試験	掘進月日		
									深	10cmごとの 打撃回数	貫入量 (cm)	N 値									
64.30	1.00	1.00		砂礫	黒褐色	非常に硬い		盛土。含水少ない。	10	10	20	30									
62.30	2.00	3.00		砂礫	褐色	中くらい		φ1~3cmの主にチャートから成る重円礫から成る。基質の砂は、含水が著しく少ない。	13	9	11	33									
61.90	0.40	3.40		砂質粘土	黄褐色	軟らかい		上部細粒化を呈する細砂へ粘土。	7	11	12	30									
54.70	7.20	10.60		粘土混じり砂礫	黄褐色	密な		全体として、基質は、褐色のシルト質砂から成る。チャート、珪質泥岩を主体とする重円礫を30%程度含む。指圧で容易に凹む(一部破碎)。含水は中程度。 5.4~5.7mでは、酸化作用により、赤褐色を呈する。 6.45m以深では、黄褐色の基質から成る。 3.4~6.45mは褐色~黄褐色。6.45~10.0mは黄褐色。 φ1~3cmの重円礫~重円礫が多く含まれる。	11	9	12	32									
52.80	1.90	12.50		シルト質粗砂	褐色	非常に密な		褐色のシルト質砂から成る基質を主体とする。φ2~20mmの重円礫が20%程度含まれる。半固結の棒状コアとして採取される。	18	27	5	50									
52.20	0.60	13.10		粘土混じり砂礫	黄褐色	非常に密な		φ1~2cm程度の重円礫が主体。半固結棒状コアとして採取される。	19	28	5	50									
49.10	3.10	16.20		シルト質粗砂	黄褐色	非常に密な		褐色のシルト~砂を主体とする基質中に、φ2mmの礫が少量含まれる。指圧で容易に凹む程度に軟質。含水は、中程度。 16.0~16.2mは、酸化褐色を呈する。	15	29	19	50									
47.55	1.55	17.75		固結シルト	白灰	非常に硬い		黒色鉄質部が混入する固結シルト。指圧で凹まない程度の硬さ。 17.5~17.6mは、砂層を挟む。	16	16	19	50									
								全体として黄褐色粘土~シルトの基質中にチャートから成るφ2~10mmの重円礫が30%程度含まれる。	16	16	19	50									
								全体に指圧で容易に凹む。含水は中程度。	31	19	6	50									
								粘土~シルトの基質が主体をなし、半固結棒状コアとして採取される。また、一部では土砂状コアとして採取される。指圧で容易に凹む。	25	25	9	50									
								17.74~24.0mは黄土色。24.0~27.5mは褐色。27.5~28.0mは黄土色。	22	28	8	50									
									24	26	1	50									





(JR-9)

ボーリング柱状図



(参考9-1)

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	調査位置			北緯
発注機関	調査期間			東経
調査業者名	主任技師			ボーリング責任者
現代理人		コア鑑定者		
孔口標高	H=63.809m	角	180° 上 90° 下	方
総掘進長	20.40m	度	0°	向
			北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配
			鉛直 0°	使用機種
			水平 0°	試錐機
				エンジン
				ハンマー 落下用具
				ポンプ

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	標準貫入試験					原位置試験 深度 (m)	試験名 および結果	試料採取 深度 (m)	採取 番号	室内試験 ()	掘進 月日	
										深 度 (m)	10cm ごとの 打撃回数	打撃 回数 / 貫入量 (cm)	0	10							20
63.80	0.33	0.34	0.00		砂質土	褐色			上部10cm、草根を含む表土。以下、風化石塊を含む雑流り土砂状。	7.1 7.40	5	3	2	10 30							
					玉石混り砂	褐色			中位〜密な	φ10〜30mm (max. 60mm) 程度の equal 角礫主体。埋込入率が高く、硬質チャートを含む。φ150mm程度の玉石が点在する。マトリックスは不均一な中細砂主体で隙間分を吸入する。含水量は中位程度。GL-1.45m〜1.70m間、GL-2.00m〜2.25m間、埋込入率少なくシルト質細砂状。	7.40 7.40	1	5	7		13 30					
					砂質土	褐色			非常に密な	φ2〜30mm (max. 70mm) 程度の equal 角礫主体。マトリックスは、不均一な砂質粘土主体。GL-5.80m付近より含水量は少なくなり、固結化が進行。	7.40 7.40	7	9	10		26 30					
58.8	4.8	5.0	5.00		粘土質砂	暗褐色				GL-13.0〜13.4m間、固結シルト層を挟む。炭化物・礫を混入し黒灰色を呈す。	7.40 7.40	6	6	6		18 30					
					粘土質砂	暗褐色				GL-14.55〜14.6m間、緑青灰色の固結シルトを挟む。	7.40 7.40	6	6	6		18 30					
					粘土質砂	暗褐色				GL-15.85〜15.96m間、灰色の固結シルトを挟む。	7.40 7.40	19	20	11		50 26					
					粘土質砂	暗褐色				GL-15.85〜15.96m間、灰色の固結シルトを挟む。	7.40 7.40	24	25	7		50 17					
					粘土質砂	暗褐色				GL-20m付近、埋込入率少なくなり、粗砂主体となる。	7.40 7.40	15	20	15		50 15					
					粘土質砂	暗褐色					7.40 7.40	25	25	8		50 18					
					粘土質砂	暗褐色					7.40 7.40	37	13	3		50 13					
					粘土質砂	暗褐色					7.40 7.40	23	27			50 20					
					粘土質砂	暗褐色					7.40 7.40	38	12	2		50 12					
					粘土質砂	暗褐色					7.40 7.40	32	18	5		50 15					
					粘土質砂	暗褐色					7.40 7.40	27	23	8		50 18					
					粘土質砂	暗褐色					7.40 7.40	30	20	7		50 17					
					粘土質砂	暗褐色					7.40 7.40	36	14	3		50 13					
					粘土質砂	暗褐色					7.40 7.40	28	22	5		50 15					
					粘土質砂	暗褐色					7.40 7.40	33	17	5		50 15					
					粘土質砂	暗褐色					7.40 7.40	35	15	3		50 13					
					粘土質砂	暗褐色					7.40 7.40	25	25	8		50 18					
					粘土質砂	暗褐色					7.40 7.40	15	20	15		50 22					
				粘土質砂	暗褐色					7.40 7.40	15	20	15	50 22							

(JR-10)

ボーリング柱状図

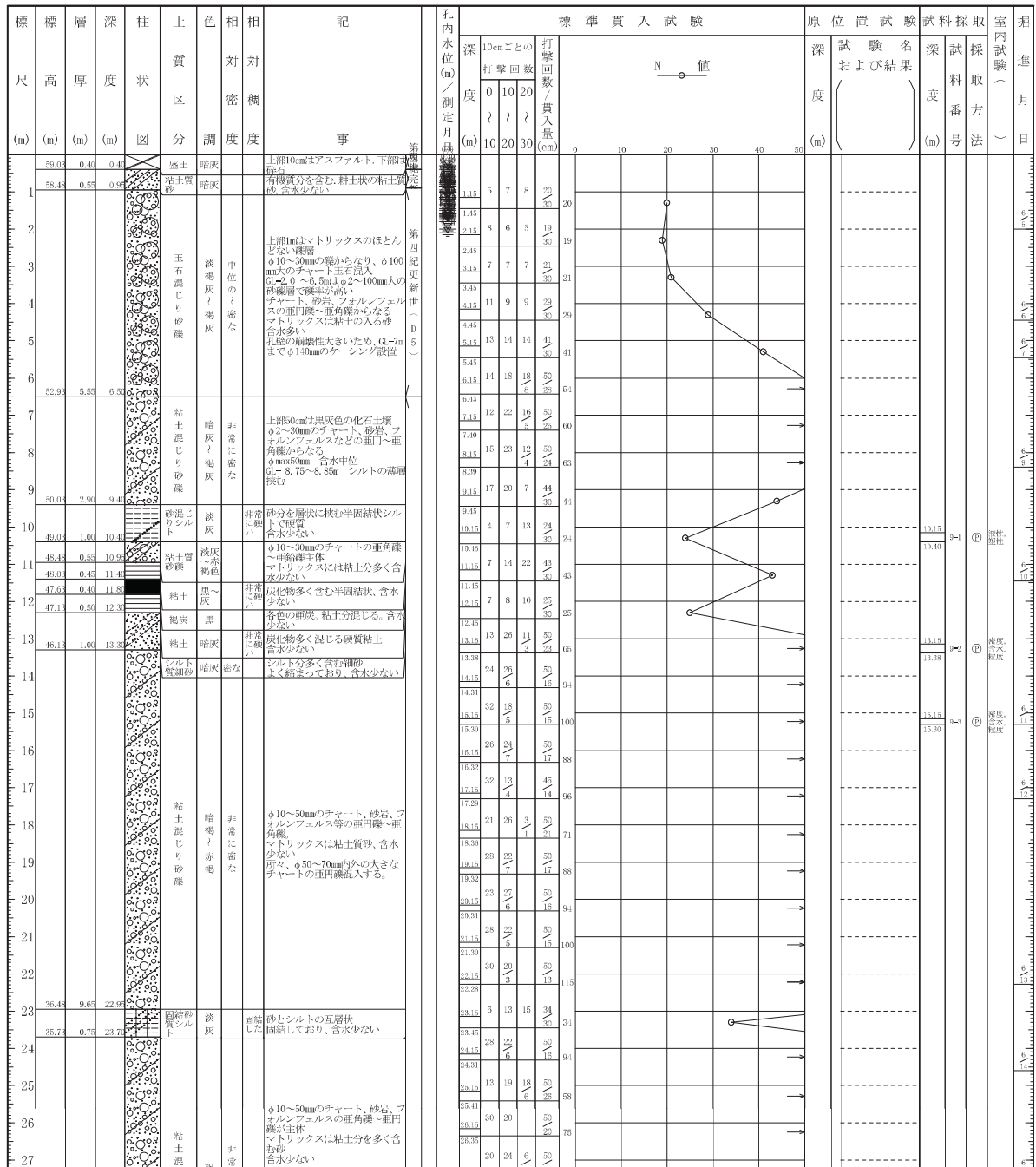
調査名

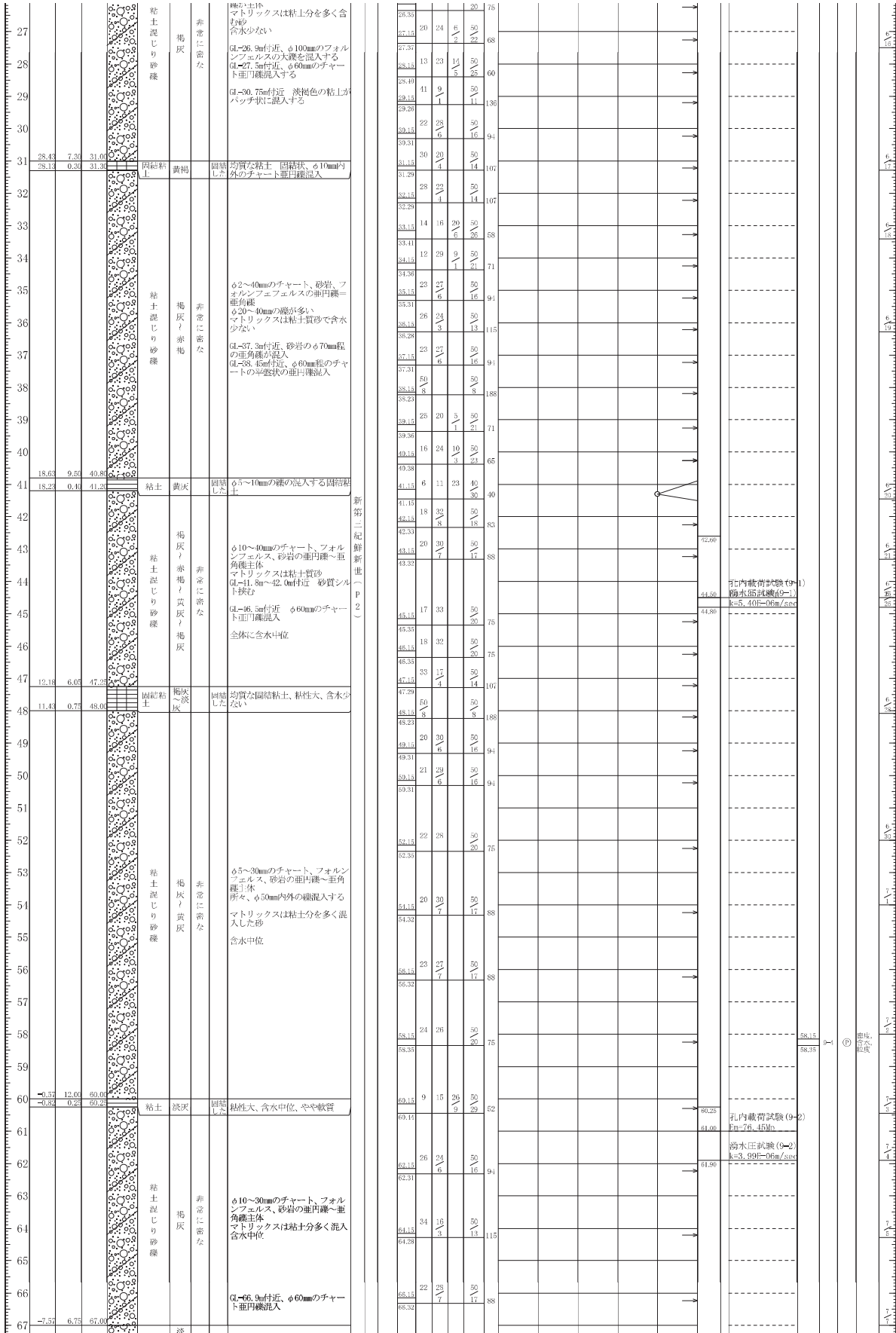
ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	調査位置										北緯
発注機関	調査期間										東経
調査業者名	電話 ()	主任技師			現代場			コア		ボーリング責任者	
孔口標高	59.430m	角	180°	方	北0°	地盤勾配	使用機種		ハンマー落下用具		
総掘進長	30.20m	度	上90°	向	270°	鉛直	エンジン		ポンプ		





(JR-11)

層番号	層名	土質	状態	説明	層厚 (m)	平均粒径 (mm)	標準偏差 (mm)	形状係数	その他
67	砂	砂	非常に密な	下層円礫混入	0.32				
68	砂	砂	非常に密な	φ10~30mmのチャート、砂岩、フオルンフェルスの亜円礫~亜角礫主体 マトリックスには粘土分少なく高含水	0.15	21	20/3	50/18	83
69	砂	砂	非常に密な	φ10~20mmのチャート、砂岩の亜円礫主体 マトリックスは粘土分が多く、含水も高い GI=70.6m付近、厚さ10cmの固結した粘土挟む	0.33				
70	砂	砂	非常に密な	φ10~20mmのチャート、砂岩の亜円礫主体 マトリックスは粘土分が多く、含水も高い GI=70.6m付近、厚さ10cmの固結した粘土挟む	0.14	29	21/5	50/12	100
71	砂	砂	非常に密な	φ10~20mmのチャート、砂岩の亜円礫主体 マトリックスは粘土分が多く、含水も高い GI=70.6m付近、厚さ10cmの固結した粘土挟む	0.30				
72	砂	砂	非常に密な	φ10~20mmのチャート、砂岩の亜円礫主体 マトリックスは粘土分が多く、含水も高い GI=70.6m付近、厚さ10cmの固結した粘土挟む	0.13	50		50/10	150
73	砂	砂	非常に密な	φ2~20mmチャート、砂岩、フオルンフェルスの亜円礫~亜角礫主体 φmax50mm、マトリックスは粘土質砂 含水多い GI=73.2 ~73.3m 淡灰色の砂層を挟む	0.25				
74	砂	砂	非常に密な	φ2~20mmチャート、砂岩、フオルンフェルスの亜円礫~亜角礫主体 φmax50mm、マトリックスは粘土質砂 含水多い GI=73.2 ~73.3m 淡灰色の砂層を挟む	0.13	23	21/7	50/17	88
75	砂	砂	非常に密な	φ2~20mmチャート、砂岩、フオルンフェルスの亜円礫~亜角礫主体 φmax50mm、マトリックスは粘土質砂 含水多い GI=73.2 ~73.3m 淡灰色の砂層を挟む	0.32				
76	砂	砂	非常に密な	φ2~30mmのチャートの亜円礫を混入した砂 シルト分を少量混入、よく締まっている、高い含水	0.12	10	40/9	50/19	79
77	砂	砂	非常に密な	φ2~30mmのチャートの亜円礫を混入した砂 シルト分を少量混入、よく締まっている、高い含水	0.31				
78	砂	砂	非常に密な	φ2~30mmのチャート、砂岩、フオルンフェルスの亜円礫~亜角礫主体 マトリックスは粘土質で含水多い 層は不均質に混入しており、含水は高い φmax50mmのチャート亜円礫	0.12	25	25/4	50/16	94
79	砂	砂	非常に密な	φ2~30mmのチャート、砂岩、フオルンフェルスの亜円礫~亜角礫主体 マトリックスは粘土質で含水多い 層は不均質に混入しており、含水は高い φmax50mmのチャート亜円礫	0.31				
80	砂	砂	非常に密な	φ2~30mmのチャート、砂岩、フオルンフェルスの亜円礫~亜角礫主体 マトリックスは粘土質で含水多い 層は不均質に混入しており、含水は高い φmax50mmのチャート亜円礫	0.01	18	32	50/30	75
					0.20				

(JR-11)

ボーリング柱状図

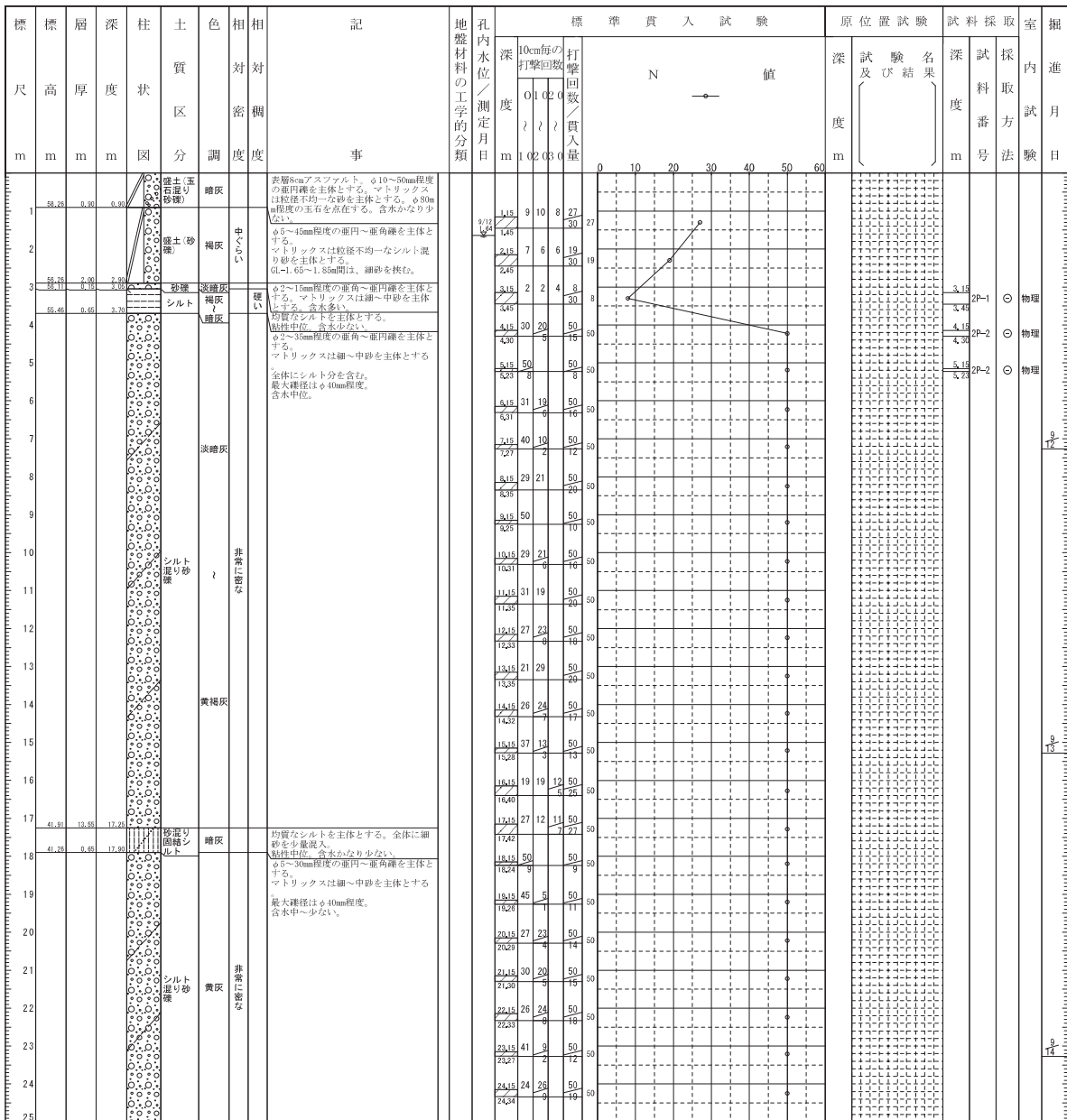
調査名

事業・工事名

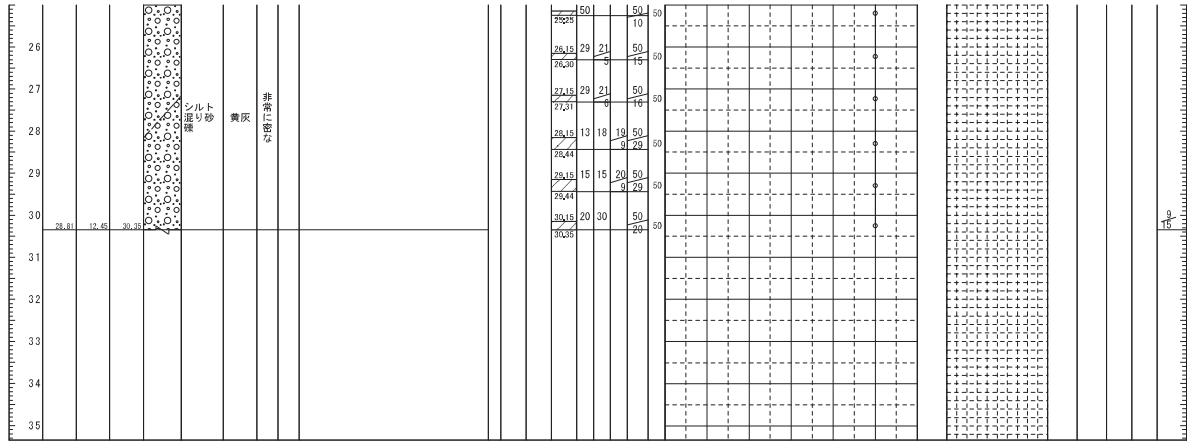
ボーリングNo.

シートNo.

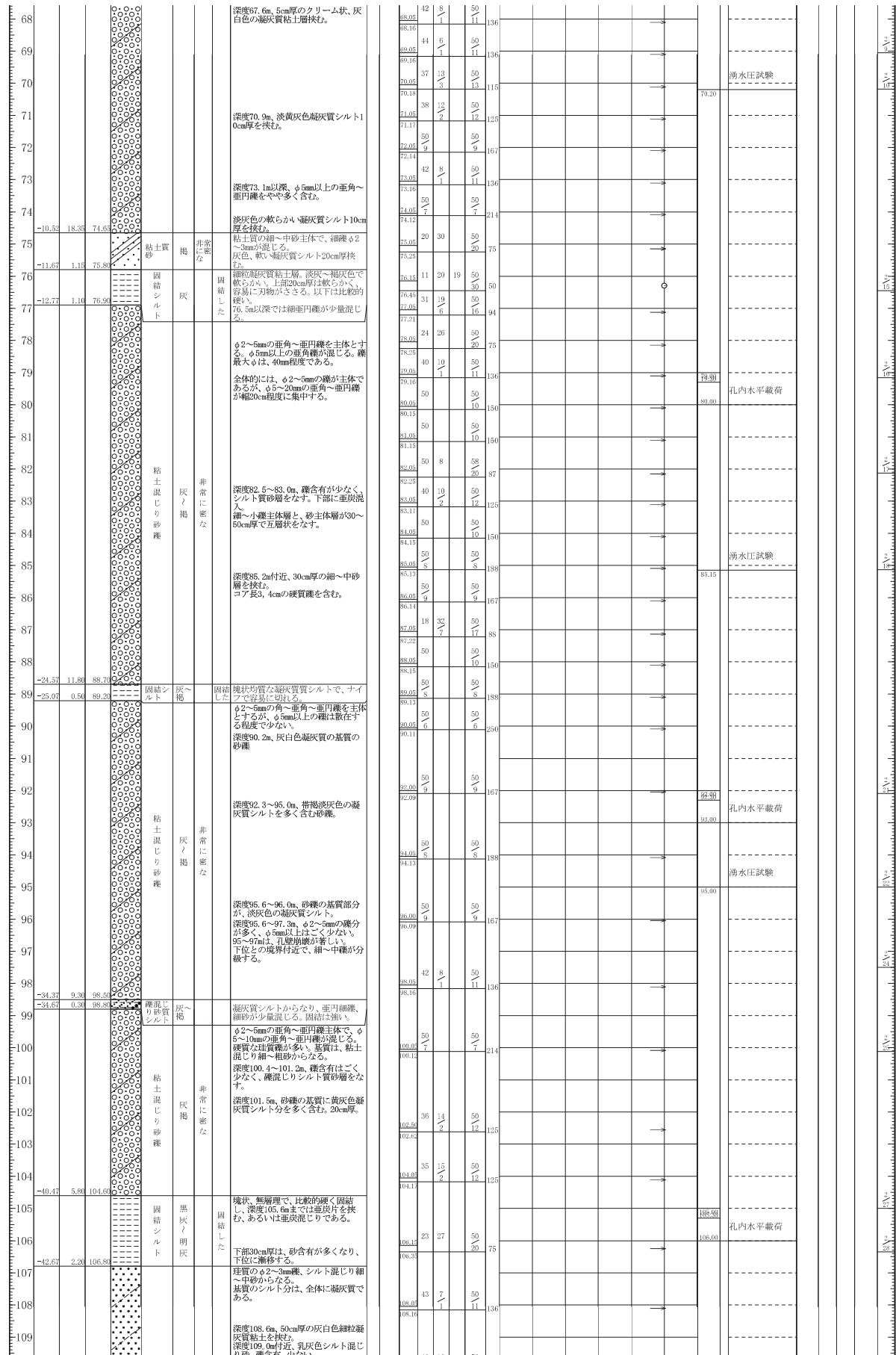
ボーリング名	調査位置	北緯
発注機関	調査期間	東経
調査業者名	主任技師	現代場人
孔口標高	角	方
総掘進長	度	向
使用機種	試験機	ハンマー 落下用具
エンジン	ポンプ	

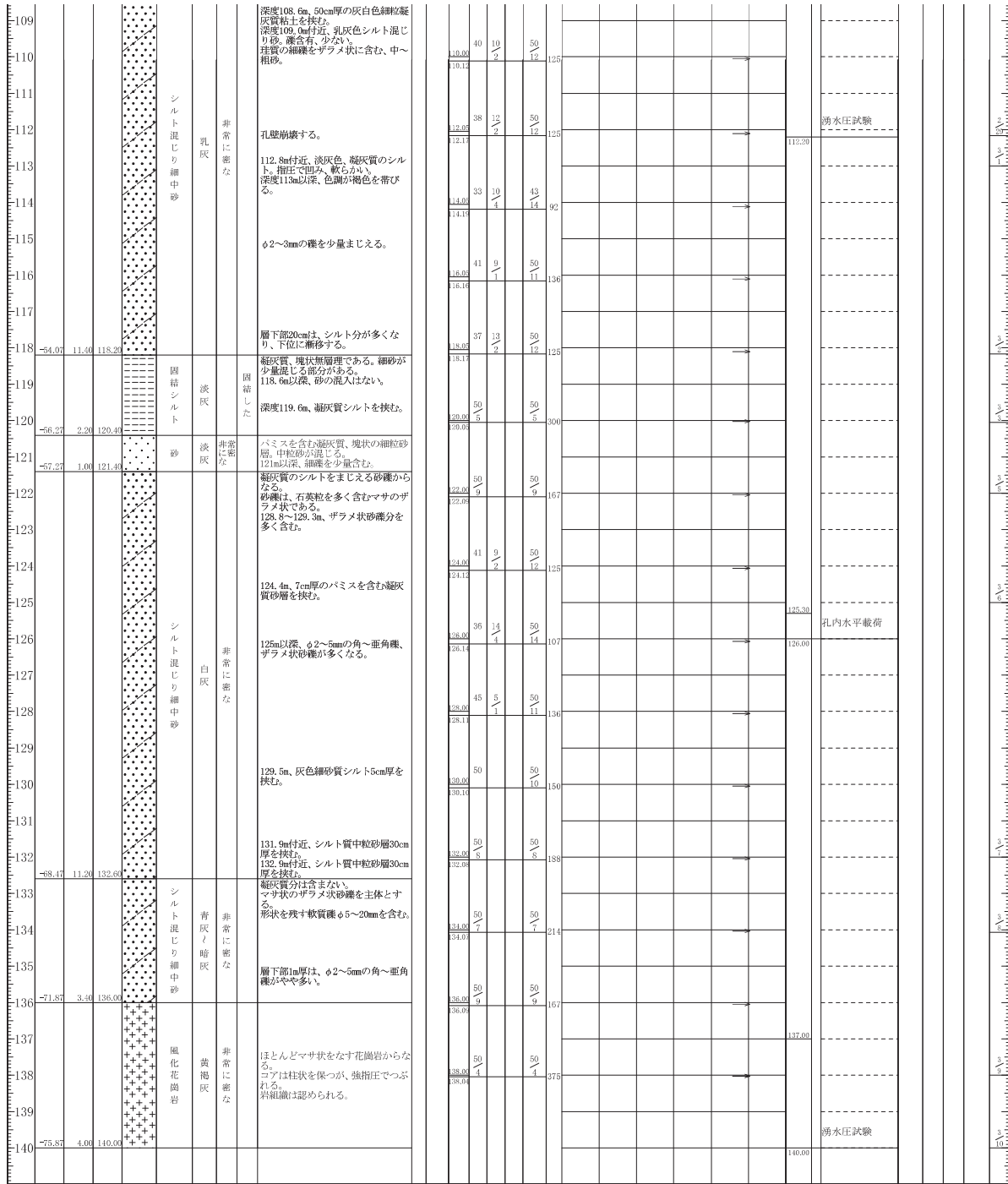


(JR-12)



27				土混じり砂礫	灰ノ地	非常に密な				43	7	50	136							
28										36	14	50	125							
29										41	9	50	125							
30										50		50	167							
31										43	7	50	125							
32										35	15	50	107							
33										34	16	50	100							
34										50		50	150							
35										41	9	50	125	34.30						
36										18	14	50	56	35.00						
37	27.33	18.75	36.89							44	6	50	136							
38				粘土混じり砂礫	灰ノ地					50		50	188							
39										22	28	50	93							
40										27	23	50	94							
41	23.43	3.90	40.70	凝灰質シルト	黄灰					41	9	50	136	40.20						
42	23.03	0.40	41.10							50		50	214							
43										50		50	167							
44										50		50	250							
45				粘土混じり砂礫	灰ノ地					45	5	50	136							
46										50		50	188							
47										50		50	150							
48										44	6	50	136							
49										21	29	50	83	49.30						
50	14.03	9.00	50.10	凝灰質シルト	淡灰					37	13	50	115	50.00						
51	13.73	0.30	50.40							23	27	50	88	50.00						
52										21	29	50	98	50.00						
53				粘土混じり砂礫	灰ノ地	非常に密な				26	24	50	94							
54										50	10	50	90							
55										30	20	50	100							
56	7.83	5.90	56.30							21	25	50	71	55.13						
57										40	10	50	125							
58										50		50	150							
59										30	20	50	115							
60										50		50	188							
61										50		50	214							
62										21	29	50	94							
63										23	27	50	100	43.30						
64										32	18	50	115	44.00						
65				粘土混じり砂礫	地灰ノ灰地	非常に密な				50		50	150	44.00						
66										50		50	188							
67										50		50	214							
68										42	8	50	136							





ボーリング柱状図

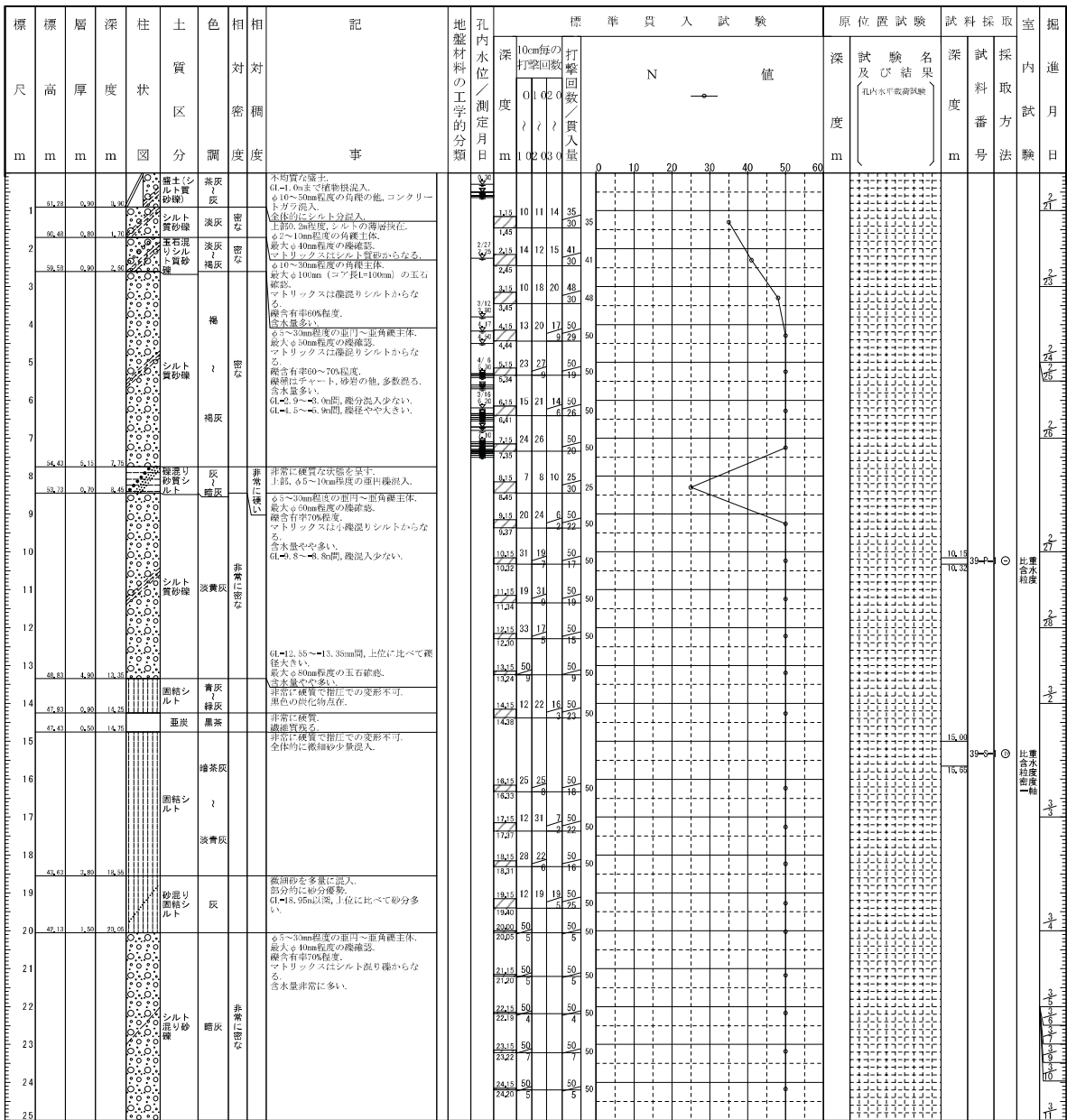
調査名

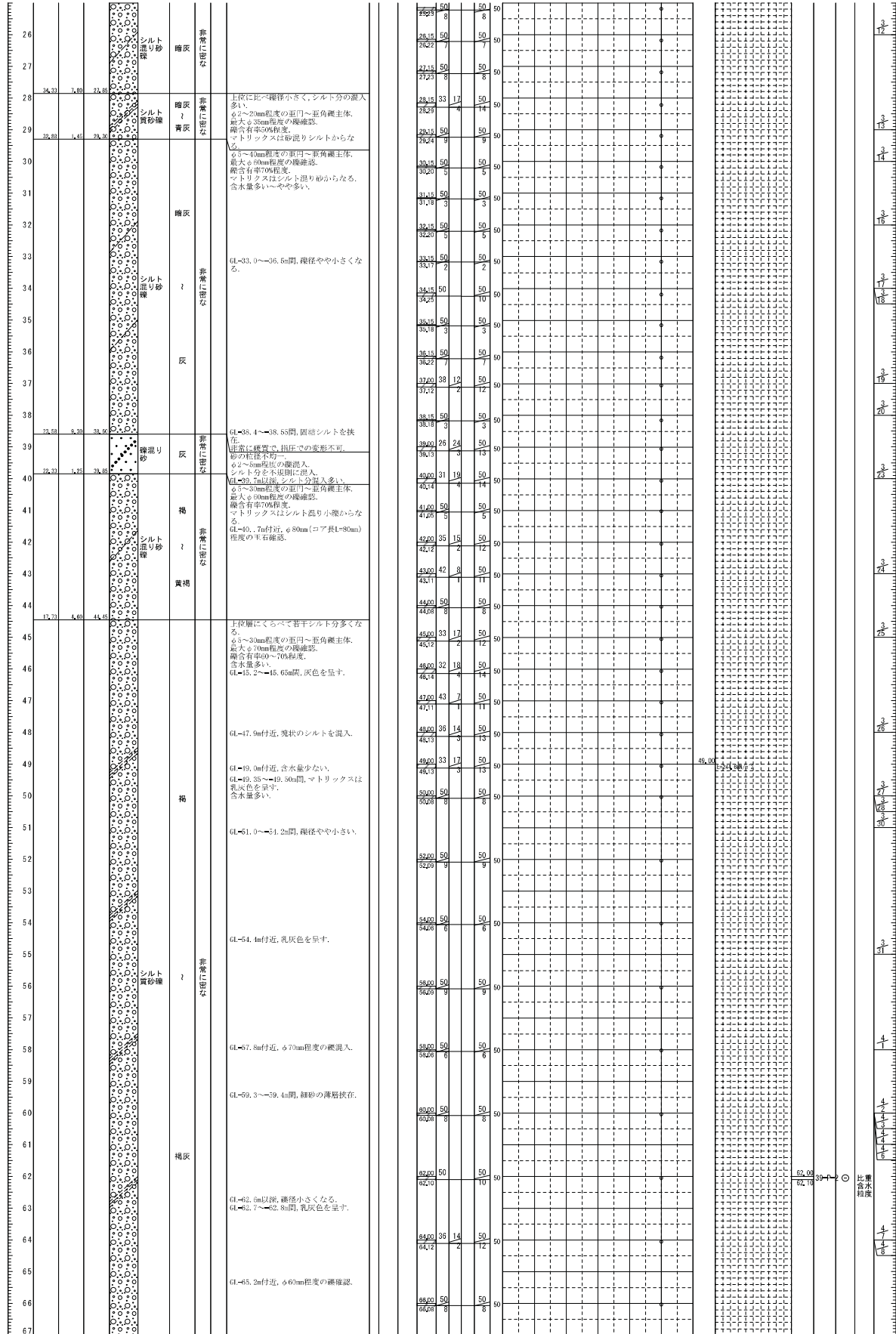
事業・工事名

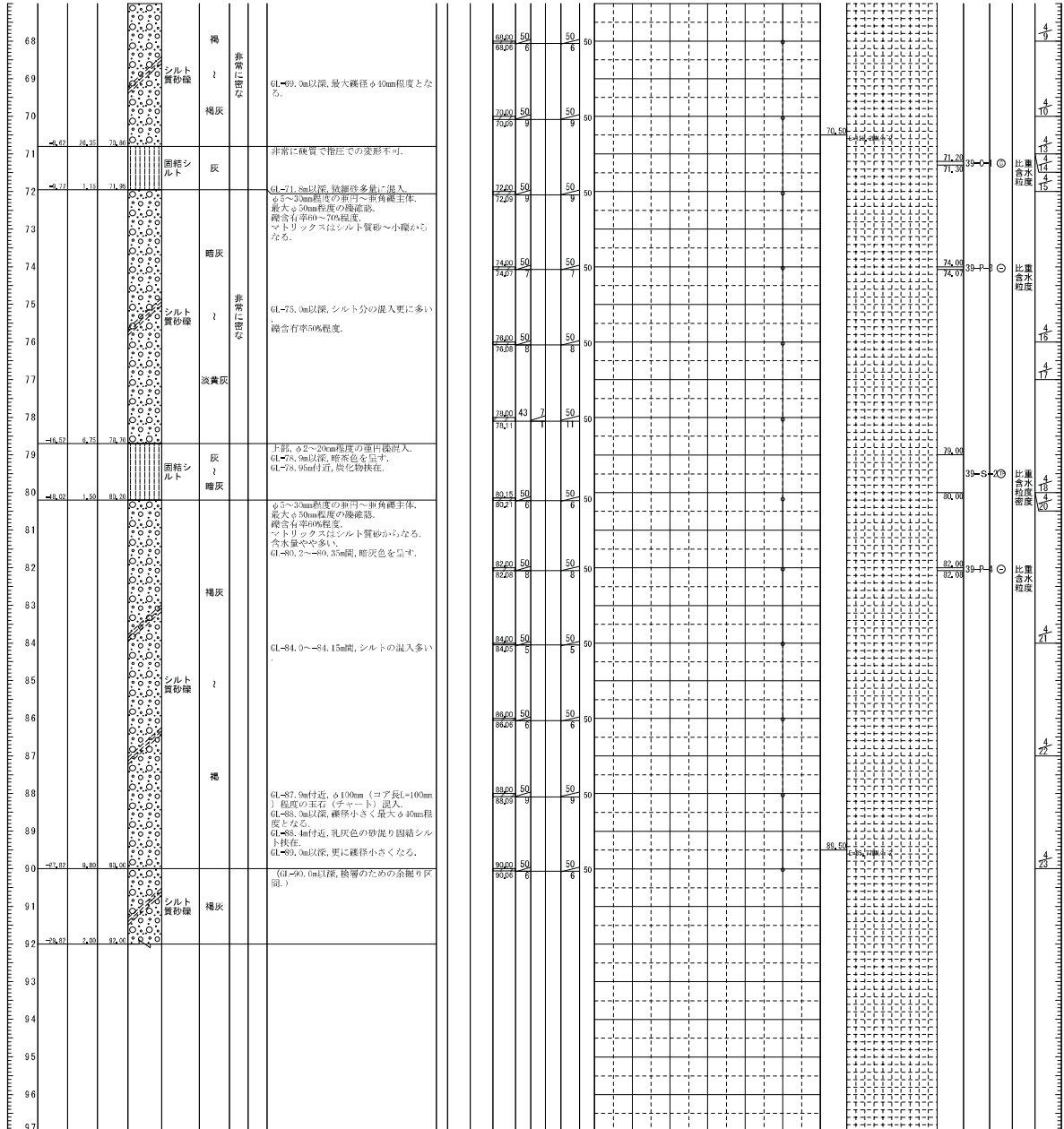
ボーリングNo. _____

シートNo. _____

ボーリング名	調査位置	北緯
発注機関	調査期間	東経
調査業者名	主任技師	現代人
開口標高	角	方
総掘進長	度	向
	地盤勾配	使用機種
		試験機
		ハンマ
		ポンプ
		コア
		ア
		定
		者
		ボーリング
		責任者







(注) 1. 試料採取方法の記号

- ① シンウォールサンブラーによる試料
- ② デニソンサンブラーによる試料
- ③ 貫入試験器による試料
- ④ サンドサンブラーによる試料
- ⑤ コア試料
- ⑥ コアパックによる試料
- ⑦ リジットサンブラーによる試料

2. 試料採取深度と採取比

3.20	3.20-3.70は試料採取深度 (m)
3.70	

3. 原位置試験名の記号

- ⑧ 電気検層
- ⑨ P波速度検層
- ⑩ S波速度検層
- ⑪ サクションPS検層
- ⑫ キャリバー検層
- ⑬ 密度検層
- ⑭ 温度検層
- ⑮ ルジオン試験
- ⑯ 現場透水試験
- ⑰ 孔内水平載荷試験

(JR-14)

ボーリング柱状図

調査名

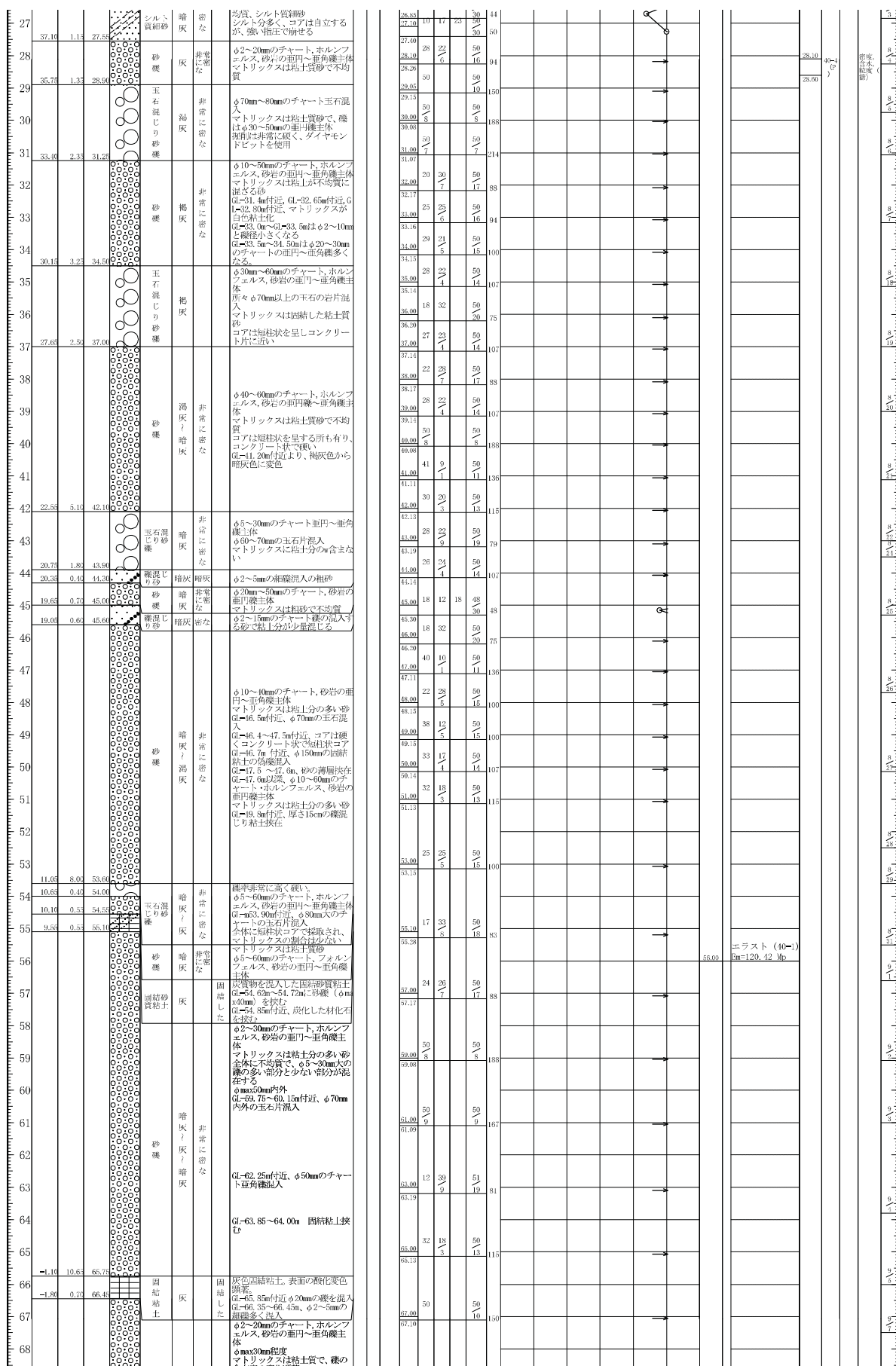
ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

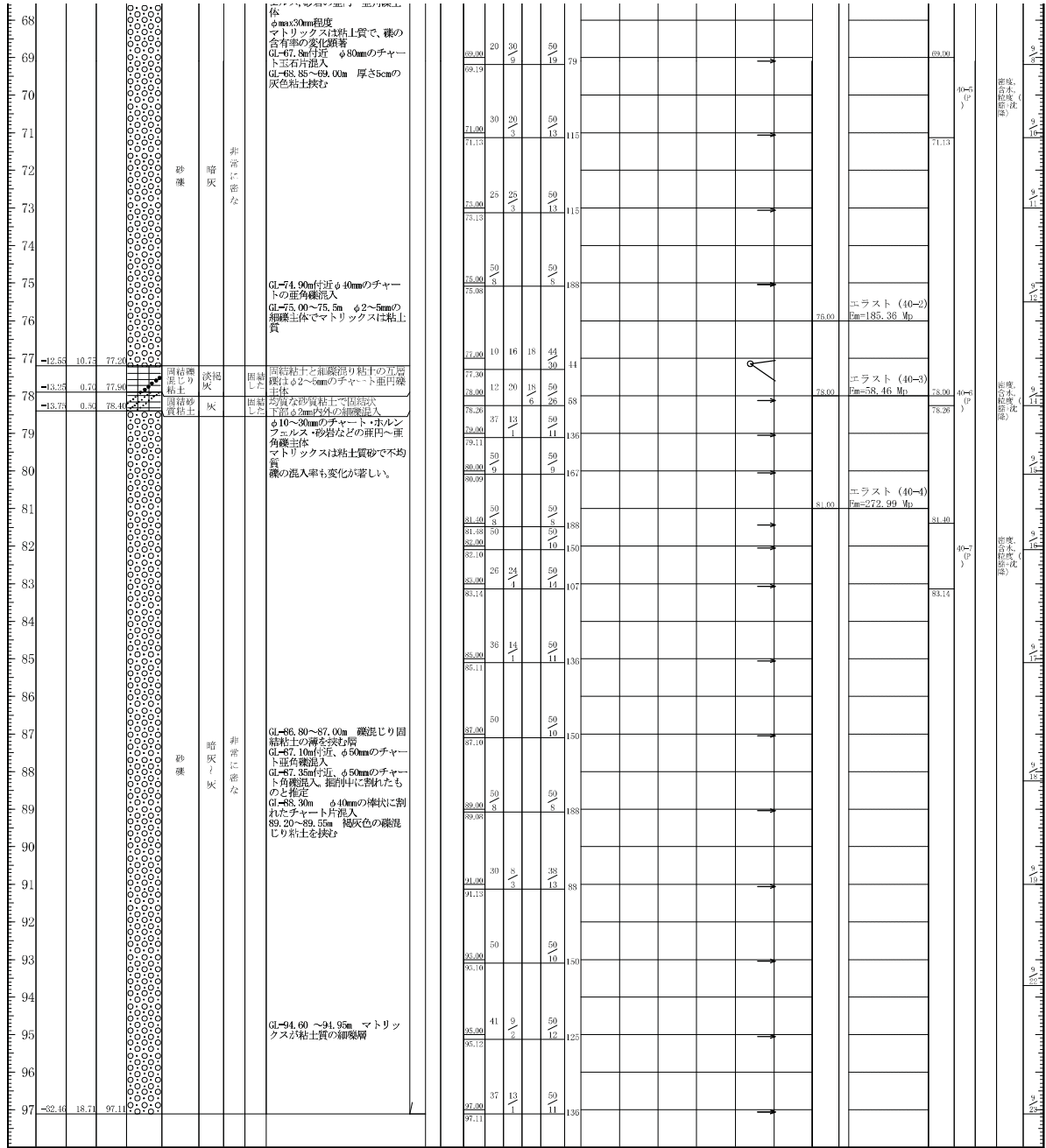
事業・工事名

シートNo

ボーリング名	調査位置										北緯
発注機関	調査期間										東経
調査業者名	主任技師										ボーリング責任者
孔口標高	64.65m	角	180°	方	北0°	地盤勾配	使用機種	試験機	ハンマー	コア	ア
総掘進長	97.11m	度	0°	向	西270°	新直	エンジン	ポンプ	落下用具	鑑定者	

標尺 (m)	層高 (m)	厚 (m)	深 (m)	柱状区分	土質	色	相対密度	相対稠度	相対稠度	記	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験	試験名	試験深度 (m)	採取番号	採取方法	室内試験 (月日)	掘進 (月日)						
												深 (m)	10cmごとの打撃回数	0	10	20													
63.95	0.77	0.77	0.77	盛土(砂)	赤褐					造り時の盛土、草根混入、粘土分を多く含む砂。線は0.5~2.0mmのチャート混入。	7/24	1.15	8	9	10	27													
57.87	6.10	6.83	6.83	固結土	暗灰? 赤褐色					均質な固結粘土、上部20cmは高含水で軟質化している。硬質コア、炭質物混入。全体に非常に硬い。固結した。Gl=5.85m付近より赤みを帯びはじめ、6~7mで赤褐色に変色。	7/25	1.48	10	10	10	30													
55.90	1.95	8.77	8.77	固結シルト	黄褐、灰褐色					全体に黄褐色を帯びる。固結したシルトで砂分をラミナ状含む。まれに、0.2~5mmのチャート風、圧縮可能な繊維状の炭質物の混入なし。	8/1	2.58	8	9	11	38													
53.25	2.67	11.44	11.44	砂	淡黄灰					0.2~50mmのチャート、ホルンフェルスの混入。砂岩の市円~亜角礫主体マトリックスに比較的粘土分が少ない。	8/27	4.15	15	18	17	59													
50.75	2.52	13.96	13.96	粘土質砂	黄褐					粘土分を多く含む砂。0.2~40mmのチャート、ホルンフェルスの市円~亜角礫主体全体に不均質で含水少ない。Gl=13.3m付近より含水が多くなり、マトリックスが軟質化。Gl=13.9mでコアチューブ10cm落下(空筒)。	8/27	6.41	9	12	13	34													
50.17	0.63	14.59	14.59	堆積物(粘土質砂)	淡赤褐					高含水の粘土質砂。線混り砂。非常に軟弱。	8/28	7.45	9	11	22	42													
48.85	1.30	15.89	15.89	砂	黄褐					0.2~50mmのチャート、ホルンフェルスの市円~亜角礫主体マトリックスは粘土質砂。含水少ない。Gl=21.3~21.65m標準高くてマトリックスは硬い、短柱状コアで採取。	8/28	8.41	17	17	16	50													
43.00	5.85	21.74	21.74	固結土	灰					均質な固結粘土。上部砂礫類との境界は水平より下部に材化石が少量混入する。	8/28	14.50	2	1	3	40													
41.10	1.90	23.64	23.64	亜炭	黒灰					コアは層状で厚さ5mm~10mmの薄層状に互層する。	8/28	15.13	13	15	15	30													
38.25	2.71	26.40	26.40	固結土	暗灰					炭質物多く入り、全体に黒みを帯びる。固結粘土。Gl=25.1m付近、厚さ8cmの亜炭を挟む。5~10°で傾斜。Gl=25.6~25.75m白色シルト状。Gl=25.75m付近、厚さ2cmの亜炭を挟む。10°で傾斜。	8/28	16.45	6	10	8	24													
37.10	1.13	27.53	27.53	シルト質細砂	暗灰					均質、シルト質細砂。シルト分多く、コアは自立するが、強い指圧で崩せる。	8/28	17.40	14	23	13	59													





(JR-15)

ボーリング柱状図

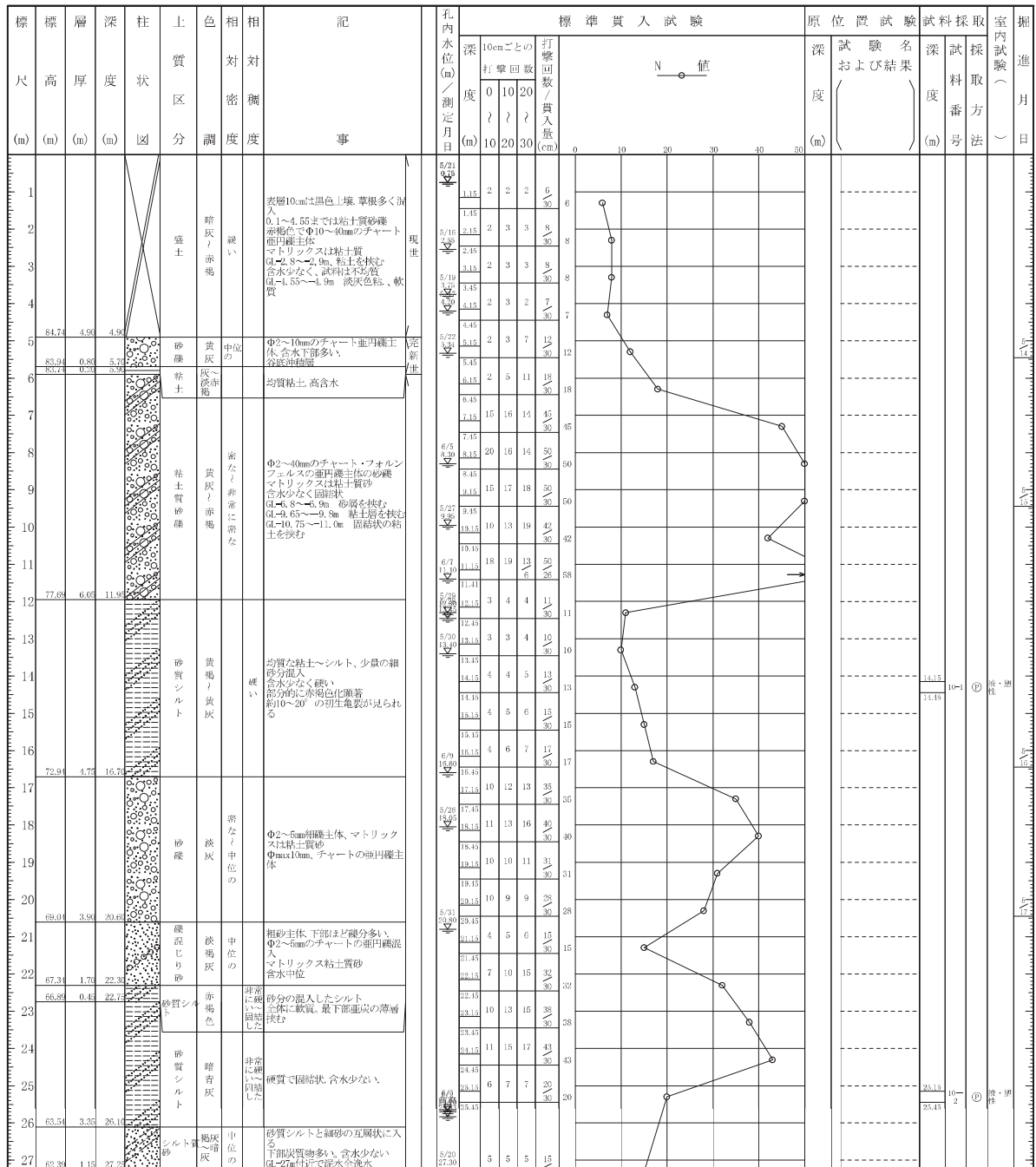
調査名

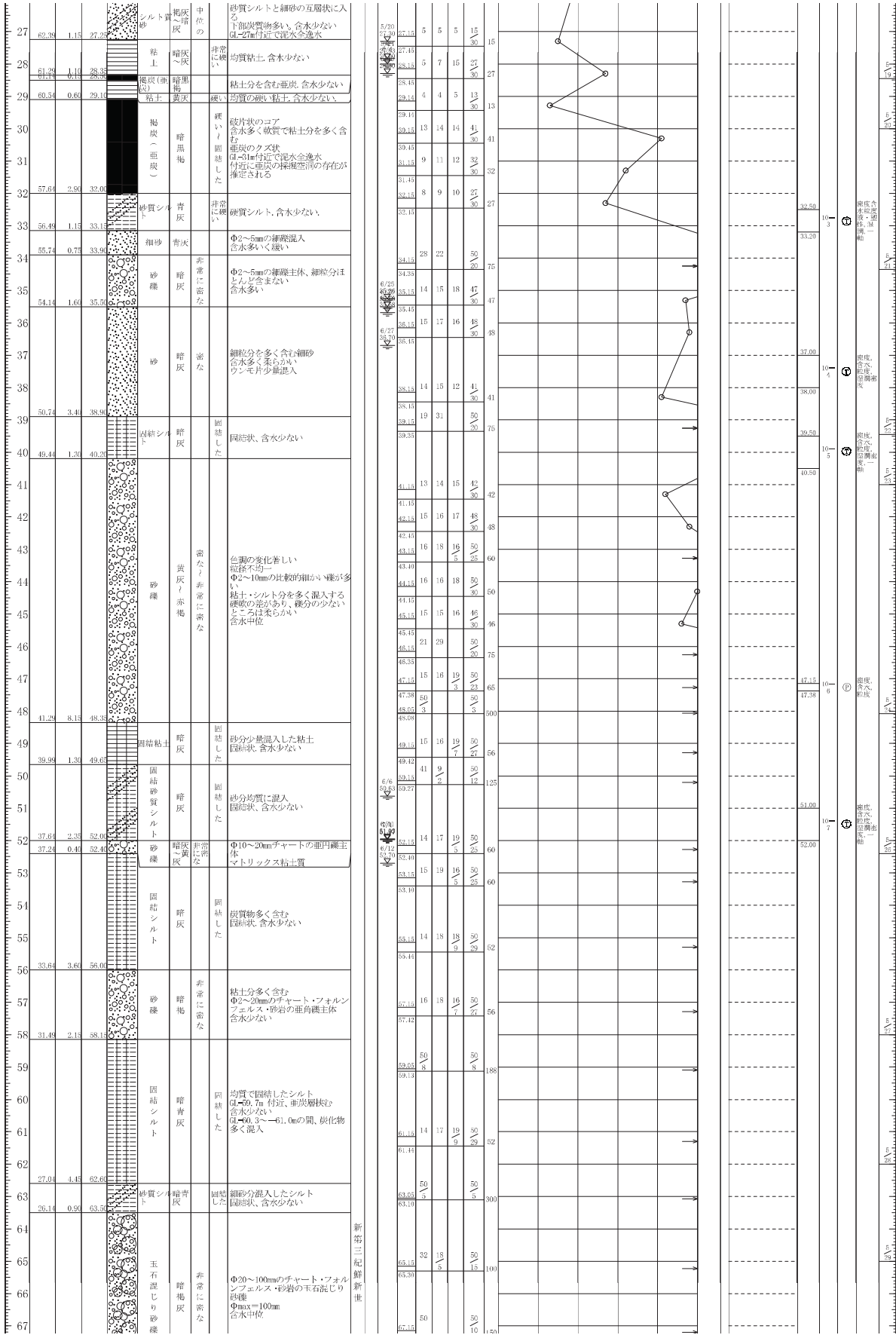
ボーリングNo																				
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

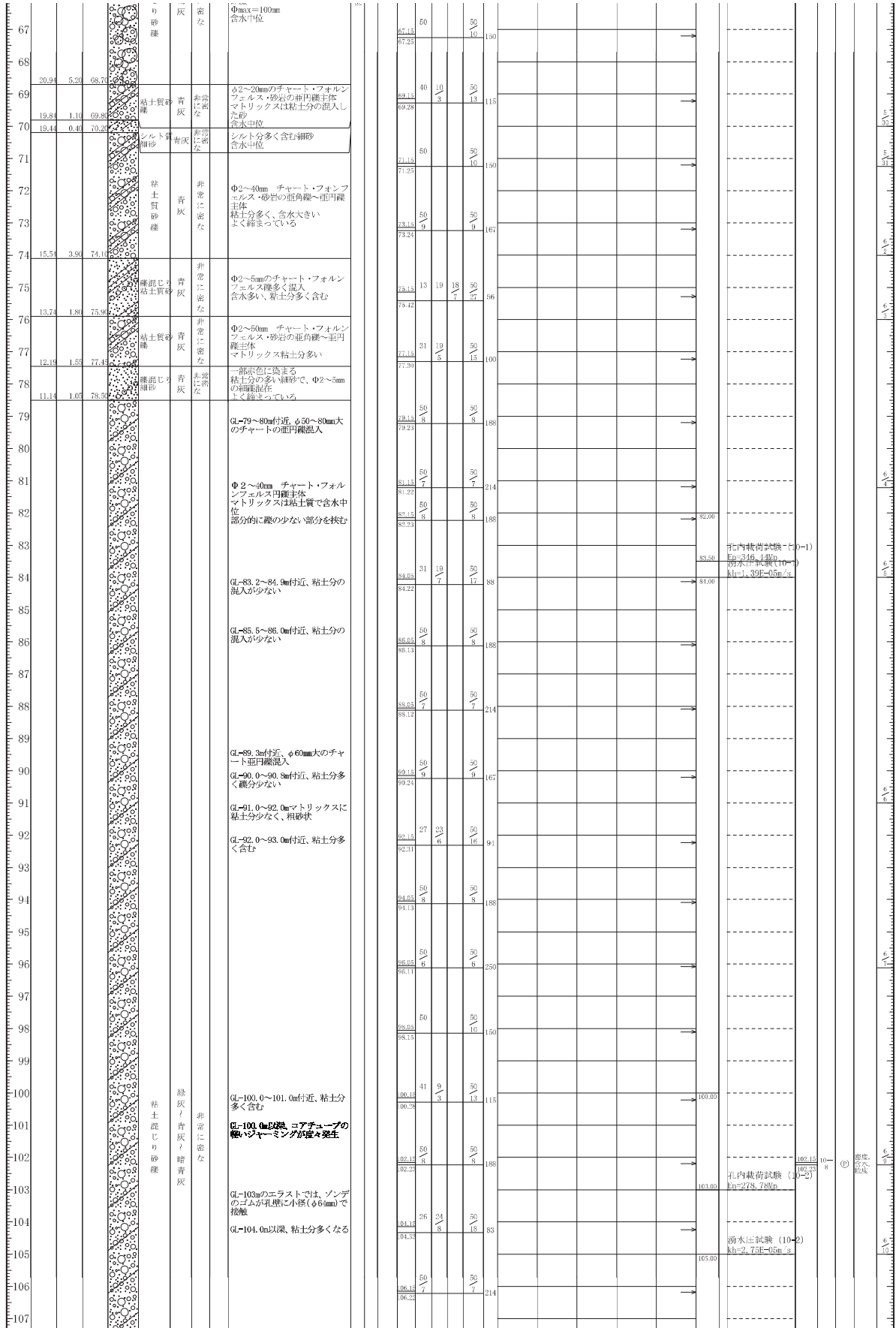
事業・工事名

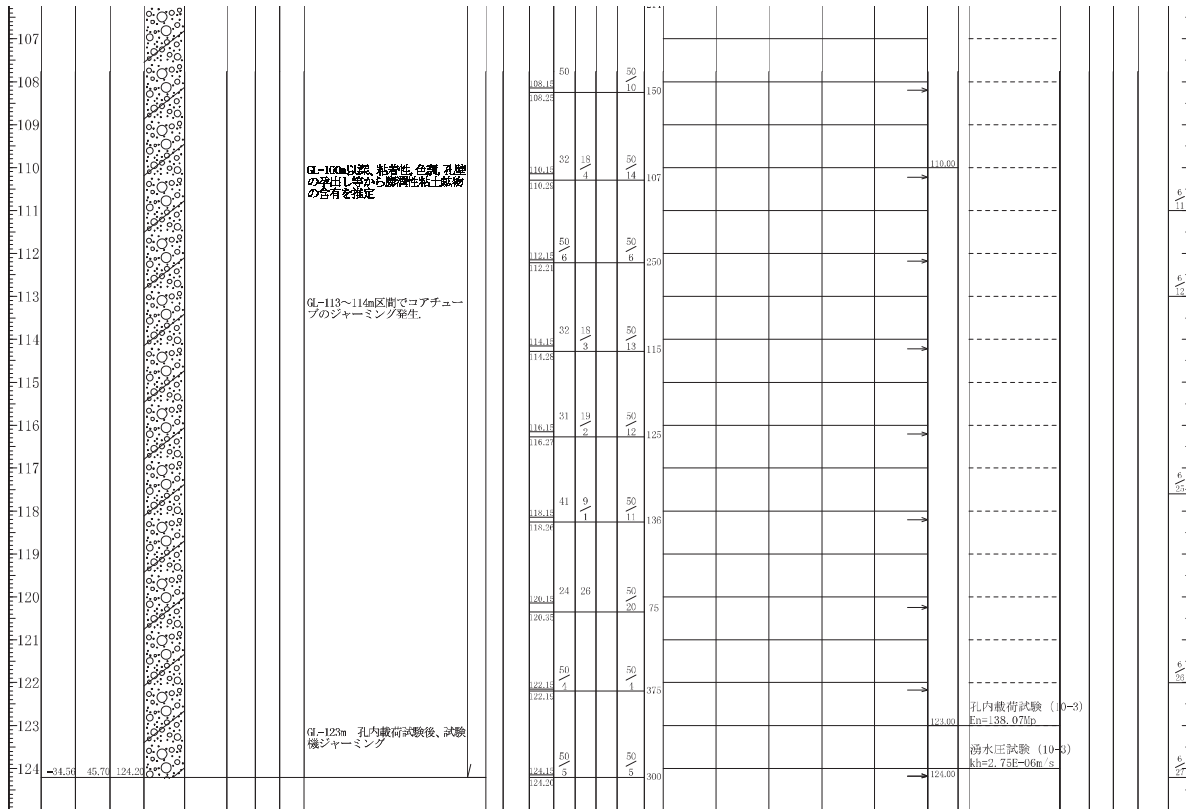
シートNo

ボーリング名	調査位置										北緯				
発注機関	調査期間										東経				
調査業者名	主任技師										現代場				
孔口標高	89.641m	角	180°	上	90°	方	北	0°	地盤勾配	鉛直	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	ポンプ	ボーリング責任者
総掘進長	124.20m	度	下	0°	向	西	270°	東	90°	東	エンジン				









ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

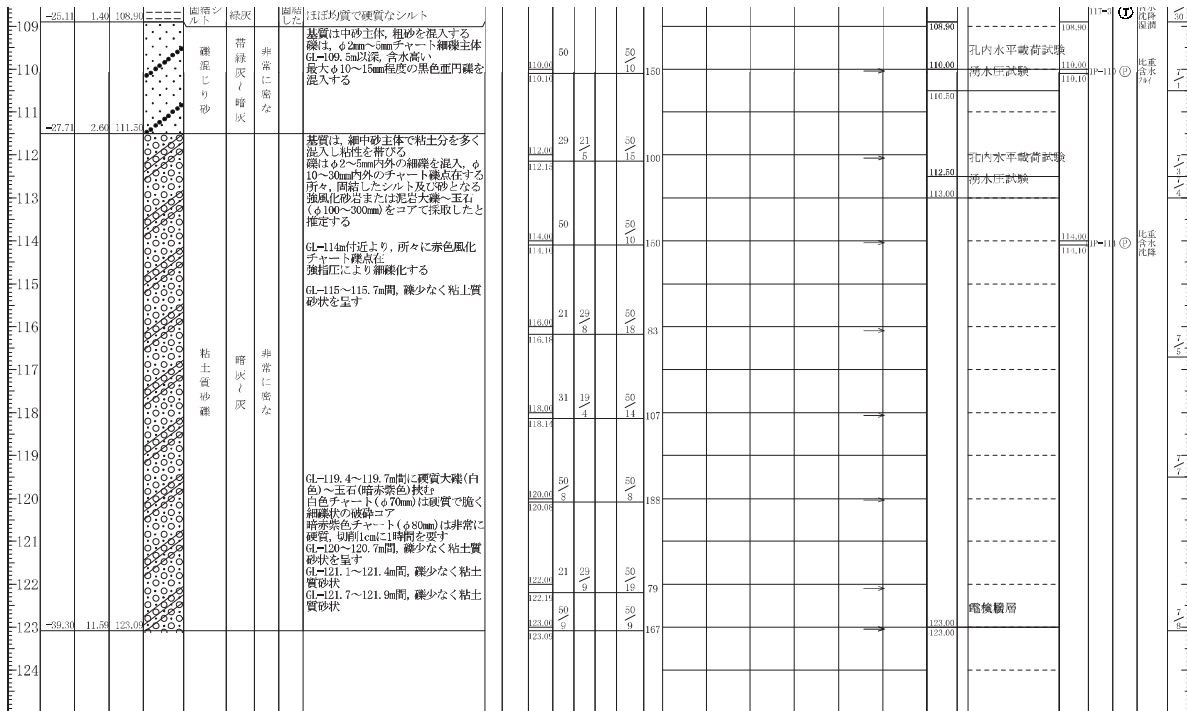
シートNo

ボーリング名		調査位置		北緯	
発注機関		調査期間		東経	
調査業者名		主任技師		ボーリング責任者	
孔口標高	83.79m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°
総掘進長	123.09m	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	コア 鑑 定 者
					ハンマー 落下用具
					ポンプ
					エンジン

標尺 (m)	層高 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色相対密度	相対稠度	記述	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験										原位置試験 試験名 および結果	試料採取 深 度 (m)	採取 番号	室内試験 方法	掘進 月 日														
									深	0	10	20	30	40	50	60	70	80						90	100												
1				硬泥じり粘土質砂 (盛土)	赤茶	軟らかい	基質は粘土質砂、全体的に含水量は低い。若干、細粒分増加し程少なく、砂質粘土を呈す。縦は、面円～垂角径でφ10~20mm内外、φ5mmまでの細粒も多く混入。φ10mm以上に、白色鉱物主体の繊維多い。	6/2 1.15	1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	
2									1.45	3	3	2	8	30																							
3									2.45	7	8	8	23	30																							
4	73.73	4.00	4.00				基質は褐色を呈する粘土質中粗砂で、砂質粘土を呈す。縦は、面円～垂角径でφ10~20mm内外、φ5mmまでの細粒も多く混入。φ10mm以上に、白色鉱物主体の繊維多い。	6/2 2.45	7	11	11	29	30																								
5									4.45	15	12	13	40	30																							
6									5.15	18	12	13	40	30																							
7									5.45	31	19	19	50	16																							
8									6.31	24	24	16	50	16																							
9	71.93	4.80	8.80				GL=8.7mに、原直径10cm程度の赤茶～赤褐色したチャート質クサリ礫。中～粗砂が主体となる。縦はφ3~φ4、10cmの灰白色火山灰質シルト挟む。局所で細粒分が混入し若干の粘性を帯びる。GL=6.5~10m、腐混入少なく粗砂主体。	6/2 6.31	24	24	16	50	16																								
10	73.13	1.80	10.60						6.45	36	14	14	50	13																							
11	72.73	0.40	11.00						6.30 6.30	4	7	11	22	30																							
12									9.45	15	27	10	50	25																							
13									10.15	35	13	14	50	14																							
14									10.40	4	7	11	22	30																							
15	68.13	4.00	15.00						11.29	50	5	50	50	50																							
16	67.23	0.90	16.50						12.00	50	5	50	50	50																							
17									12.90	50	5	50	50	50																							
18									13.00	50	5	50	50	50																							
19									13.10	50	5	50	50	50																							
20	63.33	3.90	20.40						14.00	34	15	8	50	18																							
21	62.73	0.60	21.00						14.18	27	23	8	50	18																							
22									15.00	27	23	8	50	18																							
23	61.03	1.70	22.70						15.18	4	15	10	29	30																							
24									16.35	30	23	7	50	17																							
25	59.33	1.70	24.40						17.13	15	18	17	48	30																							
26	58.83	0.50	24.90						17.32	10	12	16	38	30																							
27									18.15	9	12	35	30																								
									18.55	15	18	15	48	30																							
									20.13	21	29	8	50	15																							
									21.55	15	16	19	50	30																							
									22.90	23	20	7	5	25																							
									23.55	12	18	18	48	30																							
									24.13	7	10	18	38	30																							
									25.55	15	12	18	48	30																							
									26.55	12	18	18	48	30																							
									27.13	15	12	18	48	30																							
									27.38																												

深度 (m)	試錐	土質	状態	地質	層名	備考	深度 (m)	試錐	土質	状態	地質	層名	備考
68						GL=68.00m以深、緩徐次第に大きくなる 基質はシルト質砂、細砂を多量に混入 粒径は最大φ40mm内外、大隅にチャート質が多い							
69													
70													
71													
72	11.98	8.30	71.8		亜炭	暗褐色	固結						組織を致す未分解木片が混入
73	11.38	0.00	72.48		シルト質細砂	暗灰	固結						砂は中粗砂主体
74	9.99	1.40	73.5		泥流じり砂	灰	非常に密な						GL=73.8m、厚さ50mm程度の炭化物挟む 砂は中粗砂主体、粒径は2mm~5mmの 砂質角礫、亜角礫主体 部分的に、φ10mm以上φ40mm程度となる 上部は炭混入は少なくφ50mm以上の 亜円チャート質亜円礫が点在 粒径は10mm~30mmチャート質亜円礫 が多数に混入 含水は一部を除き概ね中位~低い 基質は粘土質シルト 緩含有非常に多い、粒径最大φ60mm 以上 GL=76~78.4m、含水高い
75	8.78	1.20	75.0		粘土質砂	灰	非常に密な						
76	5.38	3.40	78.4		砂	暗灰	非常に密な						
77					砂	暗灰	非常に密な						
78	1.44	0.95	79.35		砂	暗灰	非常に密な						
79					砂	暗灰	非常に密な						
80	3.48	1.33	80.7		シルト質細砂	暗灰	非常に密な						
81	2.38	0.70	81.4		砂	暗灰	固結						砂は中粗砂主体 粒径は最大φ50mm程度が点在 本層より下部にφ8.3mまでの層相は、 粒組成は緩徐に遷移し交差層 相互層となる
82	1.50	0.88	82.2		砂	暗灰	非常に密な						
83	1.18	0.40	82.6		砂	暗灰	非常に密な						
84	0.68	0.50	83.1		砂	暗灰	非常に密な						
85	0.38	0.30	83.4		砂	暗灰	非常に密な						
86	-0.81	1.20	84.6		砂	暗灰	固結						砂は中粗砂主体 緩含有少く粘性を帯びるシルト
87	-1.21	0.40	85.0		砂	暗灰	固結						GL=83.1~83.4m間、細粒分増加し凝結 泥じり固結シルト
88	-2.11	0.98	85.8		砂	暗灰	非常に密な						φ20mm程度の亜円チャート礫、砂岩 亜角礫含有
89	-2.71	0.60	86.5		砂	暗灰	固結						GL=84.6~85.8m間、細粒分増加し凝結 泥じり固結シルト
90	-3.61	0.98	87.4		砂	暗灰	非常に密な						φ20mm程度の亜円チャート礫、砂岩 亜角礫含有
91	-1.51	0.90	88.3		砂	暗灰	非常に密な						緩の混入少なく、シルト質細砂
92					砂	暗灰	非常に密な						最大φ60mm点状、φ5mm~10mm主体 亜円チャート、黒色ホルンフェルス 亜円礫が多数に混入 緩はチャート質亜円~亜角礫、φ2 ~20mm内外
93					砂	暗灰	非常に密な						
94					砂	暗灰	非常に密な						
95	-7.41	2.90	91.2		砂	暗灰	非常に密な						粒径は、φ5mm~10mmのチャート質 亜円~亜角礫主体、最大φ40mm程度が 点在する
96					砂	暗灰	非常に密な						
97					砂	暗灰	非常に密な						
98					砂	暗灰	非常に密な						
99					砂	暗灰	非常に密な						
100	-16.71	9.30	100.5		砂	暗灰	非常に密な						基質は中粗砂主体 細粒分を全層に混入 含水は中位、ところどころ高含水部 あり、掘削で容易に崩せるほど軟質
101	-17.61	0.98	101.4		砂	暗灰	非常に密な						
102					砂	暗灰	非常に密な						
103					砂	暗灰	非常に密な						
104					砂	暗灰	非常に密な						
105					砂	暗灰	非常に密な						
106	-21.91	4.30	105.7		砂	暗灰	非常に密な						GL=94.5~95.3m、炭混入やや少なく 凝結泥じりシルト質中粗砂状を呈す
107	-23.01	1.10	106.8		砂	暗灰	非常に密な						
108	-23.71	0.70	107.5		砂	暗灰	非常に密な						
109	-25.11	1.40	108.9		砂	暗灰	非常に密な						
110					砂	暗灰	非常に密な						

(JR-17)



ボーリング柱状図

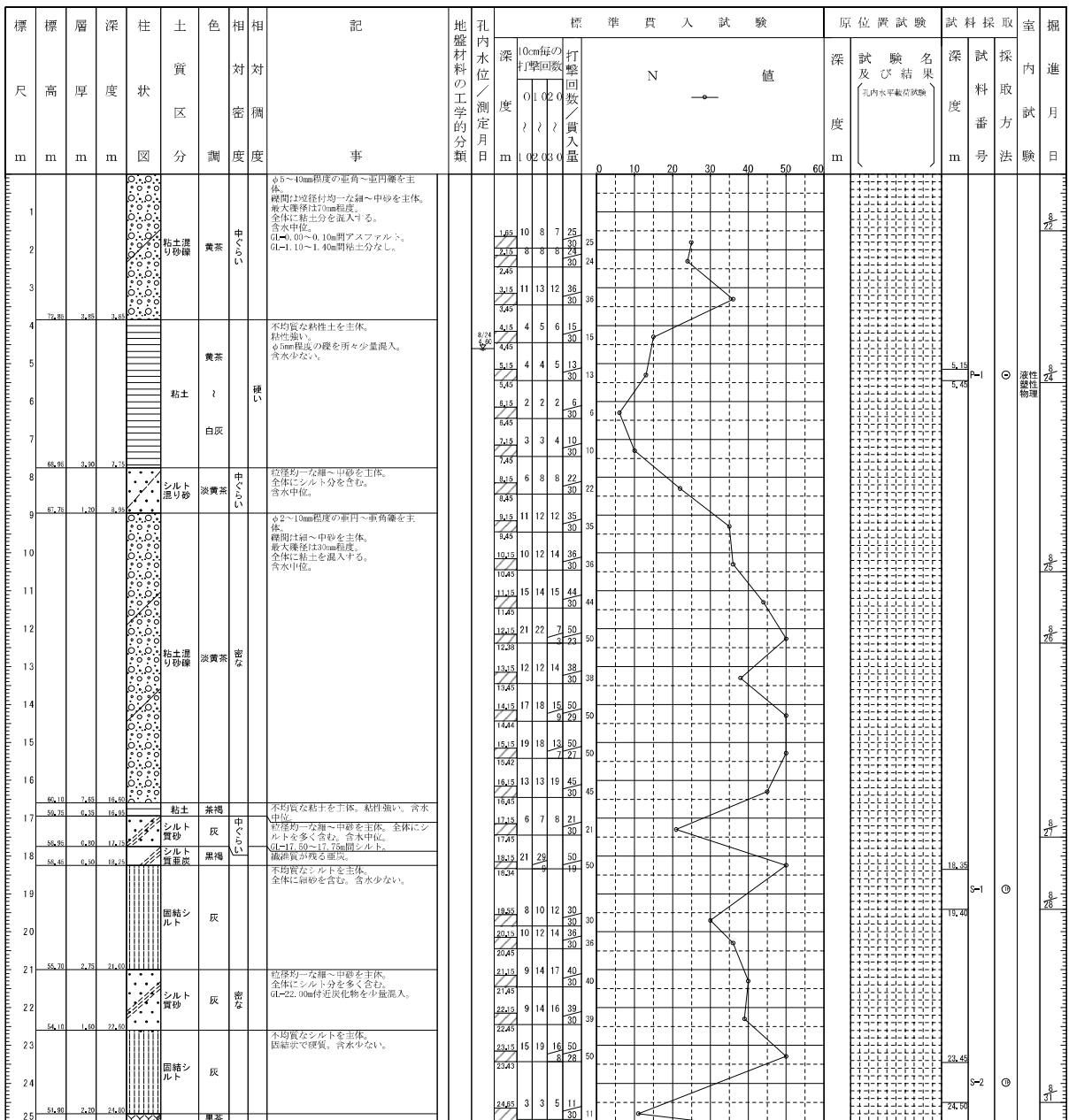
調査名

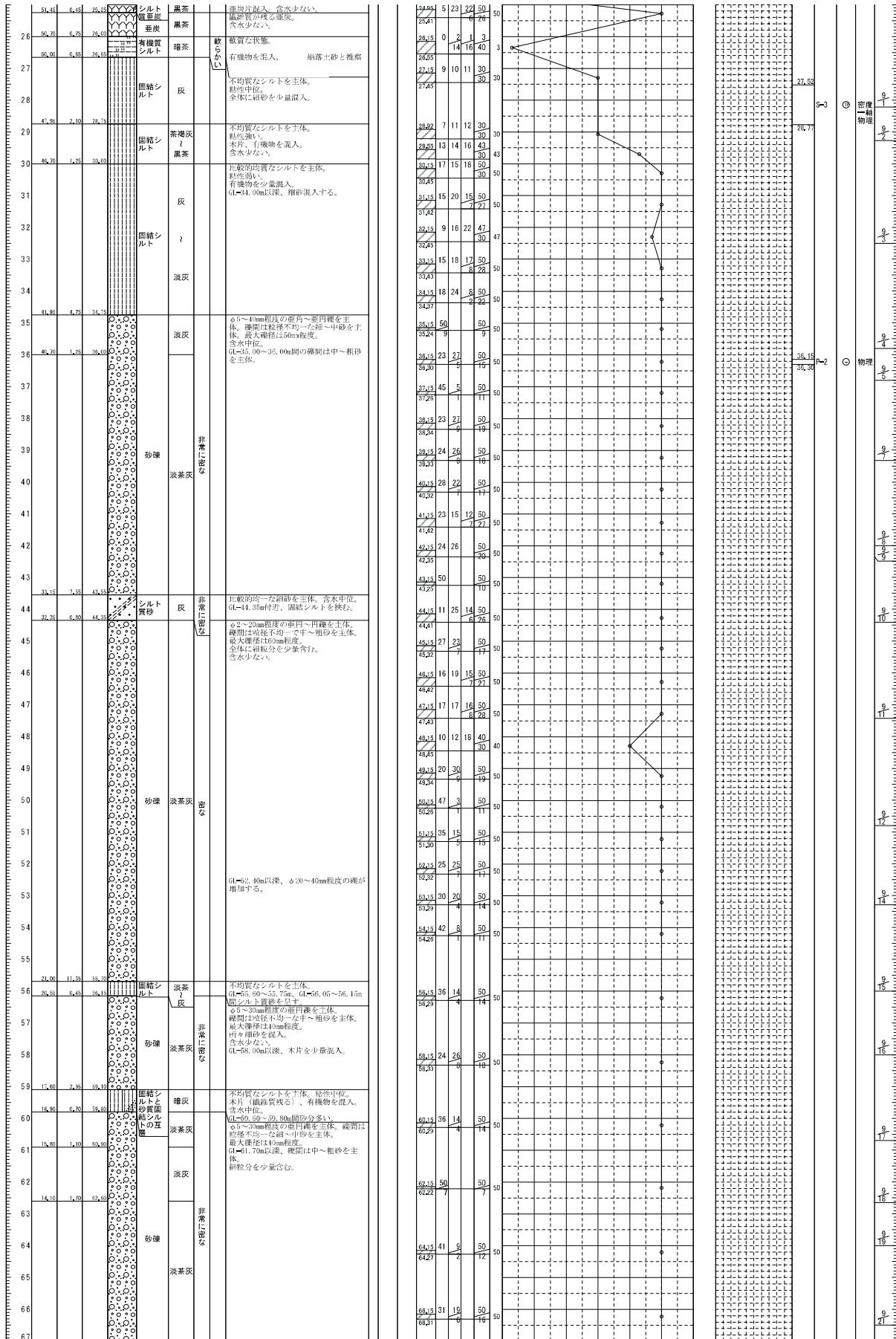
事業・工事名

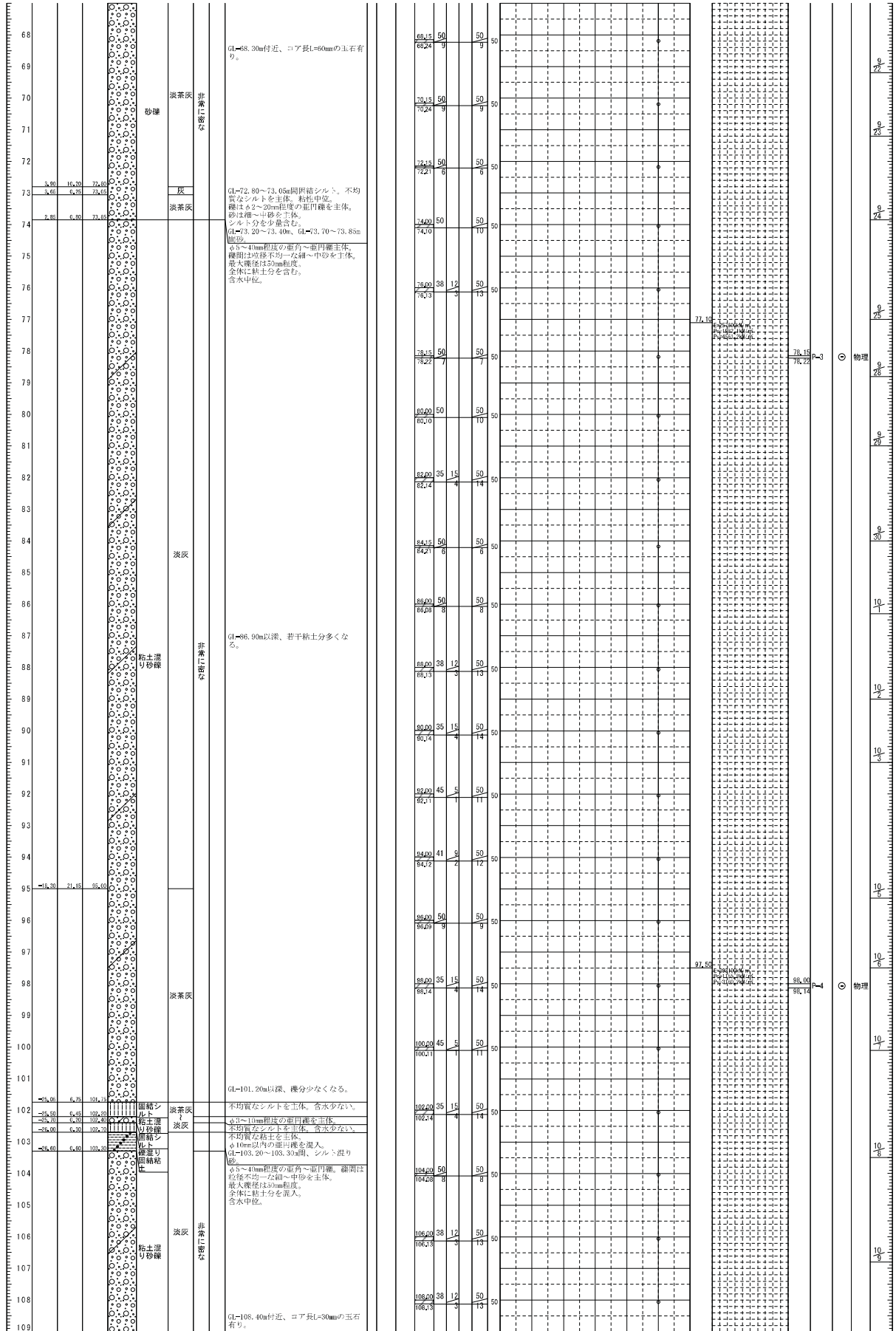
ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

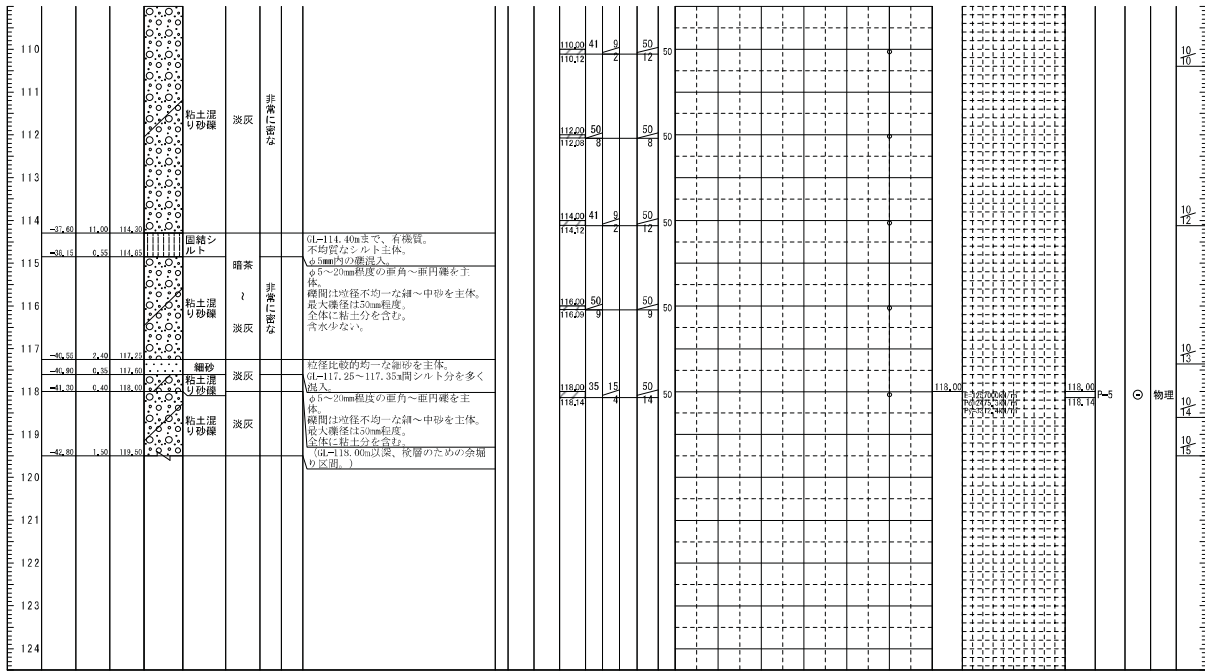
シートNo.

ボーリング名	調査位置				北緯	
発注機関	調査期間				東経	
調査業者名	主任技師		現代理人		ボーリング責任者	
孔口標高	TP 76.70m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 90° 東 180° 南	地盤勾配
総掘進長	119.50m	度	0°	向	0°	使用機種
						試験機
						エンジン
						ハンマ
						落下用具
						ポンプ









(注) 1. 試料採取方法の記号

- Ⓣ シンウォールサンプラーによる試料
- Ⓧ デニソンサンプラーによる試料
- Ⓛ 貫入試験器による試料
- Ⓢ サンドサンプラーによる試料
- Ⓒ コア試料
- Ⓞ コアバックによる試料
- Ⓡ リジットサンプラーによる試料

2. 試料採取深度と採取比

3.20	3.20-3.70は試料採取深度(m)
3.70	

3. 原位置試験名の記号

- Ⓔ 電気検層
- Ⓟ P波速度検層
- Ⓢ S波速度検層
- Ⓢ サクシオンPS検層
- Ⓒ キャリハ-検層
- Ⓞ 密度検層
- Ⓞ 温度検層
- Ⓛ ルジオン試験
- Ⓡ 現場透水試験
- Ⓡ 孔内水平載荷試験

ボーリング柱状図

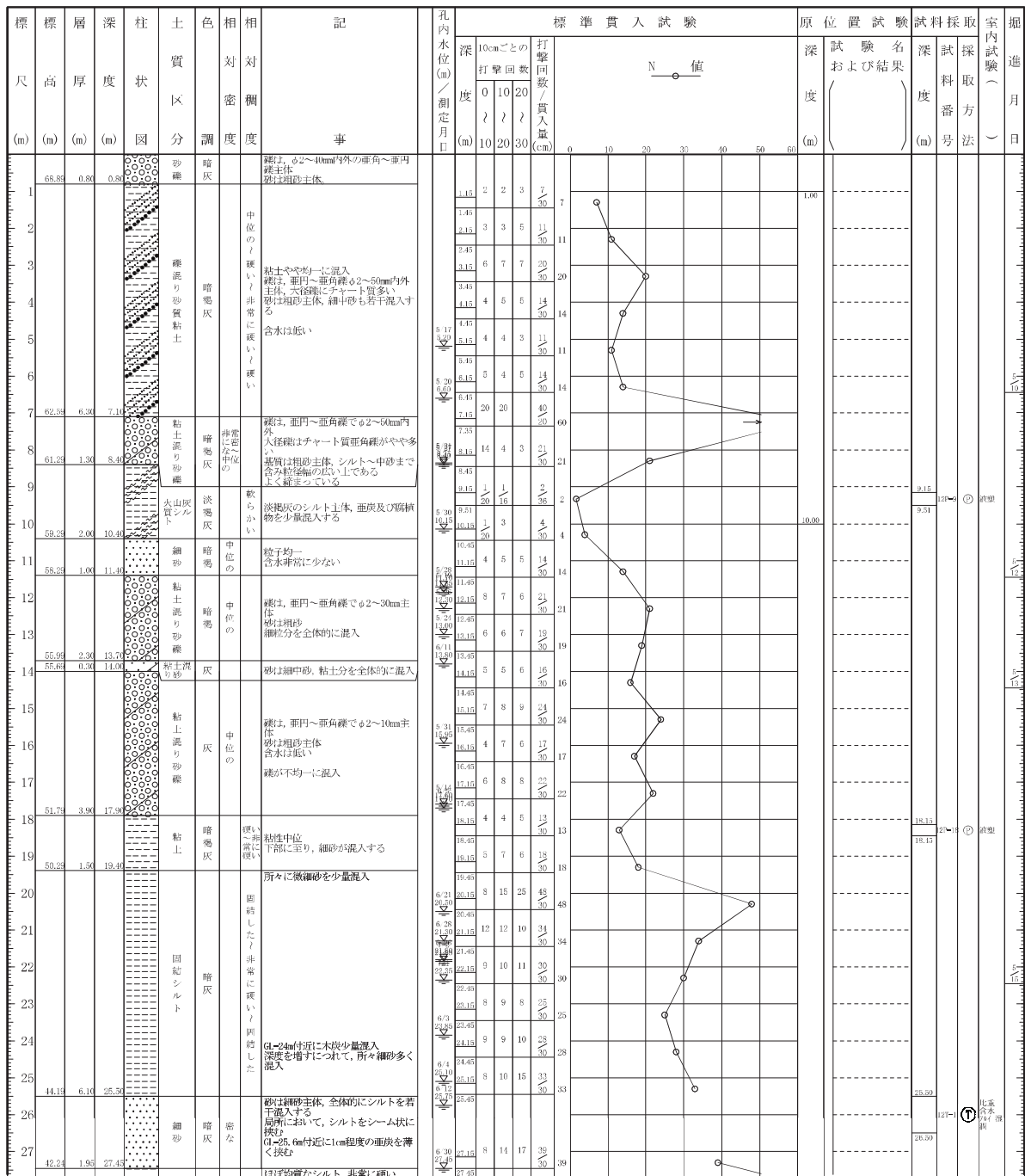
調査名

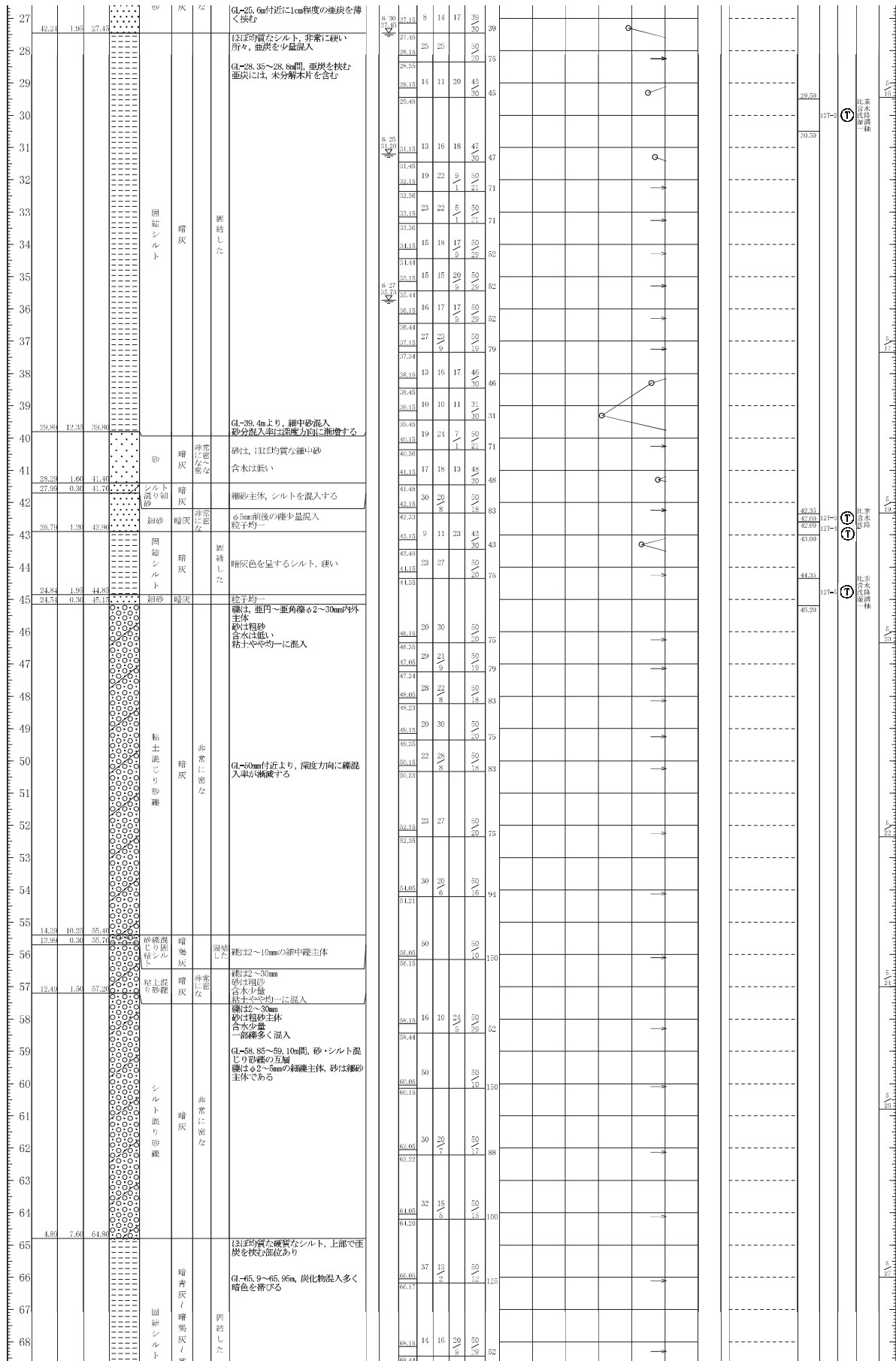
ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

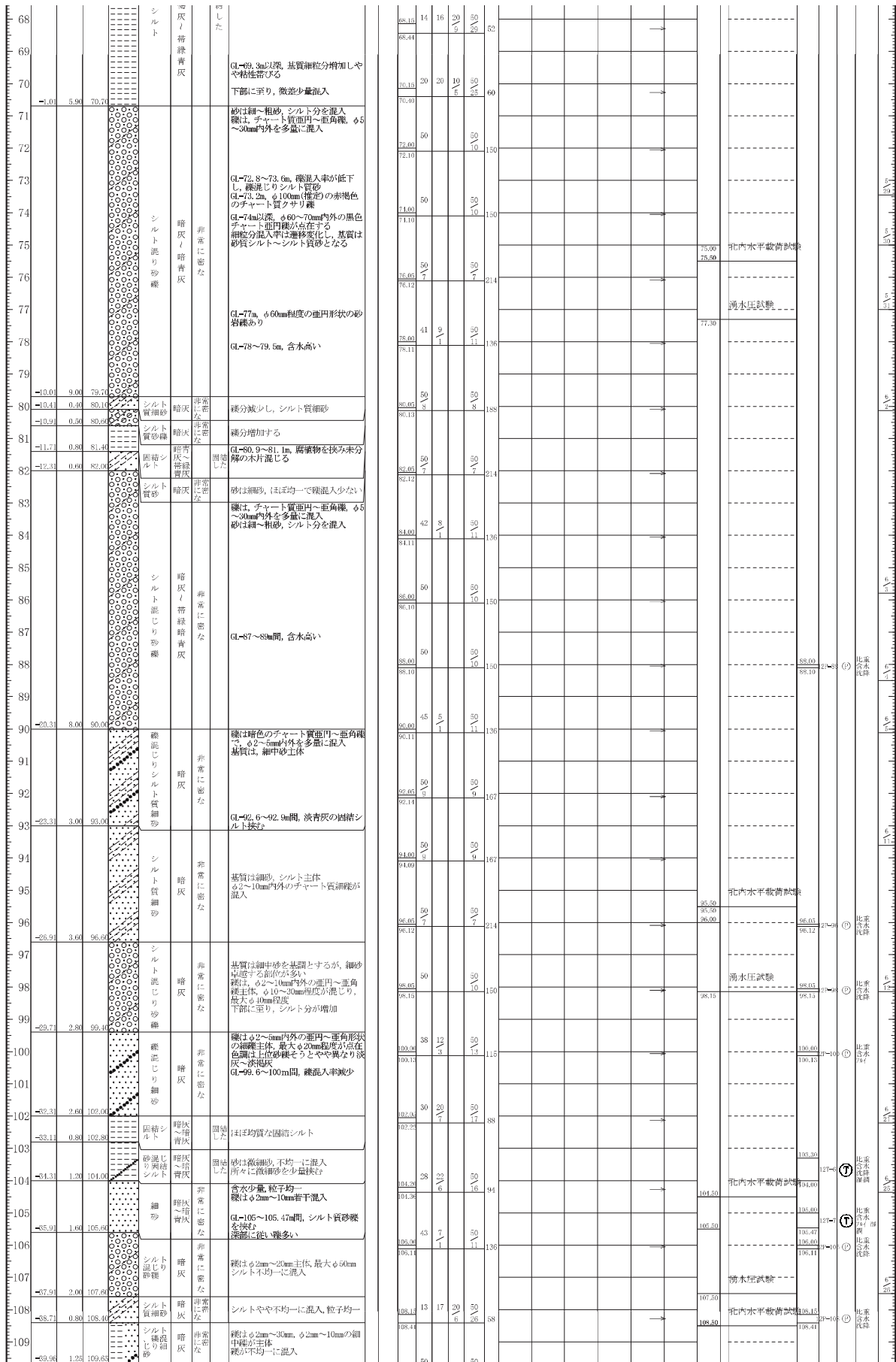
事業・工事名

シートNo

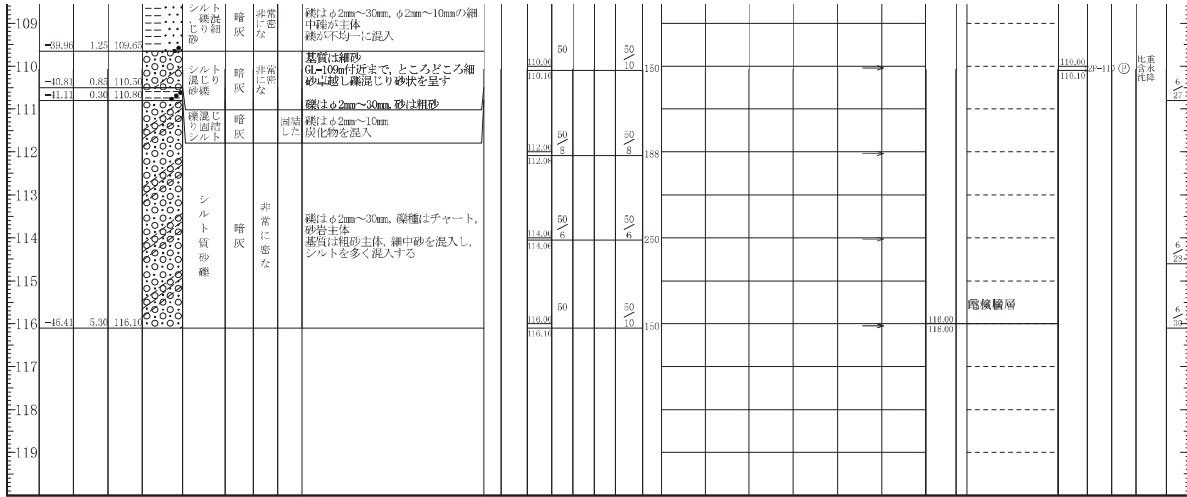
ボーリング名	調査位置				北緯							
発注機関	調査期間				東経							
調査業者名	主任技師			現代場	ボーリング責任者							
孔口標高	69.69m	角	180° 上 90°	方	北 0° 90° 東 270° 西 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試験機	コア鑑定者	ハンマー 落下用具	ポンプ
総掘進長	116.10m	度	0°	向	0°			エンジン				







(JR-19)



ボーリング柱状図

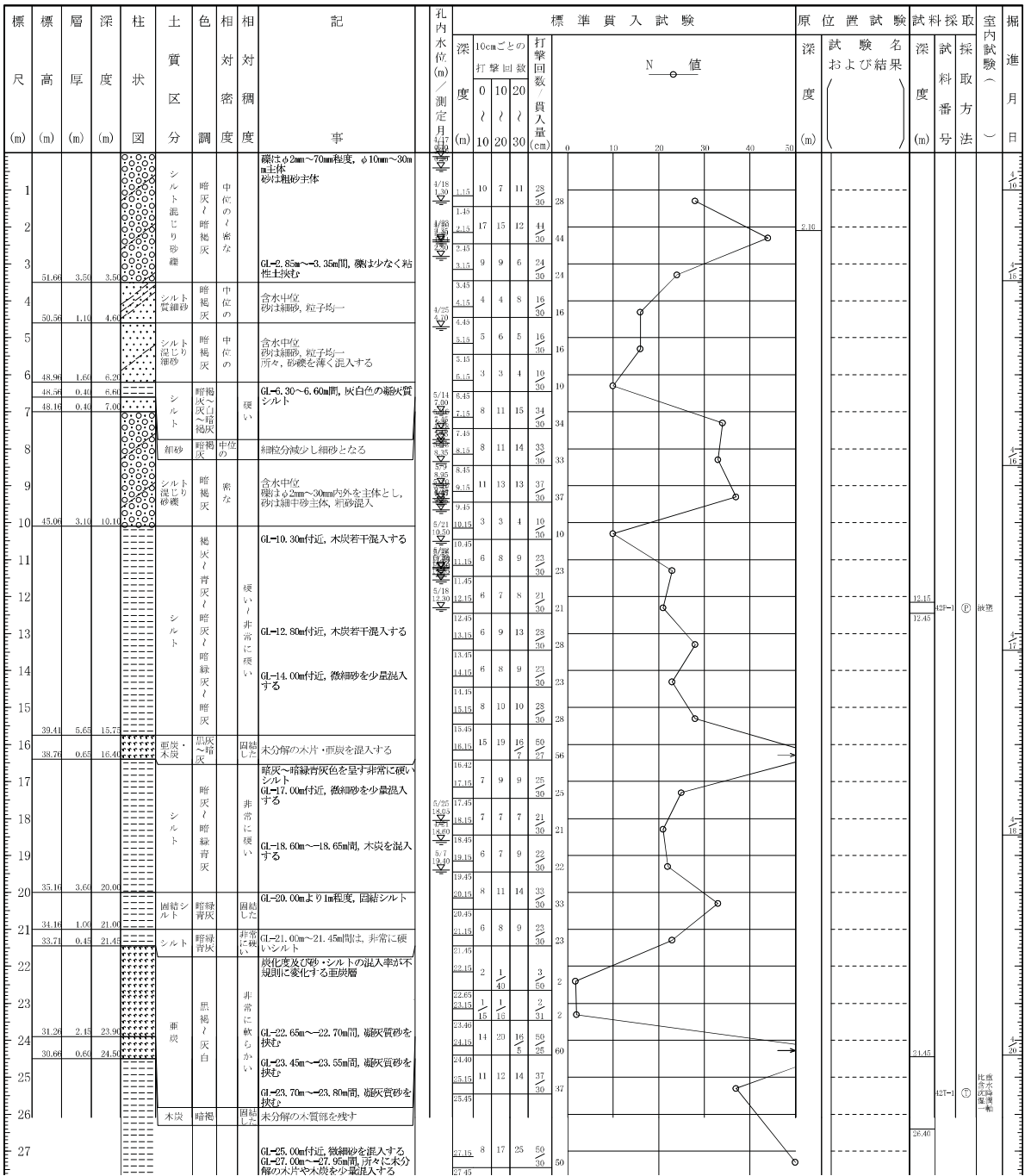
調査名

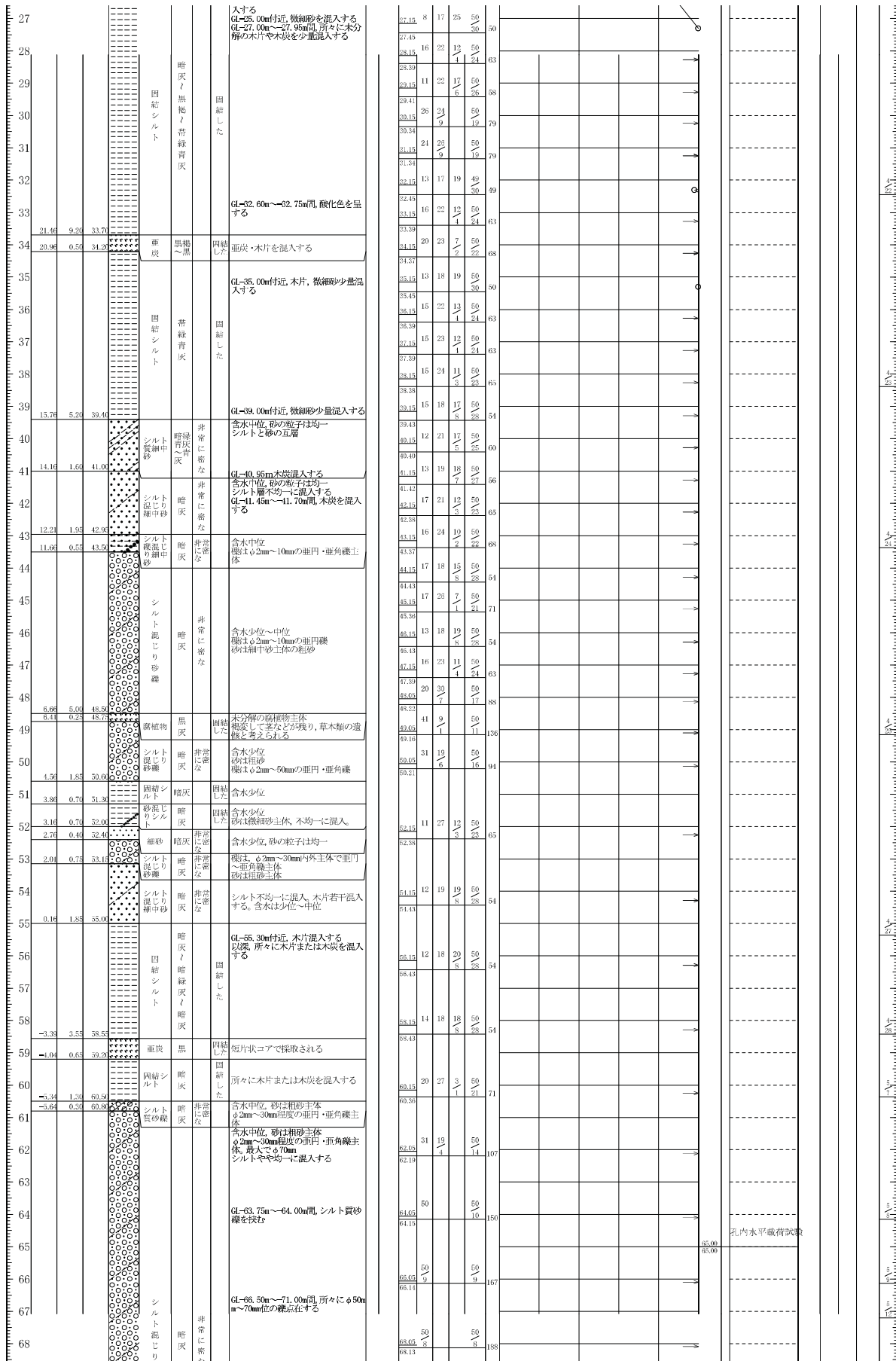
ボーリングNo

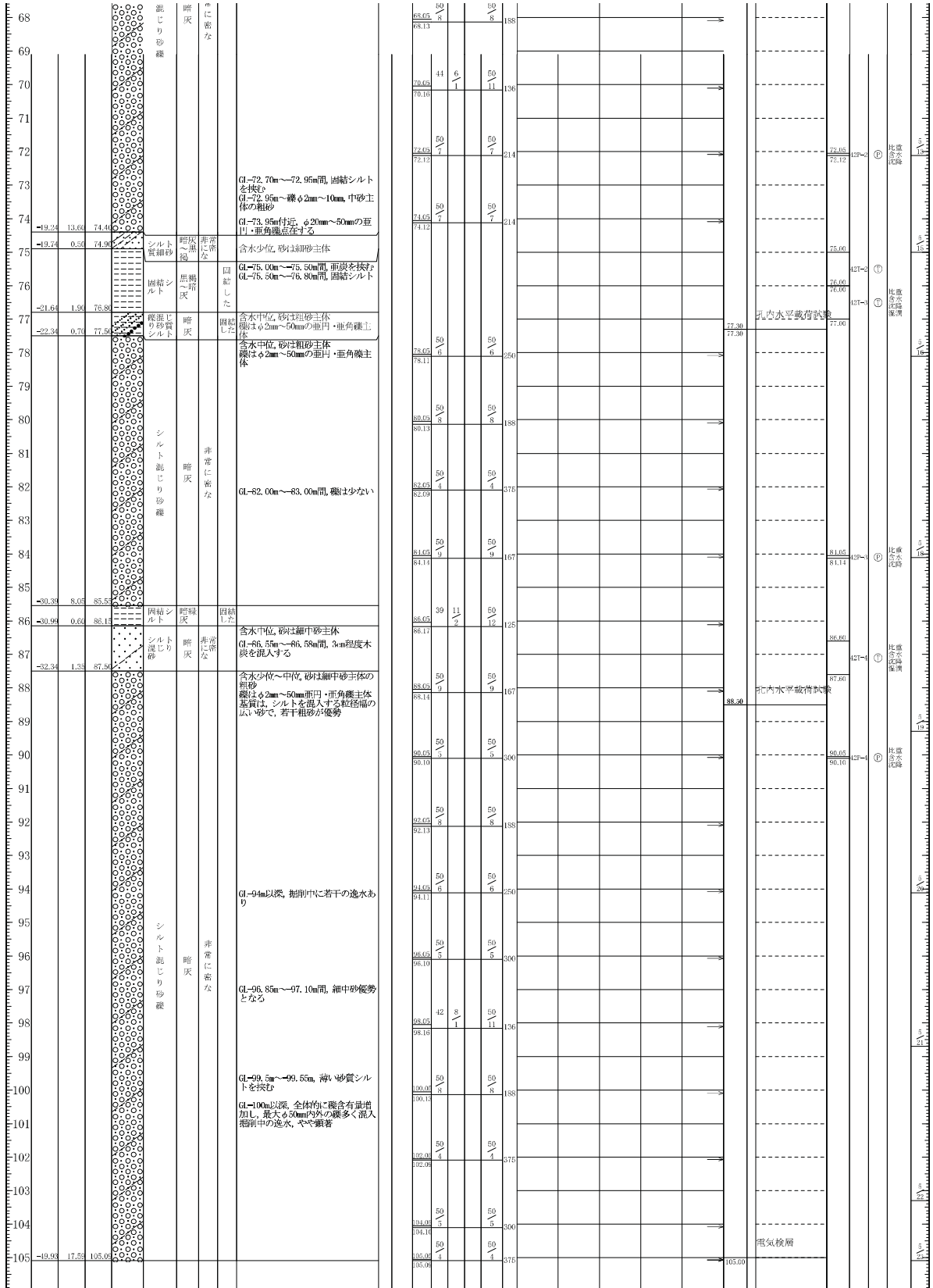
事業・工事名

シートNo

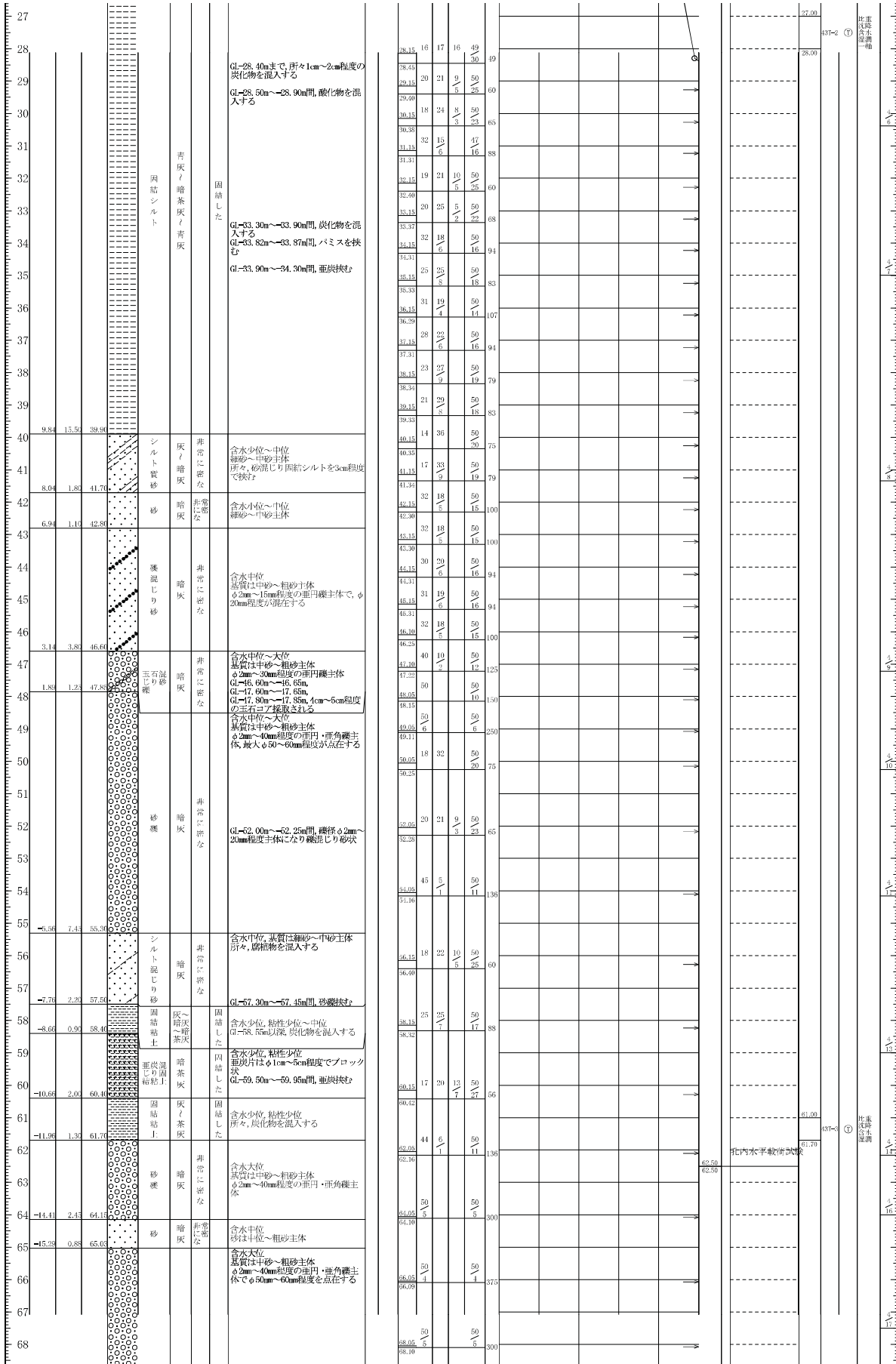
ボーリング名	調査位置	北緯				
発注機関	調査期間	東経				
調査業者名	主任技師	現場代理人				
コ 鑑 定 者	コ 鑑 定 者	ハンマー落下用具				
ポンプ						
孔口標高	角 180° 上 90° 下 0°	方 北 0° 東 90° 南 180° 西	地盤勾配 鉛直 0°	使用機種	試錐機	エンジン
総掘進長	55.157m	105.09m				

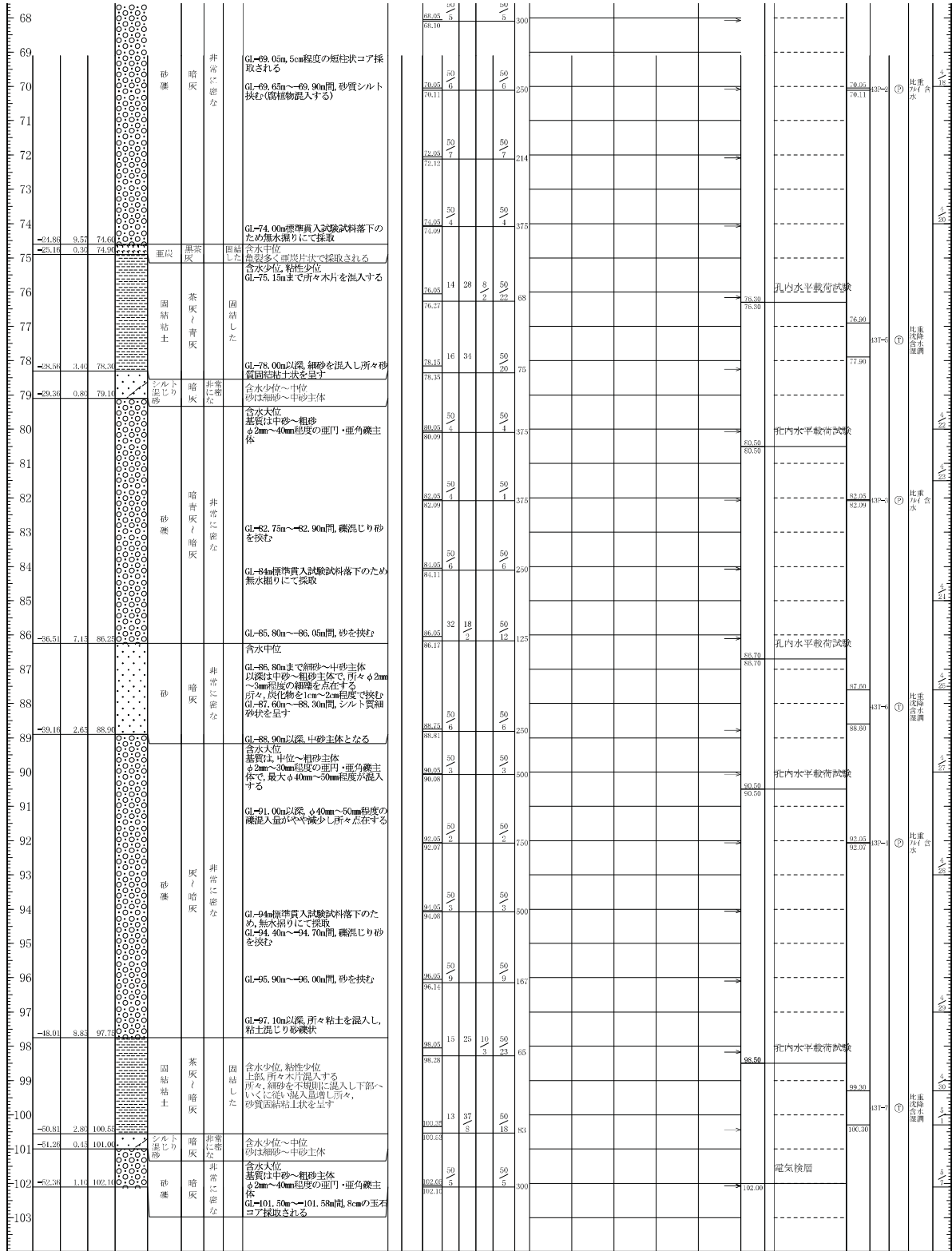






(JR-20)





(JR-21)

ボーリング柱状図

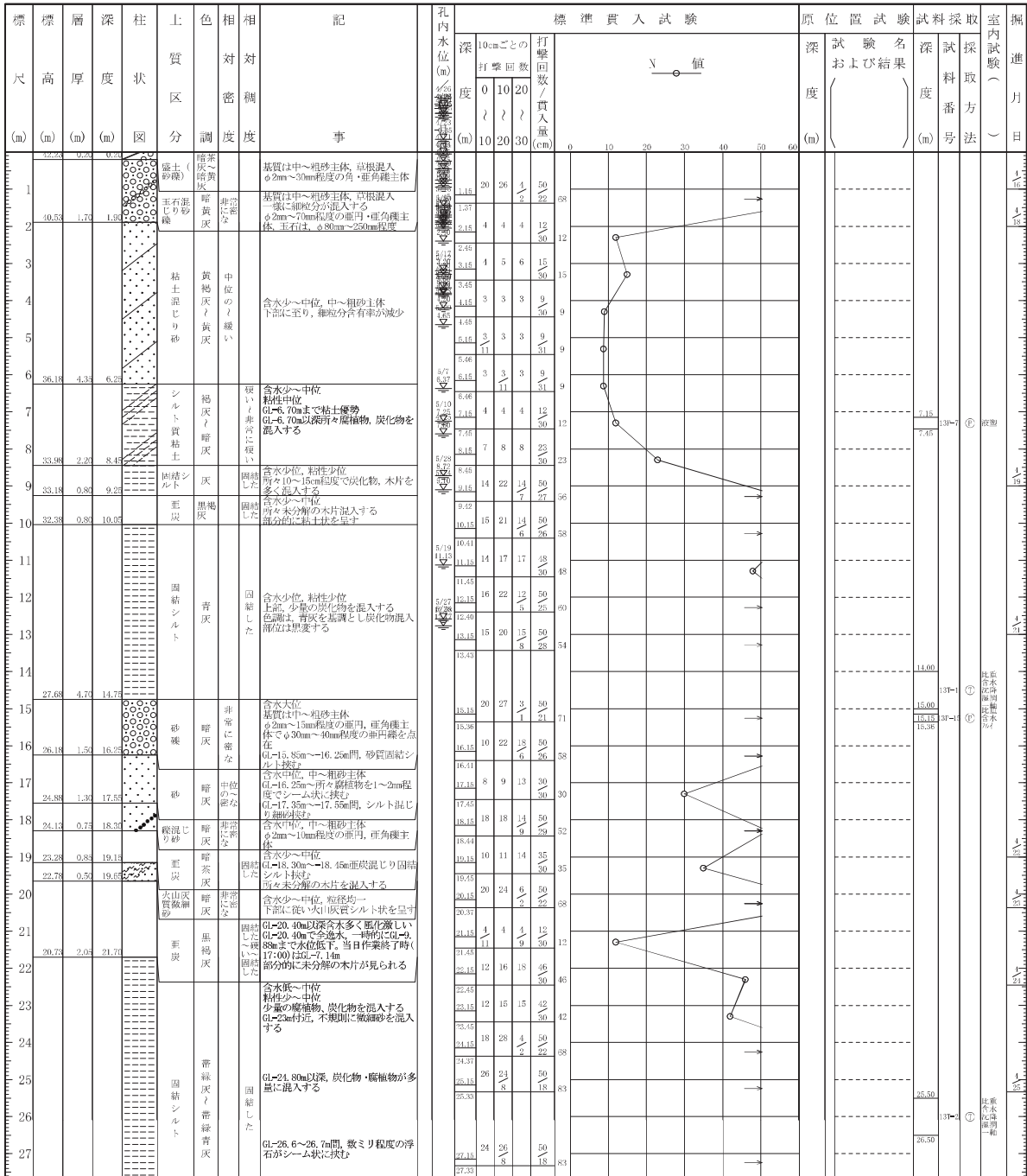
調査名

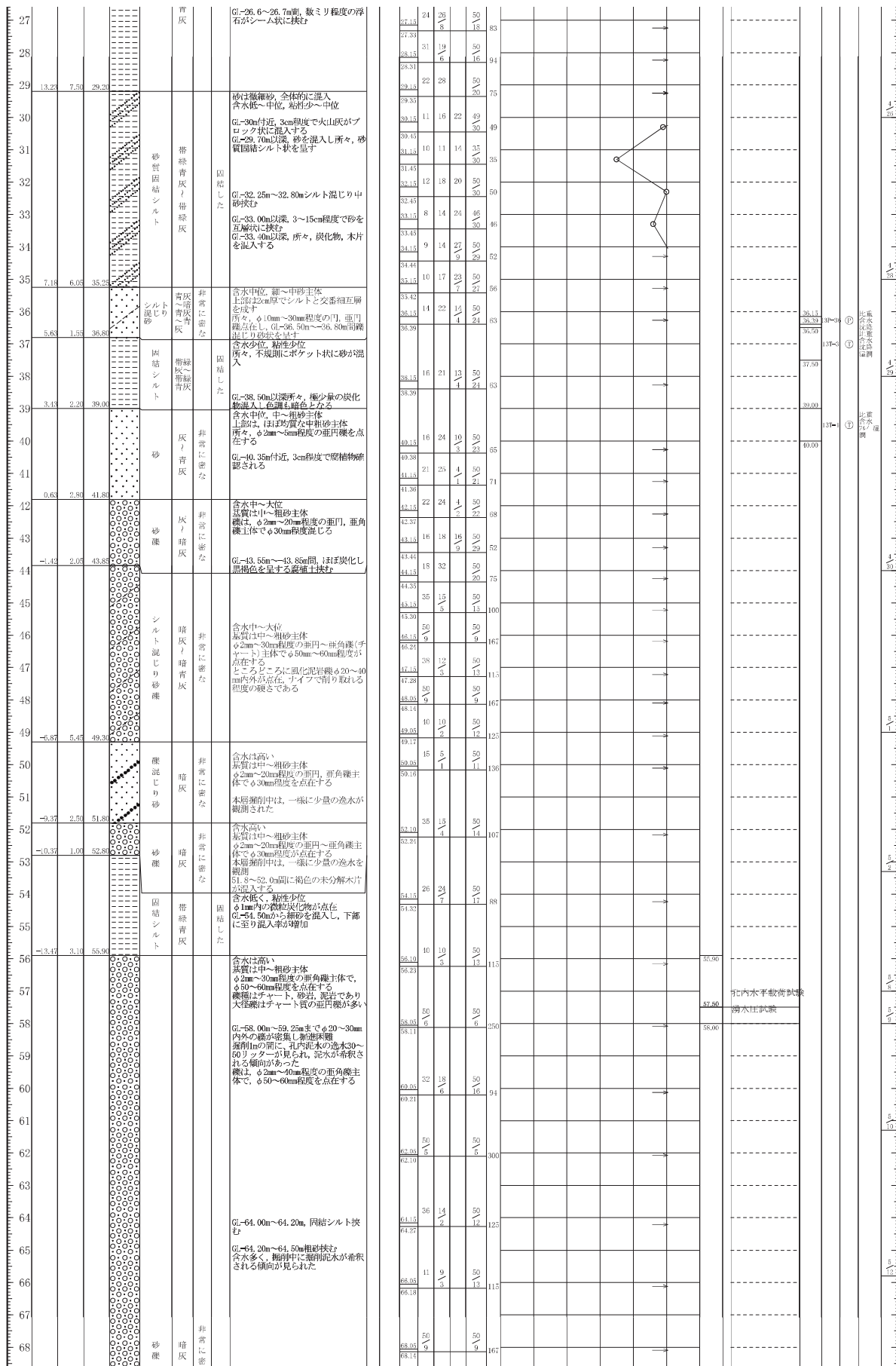
ボーリングNo																			
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	調査位置													北緯	
発注機関	調査期間													東経	
調査業者名	主任技師													現場 コア 鑑定者	ボーリング 責任者
孔口標高	42.43m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤 勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用 機種	ハンマー 落下用具						ポンプ
総掘進長	98.13m	度	0°	向	0°	配	0°	エンジン							





68				砂礫	暗灰	常に密な			50 9	50 9	167							
69																		
70									50 6	50 6	250							
71																		
72									50 5	50 5	300							
73																		
74									5 1	50 11	136							
75																		
76									50 7	50 7	211							
77																		
78									50 1	50 1	375							
79																		
80	-37.87	24.41	80.34															
81				シルト質砂礫	暗灰	非常に密な			50 8	50 8	188							
82	-39.27	1.41	81.77	シルト質砂礫	暗灰	非常に密な			50 4	50 4	375							
83				シルト泥り砂礫	暗灰	非常に密な												
84									50 1	50 1	475							
85	-42.67	3.41	85.14															
86	-33.57	0.59	86.04	固結シルト	暗灰	固結した			50 6	50 6	250							
87	-34.57	0.78	87.04															
88	-35.07	0.59	87.63	砂礫	暗灰	非常に密な			50 10	50 10	150							
89				シルト質砂礫	暗灰	非常に密な												
90				砂泥りシルト	暗灰	固結した			50 7	50 7	214							
91																		
92									50 6	50 6	250							
93																		
94				シルト泥り砂礫	暗灰	非常に密な			50 7	50 7	211							
95																		
96									50 6	50 6	250							
97																		
98	-35.70	10.63	98.15						50 6	50 6	188							
99																		

(JR-22)

ボーリング柱状図

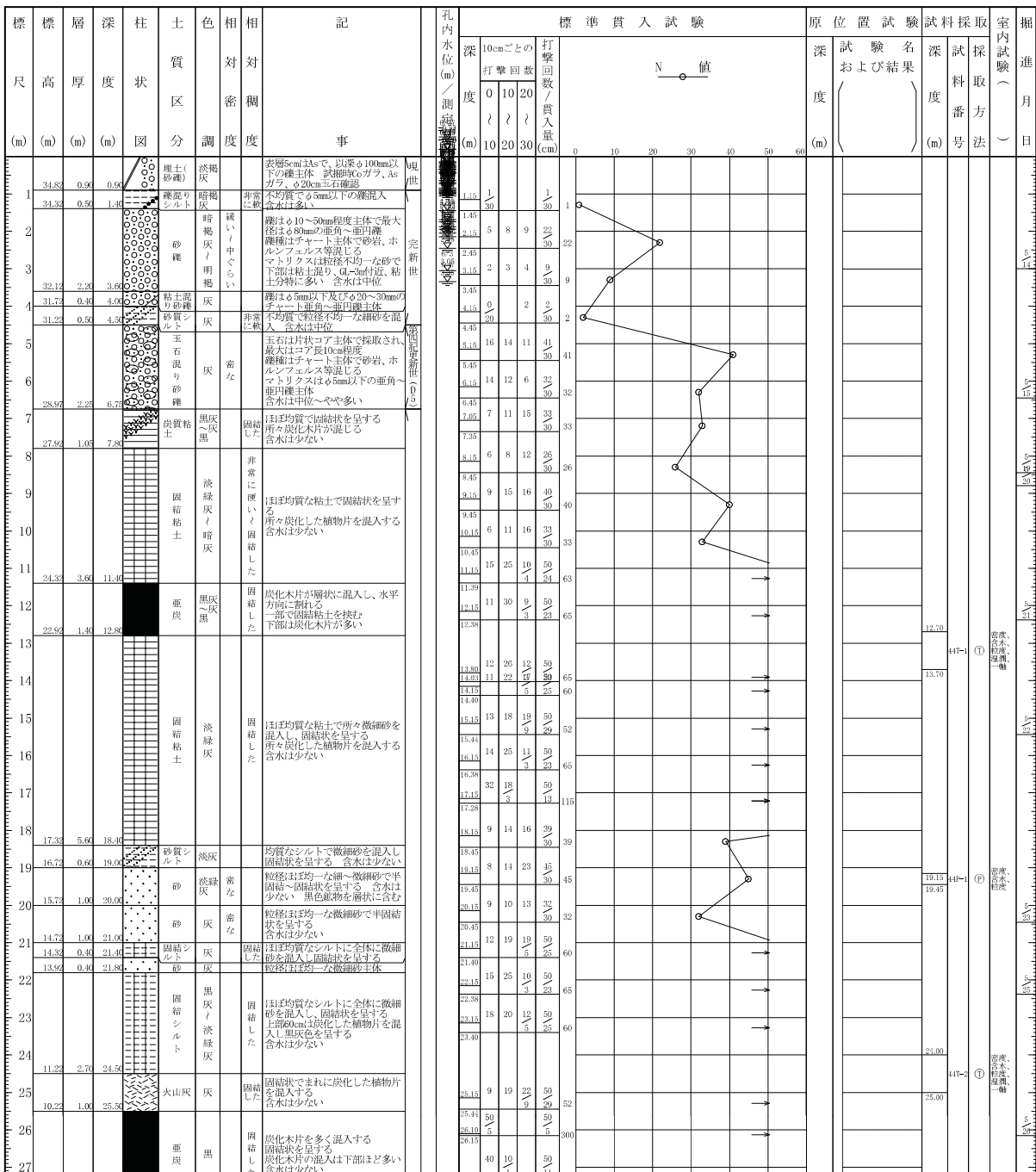
調査名

ボーリングNo

事業・工事名

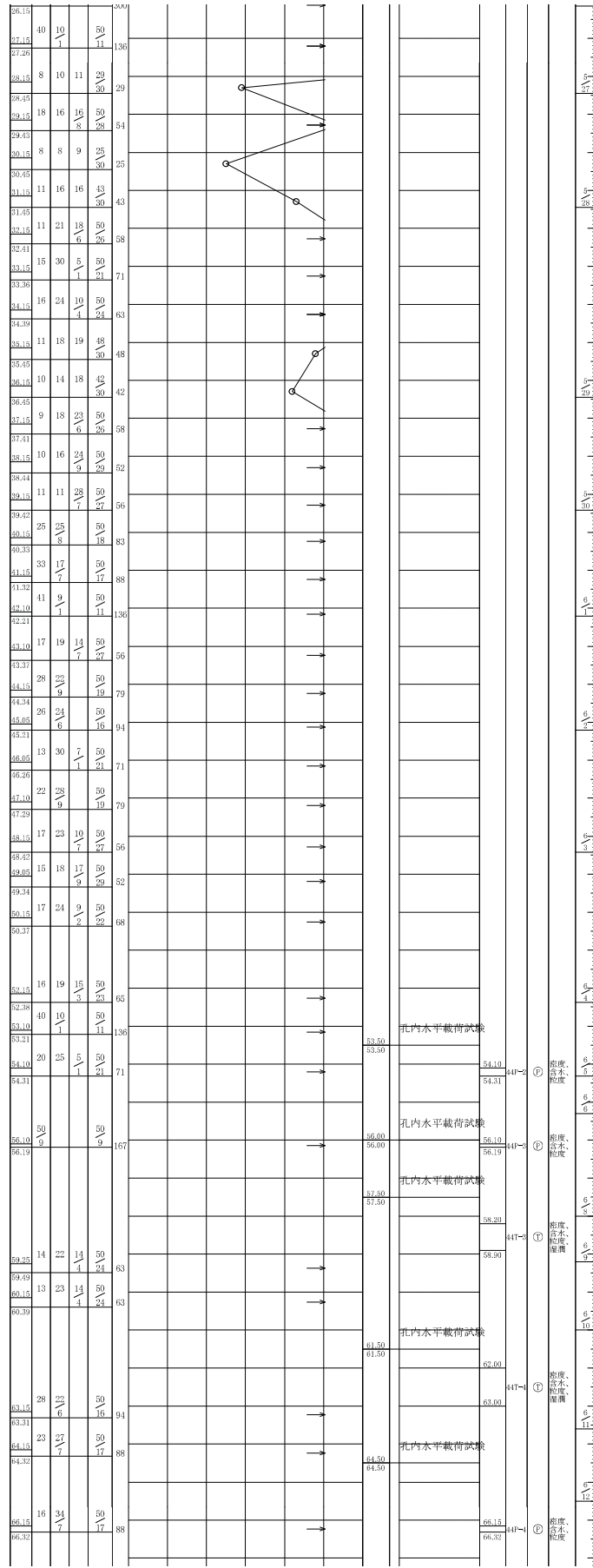
シートNo

Header information table including borehole name, location, date, and equipment details.



27				重炭	黒	固結した	炭化木片を多く混入する 固結状を呈する 炭化木片の混入は下部ほど多い 含水は少ない
28	7.92	2.90	27.86				
29				固結シルト	淡黒灰 暗灰 淡緑灰	非常に硬い 固結した	ほぼ均質なシルトに微細砂を混入し、固結状を呈する 上部は微細砂の混入多い GI=30.6m以下、炭化した小木片や炭化した種物片の混入が多く 淡黒灰を呈する 含水は少ない
30							
31							
32							
33							
34							
35	0.42	7.50	35.30				
36				シルト混り砂	淡緑灰 緑灰	密な	粒径ほぼ均一な微細砂に細粒分が混入し、半固結～固結状を呈する 含水は少ない
37	-1.28	1.70	37.06				
38				砂	淡緑灰 緑灰	非常に密な	粒径ほぼ均一な微細砂で半固結状を呈する 含水は少ない
39	-3.68	2.40	39.40				
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47				砂礫	淡褐灰 淡灰褐	非常に密な	礫はφ10mm以下及びφ20～30mm主体で最大径はφ50mmの歪角～亜円礫 部分片状コアで採取される 礫はチャート主体で砂岩、ホルンフェルス等混じる マトリクスは粒径不均一な砂と細粒分 含水はやや少ない
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55	-19.58	15.90	55.53				
56				雑混りシルト混り砂	淡灰褐 灰	非常に密な	粒径やや不均一な細～微細砂で固結状を呈する 上部ではφ10mm以下の亜円礫を混入する 含水は少ない
57	-21.38	1.80	57.10				
58				固結シルト	黒灰 淡灰 淡緑灰	固結した	ほぼ均質なシルトで全体に微細砂を混入し、固結状を呈する 上部は微細砂の混入多い 灰色を呈する 含水は少ない
59							
60	-24.78	3.40	60.20				
61				シルト質砂	淡緑灰 暗灰		粒径ほぼ均一な細～微細砂で全体に細粒分を混入し、固結状を呈する GI=61mまでは淡緑灰、以降は暗灰色を呈する 含水は少ない
62							
63	-27.48	2.70	63.20				
64				礫混り砂	暗灰	非常に密な	粒径不均一な細～中砂主体で所々粗砂、φ5mm以下の歪角～亜円礫を混入、含水はやや多い GI=64.6～65m区間、φ20mm以下、一部片状コアの礫主体となり、混入量も多くなり、砂礫状を呈する GI=65m付近、炭化木片を混入
65	-29.78	2.30	65.20				
66							
67							礫はφ20mm以下及び片状コアで

新第三紀鮮新世（P2）



深度 (m)	試料番号	試料名	状態	説明	試験項目	試験結果	試験方法	備考
67		砂礫	非常に密な	礫はφ20mm以下及び片状コアで採取され、最大はコア長6cmの亜角～亜円礫				
68		砂礫	非常に密な	礫種はチャート主体で砂岩、ホルンフェルス含む				
69		砂礫	非常に密な	礫種はチャート主体で砂岩、ホルンフェルス含む				
70		砂礫	非常に密な	礫種はチャート主体で砂岩、ホルンフェルス含む				
71		砂礫	非常に密な	礫種はチャート主体で砂岩、ホルンフェルス含む				
72		固結シルト	固結した	ほぼ均質なシルトで全体に微細砂を混入し、固結している				
73		粘土混り砂	淡緑灰	粒径はほぼ均一な細～微細砂で全体に細粒分を混入する				
74		砂礫	非常に密な	礫はφ20mm以下の亜角～亜円礫を主体とし、所々φ30mm程度が混在する				
75		砂礫	非常に密な	礫種はチャート主体で砂岩、ホルンフェルスを含む				
76		砂礫	非常に密な	礫種はチャート主体で砂岩、ホルンフェルスを含む				
77		砂礫	非常に密な	礫種はチャート主体で砂岩、ホルンフェルスを含む				
78		砂礫	非常に密な	礫種はチャート主体で砂岩、ホルンフェルスを含む				
79		砂礫	非常に密な	礫種はチャート主体で砂岩、ホルンフェルスを含む				
80		砂礫	非常に密な	礫種はチャート主体で砂岩、ホルンフェルスを含む				
81		砂礫	非常に密な	礫種はチャート主体で砂岩、ホルンフェルスを含む				
82		砂礫	非常に密な	礫種はチャート主体で砂岩、ホルンフェルスを含む				
83		細砂	淡緑灰	粒径はほぼ均一な細～微細砂で固結状を示す				
84		砂礫	非常に密な	礫はφ20mm以下の亜角～亜円礫を主体とし、所々φ30mm程度を含む				
85		砂礫	非常に密な	礫種はチャート主体で砂岩、ホルンフェルスを含む				
86		砂礫	非常に密な	礫種はチャート主体で砂岩、ホルンフェルスを含む				
87		砂礫	非常に密な	礫種はチャート主体で砂岩、ホルンフェルスを含む				
88		砂礫	非常に密な	礫種はチャート主体で砂岩、ホルンフェルスを含む				
89		砂礫	非常に密な	礫種はチャート主体で砂岩、ホルンフェルスを含む				
90		砂礫	非常に密な	礫種はチャート主体で砂岩、ホルンフェルスを含む				
91		砂礫	非常に密な	礫種はチャート主体で砂岩、ホルンフェルスを含む				
92		砂礫	非常に密な	礫種はチャート主体で砂岩、ホルンフェルスを含む				
93		砂礫	非常に密な	礫種はチャート主体で砂岩、ホルンフェルスを含む				
94		砂礫	非常に密な	礫種はチャート主体で砂岩、ホルンフェルスを含む				

(JR-23)

ボーリング柱状図

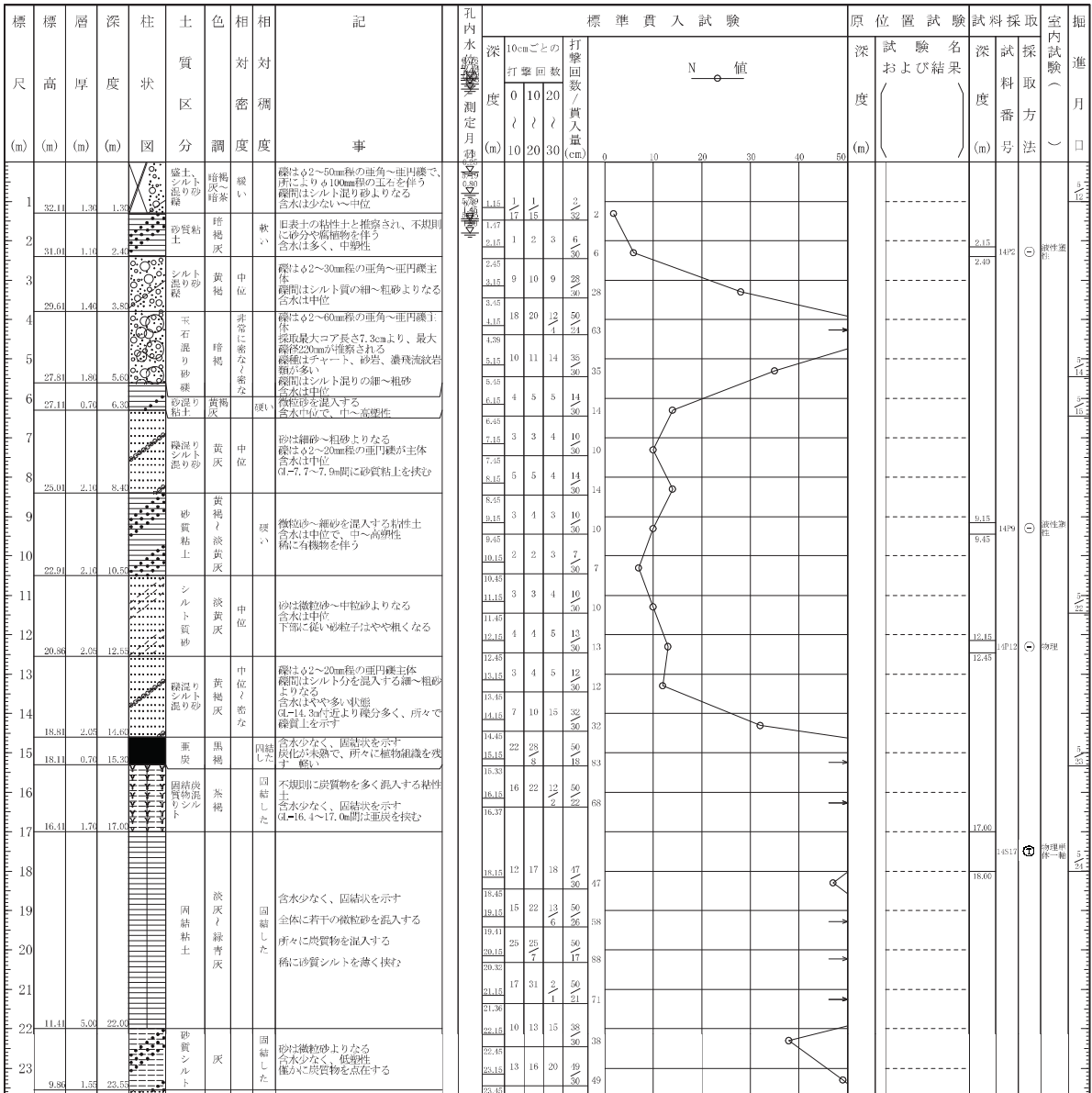
調査名

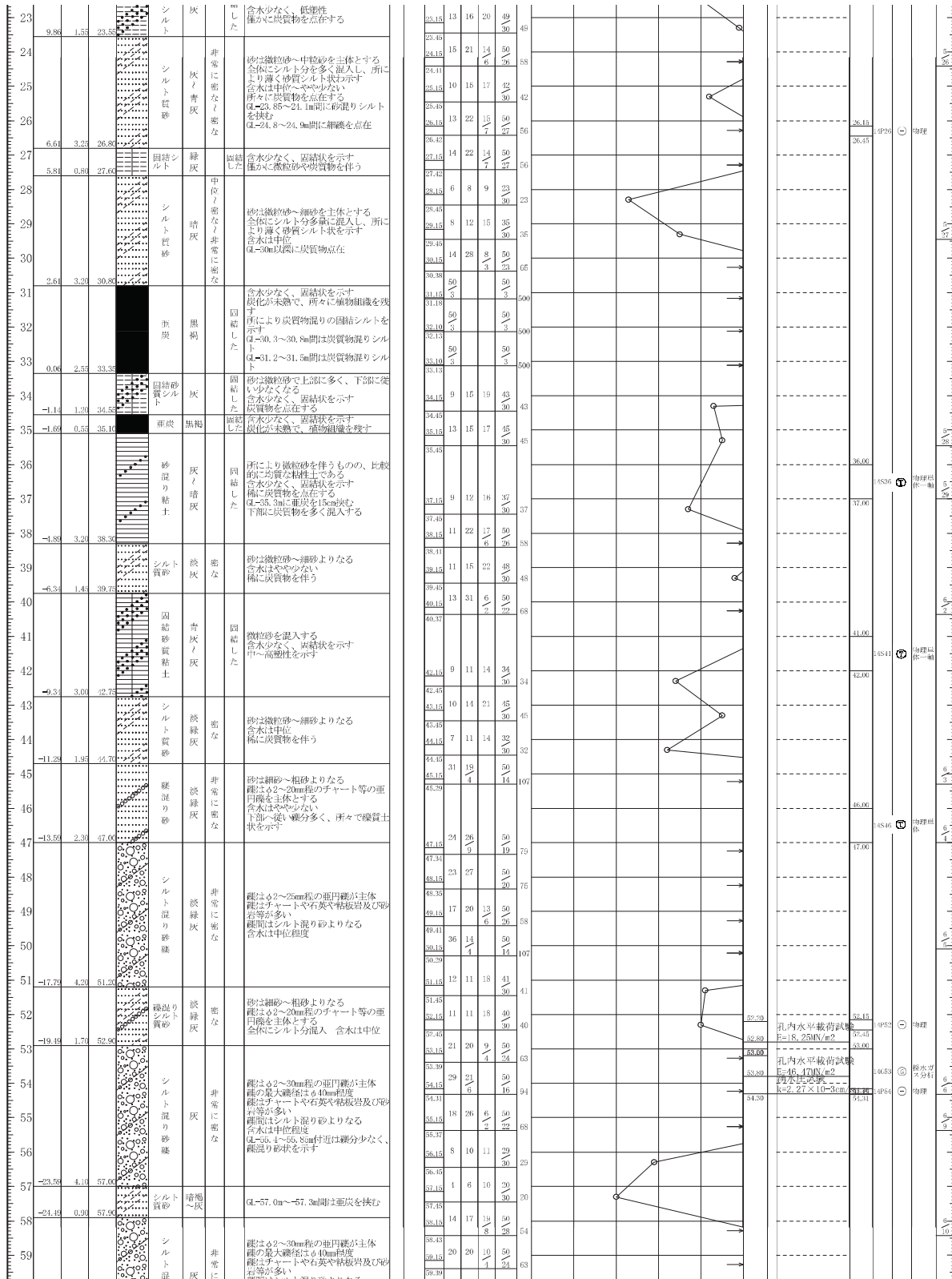
ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	調査位置			北緯	
発注機関	調査期間			東経	
調査業者名	主任技師	現場代理人	コ	ア	ボーリング責任者
孔口標高	H=33.41m	角	180°	上	90°
総掘進長	92.10m	度	0°	下	0°
方	北 0°	東	90°	南	180°
地盤勾配	鉛直	水平	0°		
使用機種	ハンマー	落下用具	ポンプ		
試験機	エンジン				





(JR-24)

ボーリング柱状図

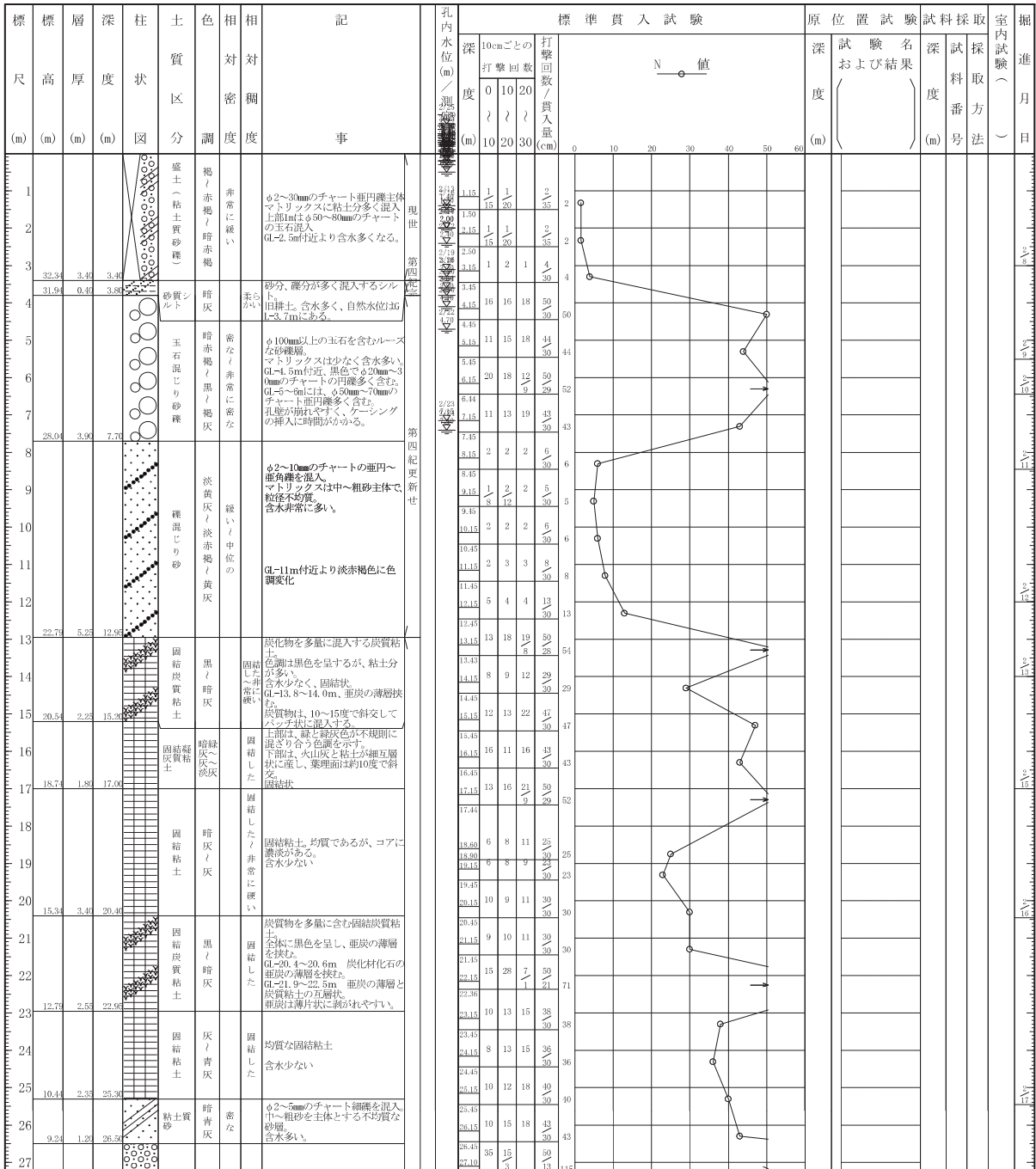
調査名

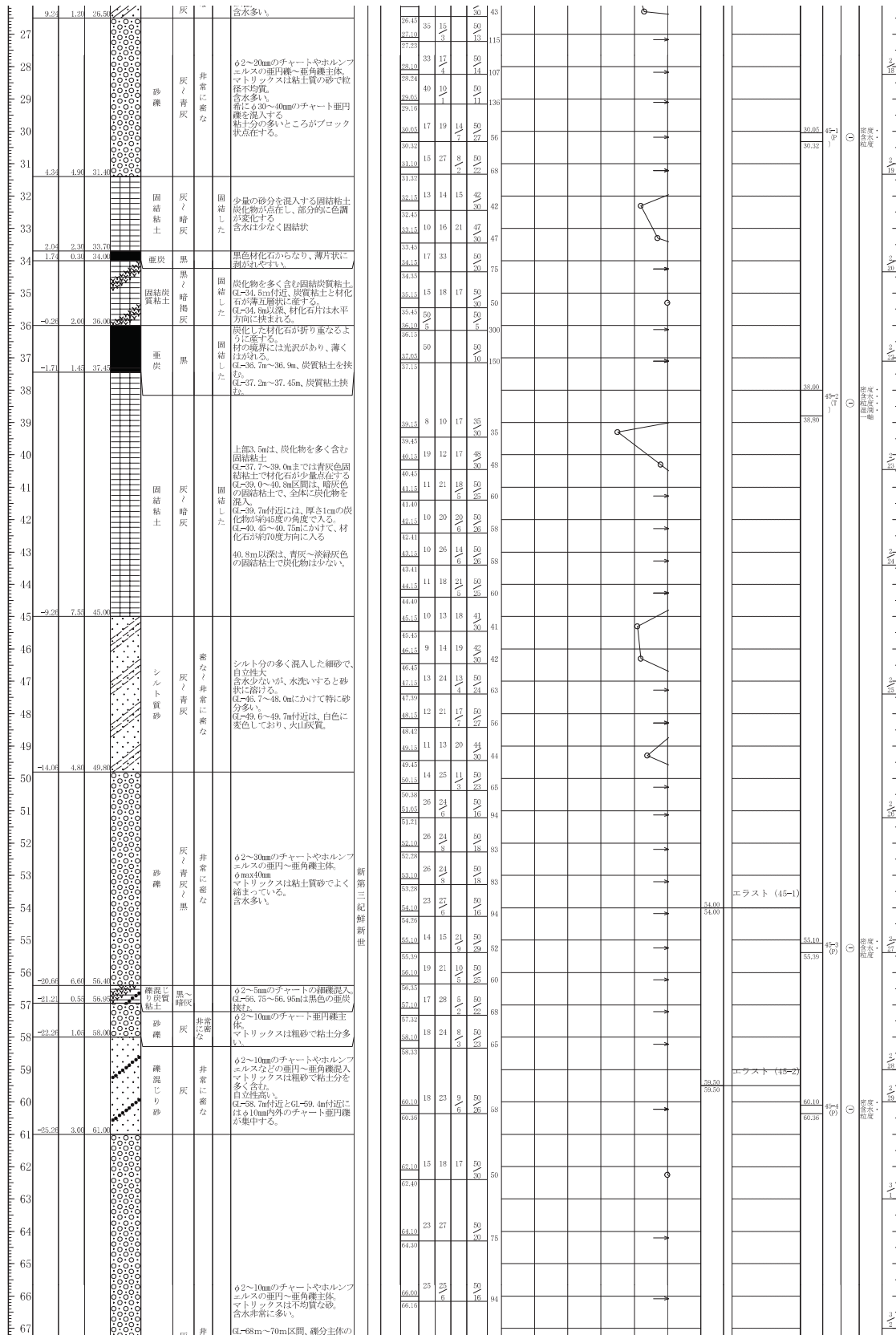
ボーリングNo										
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	調査位置										北緯		
発注機関	調査期間										東経		
調査業者名	主任技師										ボーリング責任者		
孔口標高	35.739m	角	180°上	90°	方	北0°	270°西	90°東	地盤勾配	鉛直	水平0°	使用試験機	ハンマー落下用具
総掘進長	95.00m	度	0°	0°	向	西	180°南	東	90°	5°	エンジン	ポンプ	





(JR-25)

ボーリング柱状図

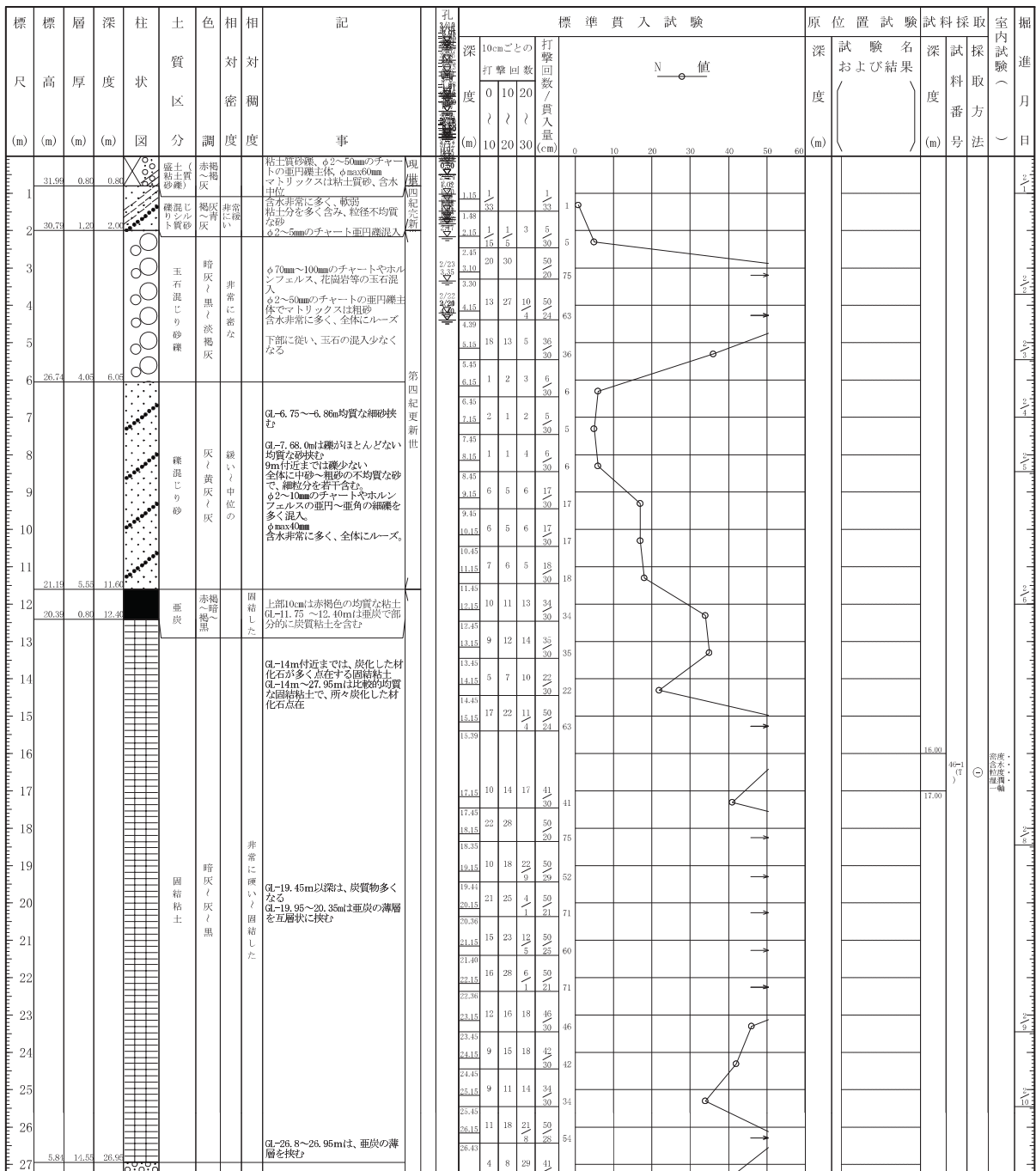
調査名

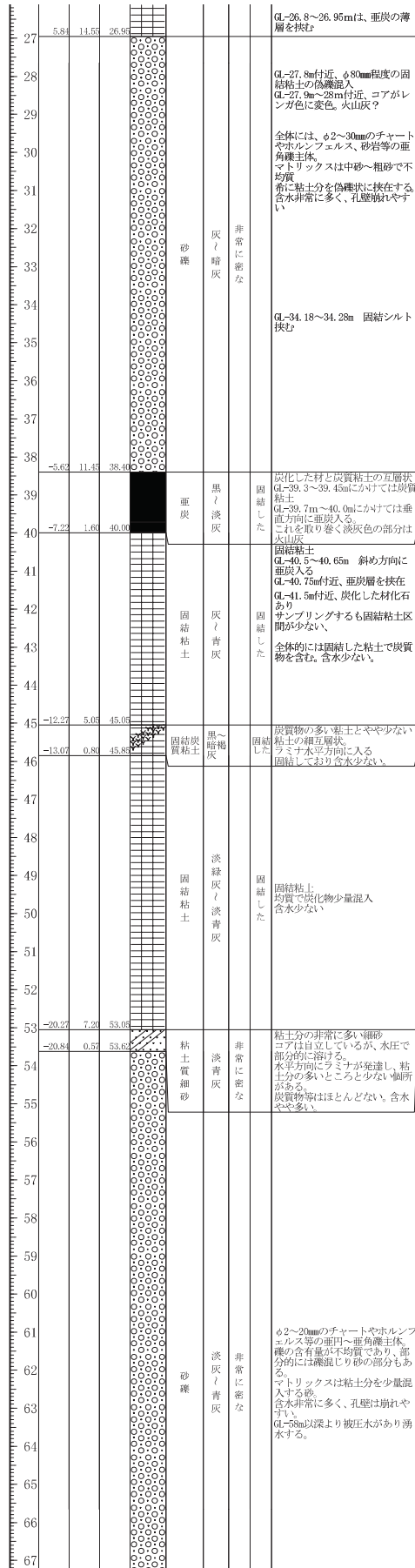
ボーリングNo																			
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

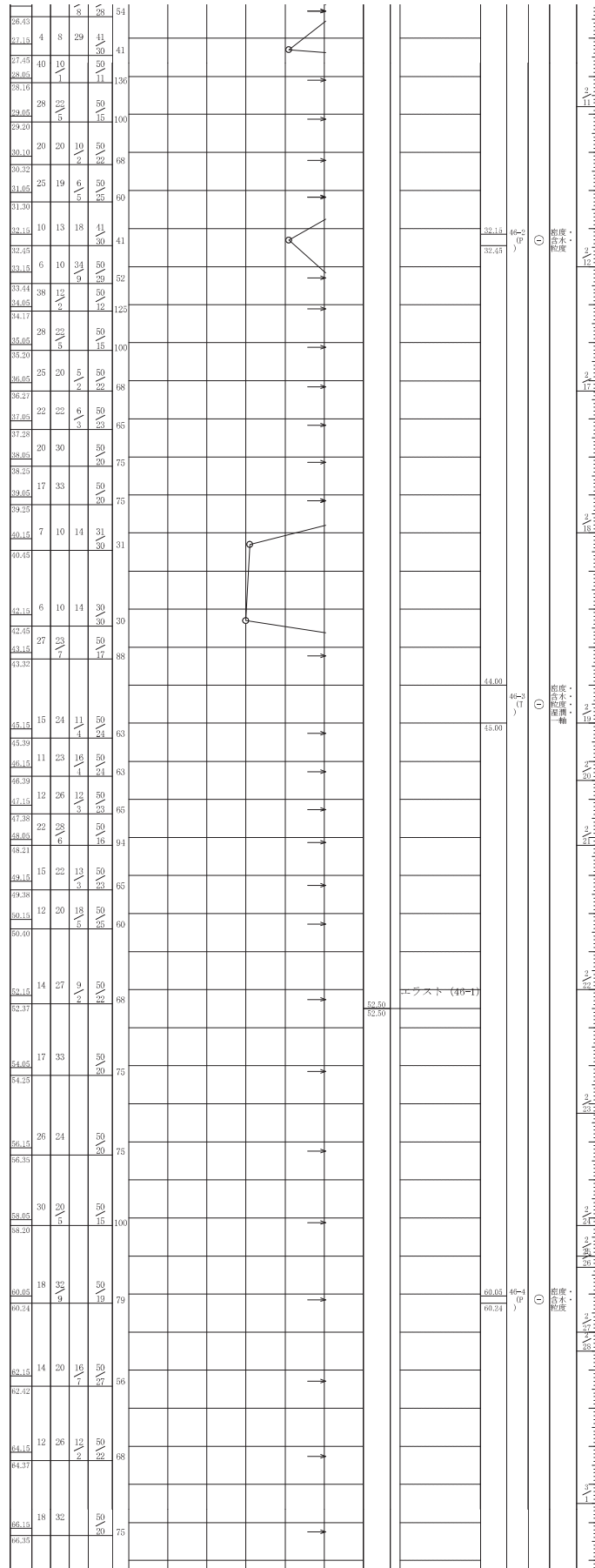
シートNo

ボーリング名	調査位置													北緯		
発注機関												調査期間	東経			
調査業者名	主任技師					現代場			コア		ア		ボーリング			
孔口標高	32.785m	角	180°	90°	方	北 0°	90°	東	地盤勾配		使用試錐機		ハンマー			
総掘進長	92.13m	度	0°	0°	向	270°	180°	西	鉛直		エンジン		ポンプ			

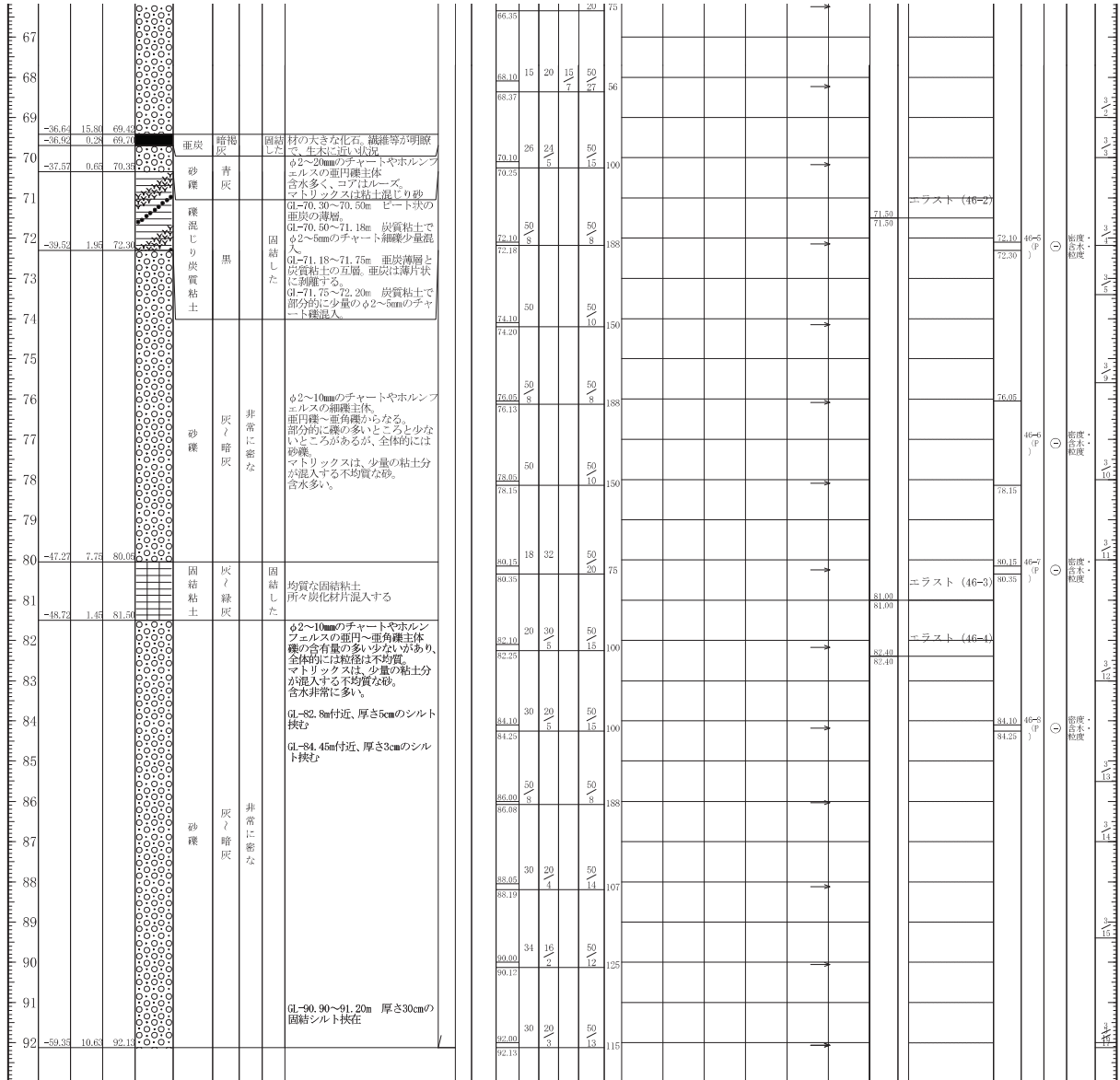




新第三紀鮮新世



(JR-26)

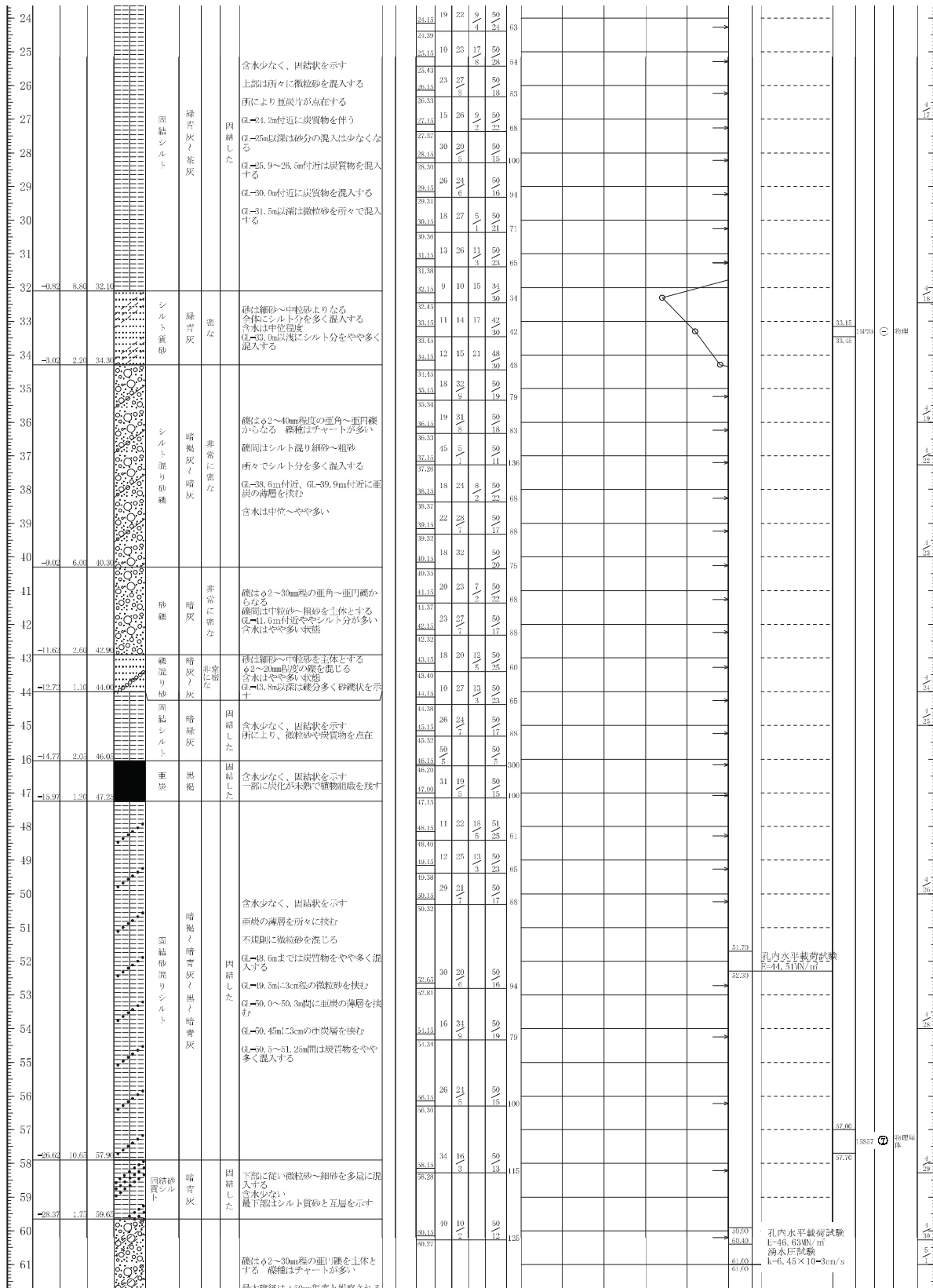


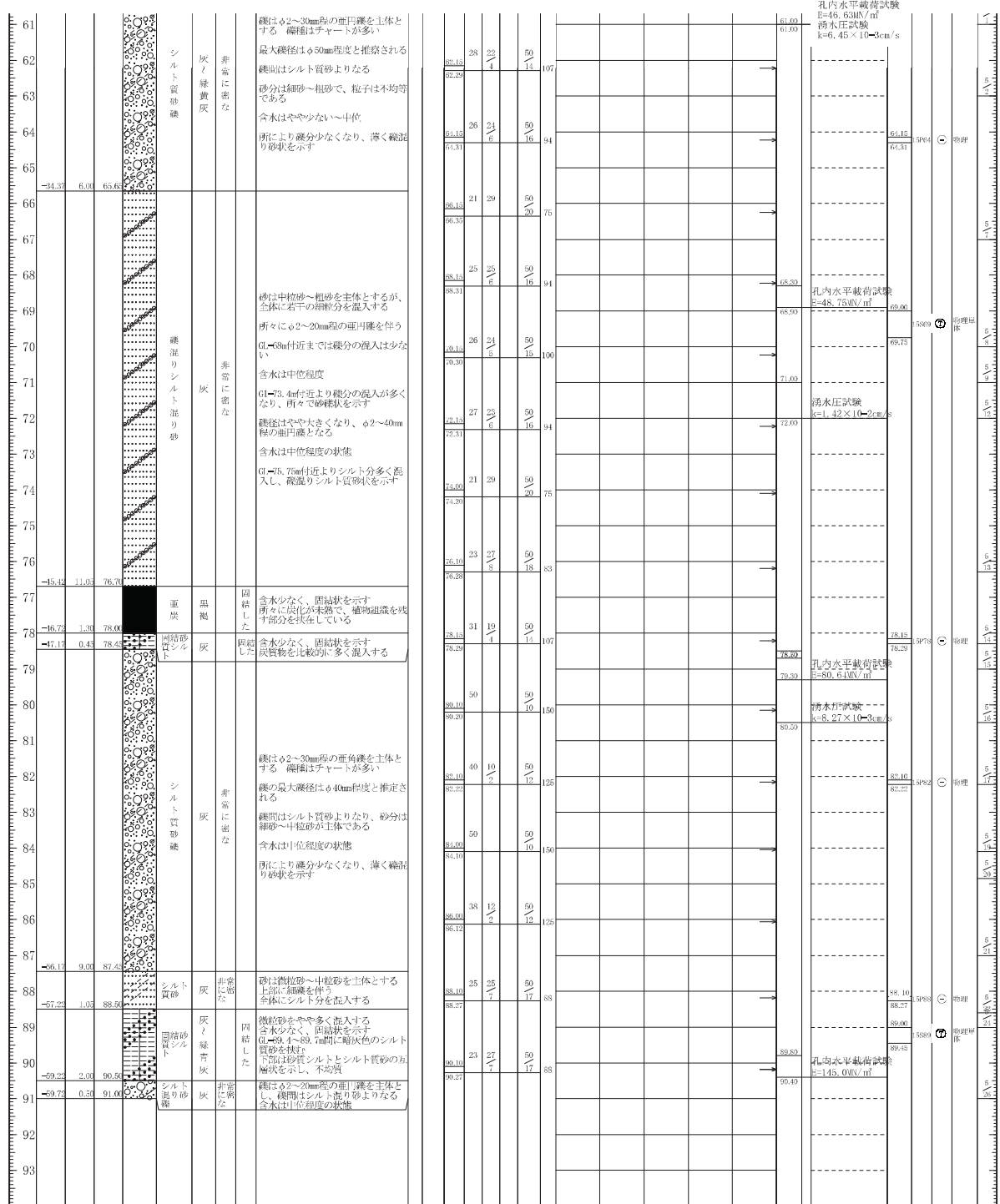
(JR-26)

ボーリング柱状図

調査名				ボーリングNo			
事業・工事名				シートNo			
ボーリング名	調査位置		北緯				
発注機関			調査期間		東経		
調査業者名	主任技師	現場		コ	ア	ボーリング責任者	
孔口標高	H=31.28m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 西 270° 南 180° 東 90°	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°
総掘進長	91.00m	度	0°	向	0°	使用機種	エンジン
						ハンマー落下用具	ポンプ

標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色相対調	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験	原位置試験	試料採取	室内試験	進出口
30.98	0.70	0.70	原土硬質シルト	増粘炭・暗褐色	軟弱			低〜中塑性。不均質。細粒は50〜50mm程度。所々100mm程度の土塊混入。G=0.4m付近はシルト質砂状					
29.08	1.50	2.20	砂質シルト	暗褐色	軟弱			中塑性程度。ほぼ均質な含水多い					
25.58	3.50	5.70	粘土混り砂礫	暗褐色〜黄褐色	非常に密なり密なり			φ2〜50mm位の礫からなる。液間土層上混り粗砂〜粗砂含水中位。礫類はチャート、砂岩、濃褐色炭岩が多い。G=1.4〜1.6mに玉石を点入。最大φ12cmより最大φ330mmが推定される。所々粘土分が多い					
24.58	1.00	6.70	中硬シルト	黒褐色	硬化した			一部に炭化が未端で塊物組織を残す部分（灰褐色）を含む。含水少く、平〜固結状を示す					
22.28	2.30	9.00	砂質シルト	淡黄灰	硬い			微粒砂を混入する。上部の垂直直上は、砂分が比較的少なく、高塑性を示す。下部は砂分多くなり、やや含水多くなる					
21.63	0.63	9.63	シルト質砂	淡黄灰	中位			微粒砂を多量に混入する。含水は中位〜多い。中塑性。下部は砂分多くなる					
20.28	1.33	11.00	シルト混り砂	黄灰	中位			細砂〜中粒砂よりなる。全体にシルトを混入する。所々ややシルトの多い部分がある。含水は中位〜多い					
18.28	2.00	13.00	雑混りシルト混り砂	黄灰〜淡黄	中位			砂は中粒砂〜粗砂を主体とするが、全体に細粒分も若干混入する。主にφ2〜8mm位の礫を混入する。所々にφ10mm位の血円礫を混入する。所々土塊分が多くなり、薄く硬質土状を示す。含水は中位〜多い					
13.08	5.20	18.20	固結シルト	黒褐色〜黒灰〜暗青灰〜灰	固結した			最上部からG=18.5mまでは薄く中硬を示す。所により微粒砂を混入するもの、比較的均質である。所々に炭化物を混入する。含水少く、固結状を示す。G=19.5mに礫を伴う。G=19.8mまで炭化物を多く混入する。G=19.8mに30%の礫質砂を伴う。G=20.0〜21.0m間は炭化物を多く混入する					
8.38	4.50	22.70	中硬シルト	黒褐色	硬化した			一部に炭化が未端で塊物組織を残す。含水少く、固結状を示す					
7.98	0.60	23.30	中硬シルト	黒褐色	硬化した			一部に炭化が未端で塊物組織を残す。含水少く、固結状を示す					





(JR-27)

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

Header information table including borehole name, location, agency, investigator, and equipment details.

Main borehole log table with columns for depth, soil type, and test results. Includes a graph of blow count vs depth.

27	2.14	3.75	36.73	砂礫	暗灰 + 黄褐色	非常に密な	φ5~35mm (max. φ50mm) の亜円～亜角礫主体。 マトリックスは不均一な細中砂主体、局所的に粗砂、粘性土層を挟む。 上部GL-27.9mまで、マトリックスは暗灰色、以深は黄褐色を呈す。 GL-31.75~31.90m間、固結シルト優勢で一部は灰色を呈す。	36.32	7	17	88					
28											27.15	15	22	13	50	71
29											27.36	20	18	12	50	68
30											28.15	10	17	23	50	56
31				細中砂	黄灰 + 黄褐色	非常に密な	不均一な細中砂主体。 GL-35.65~35.90m間、φ2~5mm (max. φ10mm) 程度の礫を混入。	29.42	10	19	21	50	60			
32											30.15	15	25	10	50	63
33				砂礫	黄褐色	非常に密な	φ5~10mm程度の亜角礫が密集する。マトリックスはシルト質粗砂。GL-36.75~36.85m間、固結シルト層 (青灰色) を挟む。 比較的均一なシルト主体、固結化が進行。 GL-37.8~37.9m間、最大φ10mm程度の砂礫層を挟む。	30.40	20	12	18	50	60			
34	-5.61	7.75	34.56								31.15	15	10	25	50	56
35				固結シルト	青灰	非常に密な	不均一な細中砂主体、局所的に粗砂・細礫を混入。含水量は中位。	33.42	9	21	20	50	60			
36	-7.86	2.25	36.73								34.15	21	29	50	75	
37				細中砂	黄灰	非常に密な		34.40	25	25	8	50	83			
38	-8.76	0.98	37.66								35.15	13	21	18	50	68
39				砂礫	黄褐色	非常に密な		35.37	21	29	50	75				
40	-9.51	0.75	38.41								36.15	36.33	25	25	8	50
	-11.48	1.97	40.37					37.33	10	19	21	50	58			
								38.15	10	17	23	50	56			
								39.42	12	29	9	50	68			
								40.15								
								40.37								

ボーリング柱状図

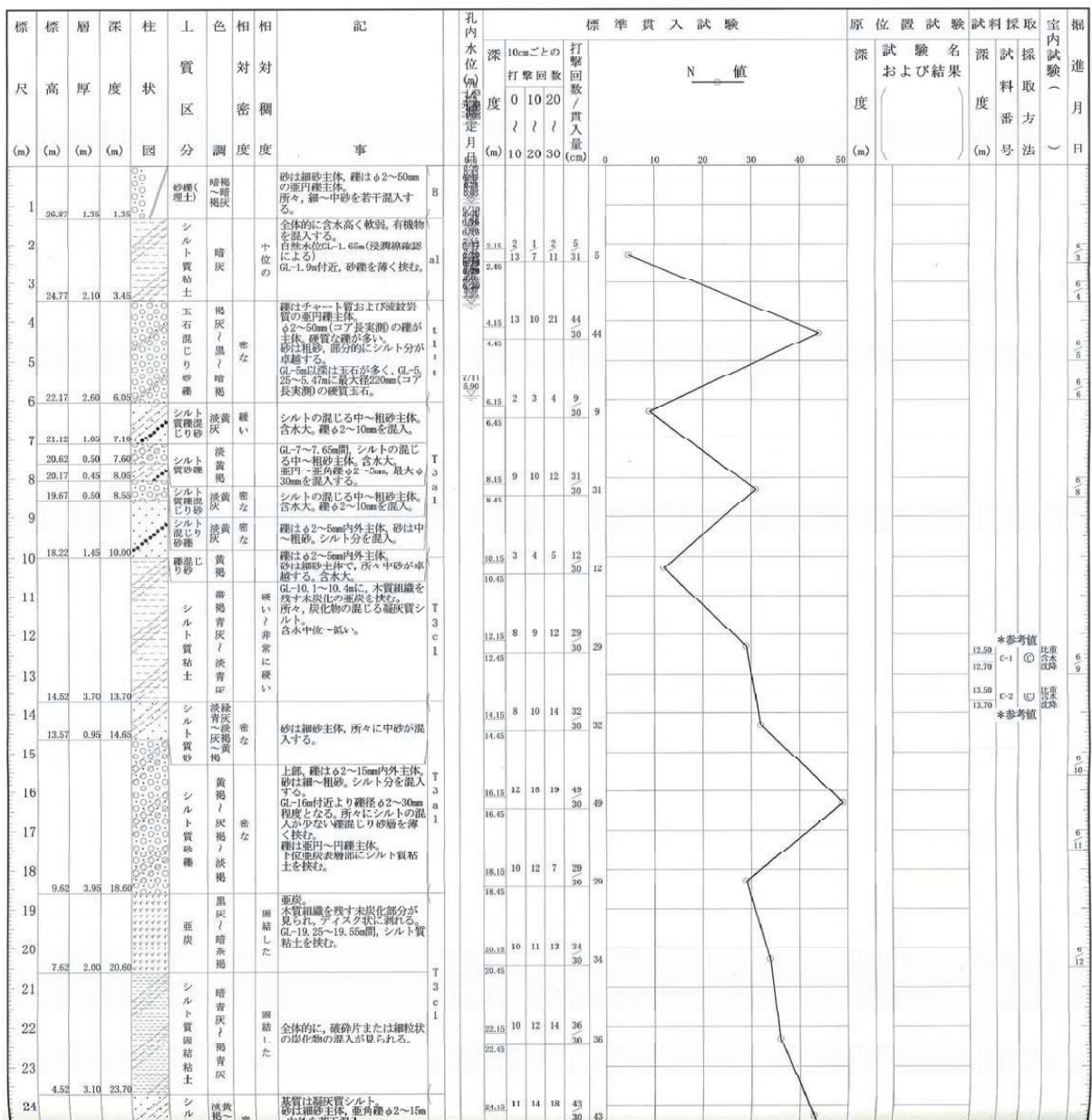
調査名 _____

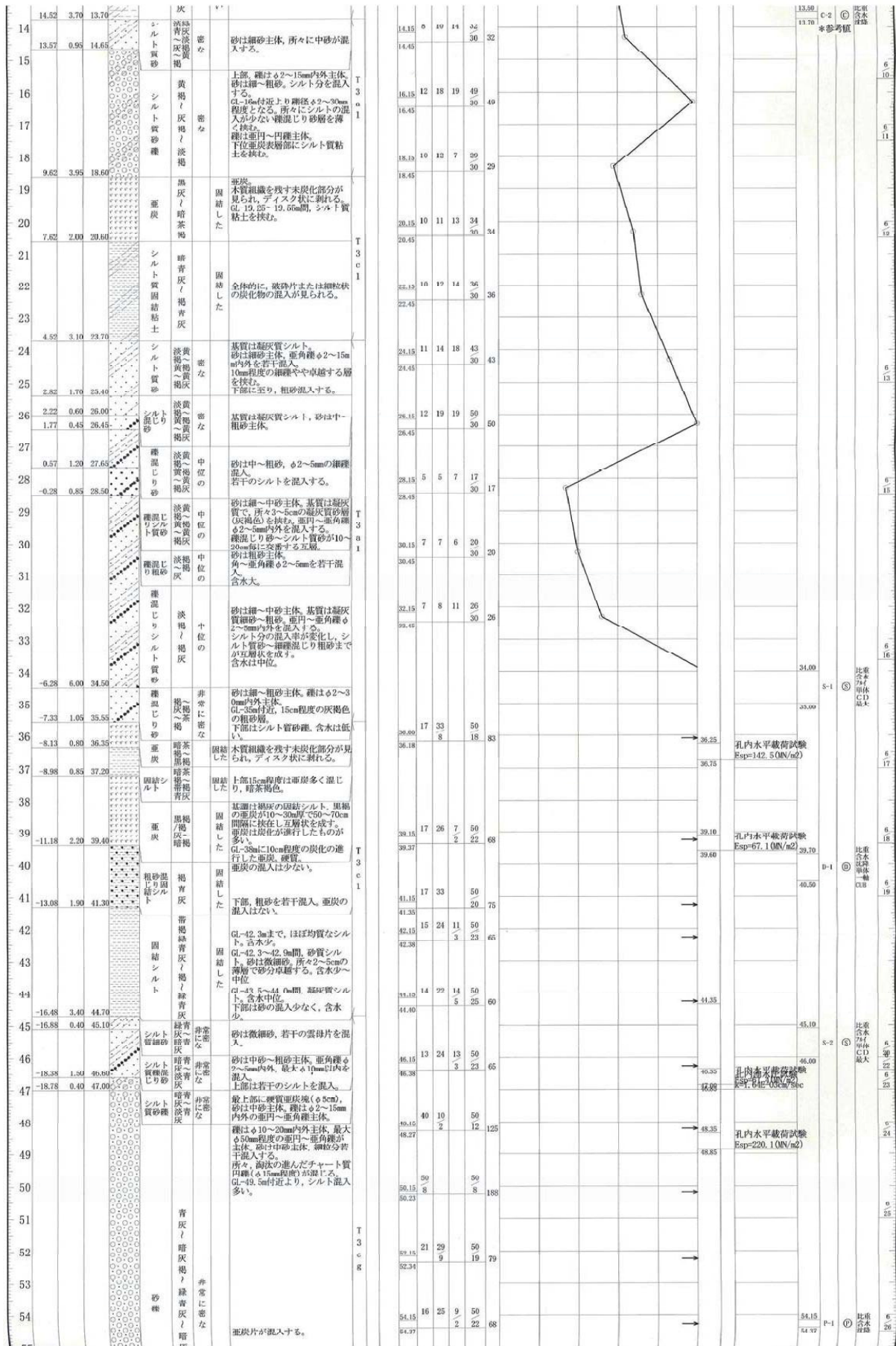
事業・工事名 _____

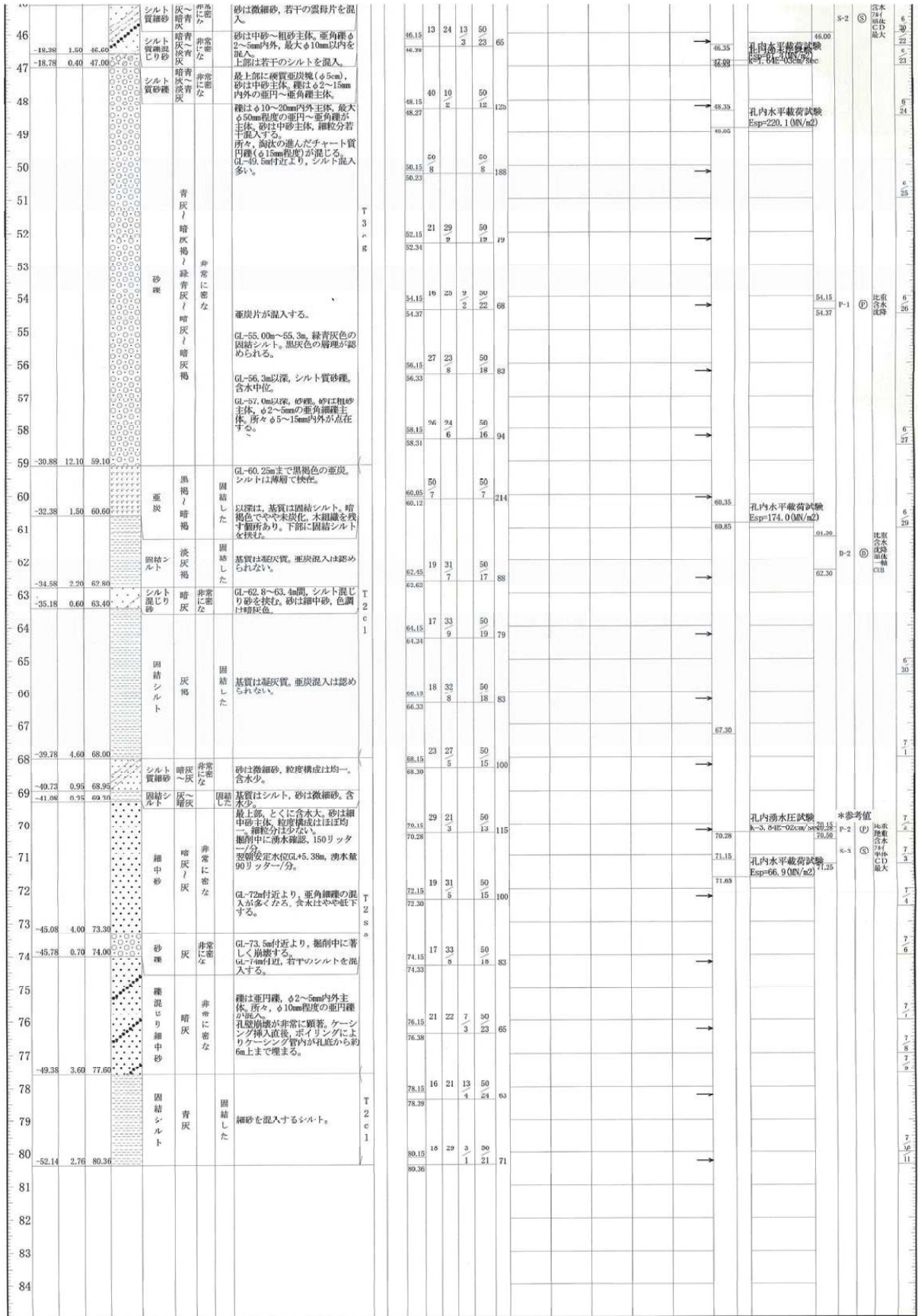
ボーリングNo _____

シートNo _____

ボーリング名	調査位置	北緯
発注機関	調査期間	東経
調査業者名	主任技師	現場代理人
孔口標高 T.P. +28.22m	角 180° 上 90° 下 0°	方 北 0° 西 270° 東 90° 南 180°
総掘進長 80.36m	地盤勾配 鉛直 7/100 水平 0/100	使用機種 試錘機 エンジン
		ハンマー落下用具 ポンプ







(JR-29)

ボーリング柱状図

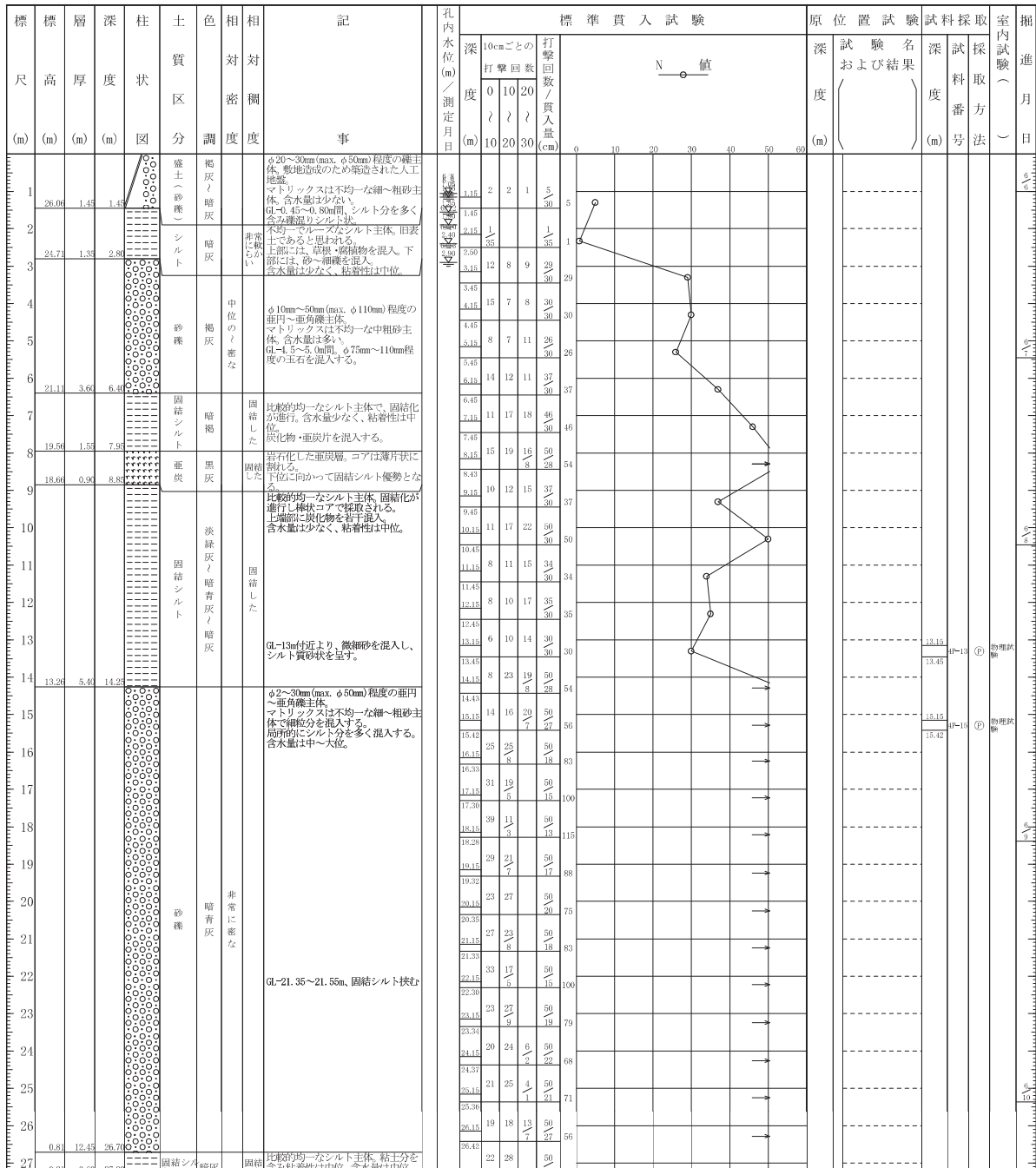
調査名

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

Header information table including Boring Name, Location, Agency, Investigator, Date, and Equipment details.



ボーリング柱状図

調査名

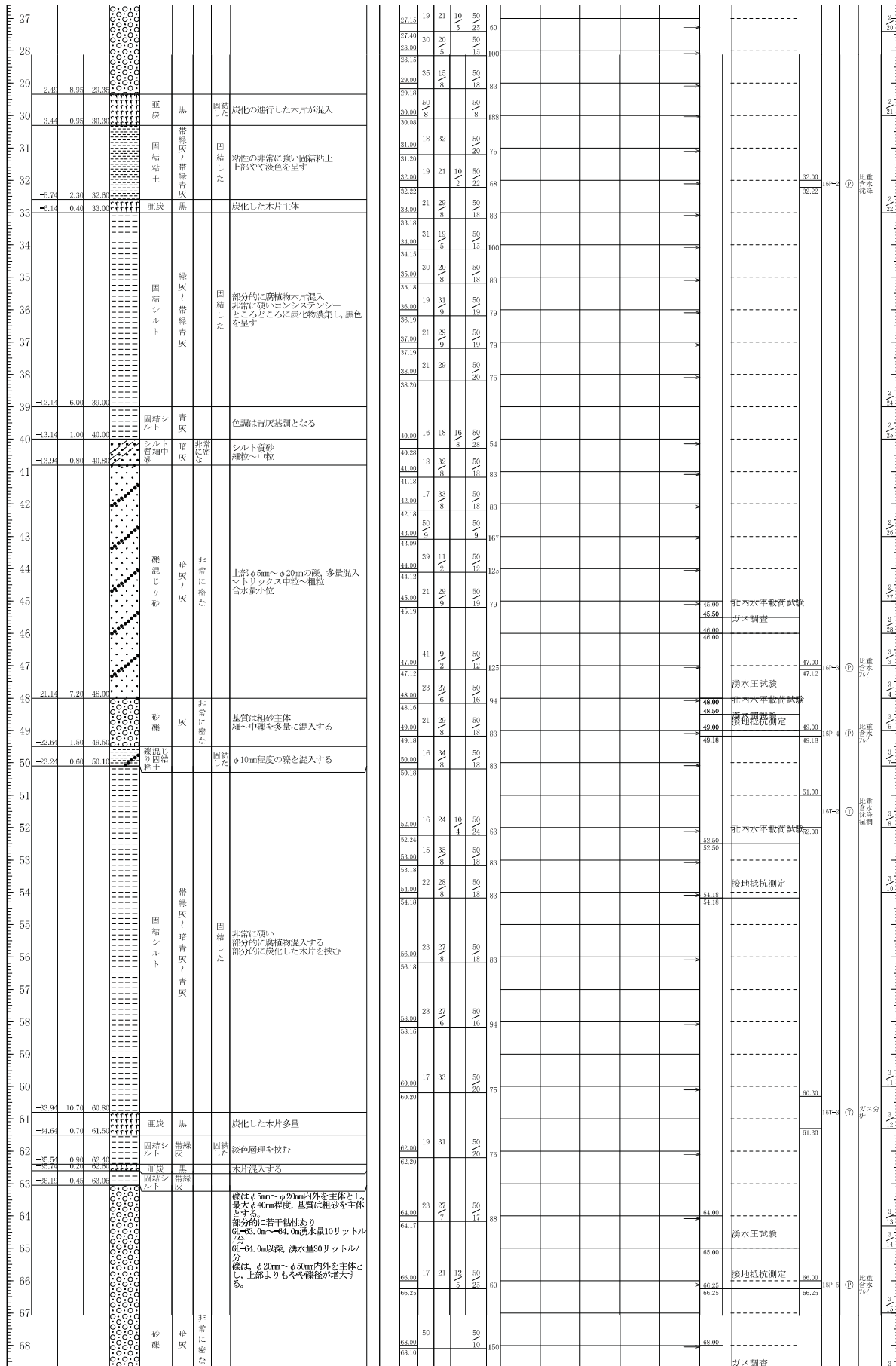
ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	調査位置			北緯
発注機関	調査期間			東経
調査業者名	主任技師			現場代理人
孔口標高	+26.86m	角	180° 上 90° 下 0°	方
総掘進長	37.15m	度	0°	向
		北	0°	東
		西	180°	南
		地盤勾配	水平	使用機種
		試錐機	ハンマー	落下用具
		エンジン	ポンプ	

標尺	層厚	深度	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	相対稠度	記号	孔口標高	標準貫入試験			原位置試験	試験名	採取方法	室内試験	掘進	
											深	打撃回数	貫入抵抗						度
1	25.00	1.20	1.20	盛土(礫混り砂)	暗褐色				礫混り砂、礫は角~亜角礫φ5~20mm内外主体。	26.86	1.15	5	5	3	13				
2	25.06	0.60	1.80	礫混りシルト	暗灰色				シルトを主体として中粒砂を混入する。細粒も若干混入する。	26.80	1.45	5	5	5	15				
	24.10	0.90	2.70	礫混り砂質シルト	暗灰色				中粒のφ10mm程度の礫含有する	25.90	2.15	5	5	5	30				
3				玉石混じり砂礫	暗褐色				中粒の密着中位の非に密な	25.00	2.45	9	8	11	28				
4				玉石混じり砂礫	暗褐色				粒径幅の広い砂を基質とし、φ5~15mm程度の硬質な亜円礫より成る砂礫。φ75mm以上、最大φ200mmの硬質な玉石が混じる。	24.10	3.15	11	9	18	33				
5				シルト	淡黄白				色調は淡黄白~黄灰色を呈し、礫灰に富む。	23.20	3.45	11	16	21	48				
6	20.46	3.74	6.24	凝灰質シルト	淡黄白				とろろとろろに凝灰のシルトを挟み、また、崩壊の進行していない未分解の状態にある木片及び腐植物を多量に混入している。	20.46	4.45	8	5	8	21				
7	20.23	0.23	6.47	凝灰質シルト	淡黄白				色調は、亜灰褐色な程度で黒色に近く、それ以外は暗灰色を呈する。	20.23	5.15	5	5	5	30				
8	19.33	0.90	7.37	凝灰質シルト	淡黄白				色調は淡黄白~黄灰色を呈し、礫灰に富む。	19.33	5.35	6	5	5	16				
9				凝灰質シルト	淡黄白				とろろとろろに凝灰のシルトを挟み、また、崩壊の進行していない未分解の状態にある木片及び腐植物を多量に混入している。	18.43	6.15	11	16	21	48				
10				凝灰質シルト	淡黄白				色調は、亜灰褐色な程度で黒色に近く、それ以外は暗灰色を呈する。	17.53	7.15	15	16	16	47				
11				凝灰質シルト	淡黄白				とろろとろろに凝灰のシルトを挟み、また、崩壊の進行していない未分解の状態にある木片及び腐植物を多量に混入している。	16.63	7.45	15	15	16	46				
12	14.88	4.45	12.00	凝灰質シルト	淡黄白				色調は淡黄白~黄灰色を呈し、礫灰に富む。	14.88	8.15	15	16	16	47				
13				凝灰質シルト	淡黄白				とろろとろろに凝灰のシルトを挟み、また、崩壊の進行していない未分解の状態にある木片及び腐植物を多量に混入している。	13.98	8.45	15	15	16	46				
14				凝灰質シルト	淡黄白				色調は淡黄白~黄灰色を呈し、礫灰に富む。	13.08	8.15	15	16	16	47				
15				凝灰質シルト	淡黄白				とろろとろろに凝灰のシルトを挟み、また、崩壊の進行していない未分解の状態にある木片及び腐植物を多量に混入している。	12.18	9.15	15	15	16	46				
16				凝灰質シルト	淡黄白				色調は淡黄白~黄灰色を呈し、礫灰に富む。	11.28	9.45	15	15	16	46				
17	9.98	5.00	17.04	凝灰質シルト	淡黄白				とろろとろろに凝灰のシルトを挟み、また、崩壊の進行していない未分解の状態にある木片及び腐植物を多量に混入している。	9.98	10.15	15	15	16	46				
18	8.98	0.90	17.94	凝灰質シルト	淡黄白				色調は淡黄白~黄灰色を呈し、礫灰に富む。	8.98	10.45	15	15	16	46				
19	7.16	1.80	19.74	凝灰質シルト	淡黄白				とろろとろろに凝灰のシルトを挟み、また、崩壊の進行していない未分解の状態にある木片及び腐植物を多量に混入している。	7.16	11.15	15	15	16	46				
20	6.91	0.70	20.44	凝灰質シルト	淡黄白				色調は淡黄白~黄灰色を呈し、礫灰に富む。	6.91	11.21	15	15	16	46				
21				凝灰質シルト	淡黄白				とろろとろろに凝灰のシルトを挟み、また、崩壊の進行していない未分解の状態にある木片及び腐植物を多量に混入している。	6.01	13.15	9	15	21	45				
22				凝灰質シルト	淡黄白				色調は淡黄白~黄灰色を呈し、礫灰に富む。	5.11	13.45	6	12	12	30				
23				凝灰質シルト	淡黄白				とろろとろろに凝灰のシルトを挟み、また、崩壊の進行していない未分解の状態にある木片及び腐植物を多量に混入している。	4.21	14.15	15	8	8	50				
24				凝灰質シルト	淡黄白				色調は淡黄白~黄灰色を呈し、礫灰に富む。	3.31	14.45	9	16	24	49				
25				凝灰質シルト	淡黄白				とろろとろろに凝灰のシルトを挟み、また、崩壊の進行していない未分解の状態にある木片及び腐植物を多量に混入している。	2.41	15.33	21	23	6	50				
26				凝灰質シルト	淡黄白				色調は淡黄白~黄灰色を呈し、礫灰に富む。	1.51	16.13	15	15	16	46				
27				凝灰質シルト	淡黄白				とろろとろろに凝灰のシルトを挟み、また、崩壊の進行していない未分解の状態にある木片及び腐植物を多量に混入している。	0.61	16.43	15	15	16	46				



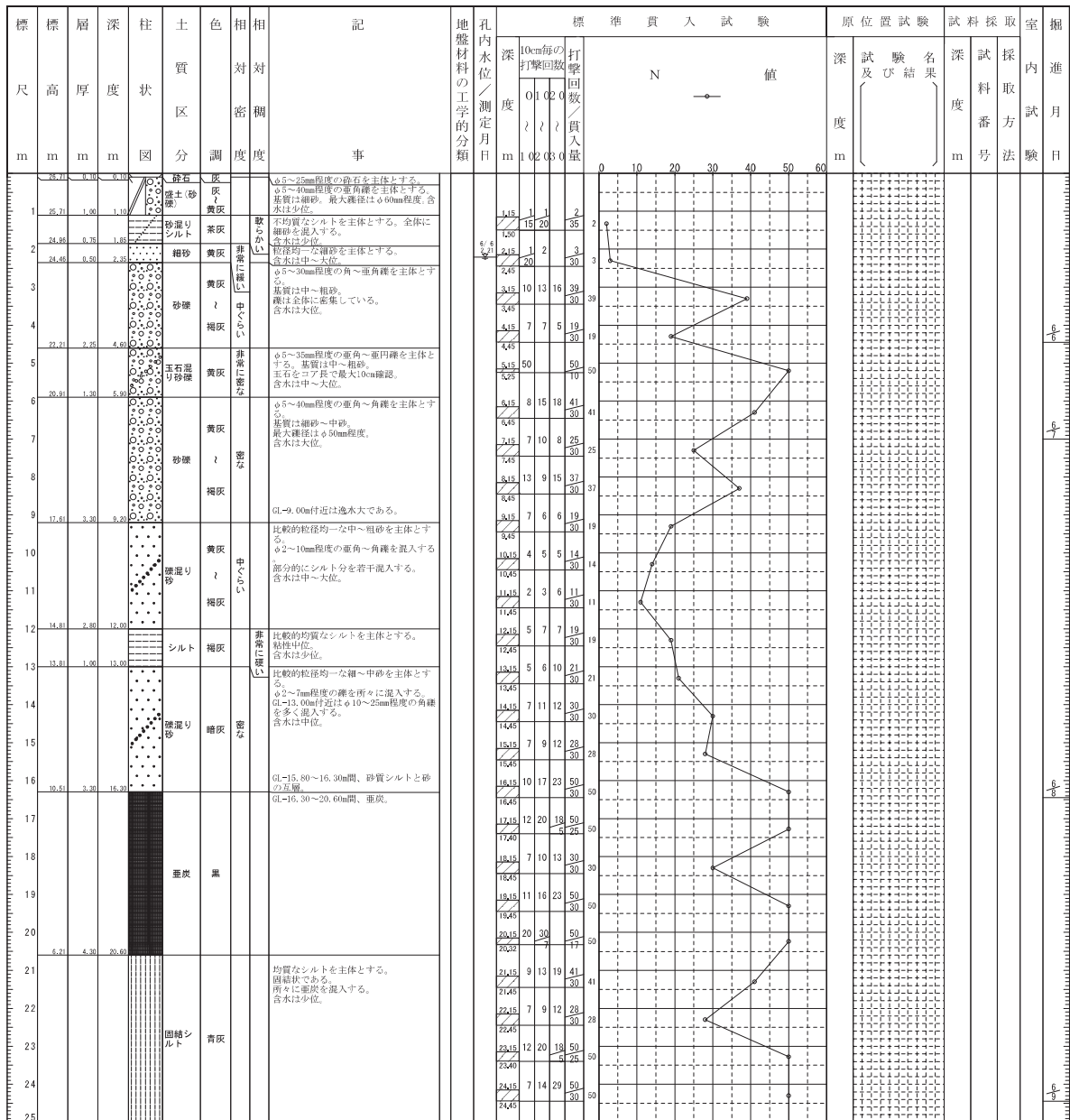
(JR-31)

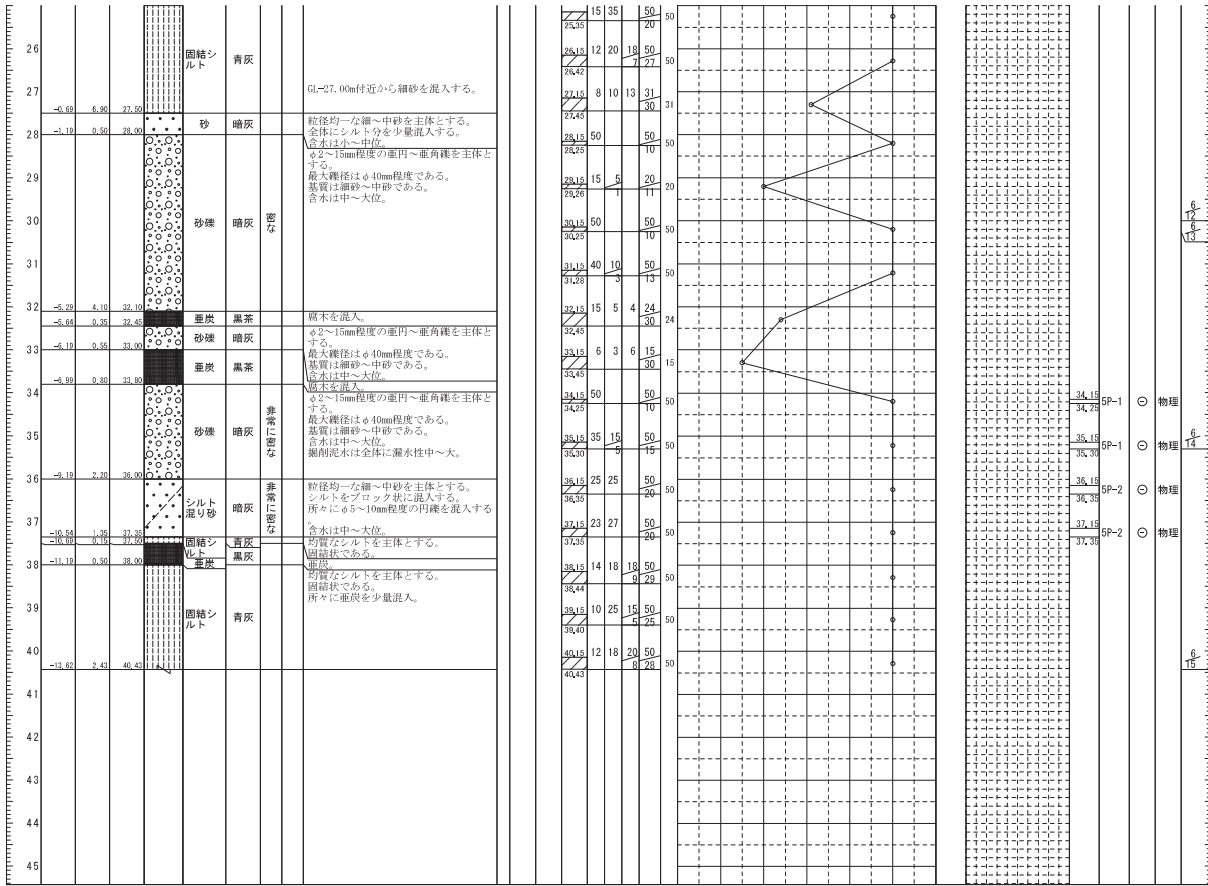
ボーリング柱状図

調査名 _____
事業・工事名 _____

ボーリングNo. _____
シートNo. _____

ボーリング名	調査位置		北緯
発注機関	調査期間		東経
調査業者名	主任技師	現代場 代理人	ボーリング 責任者
孔口標高 TP 26.81m	角 180° 上 90° 下 0°	方 北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤 勾配 水平 0° 鉛直 90°
総掘進長 40.43m	度	向	使用 機種 エンジン
			コ ン ク リ テ ィ ト ア リ ン グ 機 械 の 種 類 ハ ン マ ー 落 下 用 具 ポ ン プ





ボーリング柱状図

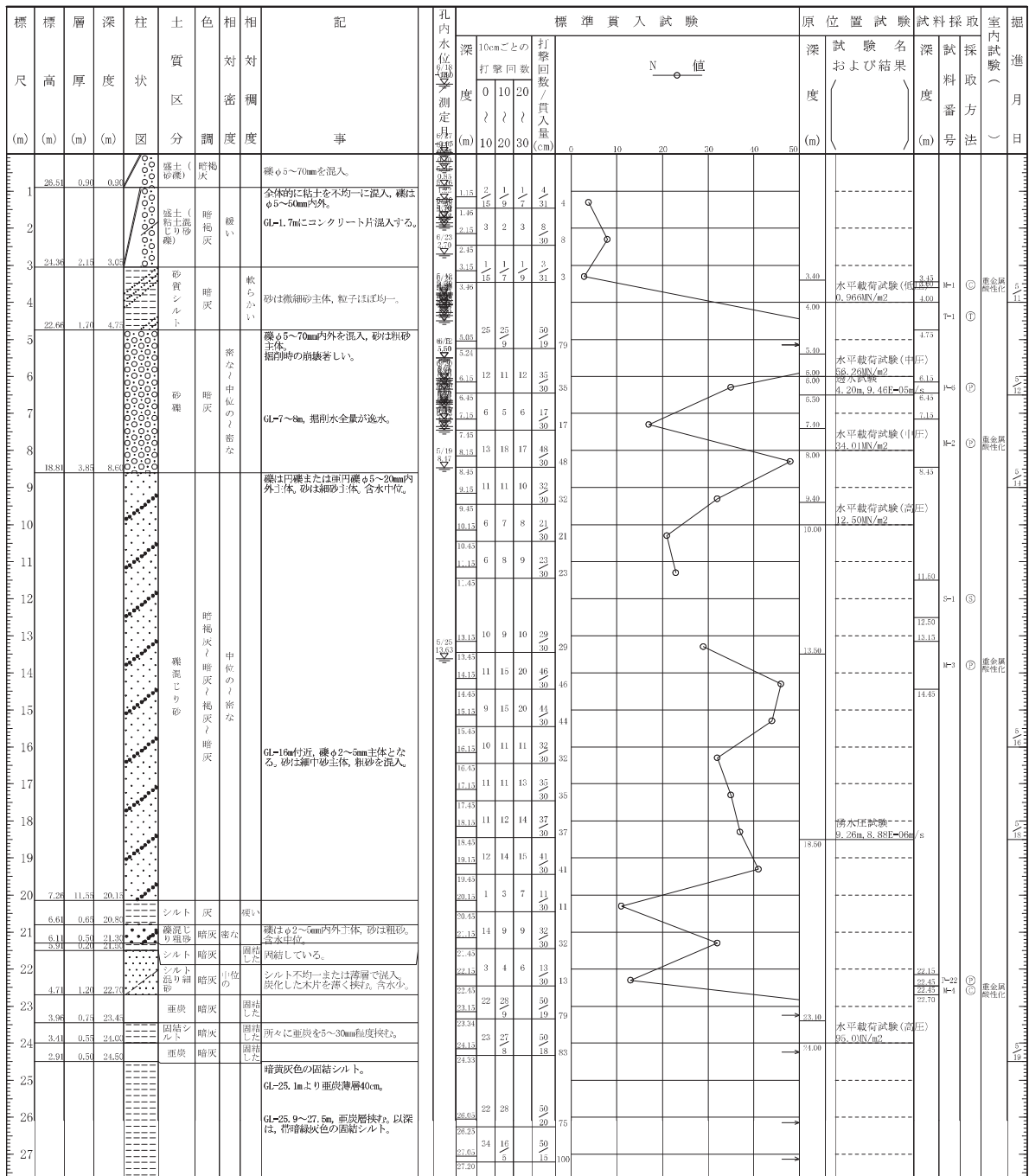
調査名

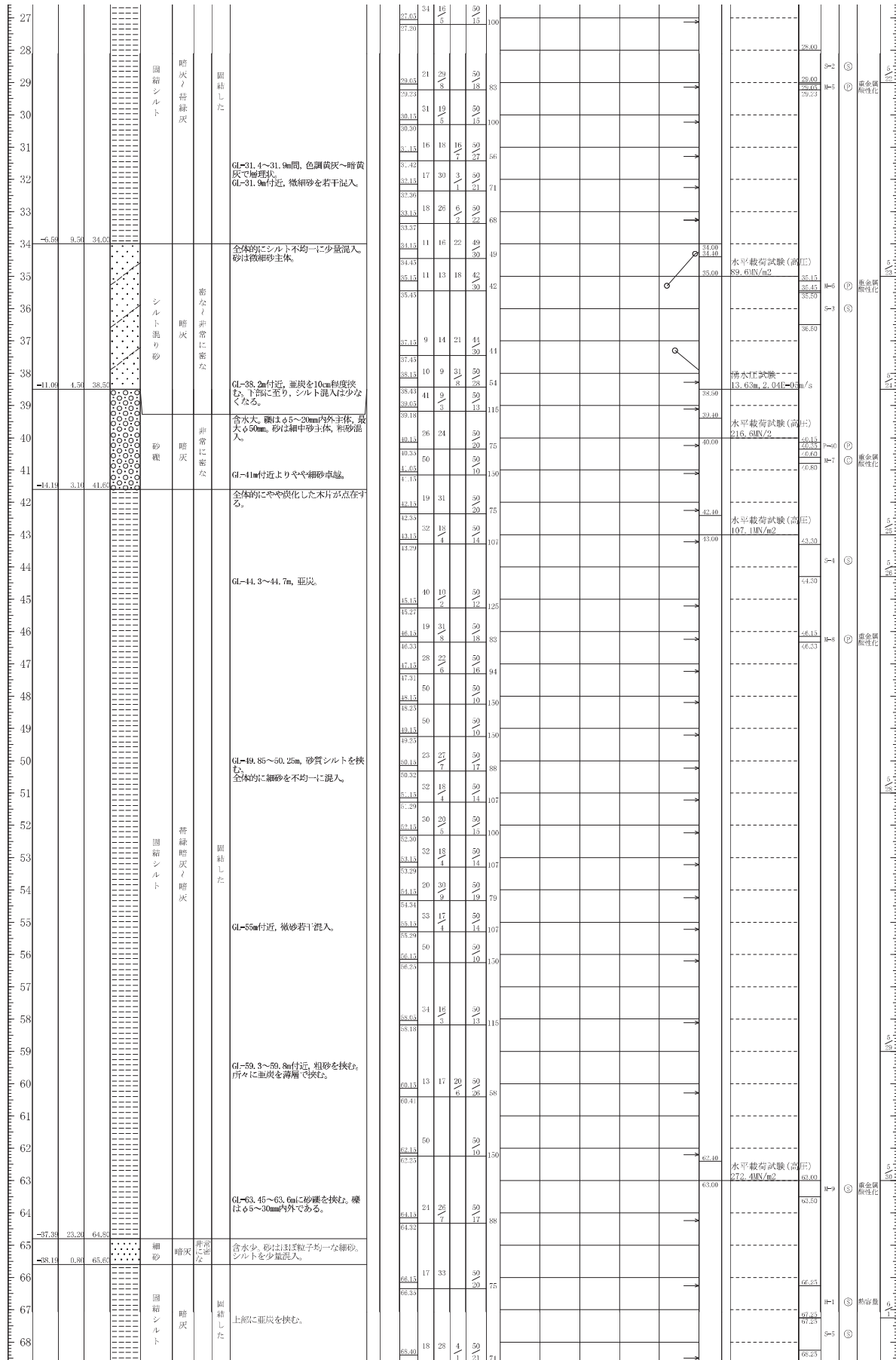
ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

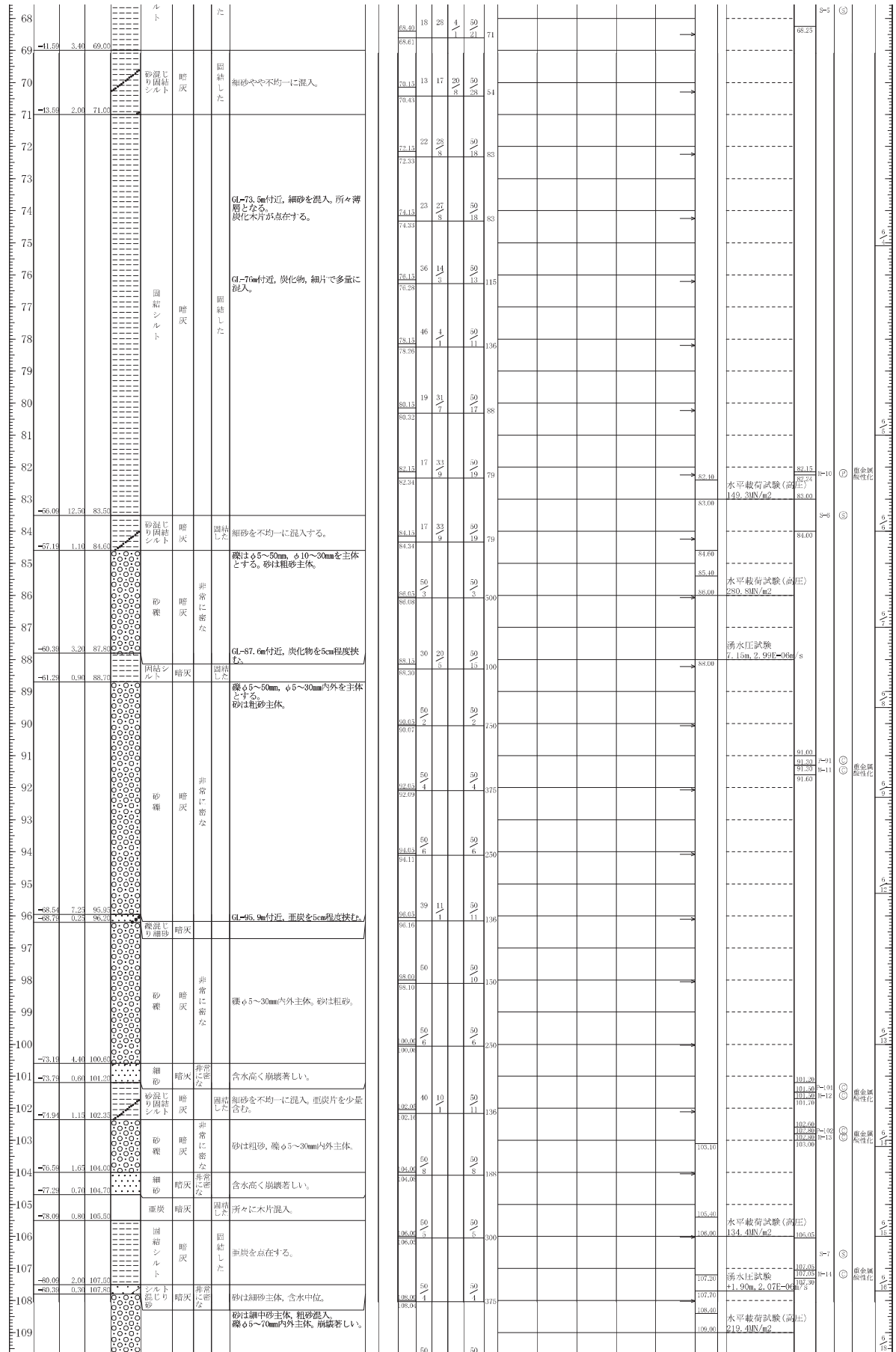
事業・工事名

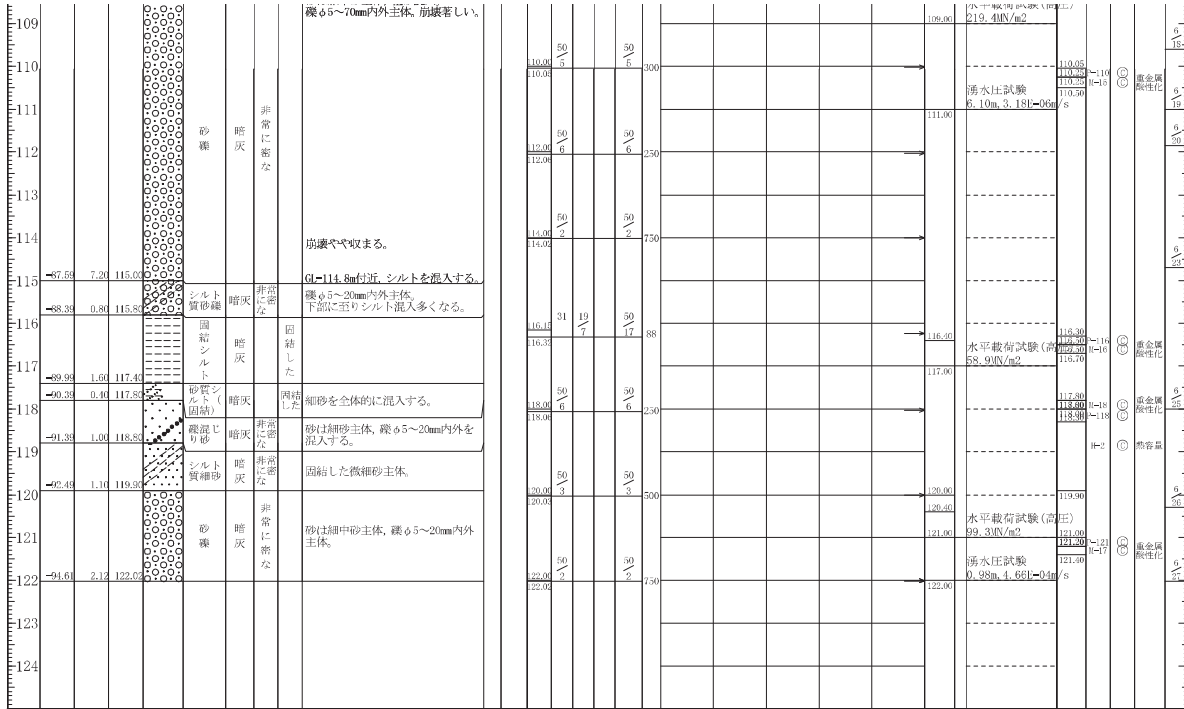
シートNo

ボーリング名	調査位置			北緯						
発注機関	調査期間			東経						
調査業者名	主任技師			ボーリング責任者						
孔口標高	27.41m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	コア 鑑定者	ハンマー 落下用具
総掘進長	122.02m	度	0°	向	0°	配	0°	エンジン		ポンプ









ボーリング柱状図

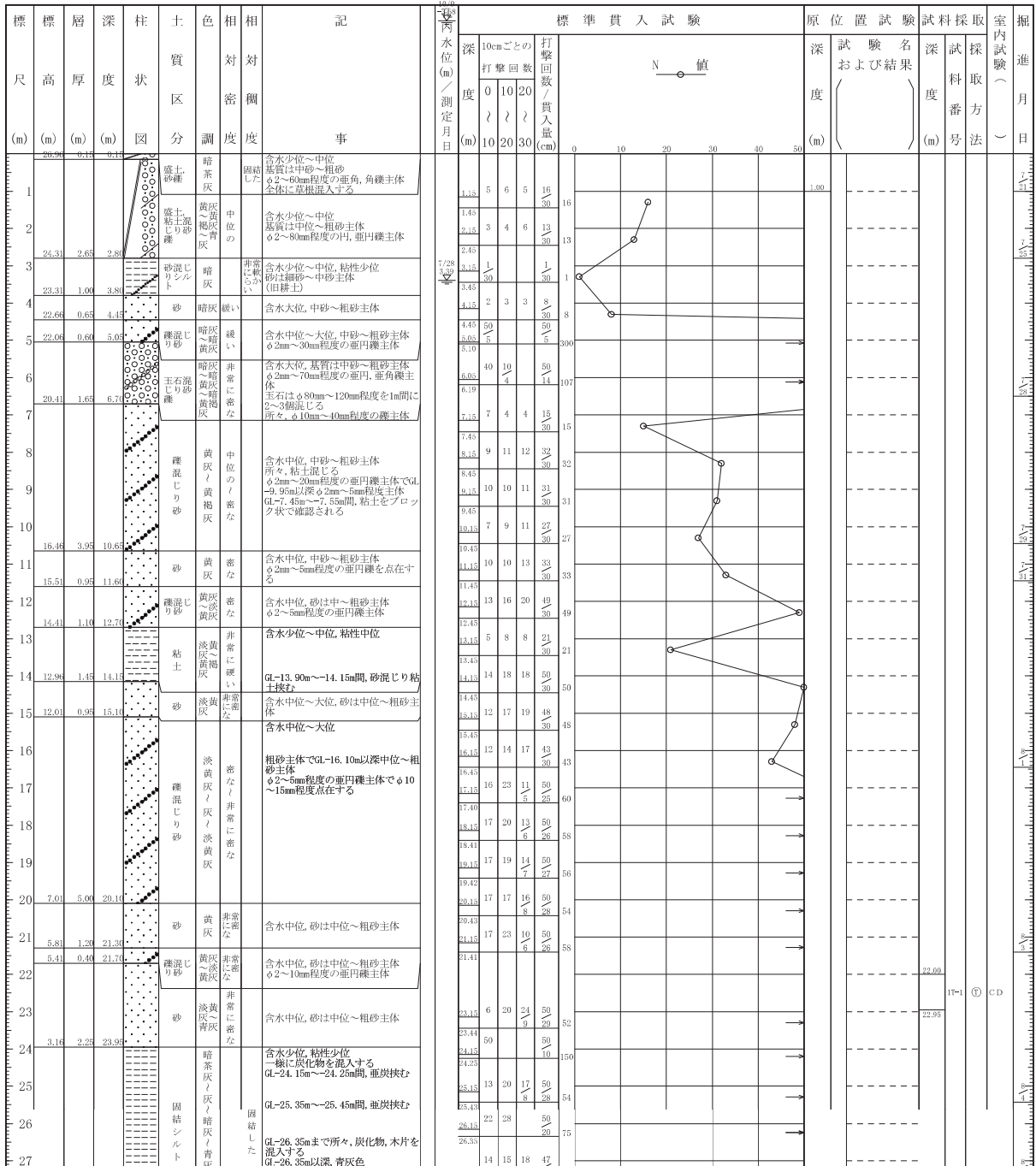
調査名

事業・工事名

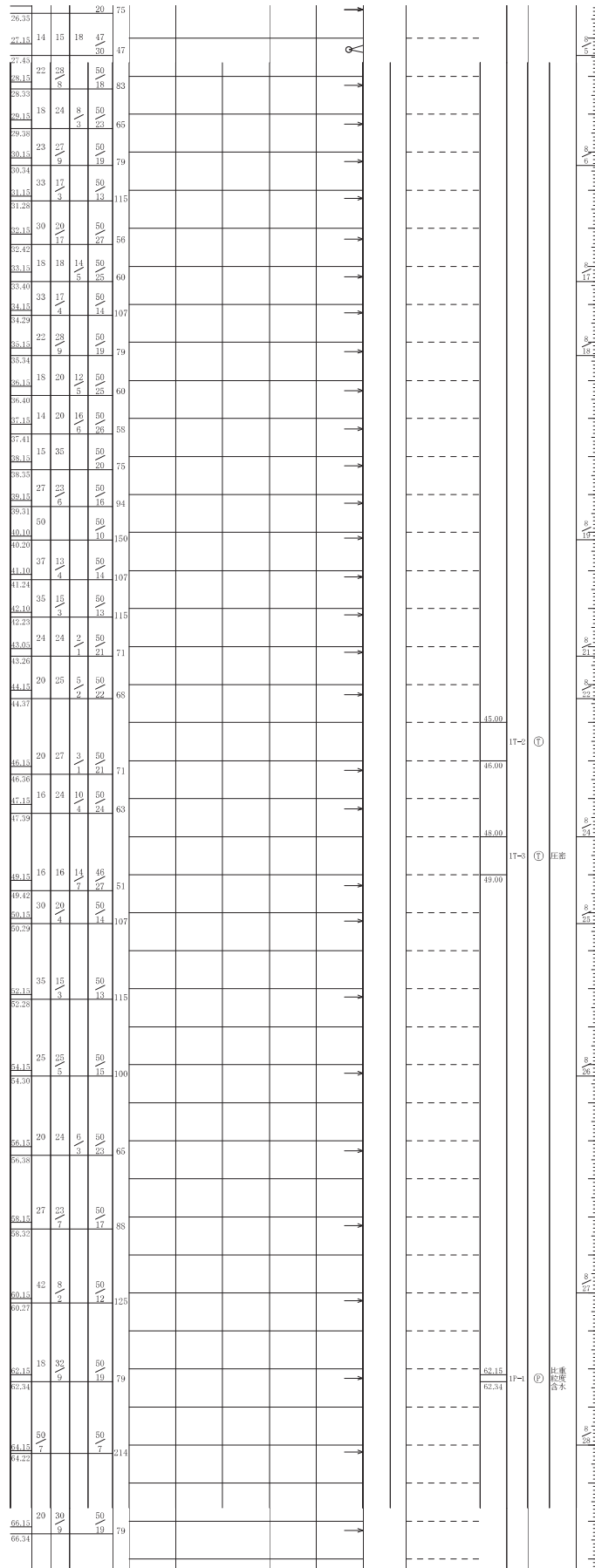
ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

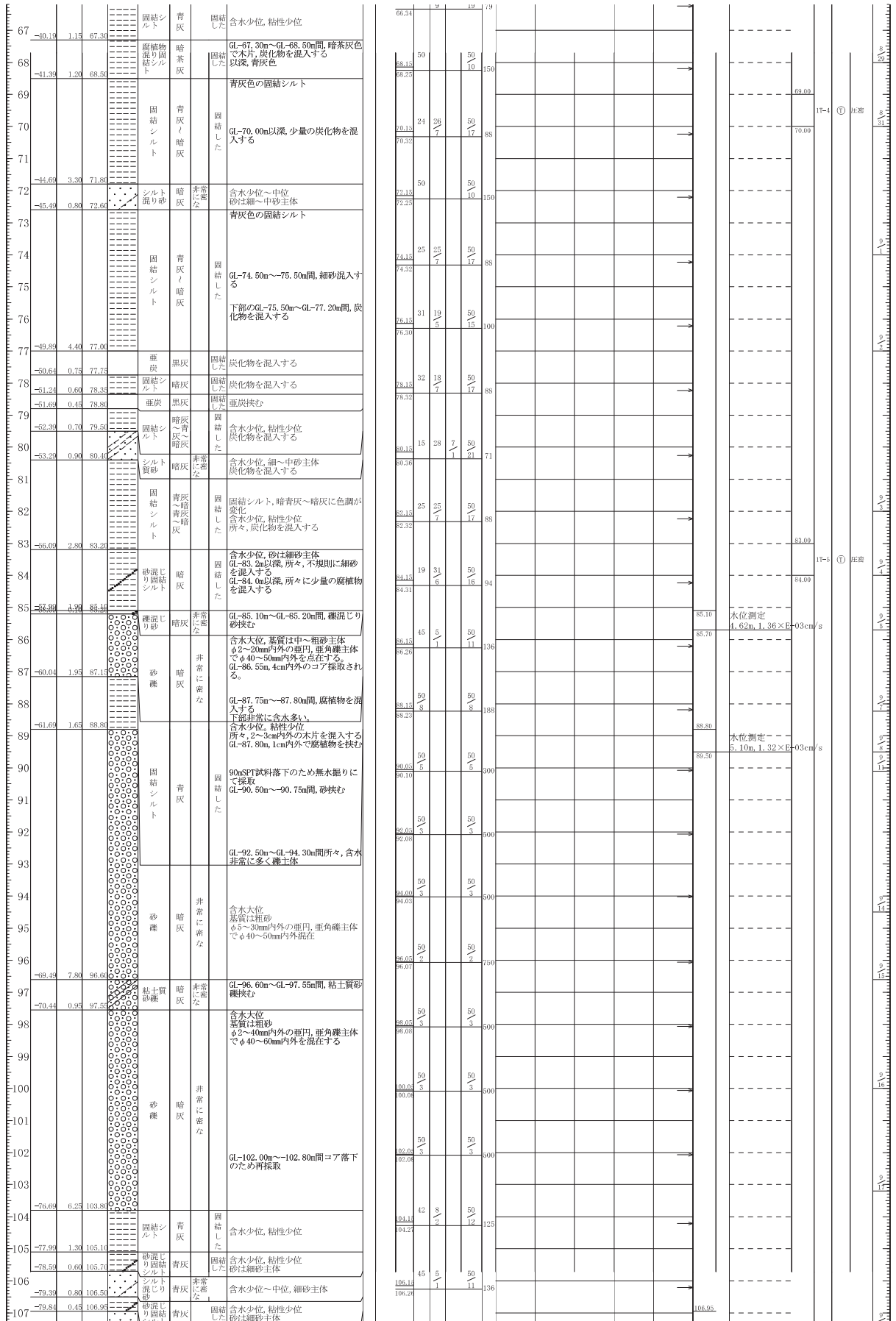
シートNo

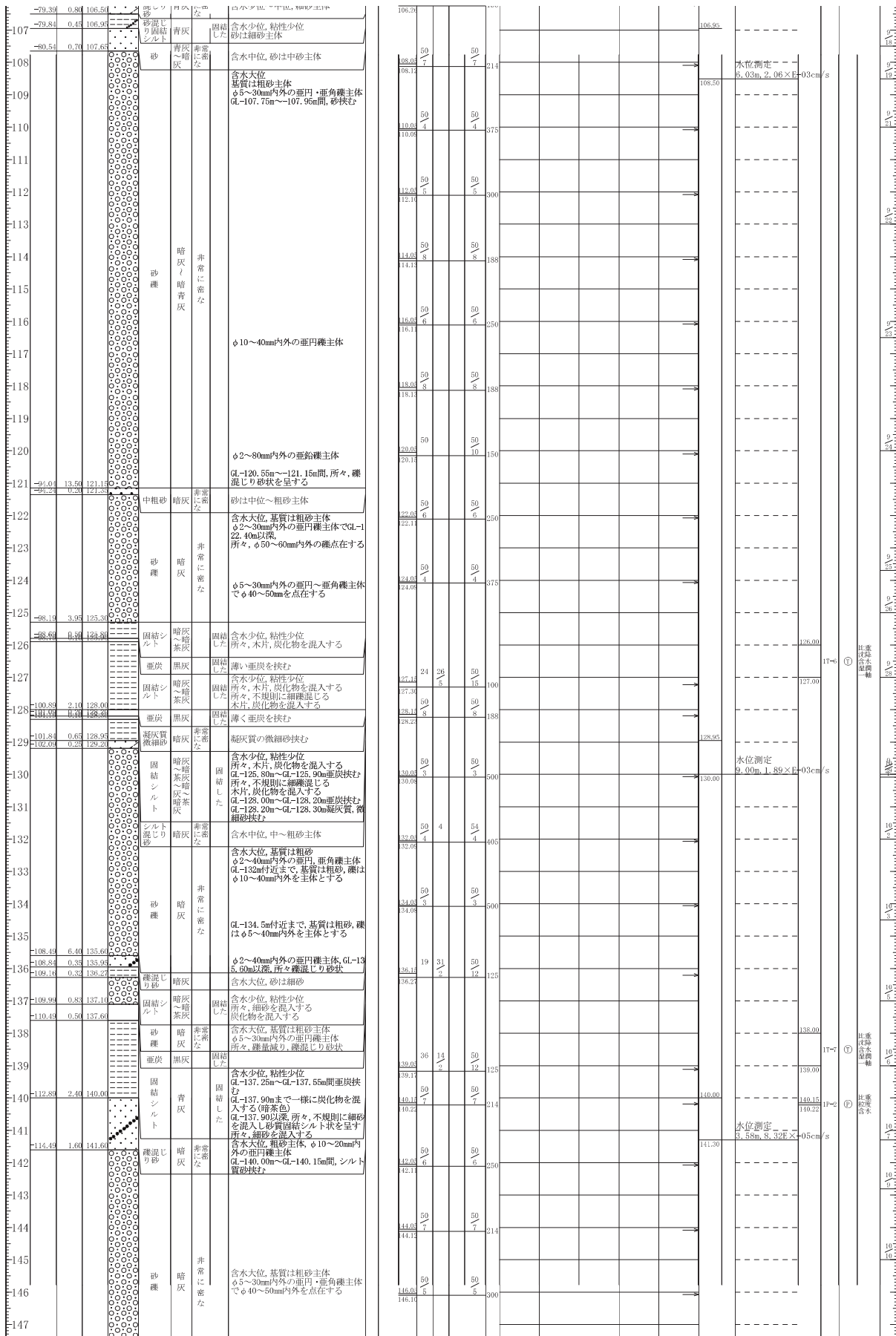
ボーリング名	調査位置			北緯	
発注機関				東経	
調査業者名	主任技師	現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	角	方	地盤勾配	使用機種	ハンマー落下用具
総掘進長	度	向	向	エンジン	ポンプ



27			シルト	灰 / 青灰 / 暗茶灰	固結した	GL-26.35mまで所々、炭化物、木片を混入する GL-26.35m以下、暗茶色垂炭片、炭化物混入
28	-1.38 -1.63	4.57 0.30	28.54 28.84	垂炭	黒炭	固結した GL-28.50m~GL-28.80m間垂炭挟む
29				暗茶灰 / 黒炭 / 青灰 / 灰 / 暗灰	固結した	GL-33.05m~33.15m間少量の炭化物を混入する 所々、極少量の腐植物を混入する
30				固結シルト	固結した	GL-33.40m~GL-33.70m間、火山灰質砂挟む(添炭様)
31				固結シルト	固結した	GL-35.40m付近、2~3cmのブロック状で腐植物を混入する
32				暗灰	固結した	含水少位~中位 砂は細~中砂主体
33	-3.29 -6.50	4.80 0.30	33.41 33.71	火山灰質砂	非常に密な	GL-38.00mまで所々、不規則にシルト質砂状を示す GL-38.25~38.35m間、腐植物を1mm程度でシーム状に挟む
34				固結シルト	固結した	含水大位 基質は中~粗砂主体 φ2~30mm程度の垂炭、垂角礫主体でφ40mm程度を点在する
35				暗灰	非常に密な	φ116mm管挿入時、GL-42.80m~43.10m間約300L漏水みられる 含水少位、粘性少位
36	-9.19	2.60	36.34	固結シルト	固結した	GL-45.30m~47.10mまで所々、木片・炭化物を混入する
37				シルト混じり砂	非常に密な	GL-49.55m以下、木片・炭化物を混入する
38				砂礫	非常に密な	含水少位、粘性少位
39	-12.29	3.10	39.41	固結シルト	固結した	GL-53.55m~53.60m間、シルト混じりの砂状(中~粗砂主体) GL-53.75m以下、木片、炭化物を混入する
40				砂	非常に密な	GL-54.25m~GL-54.50m間、垂炭挟む
41				砂	非常に密な	含水少位、粘性少位 GL-55.30m以下、木片、炭化物を混入する
42				砂	非常に密な	GL-56.95m~57.10m間垂炭挟む
43	-16.24	3.95	43.29	固結シルト	固結した	含水少位、粘性少位 青灰色を呈する固結シルト
44				青灰 / 灰 / 黄灰 / 青灰 / 灰 / 暗茶灰 / 青灰	固結した	含水少位~中位 砂は細~中砂主体
45				固結シルト	固結した	GL-62.25m~62.45m間、所々、浮石混入する (GL-62.30m~62.45m間は浮石主体) GL-62.45m~62.65m間、凝灰質シルト挟む
46				固結シルト	固結した	含水少位、粘性少位 GL-62.65m~63.35m間、所々、炭化物を混入する
47				固結シルト	固結した	GL-64.05m~GL-64.50m間、垂炭挟む
48				固結シルト	固結した	含水少位、粘性少位 青灰色の固結シルト
49				固結シルト	固結した	含水少位、粘性少位 砂は粗砂主体
50				固結シルト	固結した	含水少位、粘性少位
51				固結シルト	固結した	含水少位、粘性少位
52	-24.88	8.65	52.04	砂混じり固結シルト	固結した	含水少位、粘性少位
53				固結シルト	固結した	含水少位、粘性少位
54	-27.14 -27.33	2.25 0.23	54.23 54.50	垂炭	茶灰	固結した GL-54.25m~GL-54.50m間、垂炭挟む
55				固結シルト	固結した	含水少位、粘性少位 GL-55.30m以下、木片、炭化物を混入する
56	-29.84 -29.94	2.45 0.15	56.94 57.14	垂炭	茶灰	固結した GL-56.95m~57.10m間垂炭挟む
57				固結シルト	固結した	含水少位、粘性少位 青灰色を呈する固結シルト
58				固結シルト	固結した	含水少位~中位 砂は細~中砂主体
59				シルト混じり砂	非常に密な	GL-62.25m~62.45m間、所々、浮石混入する (GL-62.30m~62.45m間は浮石主体) GL-62.45m~62.65m間、凝灰質シルト挟む
60				固結シルト	固結した	含水少位、粘性少位 GL-62.65m~63.35m間、所々、炭化物を混入する
61				固結シルト	固結した	GL-64.05m~GL-64.50m間、垂炭挟む
62	-33.64	3.65	60.13	固結シルト	固結した	含水少位、粘性少位 青灰色の固結シルト
63	-35.54	1.90	62.63	シルト混じり砂	非常に密な	含水少位~中位 砂は細~中砂主体
64	-36.94 -37.38	1.40 0.45	64.03 64.53	固結シルト	固結した	含水少位、粘性少位 GL-62.65m~63.35m間、所々、炭化物を混入する
65	-38.44	1.05	65.53	固結シルト	固結した	GL-64.05m~GL-64.50m間、垂炭挟む
66	-39.04	0.60	66.13	シルト混じり砂	非常に密な	含水少位、粘性少位 砂は粗砂主体
67	-40.19	1.15	67.34	固結シルト	固結した	含水少位、粘性少位







(JR-33-)

ボーリング柱状図

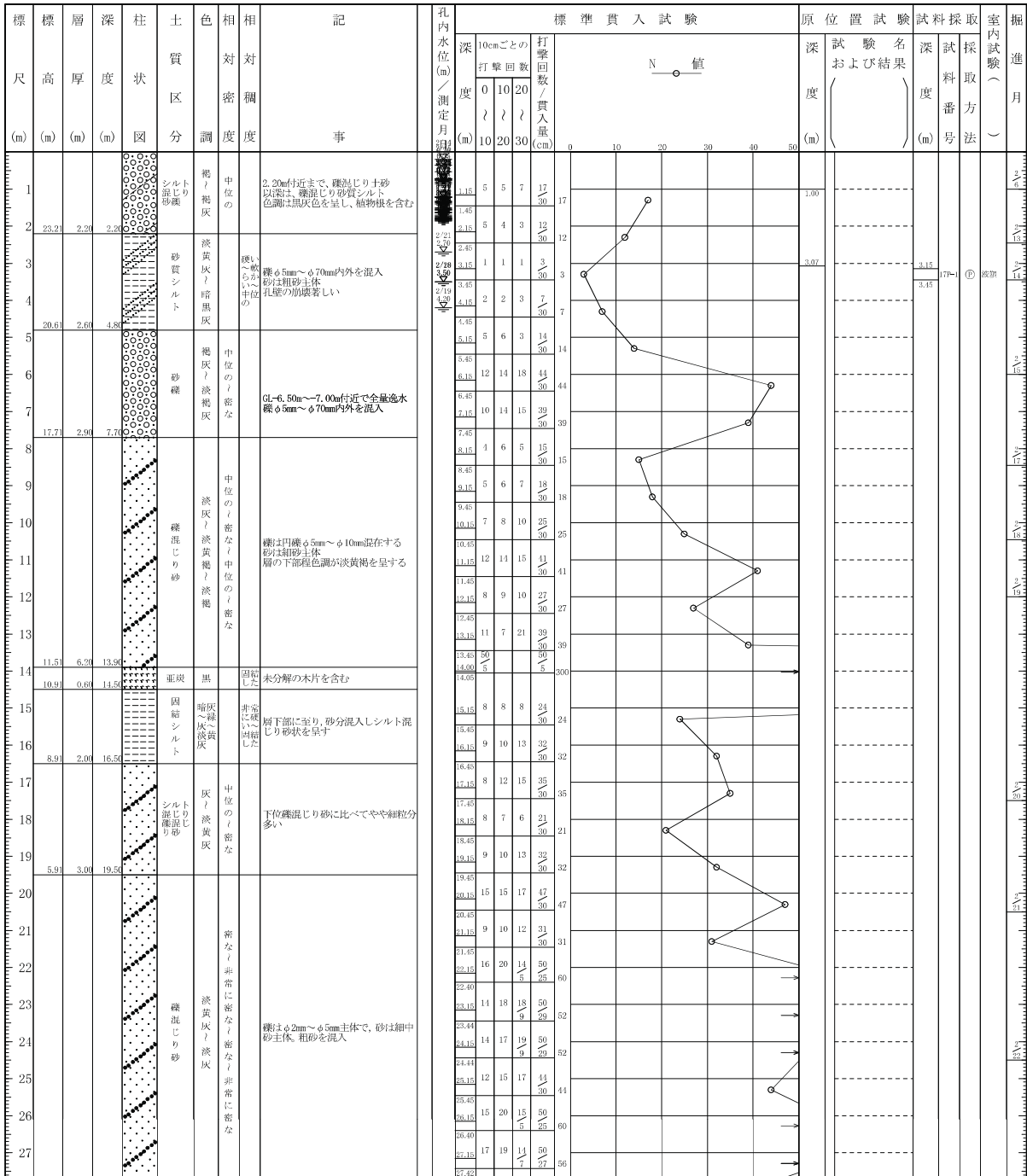
調査名

ボーリングNo																				
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

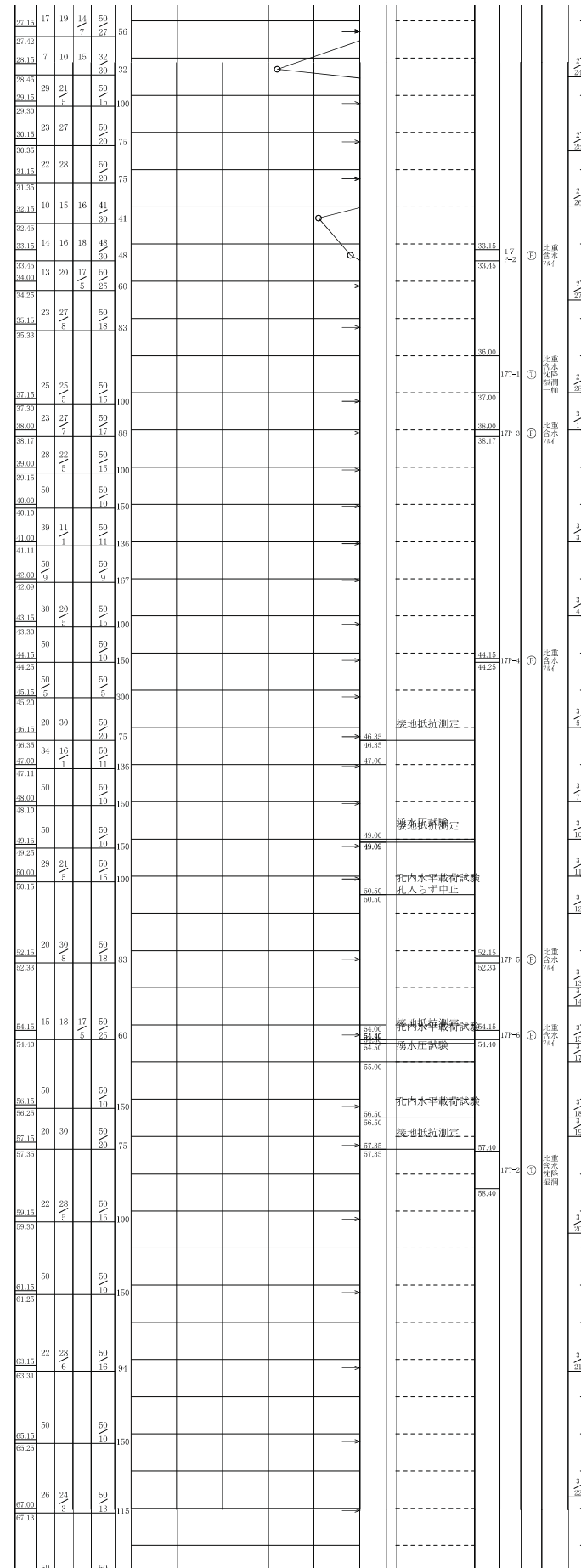
事業・工事名

シートNo

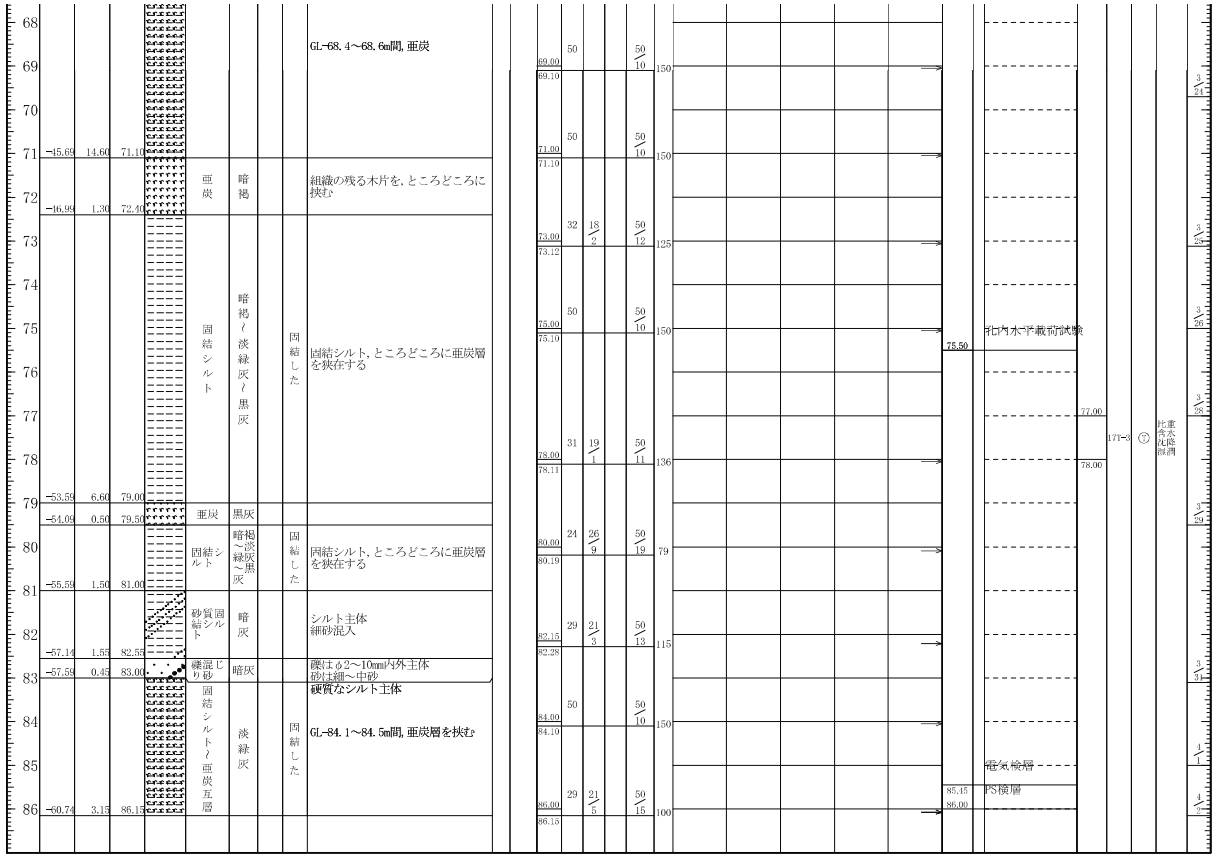
ボーリング名	調査位置														北緯	
発注機関	調査期間														東経	
調査業者名	主任技師														現代場	
孔口標高	+25.41m	角	180°	上	90°	方	北 0°	90°	地盤勾配		コ	ア	ハンマー	ボーリング	責任者	
総掘進長	86.15m	度	0°	下	0°	向	270°	西	鉛直	水平	0°	測定者	落下用具	ポンプ		
												使用機種	エンジン			



27									
28	-2.55	8.50	28.00	シルト 管砂	炭灰	密な	シルト不勻又は薄層で混入 部分を混入する部分あり		
29	-3.04	0.50	28.50	固結 シルト	炭灰				
30	-3.35	0.30	28.80	凝混じり 砂	炭灰 暗	非常に 密な	φ2mm~φ10mm程度の円礫を混入する		
31	-3.69	1.70	29.50	砂 礫	炭灰 暗	非常に 密な	最大φ50mm程度の円礫を混入する 掘削時の孔壁崩壊が著しい		
32	-4.69	1.60	32.10	固結 シルト	炭灰 暗		炭化物が混入する。		
33	-7.35	0.70	32.80	シルト 質砂	炭灰 暗	密な	砂は中粗砂を主体とし、シルトを多く混入する。		
34	-8.09	0.70	33.50	亜 炭	黒	固結 した	未分解の木片を混入する		
35	-9.15	1.10	34.60	固結 シルト	炭 緑	固結 した	GI-36.6m以降は砂礫のため試料採取 し難下		
36	-11.15	2.00	36.60						
37									
38									
39									
40				砂 礫	暗 炭		最大φ50mm程度の円礫を混入する 部分的に細砂卓越 亜炭を所々に挟む		
41									
42									
43	-17.65	6.50	43.10	凝 混 じ り 砂	暗 炭		GI-43.3~44m間、砂分卓越し凝混じり 砂となる		
44									
45	-19.75	2.10	45.20						
46							最大φ50mm程度の円礫を混入する 部分的に細砂卓越 亜炭を所々に挟む		
47							炭化物が混入する		
48									
49				砂 礫	炭 灰	非 常 に 密 な			
50									
51									
52									
53	-27.55	7.80	53.00	凝 混 じ り 砂	暗 炭	非 常 に 密 な	粗粒砂主体 礫は亜円~亜角形状の細~中礫主体		
54									
55	-29.84	2.25	55.25						
56	-31.06	1.25	56.50	亜 炭	暗 炭	固 結 した	木片多量混入する 下部に至りシルト混入多くなる		
57							全体として、亜炭層を挟む。炭緑灰 色の固結シルトから成る 強相圧で、かろうじて凹凸程度の硬 さで含水は少ない		
58									
59									
60									
61									
62									
63				固結 シルト	暗 炭	固 結 した			
64				固結 シルト	暗 炭	固 結 した			
65				固結 シルト	暗 炭	固 結 した			
66							GI-65.7~66.2m間、亜炭		
67									
68							GI-68.4~68.6m間、亜炭		



(JR-34)



(JR-34)

ボーリング柱状図

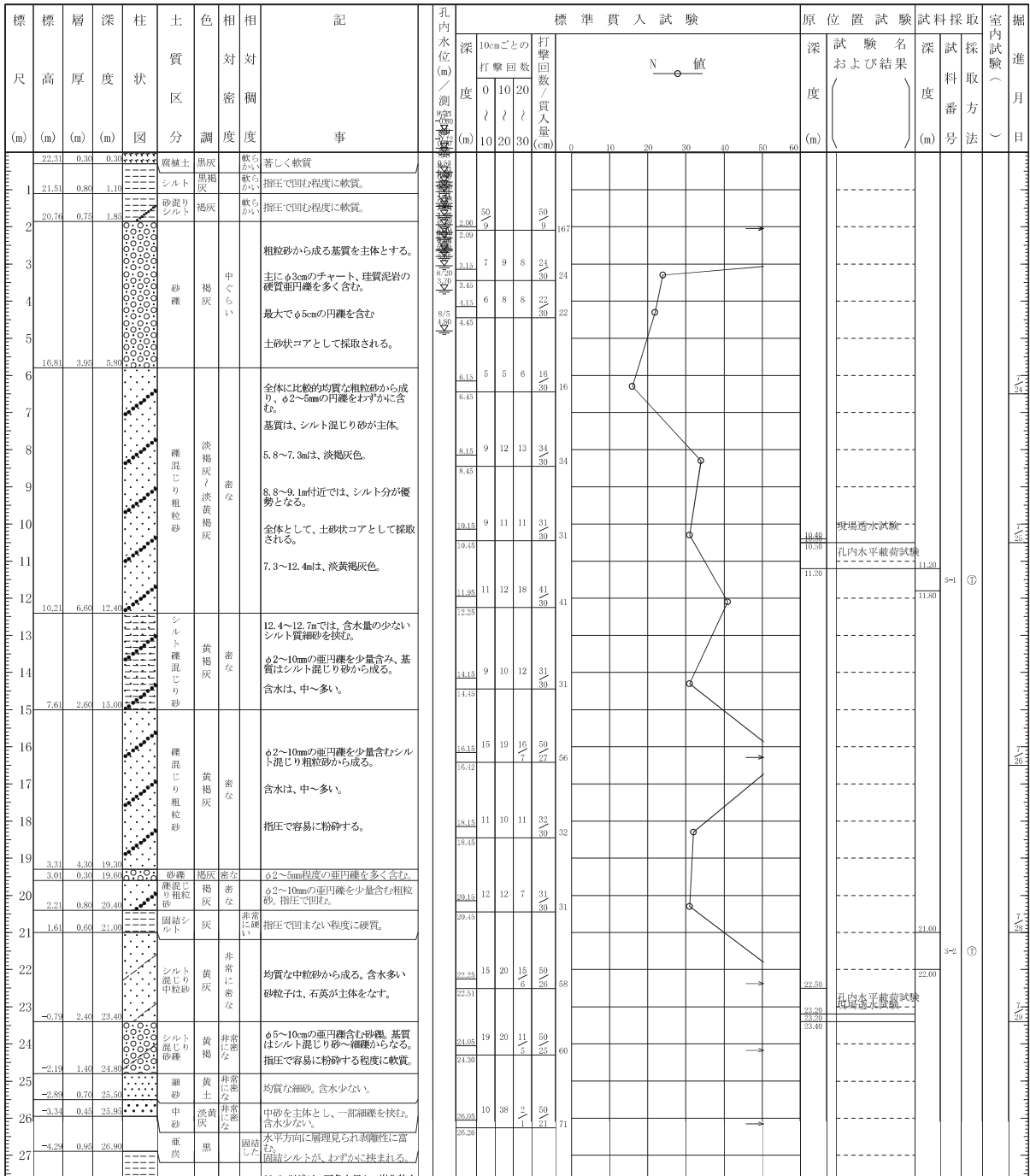
調査名 _____

事業・工事名 _____

ボーリングNo																				
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

シートNo

ボーリング名		調査位置		北緯	
発注機関				東経	
調査業者名		主任技師		現場代理人	
孔口標高	22.61m	角	180°	コ	ア
総掘進長	90.00m	度	上	鑑	定
		方	北 0°	者	者
		向	270° 西 90° 南		
		地盤勾配	鉛直		
			水平		
			0°		
				使用機種	ハンマー
				エンジン	ポンプ



(JR-35)

ボーリング柱状図

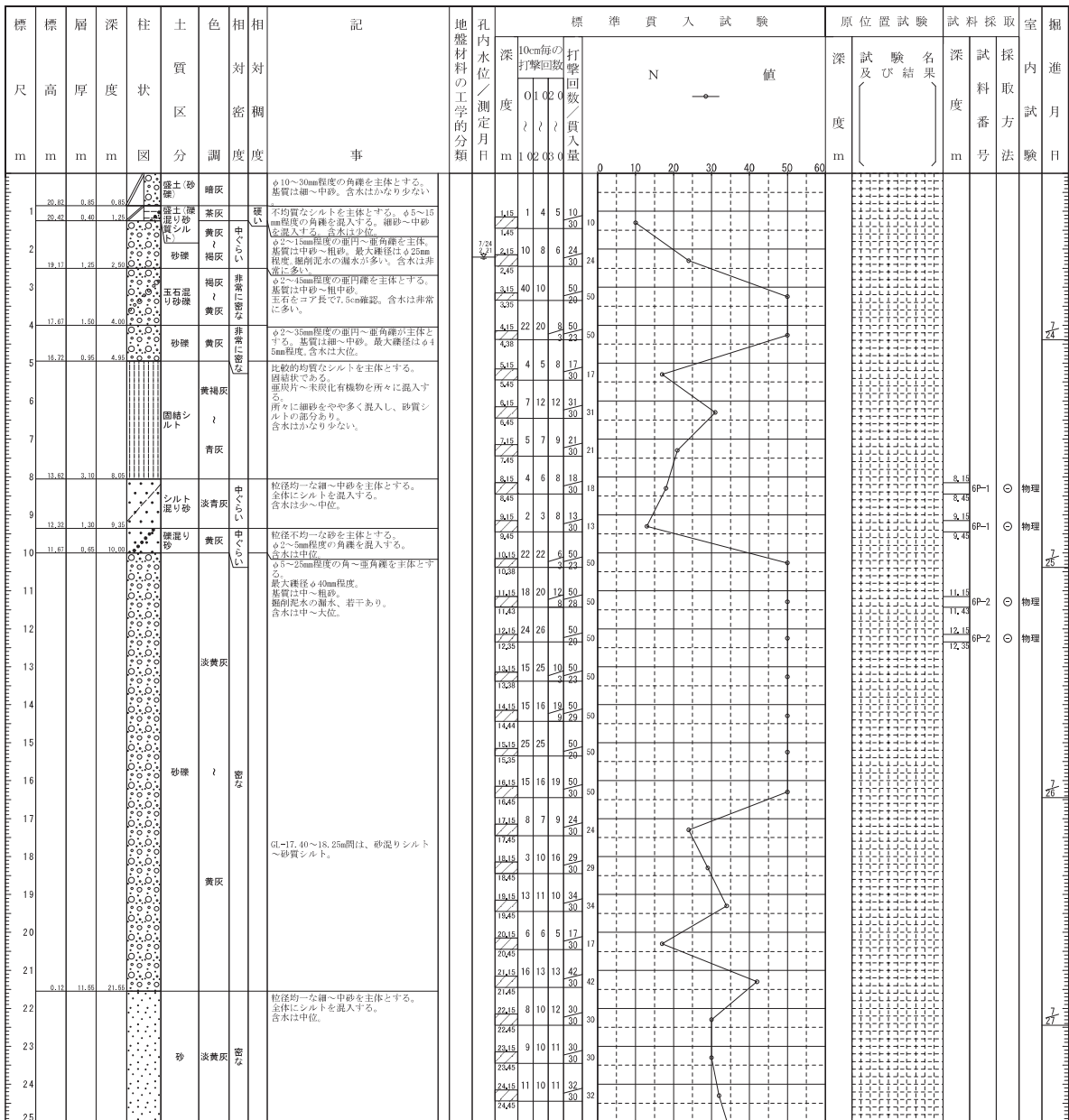
調査名 _____

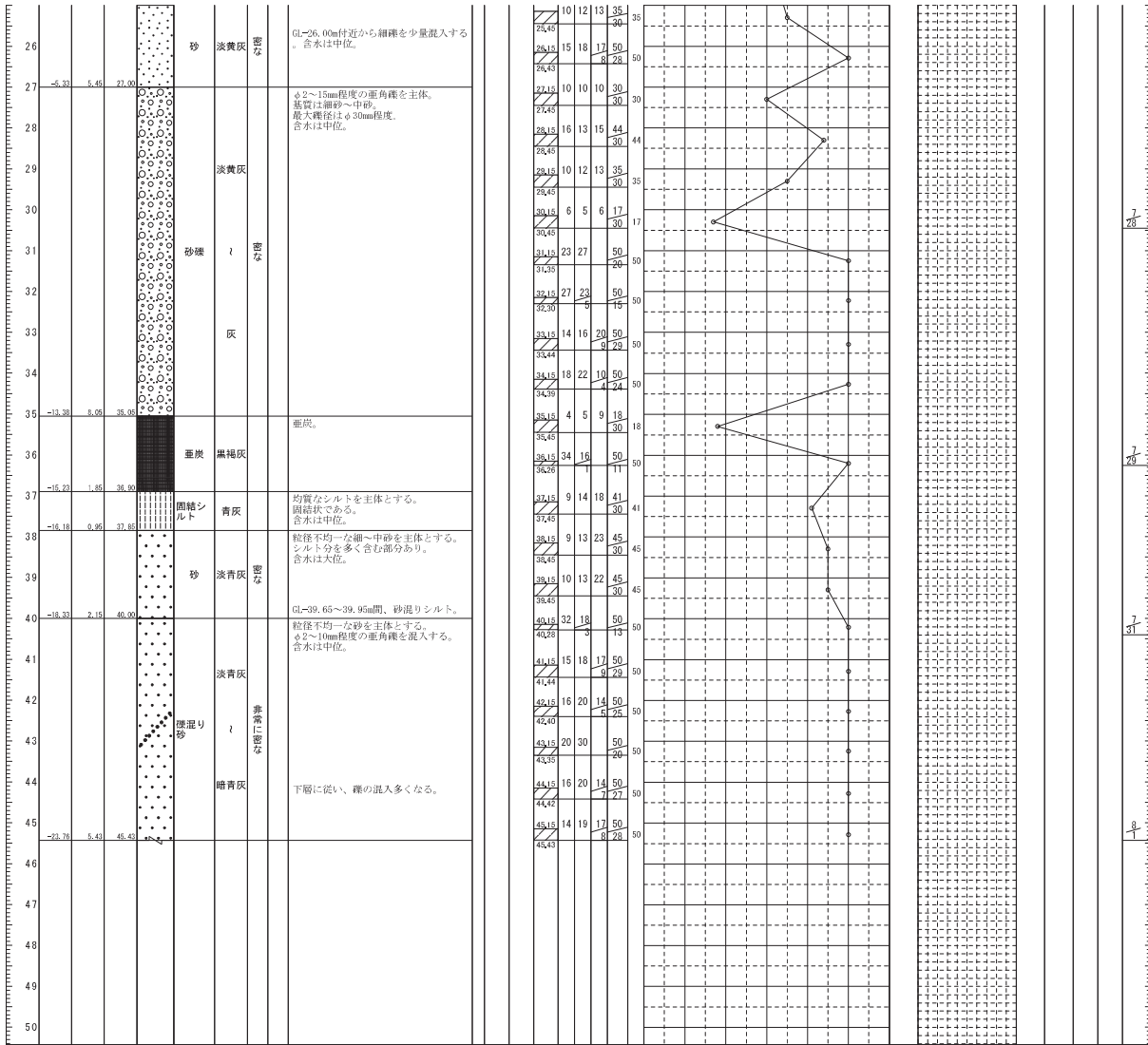
事業・工事名 _____

ボーリングNo. _____

シートNo. _____

ボーリング名	調査位置	北緯
発注機関	調査期間	東経
調査業者名	主任技師	現代理人
孔口標高 TP 21.67m	角 度	口 定 者
総掘進長 45.43m	方 向	ボーリング責任者
	地盤勾配	ハンマ
	使用機種	落下用
	エンジン	ポンプ





ボーリング柱状図

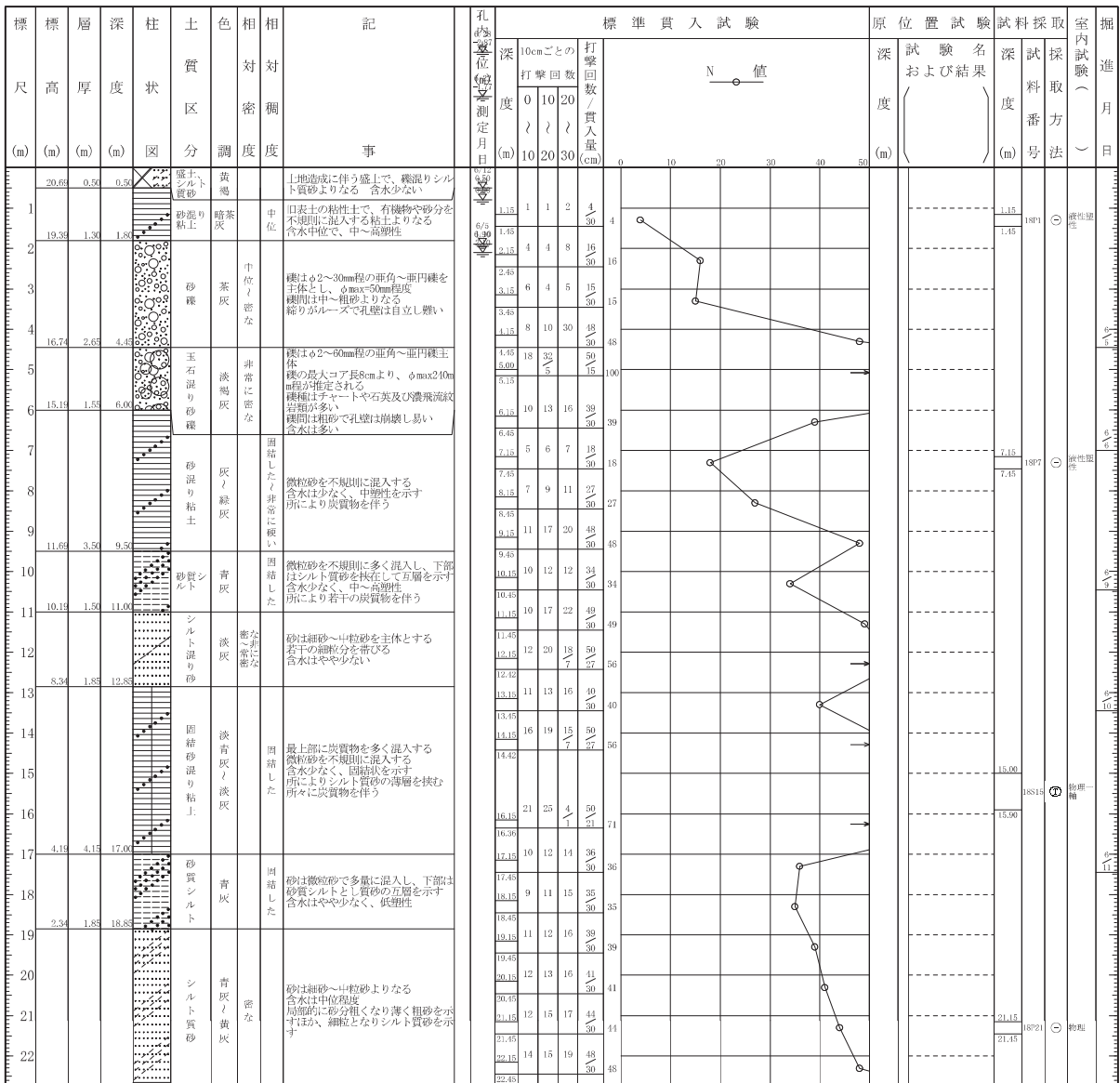
調査名

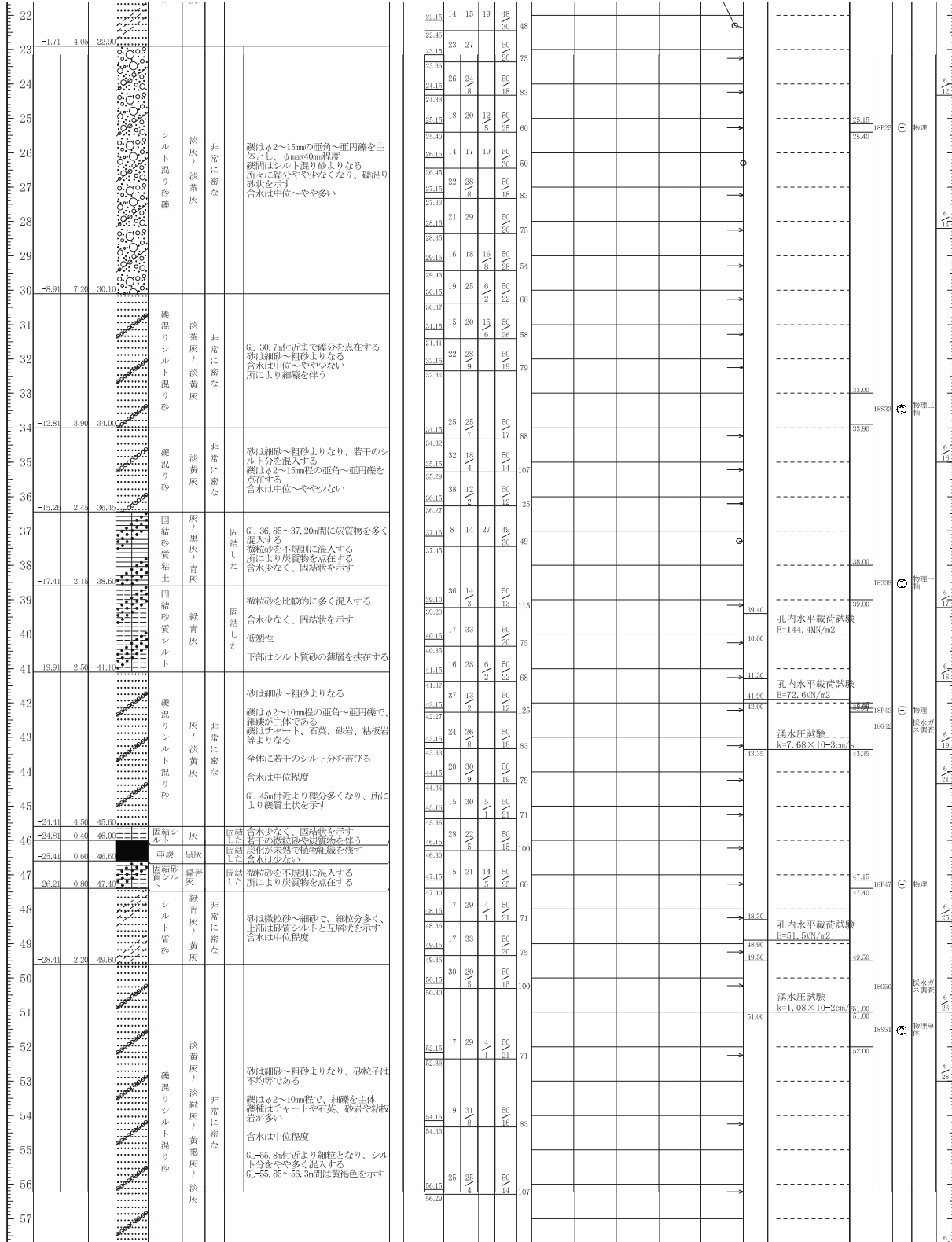
ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

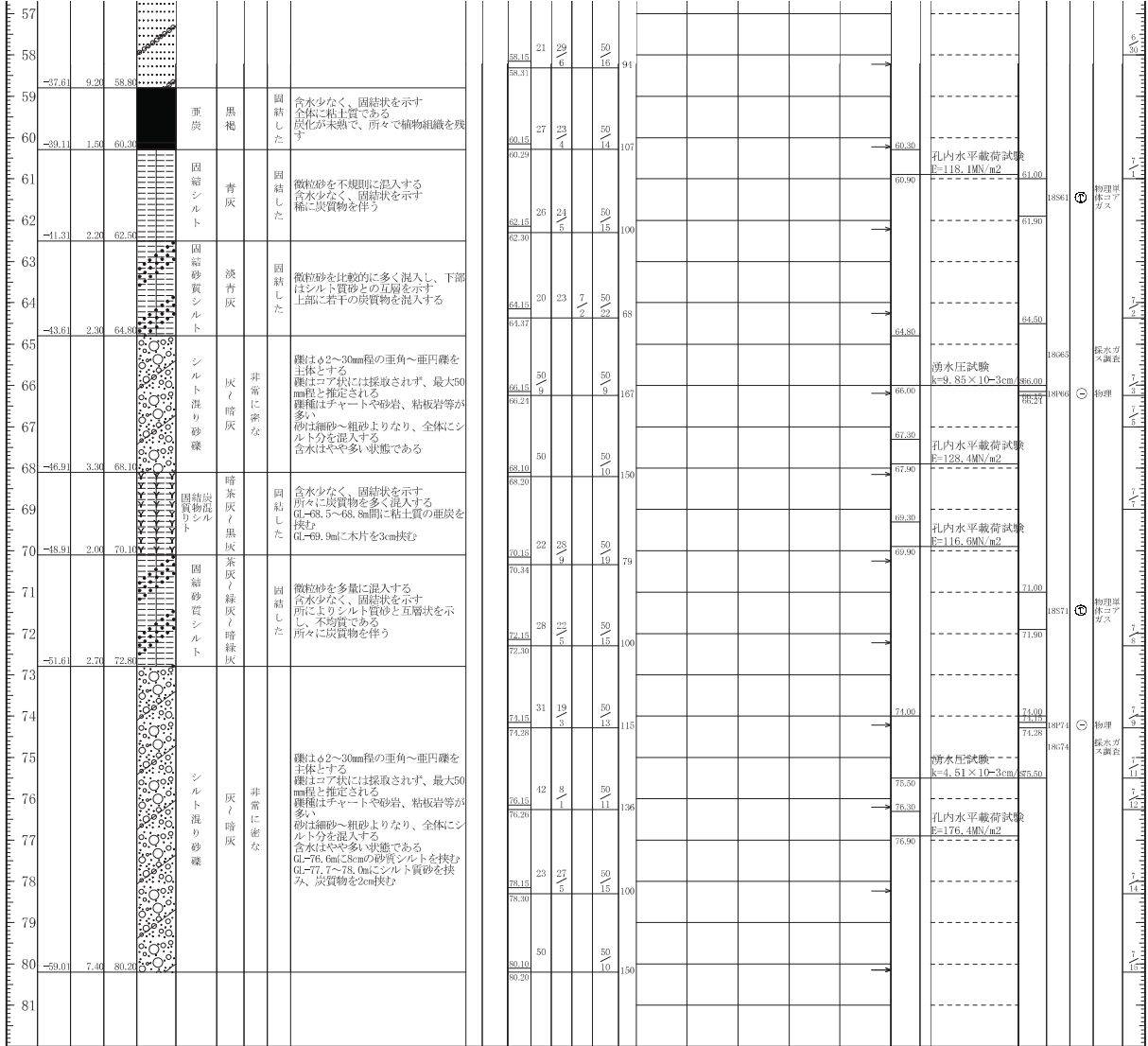
事業・工事名

シートNo

ボーリング名	調査位置			北緯
発注機関	調査期間			東経
調査業者名	主任技師	現代場	コア	ボーリング責任者
孔口標高	H=21.19m	角	180°	ハンマー
総掘進長	80.20m	度	0°	落下用具
		方	北 0°	ポンプ
		向	東 90°	
		地盤勾配	鉛直 0°	
		使用機種	試験機	
			エンジン	







(JR-37)

ボーリング柱状図

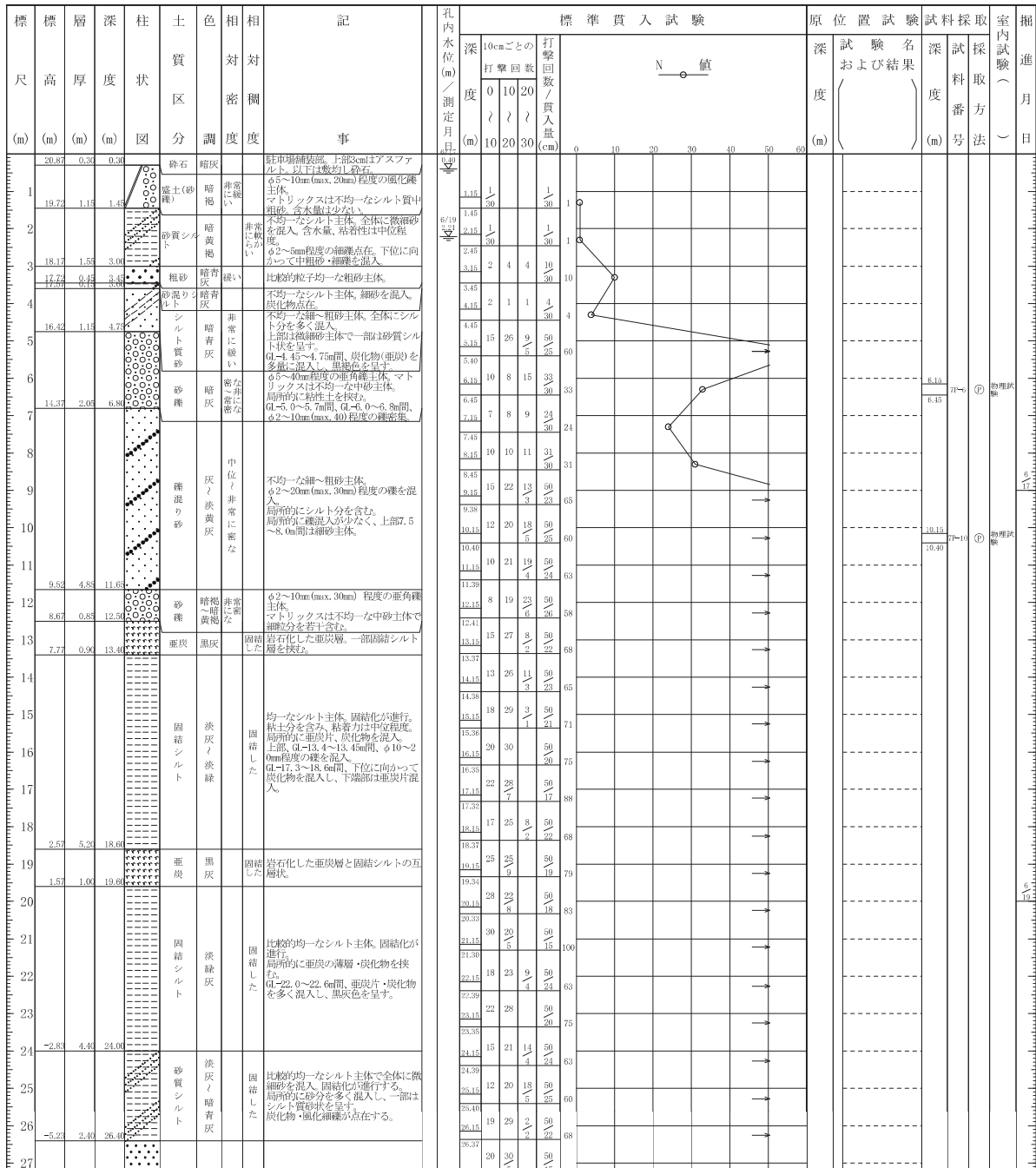
調査名

ボーリングNo

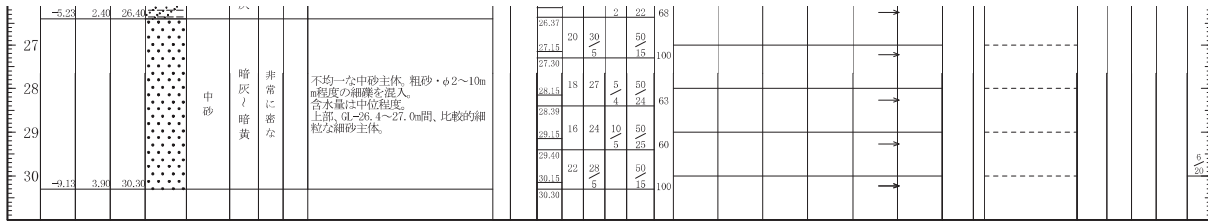
事業・工事名

シートNo

Header information table including borehole name, location, agency, date, and personnel details.



(JR-38)



ボーリング柱状図

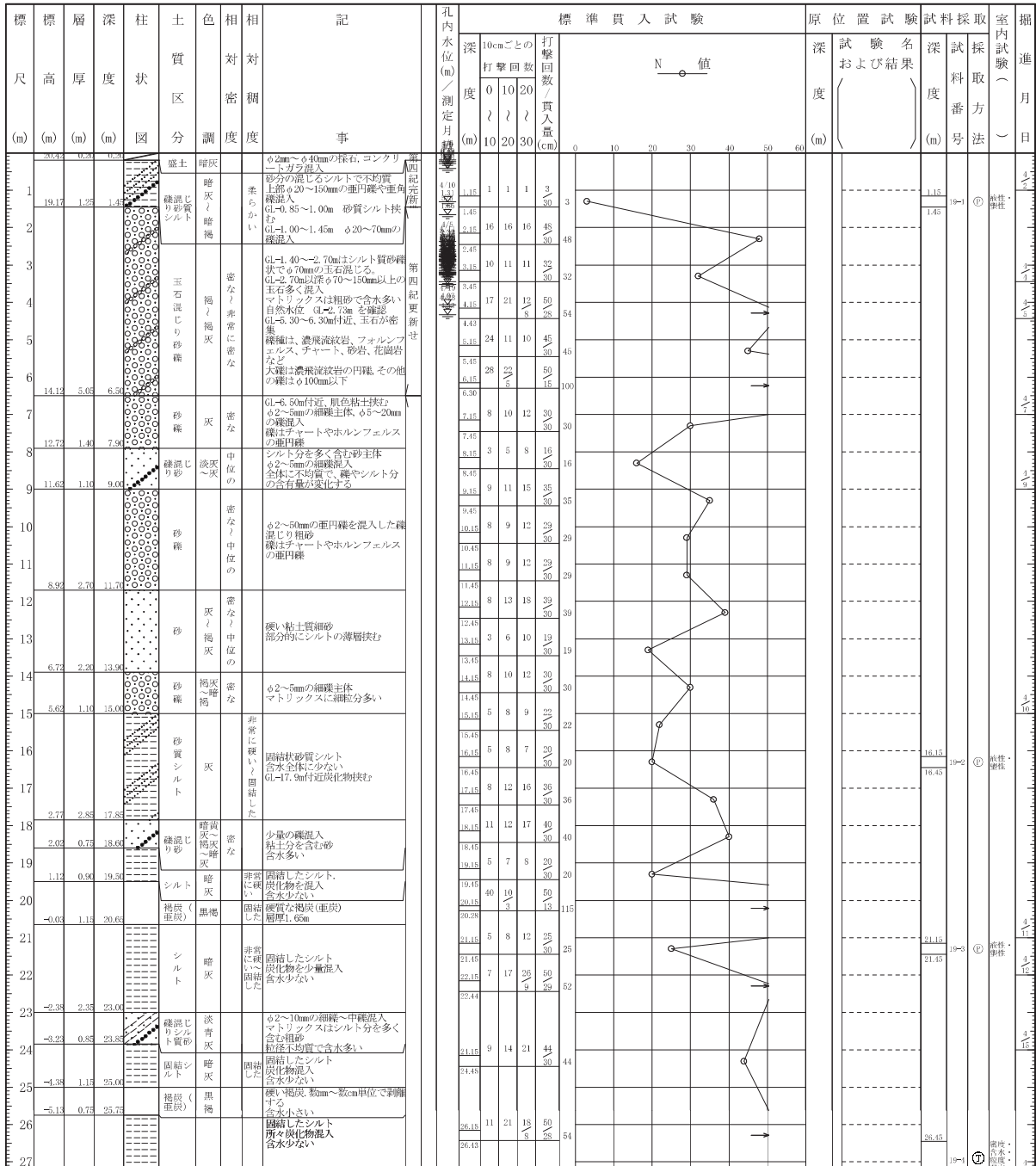
調査名

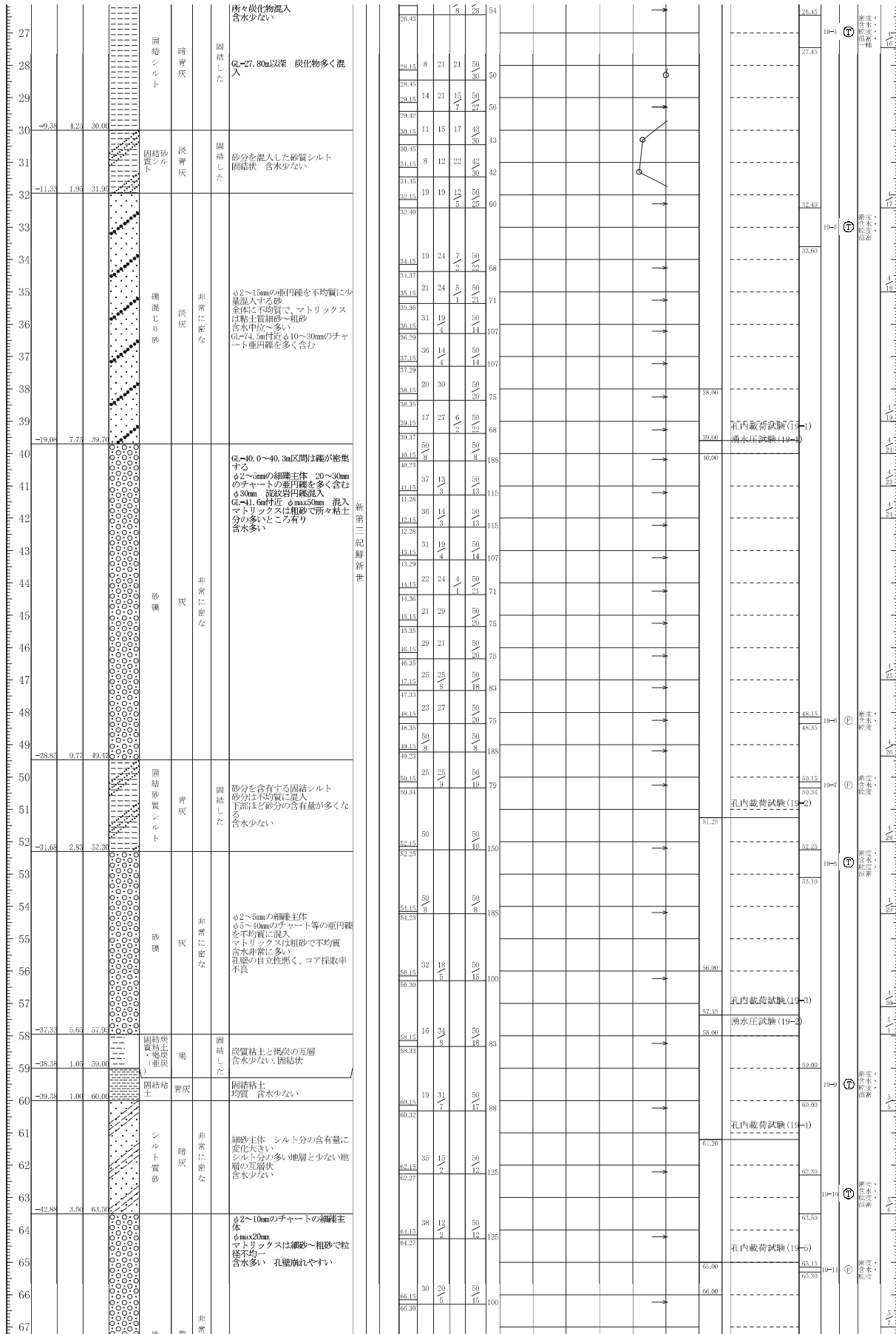
ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

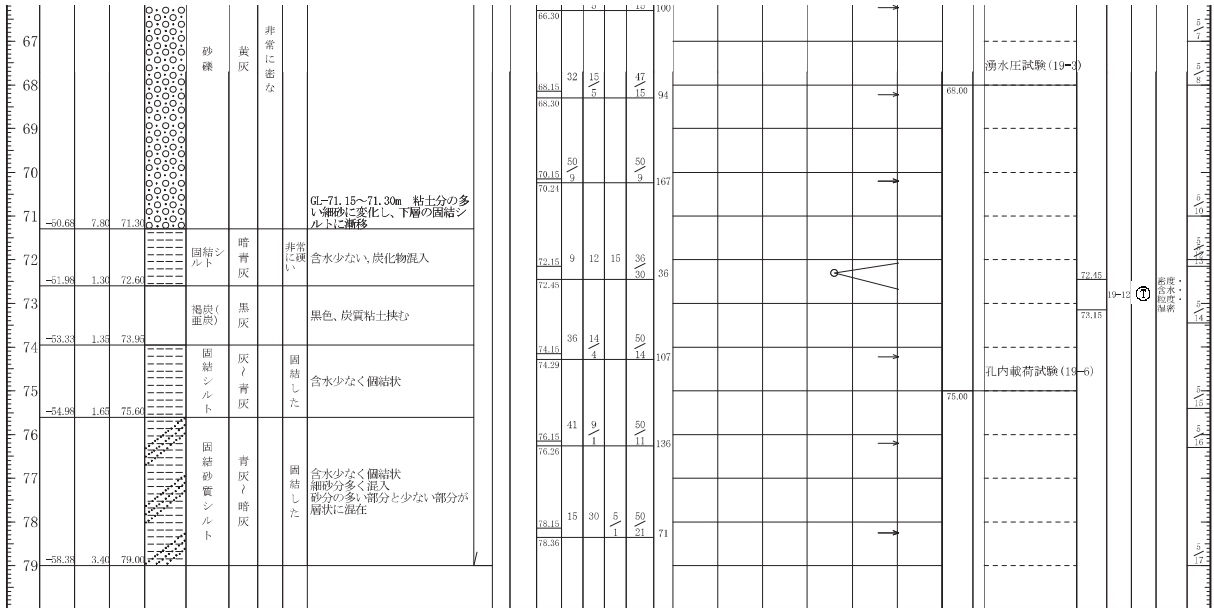
シートNo

ボーリング名	調査位置				北緯					
発注機関	調査期間				東経					
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者				
孔口標高	20.620m	角	180°上 90°下 0°	方	北0° 270°西 180°南 90°東	地盤勾配	水平0°	使用機種	試錐機	ハンマー 落下用具
総掘進長	79.00m	度		向		鉛直		機種	エンジン	ポンプ





(JR-39)



(JR-39)

ボーリング柱状図

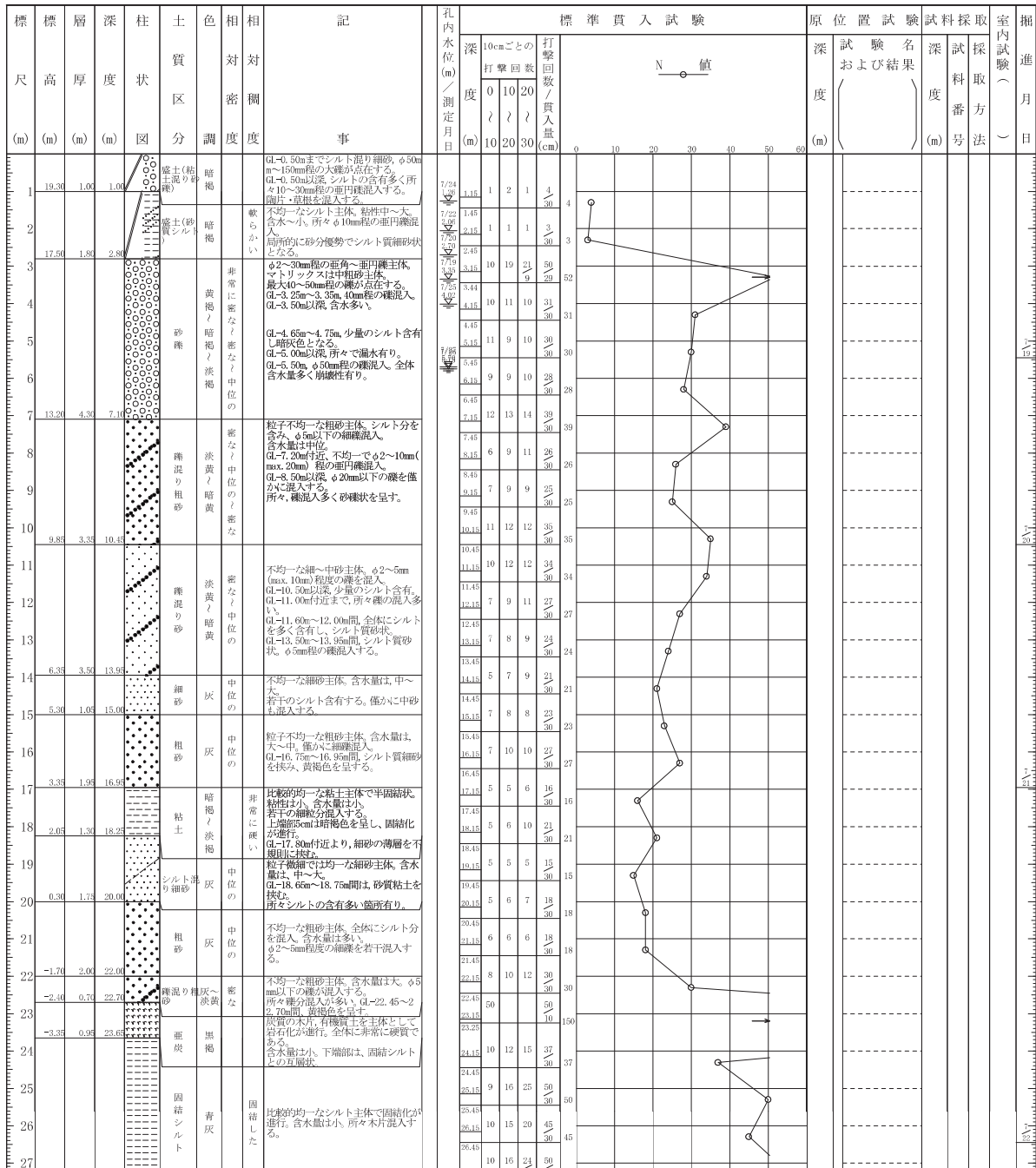
調査名

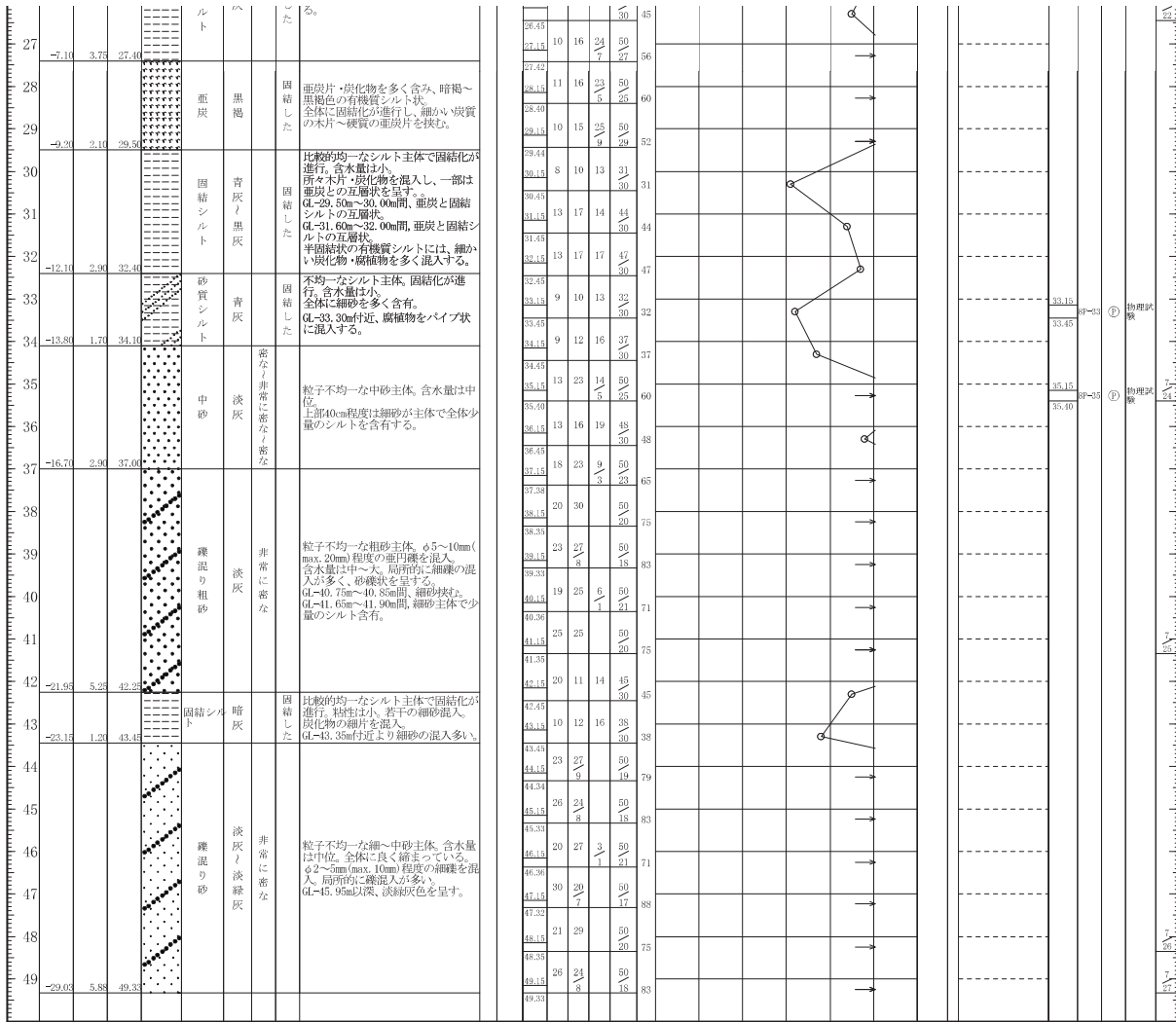
ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

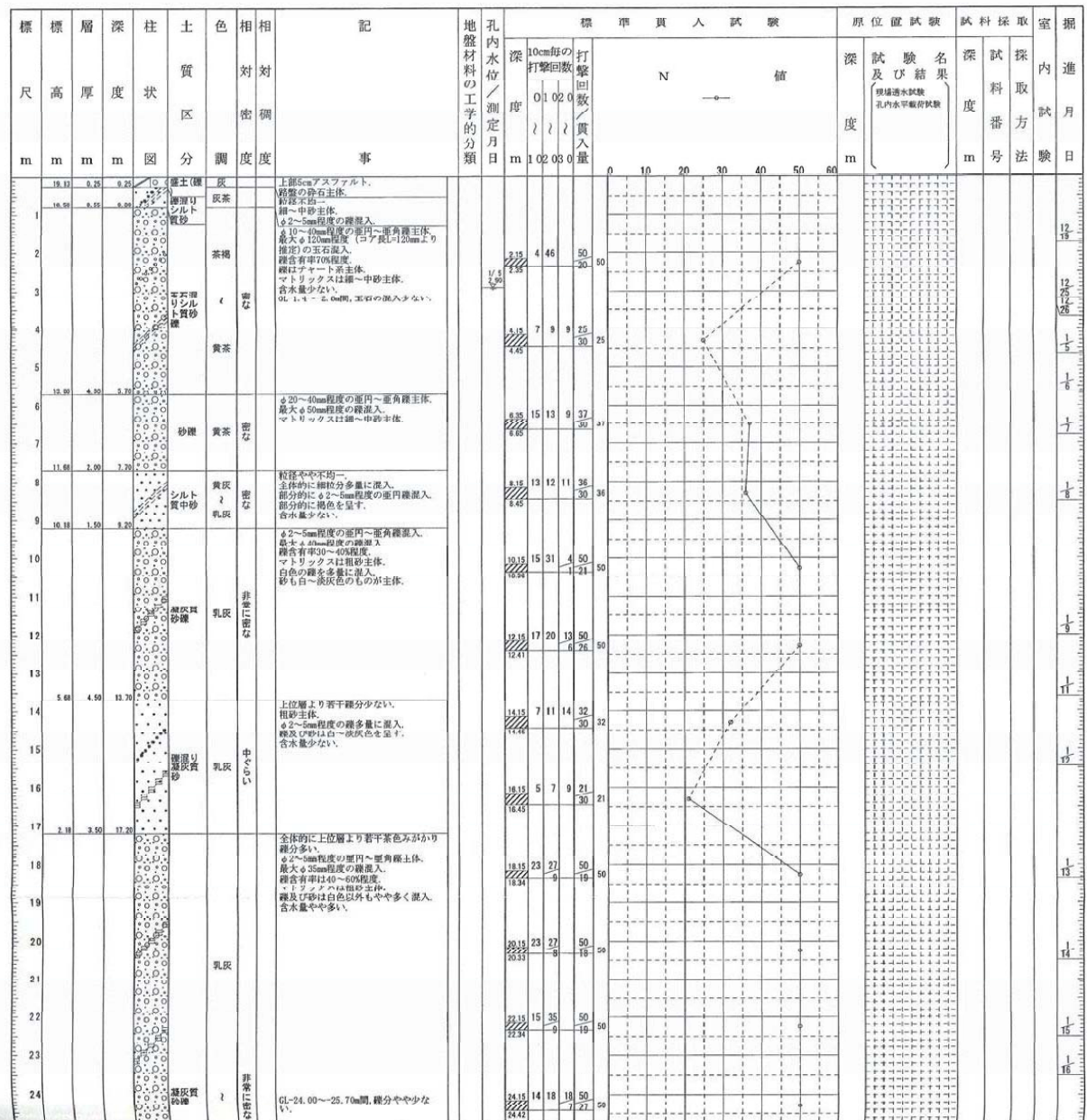
Header table for the borehole log, including fields for borehole name, location, date, and equipment.

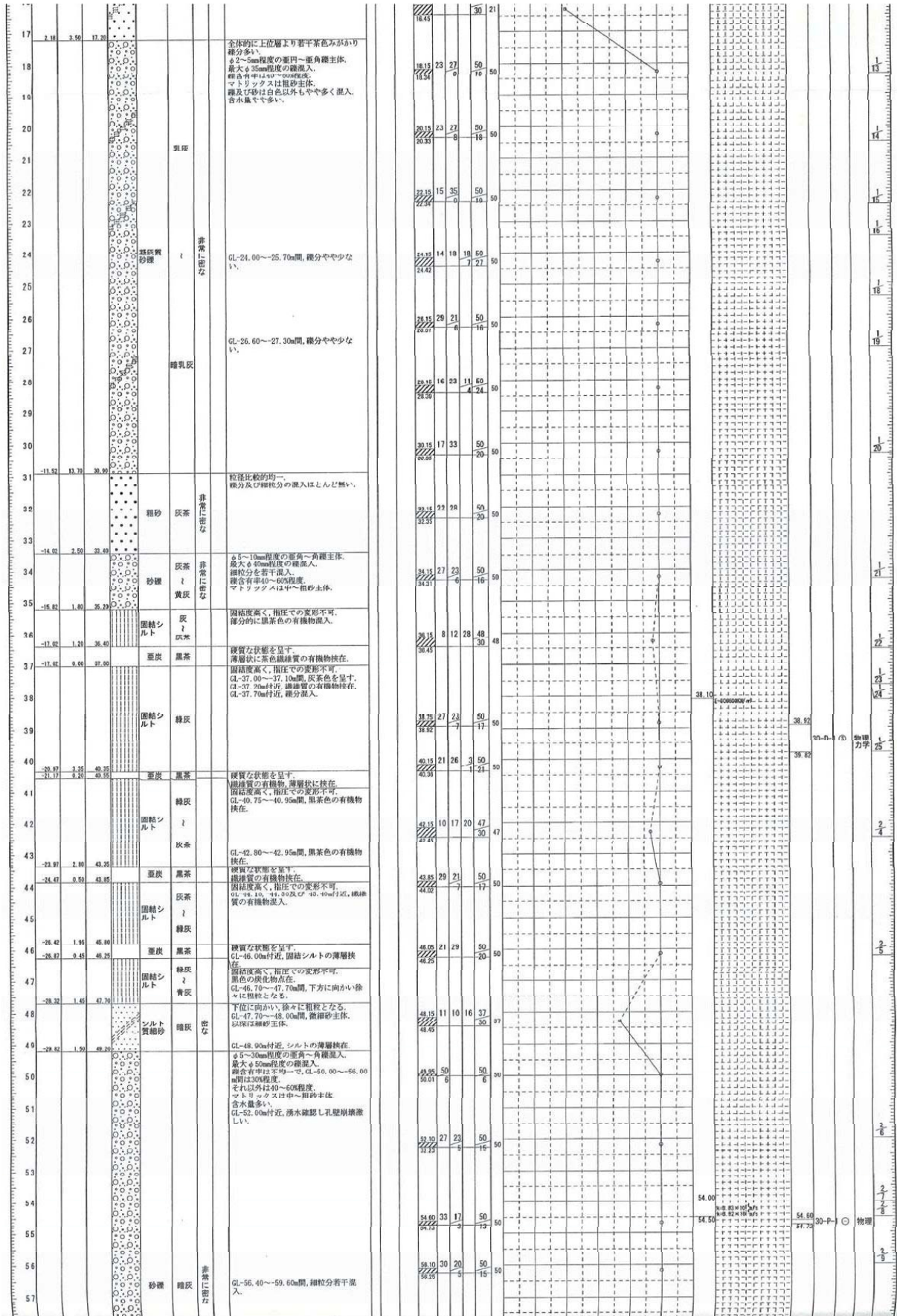


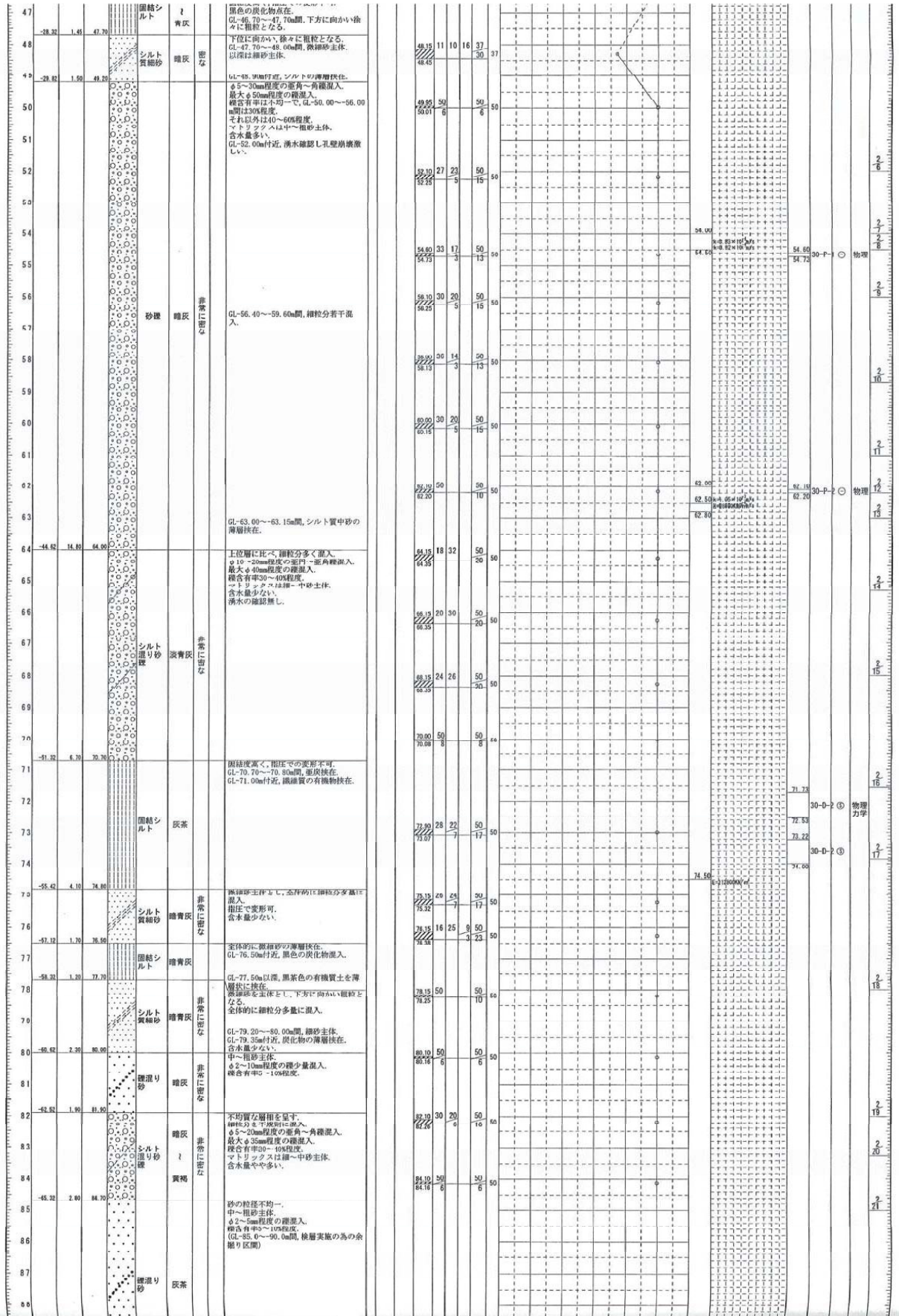


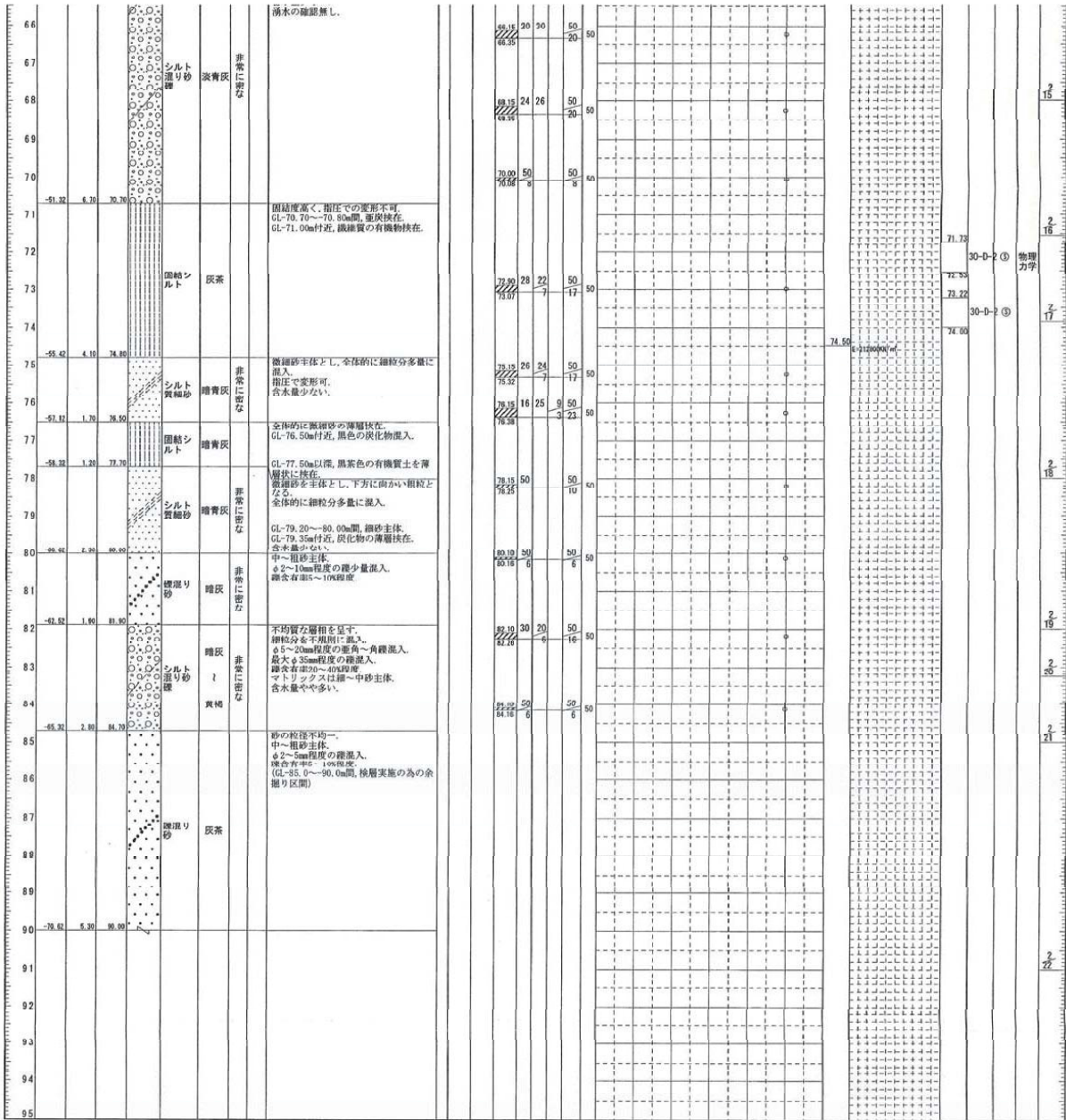
ボーリング柱状図

調査名		ボーリングNo.	
事業・工事名		シートNo.	
ボーリング名	調査位置	北緯	東経
発注機関	調査期間	ハンマー 落下用具	
調査業者名	主任技術者	専門技術者	ボーリング 責任者
孔口標高 TP 19.38m	角 180° 上 90° ト 0° 度	方 北 0° 西 270° 東 90° 南 180° 向	地盤 勾配
総掘進長 90.00m	使用 機種	試錐機 エンジン	ポンプ









(注) 1. 試料採取方法の記号

- ① シンウォールリッパによる試料
- ② デニソンサンブラーによる試料
- ③ 貫入試験器による試料
- ④ サンドサンブラーによる試料
- ⑤ コア試料
- ⑥ コアバックによる試料
- ⑦ リジットサンブラーによる試料

2. 試料採取深度と採取比

3.20
3.70

3.20~3.70は試料採取深度(m)

3. 原位置試験名の記号

- Ⓔ 電気検層
- Ⓕ P波速度検層
- Ⓖ S波速度検層
- Ⓗ 特殊トロンシオンPS検層
- Ⓖ キヤリハ-検層
- Ⓖ 密度検層
- Ⓖ 温度検層
- Ⓖ ルジオン試験
- Ⓖ 現場選水試験
- Ⓖ 孔内水平載荷試験

調査名

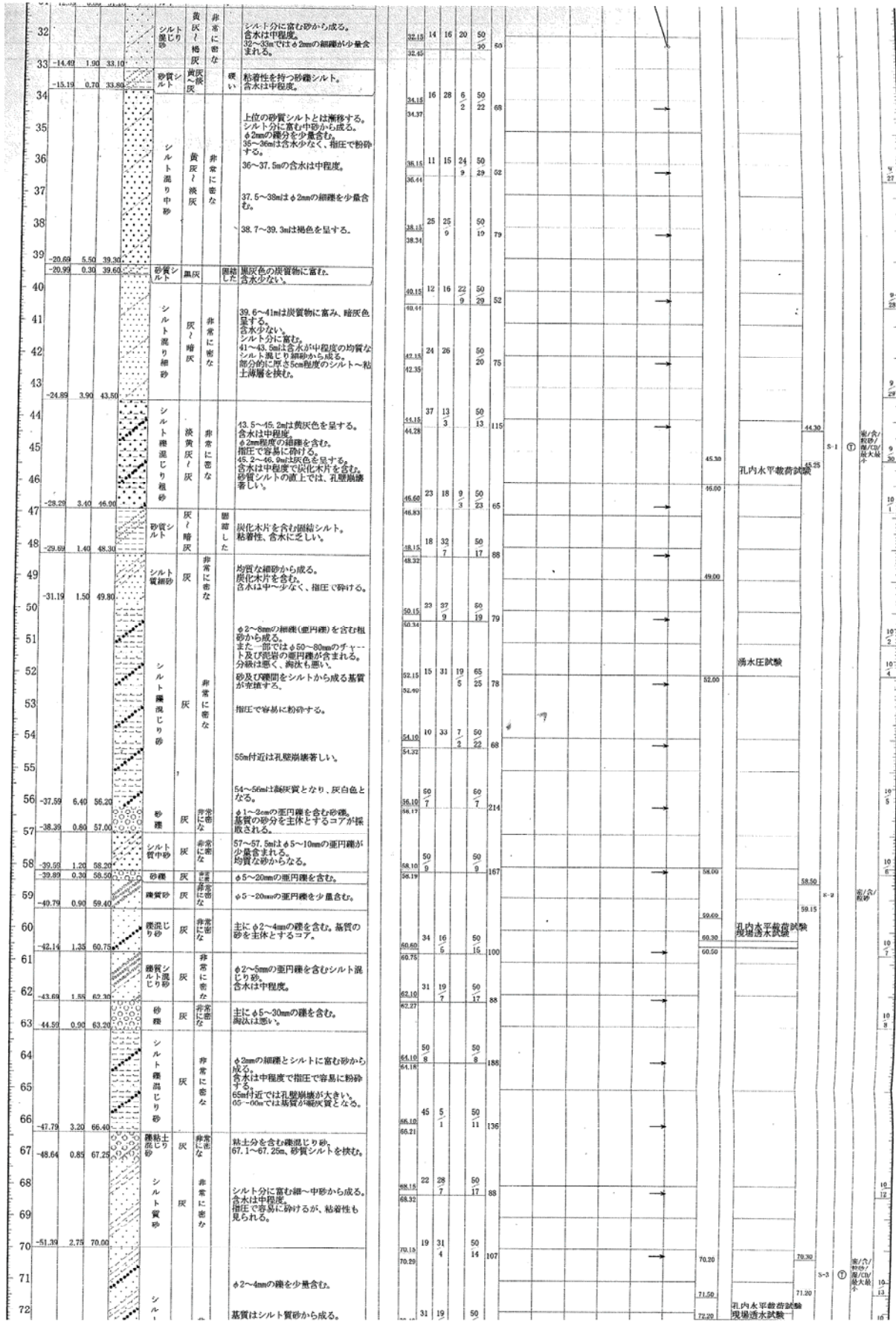
ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	調査位置			北緯	
発注機関				東経	
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア確定者
孔口標高	18.610m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°
総掘進長	85.00m	度	0°	地盤勾配	鉛直 0° 水平 0°
				使用機種	ハンマー 落下用具
				試験機	ポンプ
				エンジン	

標尺 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色相対照	相対密度	相対含水量	記	標準貫入試験				原位置試験 深さ (m)	試験名 および結果	試料採取 深さ (m)	採取 番号	室内試験 採取方法	掘進 月日		
								深さ (m)	10cmごとの 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	値								
18.51	0.10		砕石	褐色			砕石から成る。	10	10	20									
17.01	0.60		シルト質細砂	褐色			φ5~20mmの垂角礫から成る盛土。 0.7~0.8mmは暗灰色を呈し、有機質土に富む。 均質な細砂とシルトの基質から成る。	10	10	20									
16.71	1.20		中砂	褐色			指圧で容易に叩く中砂。 φ2~20mmの垂角~重円礫を主体とする砂礫。 泥岩、チャートからなる礫を30%程度含む。	3	9	10	22								
14.91	1.40		玉石混り砂礫	褐色			チャート、閃緑岩の硬質玉石を含む。	5	7	17	29								
14.61	0.30		砂礫	褐色			φ5~20mmのチャート、凝灰岩等の硬質重円礫を含む砂礫から成る。	5	7	17	29								
10.61	4.00		シルト質泥炭	褐色			層間は砂~シルトを主体とする基質から成る。 全体として均質が悪い。 6~8mmの基質は淡黄灰~淡灰色を呈し、凝灰質分に富む。 孔隙崩壊が著しい。	16	13	12	41								
			シルト質泥炭	褐色			孔隙崩壊が著しい。 主にφ2~5mmの重円礫を少量含むシルト混じり粗砂から成る。 基質は凝灰質シルトに富む。 全体として礫の分級均質が悪い。 含水は中程度の粗砂。	8	8	9	25								
			シルト質泥炭	褐色			10~15mではφ2~5mm程度の細礫がほぼ均質に含まれる。 基質は凝灰質分を含むシルトから成る。	9	11	12	32								
			シルト質泥炭	褐色			15.0~15.2mでは淡黄灰色の凝灰質シルトを挟む。 15.2~17.5mではφ2mm程度の細礫(泥岩、チャート、粗粒石英)を含む粗砂から成り、基質はシルトに富む。	11	13	16	40								
			シルト質泥炭	褐色			含水は中程度の粗砂。 19.8mでは基質が褐色となる。 φ2~5mmの細礫(チャート、泥岩、粗粒石英)を含む粗砂から成り、基質は黄灰色のシルトに富む。	5	6	7	18								
			シルト質泥炭	褐色			含水中~少程度のほぼ固結した粘土。粘着性は小さい。 砂~シルト分を含み、粘着性を持つ粘土。 24~24.35mは褐色を呈する。	7	8	12	27								
			粘土混じりシルト	暗灰			粘着性に乏しい粘土混じりシルト。ほぼ固結している。 含水は少ない。 25~25.5mでは水平方向に伸びる炭化物(黒炭)層層が互層する。	12	10	13	35								
			砂混りシルト	暗灰			粘着性を持つ砂混じりシルト。	24	21	5	50								
			シルト質細砂	暗灰			均質な細砂。 基質にシルト分を含む。 強い指圧で固み、粉砕する。	23	24	3	50								



ボーリング柱状図

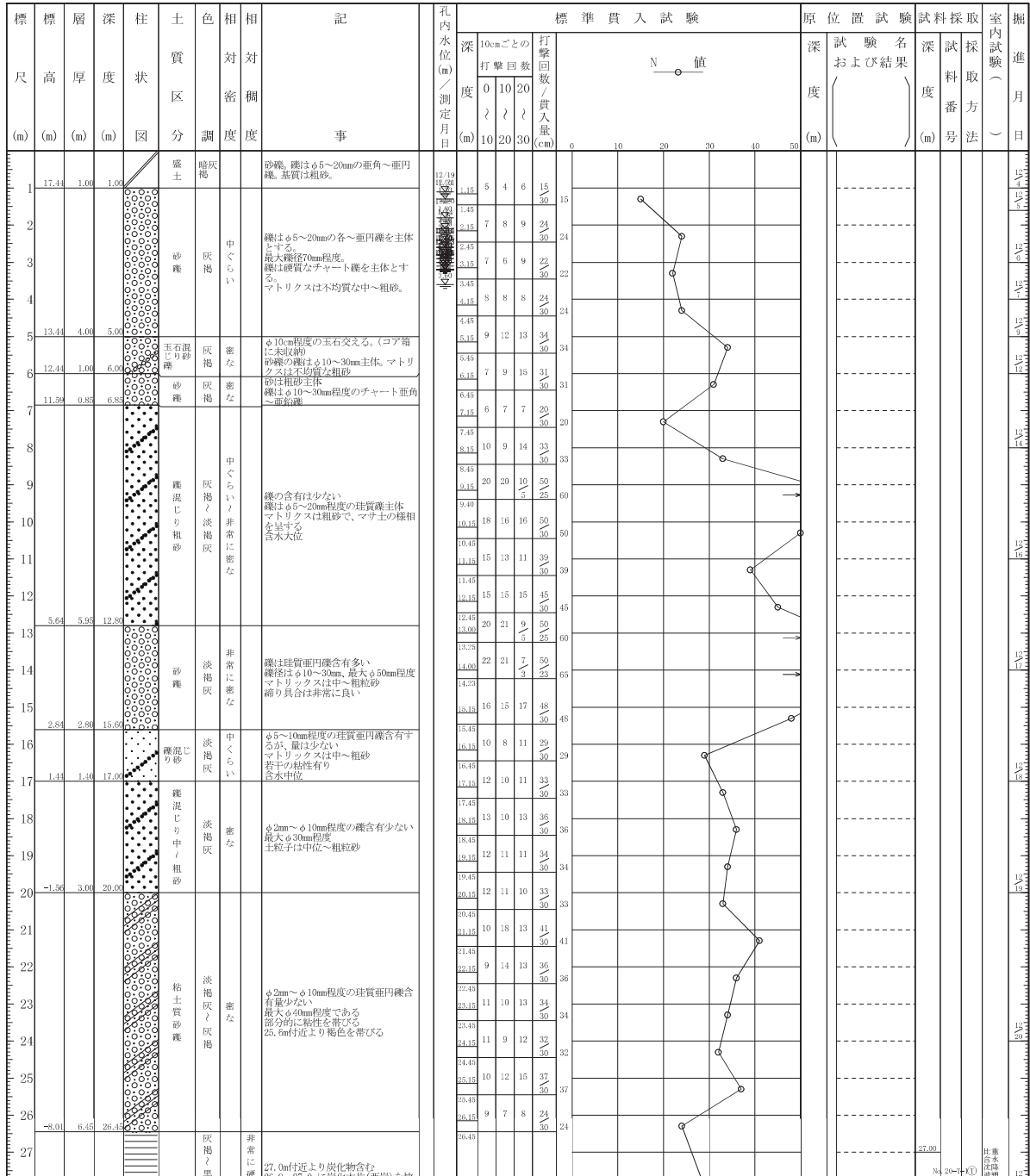
調査名

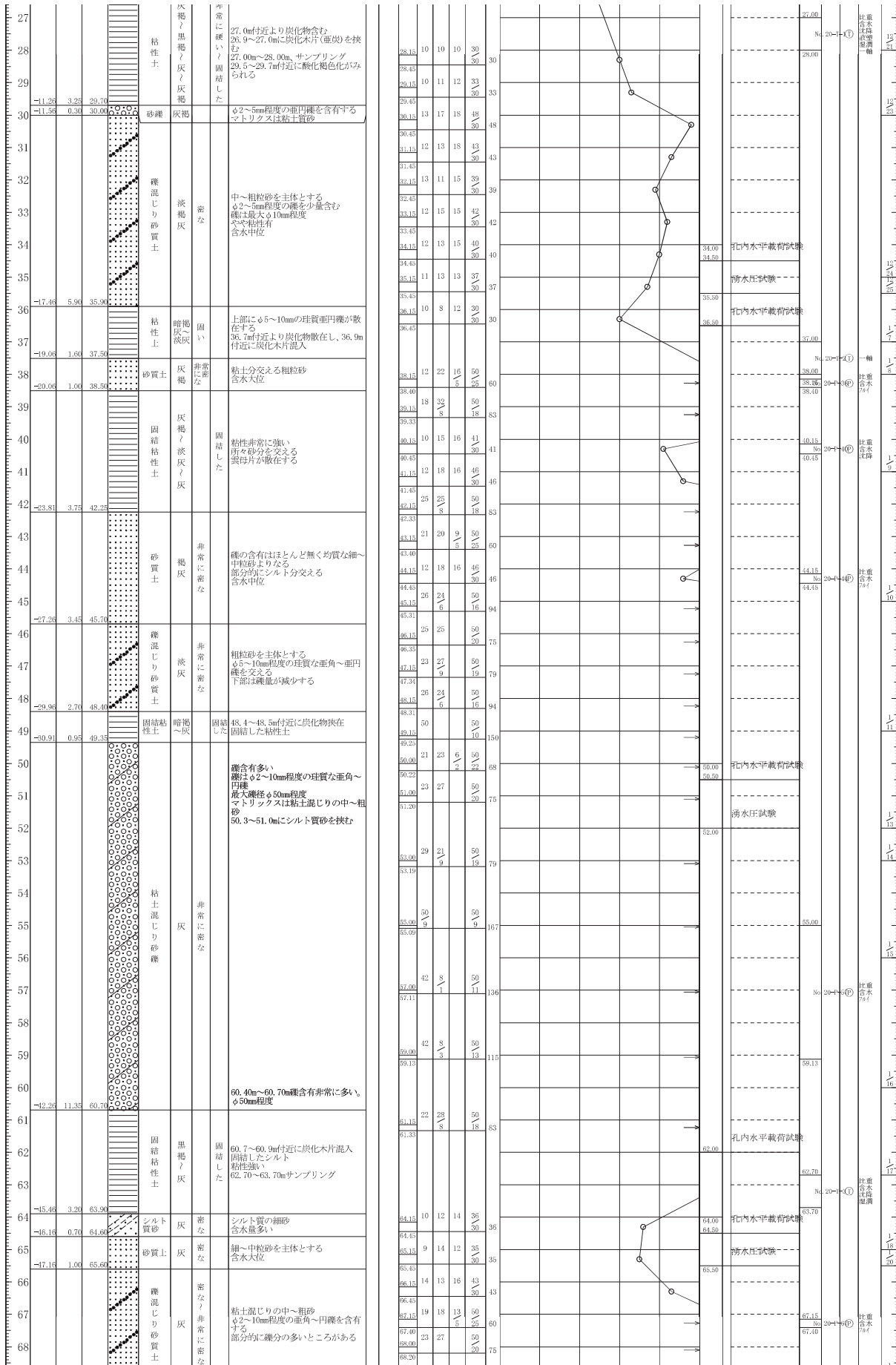
ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	調査位置				北緯			
発注機関	調査期間				東経			
調査業者名	主任技師			現場代理人	ボーリング責任者			
孔口標高	18.44m	角	180°	方	北 0°	地盤勾配	使用機種	ハンマー
総掘進長	79.25m	度	上下	向	西 270°	東 90°	鉛直	落下用具
			0°		南 180°		水平	ポンプ
			90°				0°	





(JR-43)



(JR-43)

ボーリング柱状図

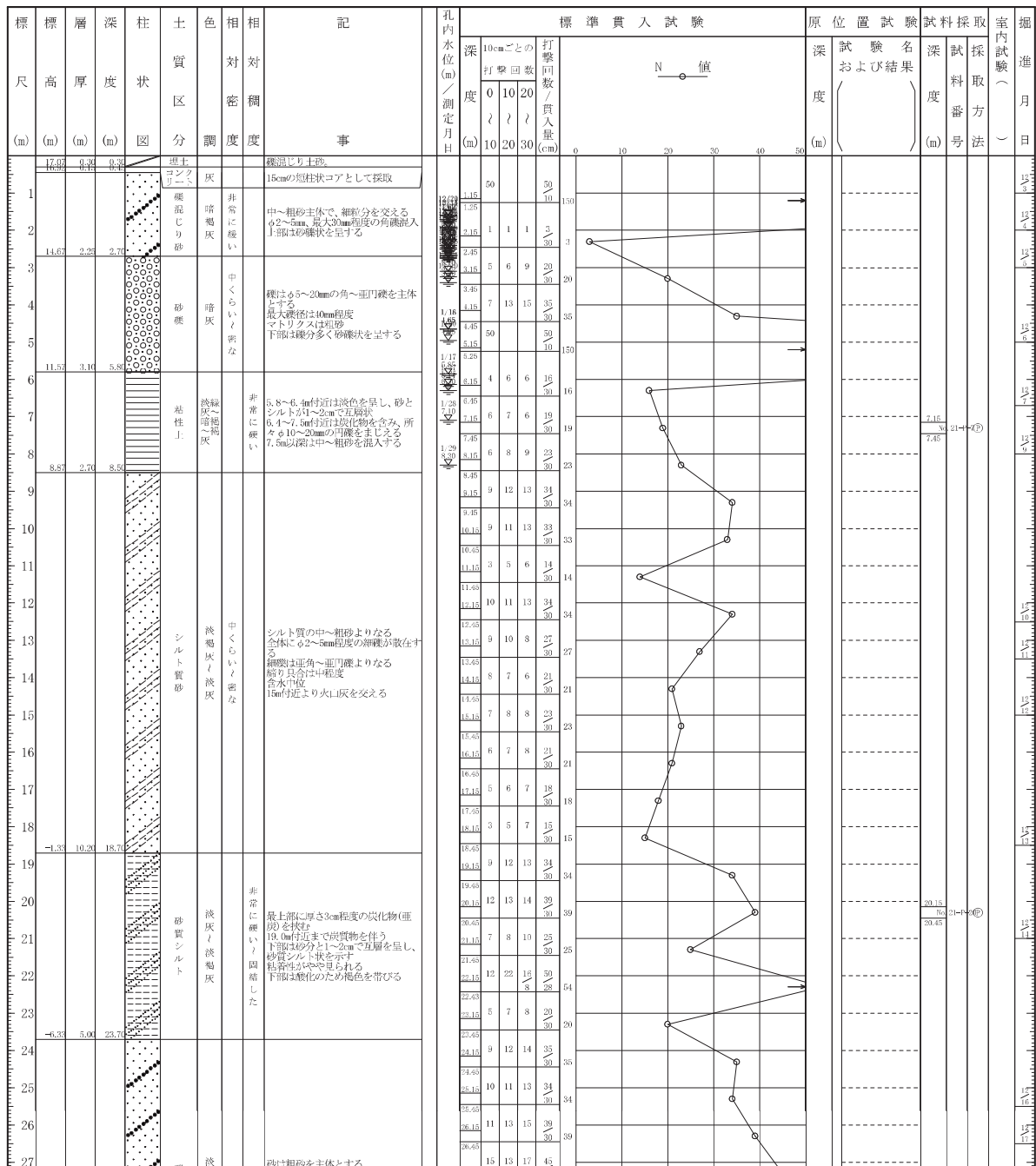
調査名

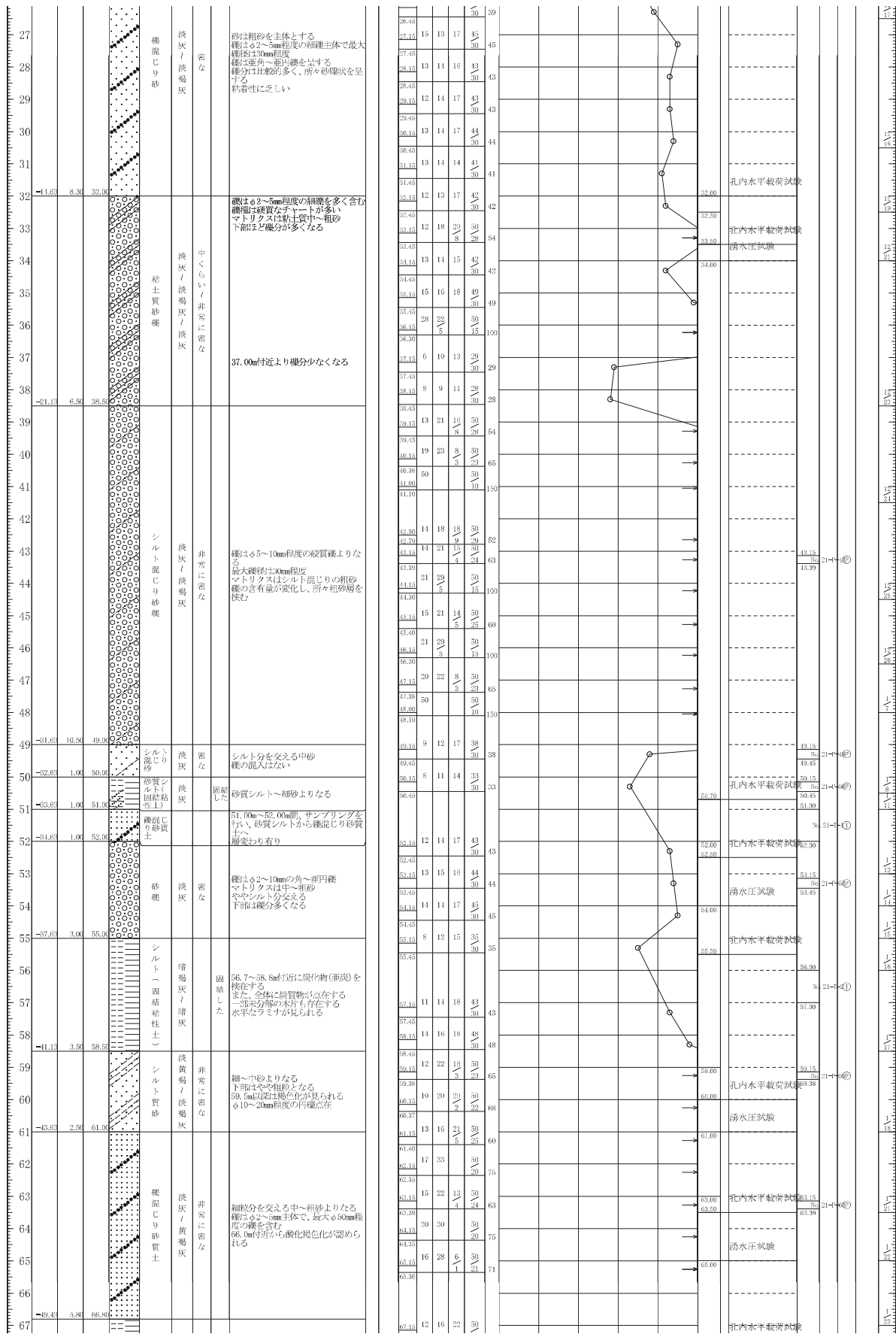
ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

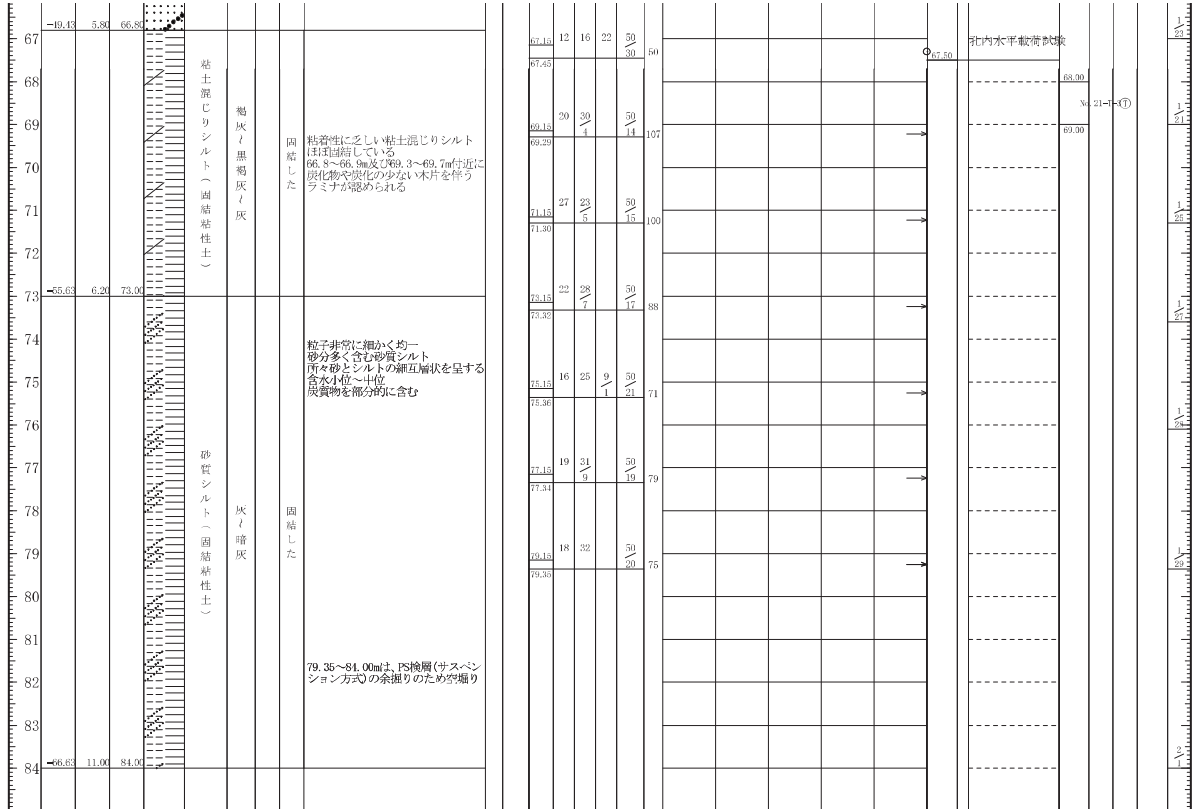
シートNo

ボーリング名	調査位置				北緯
発注機関				調査期間	東経
調査業者名	主任技師		現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	17.37m	角	180° 上 90° 下	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総掘進長	84.00m	度	0°	地盤勾配	鉛直 0° 水平 0°
				使用機種	ハンマー 落下用具
				エンジン	ポンプ

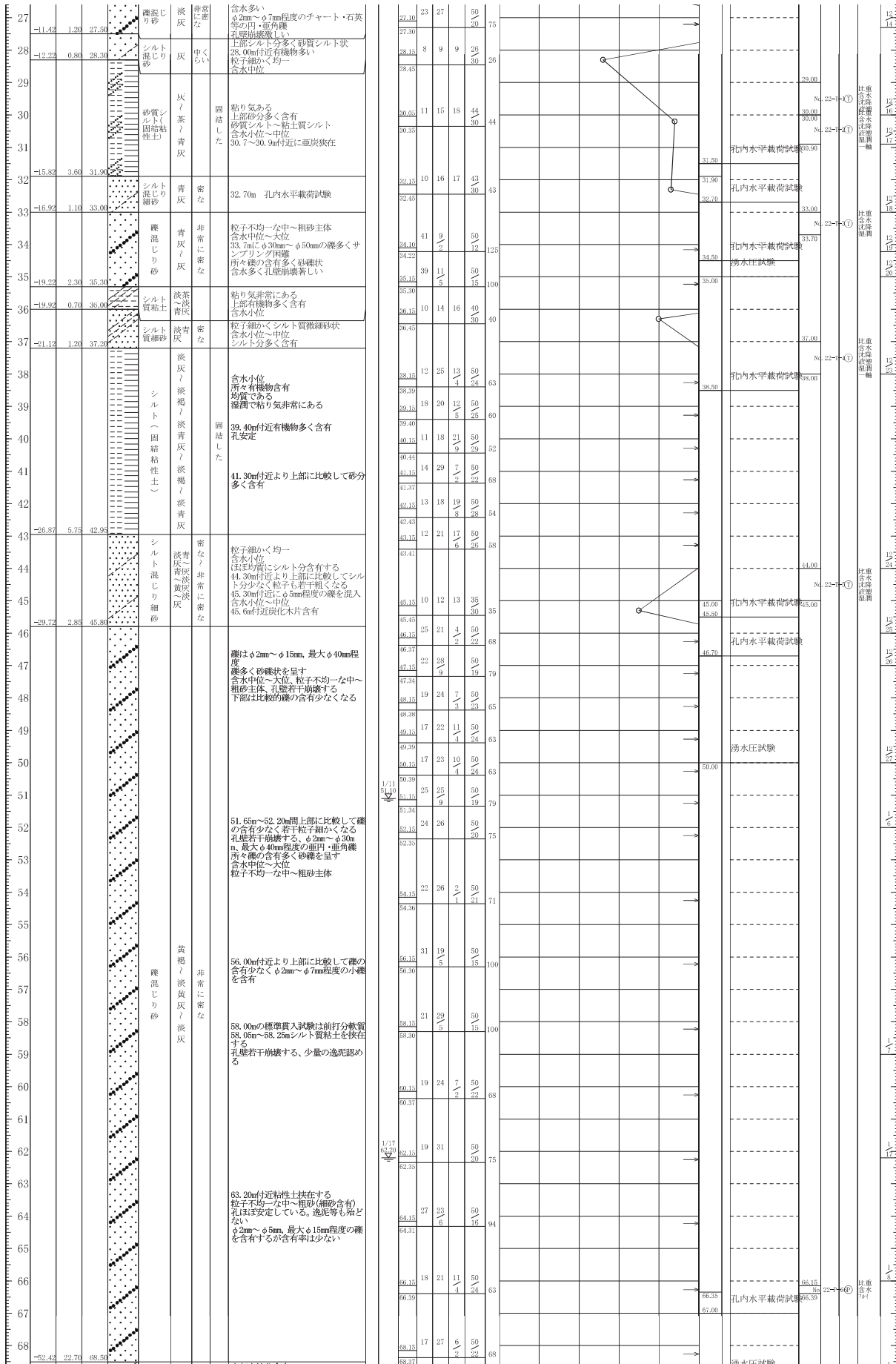




(JR-44)



(JR-44)

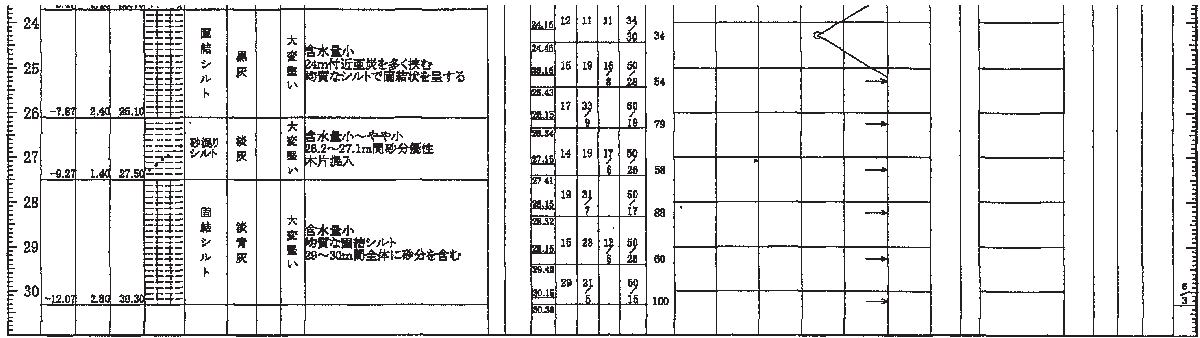


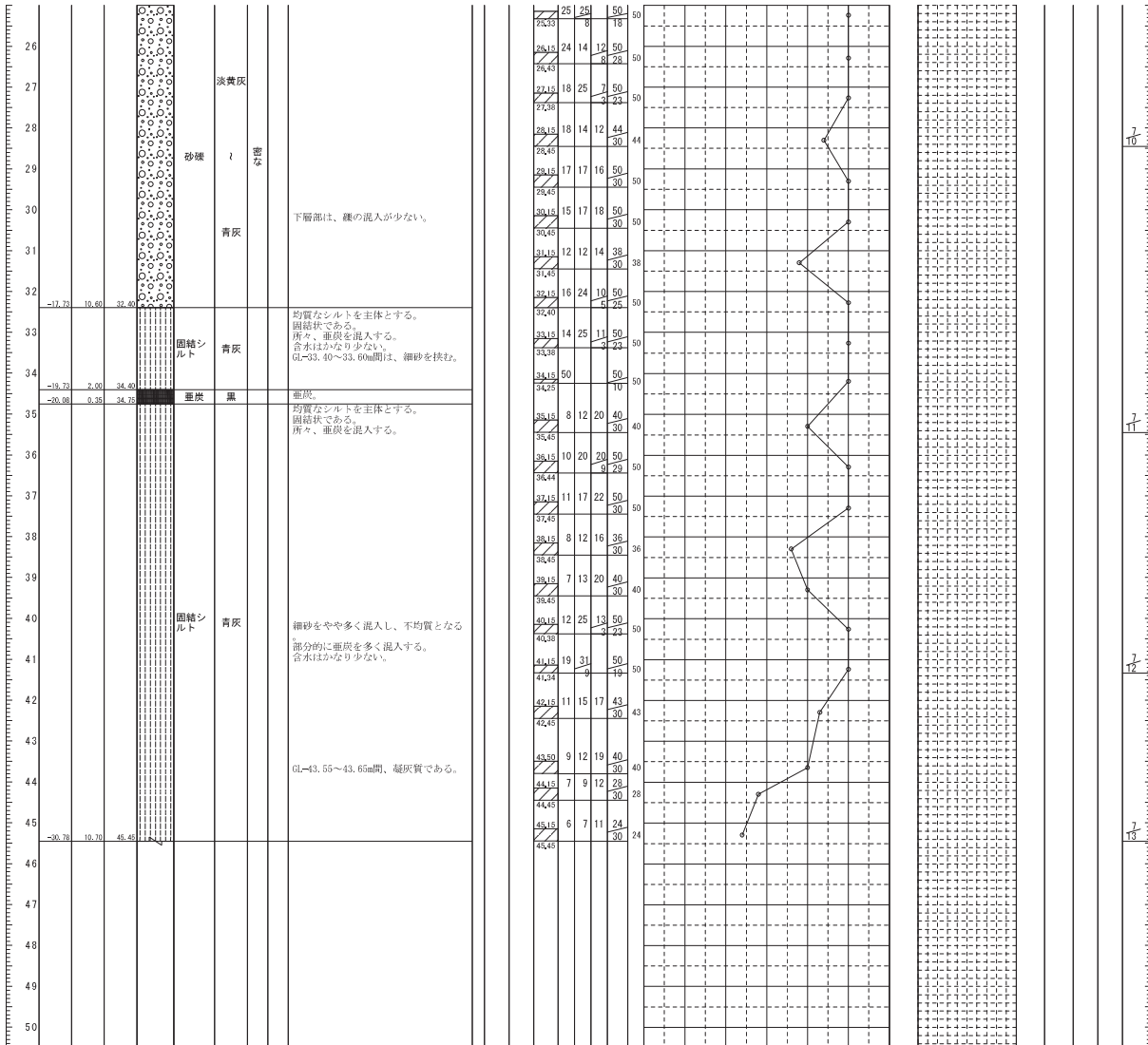
(JR-46)

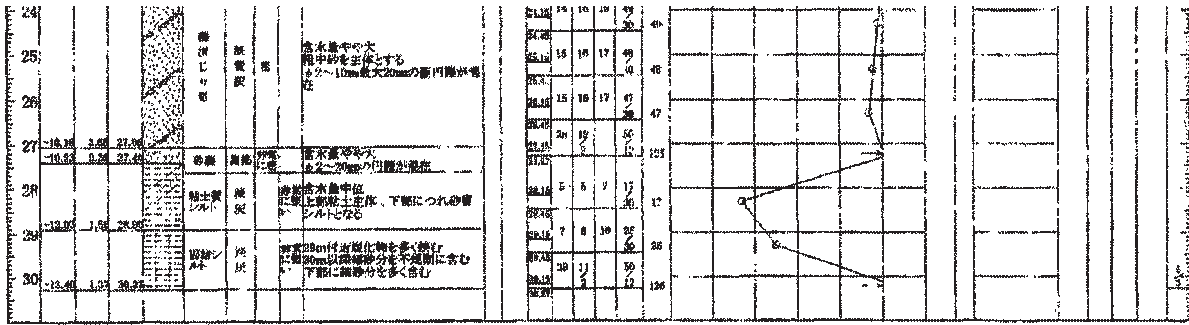
Depth (m)	Moisture (%)	Shrinkage (%)	Soil Description	Color	Structure	Notes	Moisture (%)	Shrinkage (%)	Soil Description	Color	Structure	Notes	Moisture (%)	Shrinkage (%)	Soil Description	Color	Structure	Notes	
68	52.42	22.70	シルト混じり細砂	黄灰	非常に密な	上部中粒分含有 含水中位 69.00m付近より粒子やや不均一な中 砂主体 φ2mm程度の細礫混入	68.15	17	27	6	50							湧水圧試験	
69	53.32	0.90	シルト混じり細砂	黄灰	非常に密な	礫はφ2mm~φ15mm程度の確多く砂 塊状を呈す 粒子不均一な中~粗砂主体 含水大位	68.37	21	29	50									49.00
70			雑混じり砂	黄灰	非常に密な	70.75m~71.00m及び71.75m~71.90m 淡白色の粘性土状在 70.75m付近より上部に比較して細粒 分多く含有 孔壁崩壊する 褐色酸化したところ多い	69.35	27	23	7	50								
71			シルト混じり細砂	青灰	非常に密な	粒子細かく均一 シルト分多く含有。シルト質細砂状 含水小位	70.15	21	29	50									
72	56.22	2.90	シルト混じり細砂	青灰	非常に密な	含水小位。有機質である 粗礫で粘り気非常にある 77.80m付近酸化物多く含有する所あり 青灰部は団結粘土を主体 孔壁安定している ※75.00m~76.10mサンプリング試みる も縁切りできず試料残留した為、 φ60mmコア再採取 76.20m~76.30mサンプリング 1-900 mm ⁺ シュー	71.15	21	29	50									
73	57.17	0.95	シルト混じり細砂	淡褐 / 茶褐 / 青灰 / 淡茶 / 淡青灰	団結した	含水小位。有機質である 粗礫で粘り気非常にある 77.80m付近酸化物多く含有する所あり 青灰部は団結粘土を主体 孔壁安定している ※75.00m~76.10mサンプリング試みる も縁切りできず試料残留した為、 φ60mmコア再採取 76.20m~76.30mサンプリング 1-900 mm ⁺ シュー	71.34	50	9	50									
74			粘土 (団結粘性土)	淡青灰	非常に密な	粒子非常に細かく均一 シルト分多く砂質シルト状 含水小位~中位	72.05	50	7	50									
75			シルト質微細砂	淡青灰	非常に密な	粒子不均一な中~粗砂主体、φ2mm ~φ7mm程度の確点在 含水中位~大位 φ2mm~φ10mm、最大φ20mm程度の 礫砂岩・チャート等の円礫 粒子不均一な細・中砂主体に粗砂を 含有 砂の粒度分布良好 孔壁若干崩壊する 上部に比較して礫の含有少ない	72.13	13	16	21	50								
76			シルト質微細砂	淡青灰	非常に密な	89.30m~89.60m間細~中砂主体で礫 は殆ど含有しない 極少量の遊泥認め	73.15	13	19	18	50								
77			シルト質微細砂	淡青灰	非常に密な		73.45	13	19	18	50								
78			シルト質微細砂	淡青灰	非常に密な		74.15	13	19	18	50								
79	63.12	5.95	シルト質微細砂	淡青灰	非常に密な		74.42												
80			シルト質微細砂	淡青灰	非常に密な		78.15	26	24	50									
81	65.42	2.30	シルト質微細砂	淡青灰	非常に密な		78.31												
82			雑混じり砂	淡青灰	非常に密な		80.15	14	20	16	50								
83			雑混じり砂	淡青灰	非常に密な		80.42												
84			雑混じり砂	淡青灰	非常に密な		82.15	24	26	50									
85			雑混じり砂	淡青灰	非常に密な		82.32												
86			雑混じり砂	淡青灰	非常に密な		84.10	39	11	50									
87			雑混じり砂	淡青灰	非常に密な		84.23												
88			雑混じり砂	淡青灰	非常に密な		86.10	42	5	50									
89			雑混じり砂	淡青灰	非常に密な		86.21												
90	74.17	8.75	雑混じり砂	淡青灰	非常に密な		88.10	27	23	50									
			雑混じり砂	淡青灰	非常に密な		88.20												
			雑混じり砂	淡青灰	非常に密な		90.10	31	19	50									
			雑混じり砂	淡青灰	非常に密な		90.25												

(JR-46)

(JR-47)







ボーリング柱状図

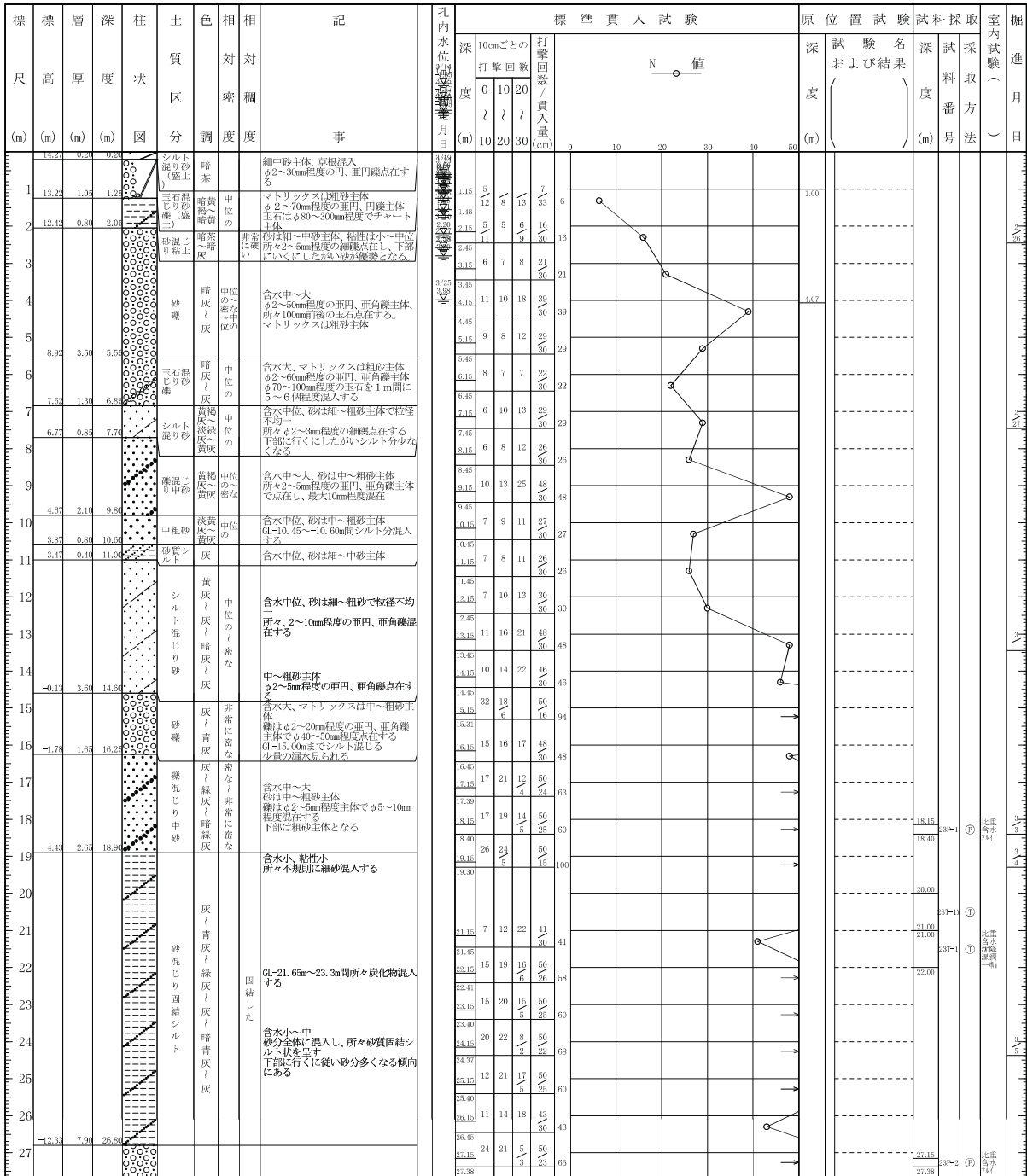
調査名

ボーリングNo																				
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

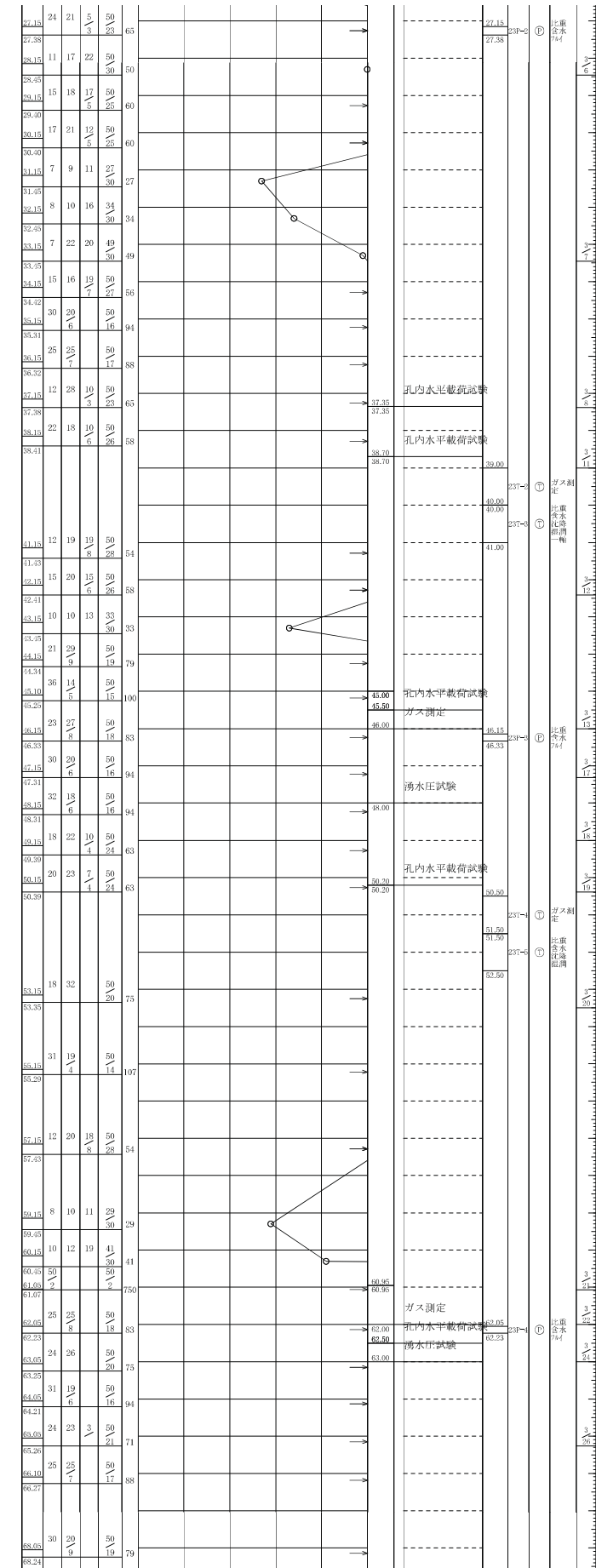
事業・工事名

シートNo

ボーリング名	調査位置										北緯		
発注機関											調査期間	東経	
調査業者名	主任技師										現代場	ボーリング責任者	
孔口標高	14.47m	角	180°	90°	方	北 0°	90°	地盤勾配	鉛直	水平	使用試験機	ハンマー落下用具	
総掘進長	78.28m	度	0°	0°	向	270°	0°	90°	180°	0°	エンジン	ポンプ	



27	-12.33	7.90	26.81	砂礫	非常に密な 灰と暗灰	含水中〜大 マトリックスは中〜粗砂主体 礫はφ2〜20mm程度の楕円、亜角礫 主体でφ30〜40mm程度点状する Gl-26.8m〜27.1m間砂挟む (砂は細 〜中砂主体)
28						
29						
30						
31	-16.53	1.20	31.07	シルト混り砂礫	灰と暗灰 黄灰と暗青灰と暗黄灰と暗青灰と黄灰	Gl-31.0〜31.6m間は含水多く、飽和 状態 マトリックスはシルト混り中粗砂 礫はφ2〜10mm程度の楕円、亜角礫 主体でφ20〜30mm程度混入する Gl-31.9mから5cm程度木片挟む
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38	-23.23	6.70	37.77	固結シルト	青灰と緑灰と灰と暗茶灰と青灰と灰	含水中〜大、マトリックスは中〜粗 砂主体 礫はφ2〜15mm程度主体 Gl-37.5m〜37.85m間、砂 (中砂主 体) 挟む 含水小、粘性小
39						
40						
41						
42						
43						
44	-29.68	6.43	44.17	砂礫	灰と暗灰	所々砂分混入 (砂は細〜中砂) 所々木片、炭化物混入する Gl-41.95〜42.7mまで木片、炭化物 多く混入する Gl-43.15m以深砂分多く混み、所々 シルト混り砂、シルト質砂状を呈す
45						
46						
47						
48						
49	-34.78	5.10	49.88	砂礫	灰と暗灰	含水大、砂は中〜粗砂主体 礫はφ2〜10mm程度の楕円、亜角礫が 主体でφ10〜30mm程度点状する 所々、礫多く砂礫状を呈す
50						
51						
52						
53						
54						
55						
56						
57						
58						
59						
60						
61	-46.48	11.70	60.92	砂礫	灰と暗灰 黄灰と暗青灰と暗黄灰と暗青灰と黄灰	含水小、粘性小 所々砂分混入する 上部所々砂分混入 Gl-56.50m付近から所々砂分混入し、 Gl-60.0m付近から砂分多く混入する Gl-60.00m以深 色礫は暗褐色に変化する
62						
63						
64						
65						
66						
67						
68	-53.73	7.23	68.23	砂礫	灰と暗灰 黄灰と暗青灰と暗黄灰と暗青灰と黄灰	含水大、マトリックスは中〜粗砂主 体 礫はφ2〜30mm程度の楕円、亜角礫 主体で所々φ40〜50mm程度混入する 上部では、一様に細粒分が混入して いる(Gl-62.00m〜62.0m付近から所々、 シルト分混入する 68.2m付近から以深、所々礫少なく 混入する

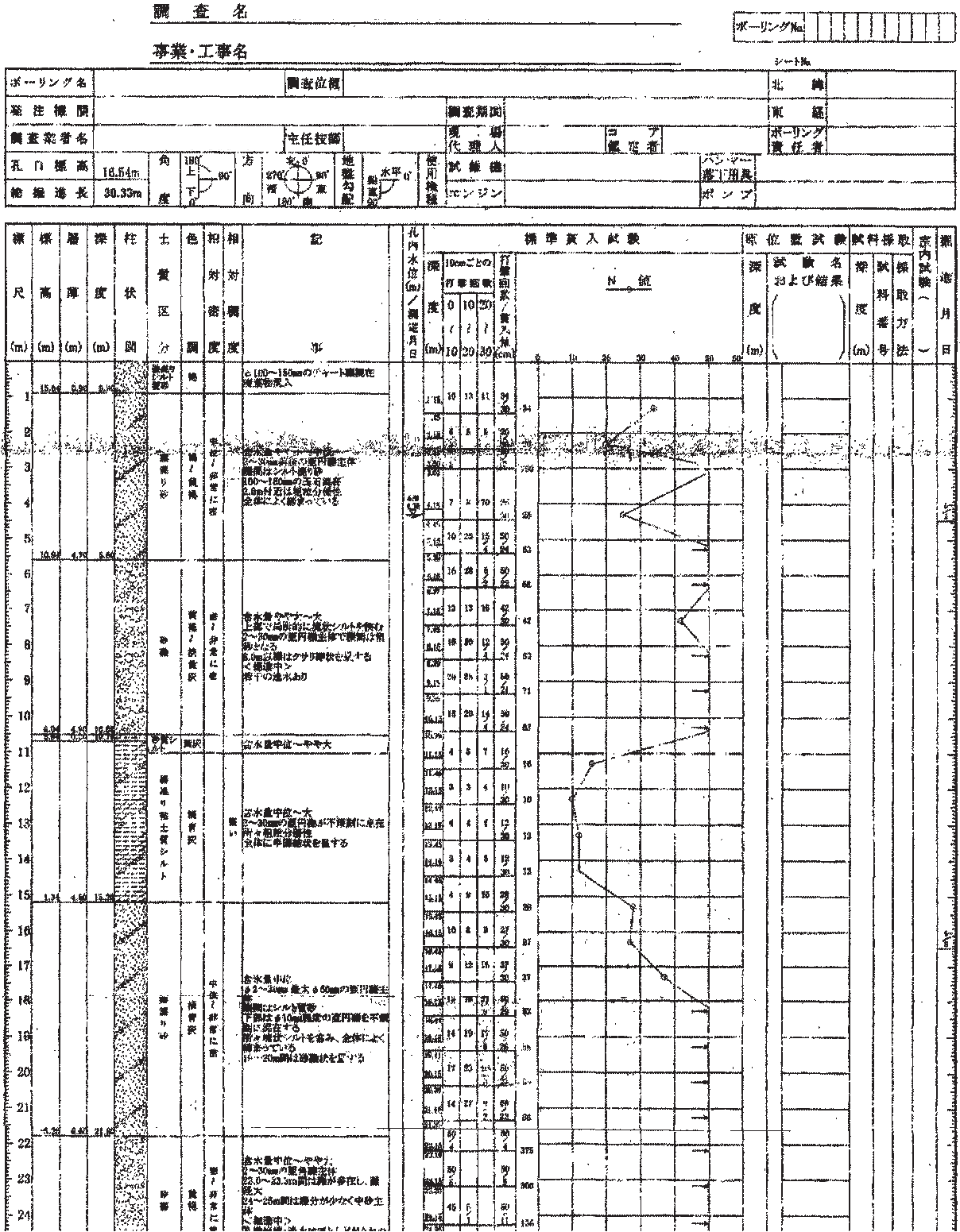


(JR-50)



(JR-50)

ボーリング柱状図



(JR-52)

ボーリング柱状図

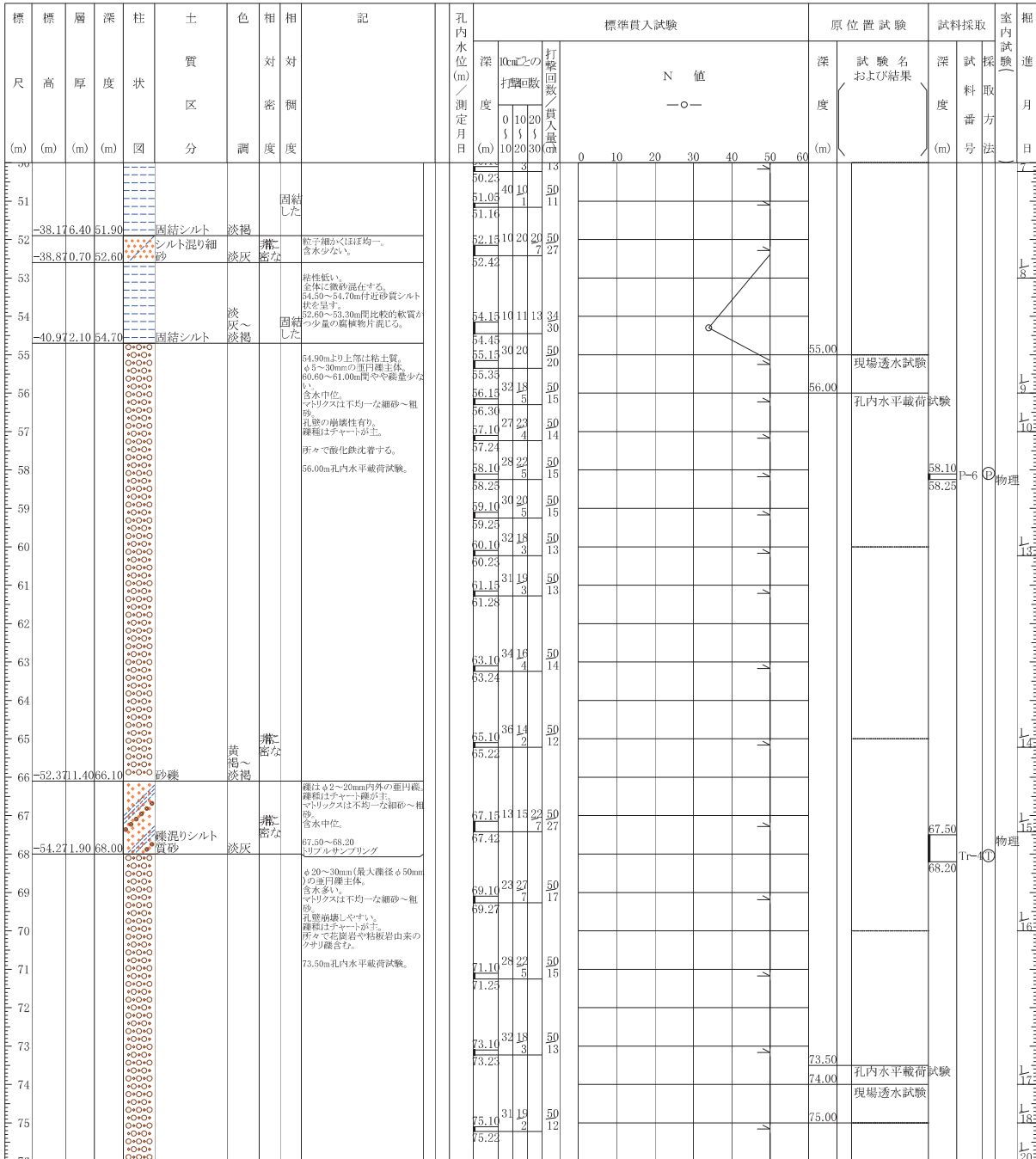
調査名

事業・工事名

ボーリングNo

シートNo

ボーリング名	調査位置			北緯		
発注機関	調査期間			東経		
調査業者名	会社 任 技 術 者			工 事 管 理 者		ボーリング責任者
孔口標高	TP 13.73m	角 180° 上 90° 下 0°	方 向 270° 西 0° 北 90° 東 180° 南	地盤勾配 水平0° 鉛直90°	使用機種 試験機	ハンマー 落下用具
総掘進長	90.00m				エンジン	ポンプ



(JR-52)

ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名

ボーリングNo

シートNo

ボーリング名	調査位置										北緯				
発注機関	調査期間										東経				
調査業者名	会社					任					工事	コ	ア	ボー	
技	術					者					管	鑑	定	者	リン
口	TP	角	180	方	北	0	90	地	鉛	使	試	ハン			
標	13.73m	度	上	向	270	西	東	盤	直	用	錐	マー			
高			下		180	南		配	90	機	機	落			
長	90.00m		0							種	エン	下			
総										類	ジ	用			
掘												具			
進												ボ			
長												ン			
												プ			

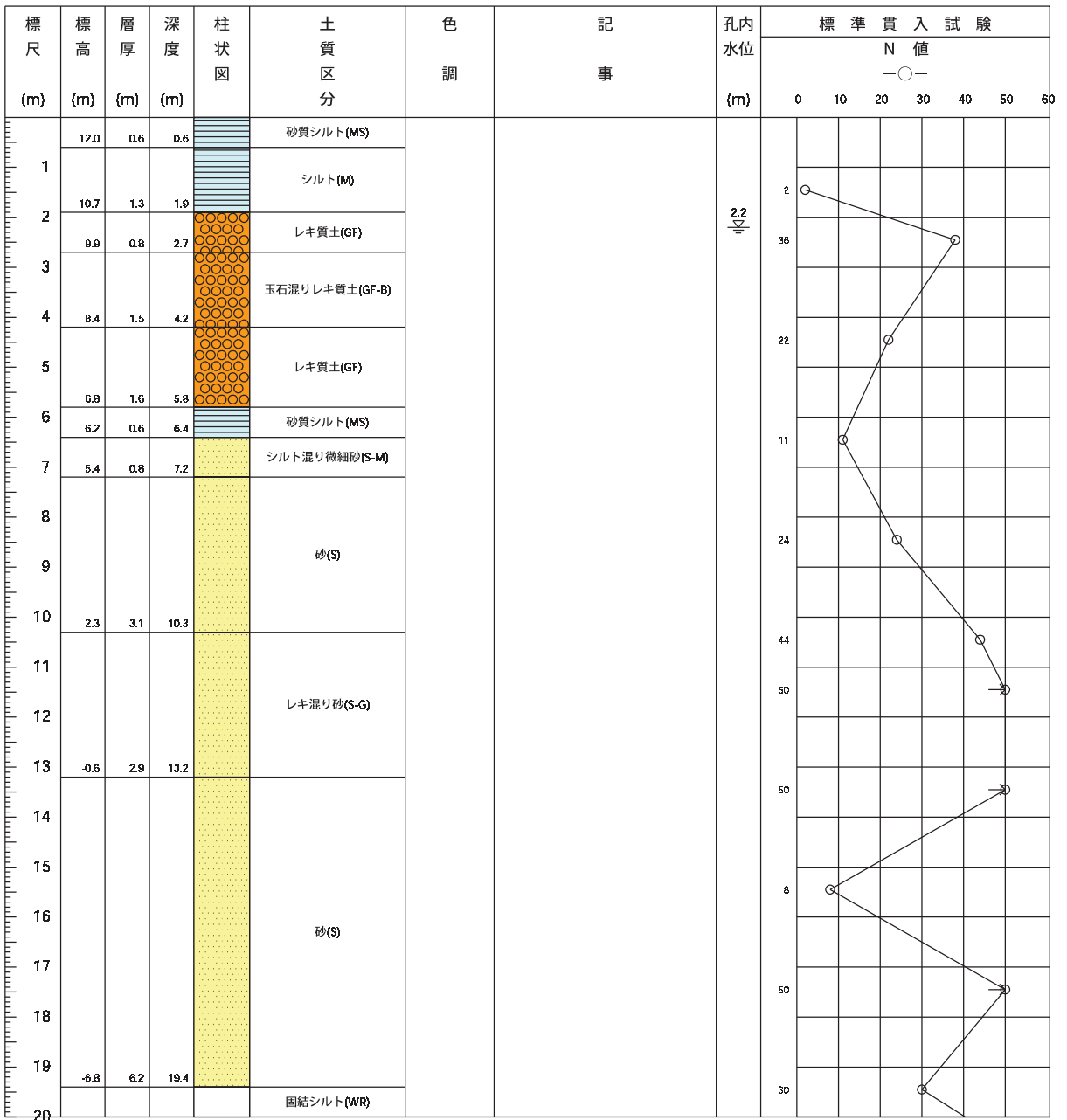
標	尺	高	厚	深	柱	土	色	相	相	記	標準貫入試験				原位置試験		試料採取	室内試験	進			
											孔内	深	10cm	打	N	深				試験	深	探
											75.22	2	12									
											77.03	38	12									
											77.17	2	12									
											79.05	50	10									
											79.15	10	10									
											81.05	50	7									
											81.12	7	7									
											83.05	50	10									
											83.15	10	10									
											85.05	50	10									
											85.15	10	10									
											87.05	50	5									
											87.10	5	5									
											89.00	50	7									
											89.07	7	7									

(参考52-1)

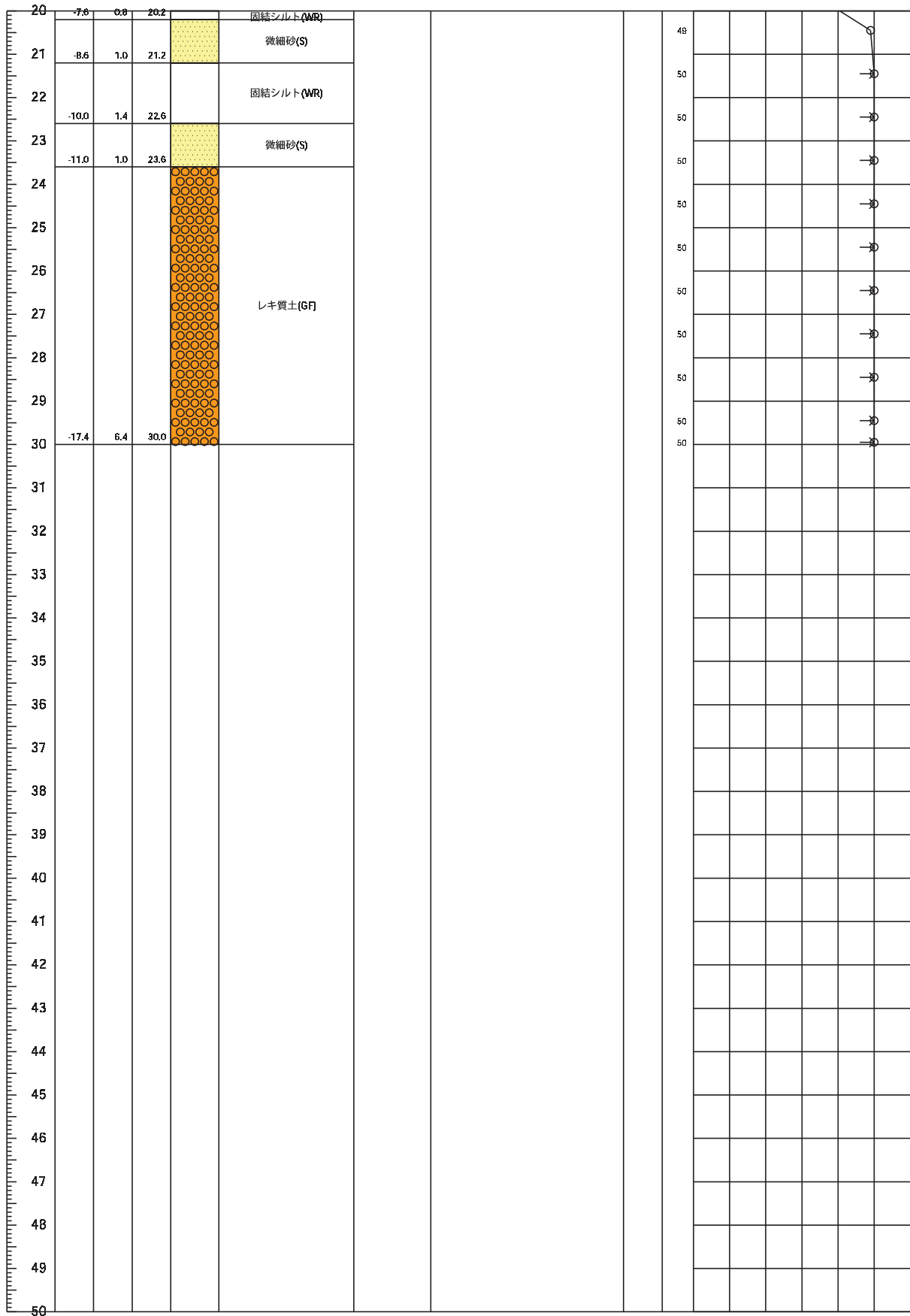
ボーリング柱状図

参考52-1

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	T.P. 12.64 m	総掘進長	30 m



(参考52-1)

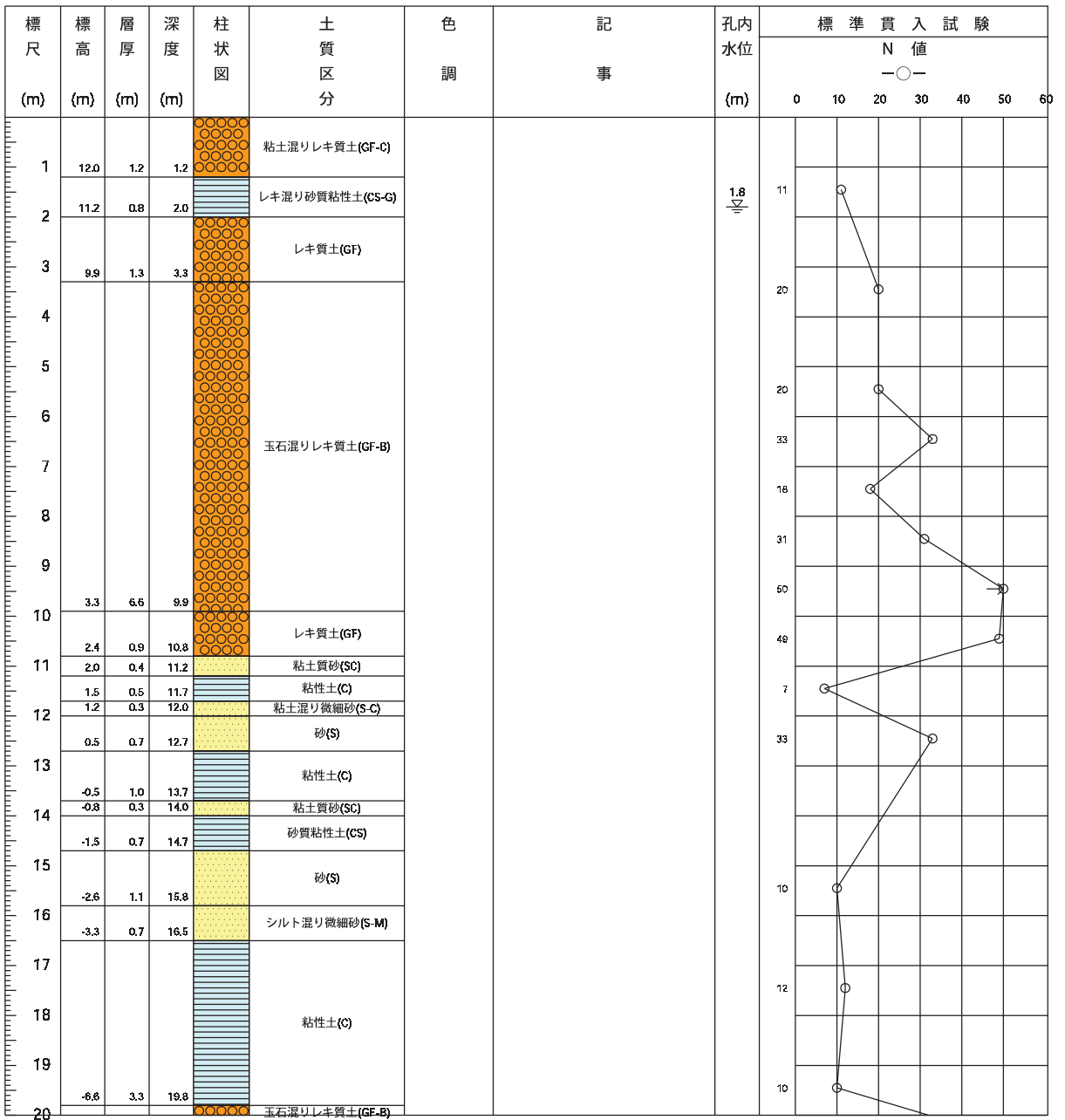


(参考52-2)

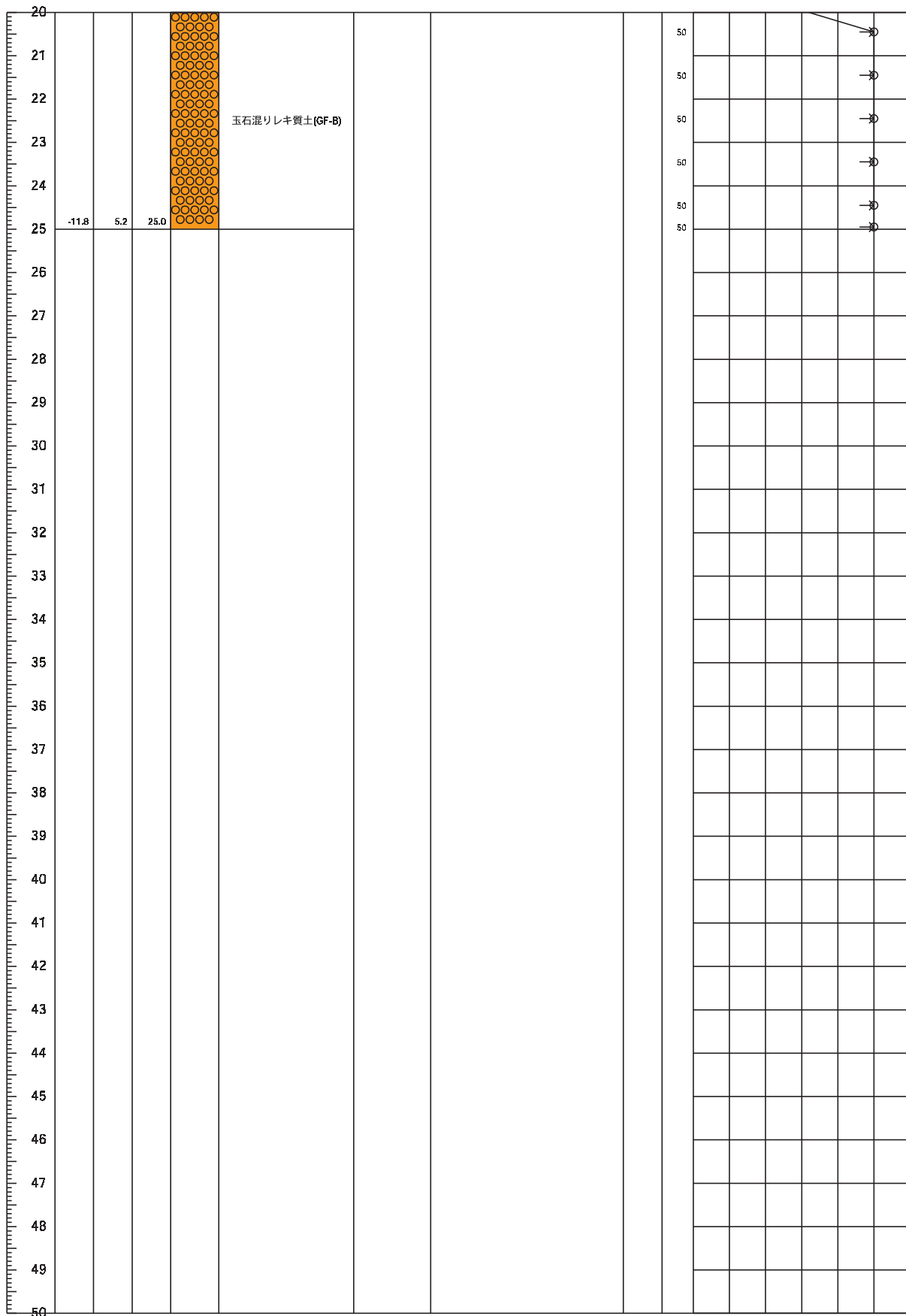
ボーリング柱状図

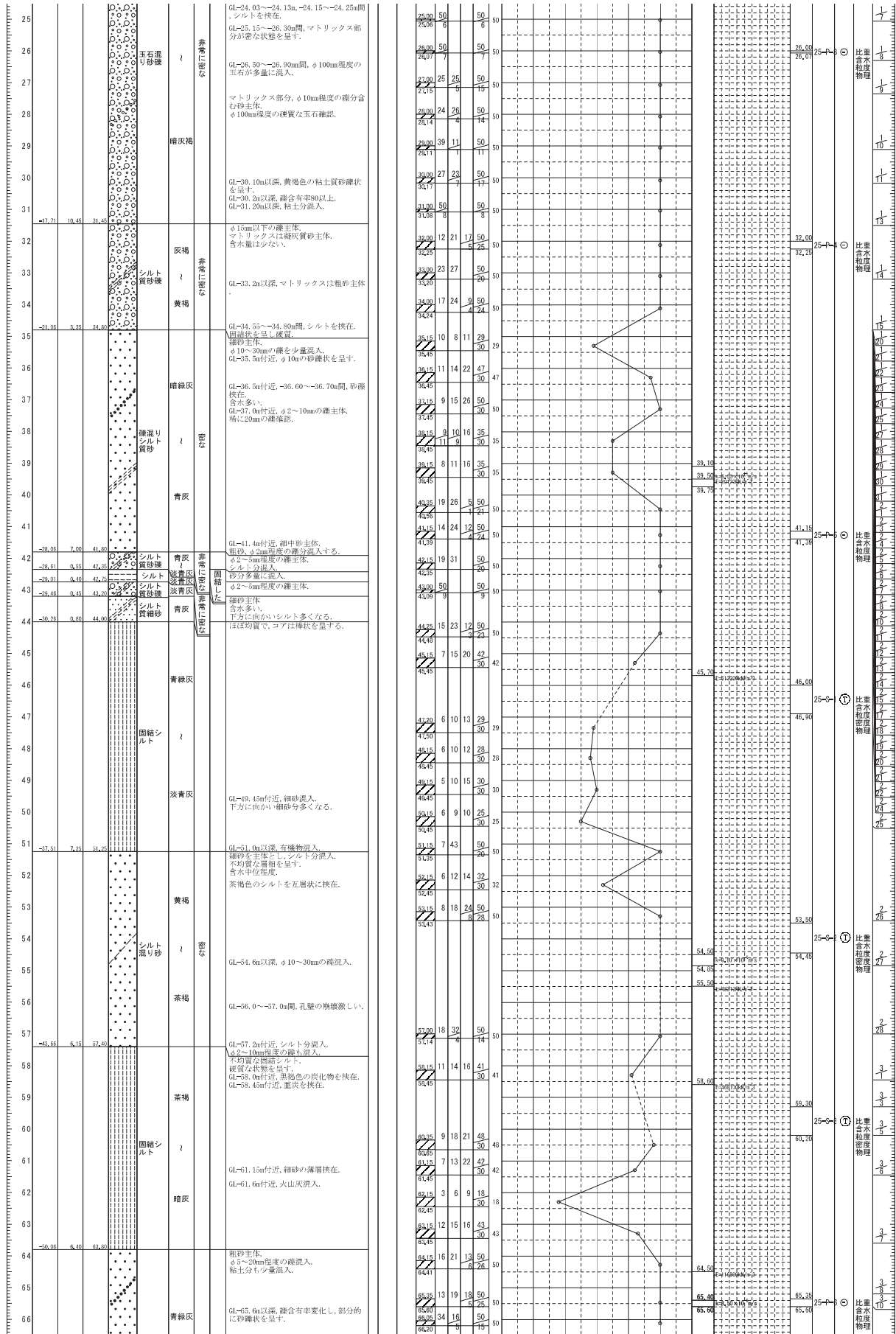
参考52-2

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	T.P. 13.22 m	総掘進長	25 m

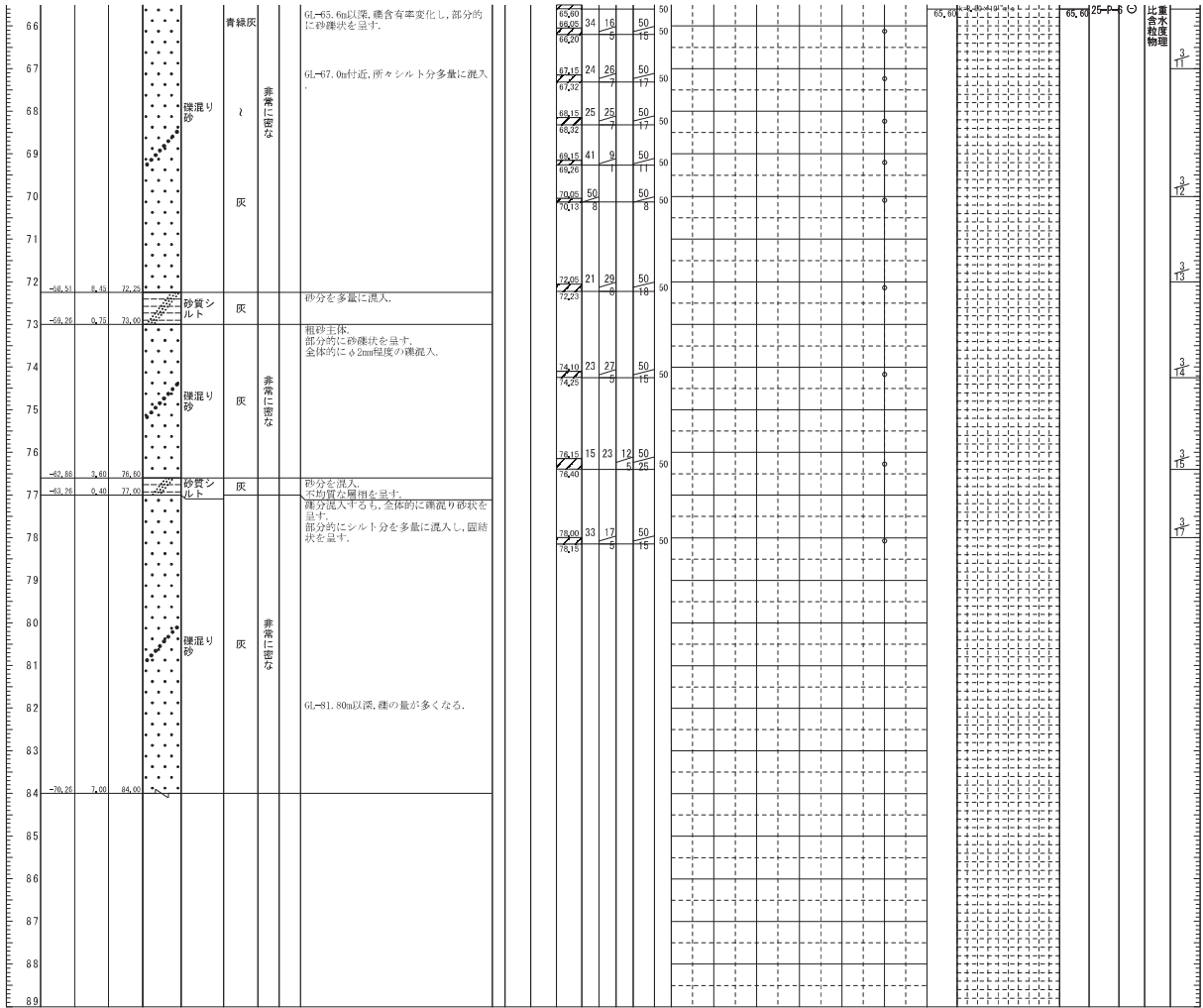


(参考52-2)





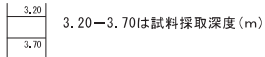
(JR-53)



(注) 1. 試料採取方法の記号

- ① シンウォールサンブラーによる試料
- ② デンソサンブラーによる試料
- ③ 貫入試験器による試料
- ④ サンドサンブラーによる試料
- ⑤ コア試料
- ⑥ コアバックによる試料
- ⑦ リジットサンブラーによる試料

2. 試料採取深度と採取比



3. 原位置試験名の記号

- ⑧ 電気検層
- ⑨ P波速度検層
- ⑩ S波速度検層
- ⑪ サマ'ンションPS検層
- ⑫ キャリハ'ー検層
- ⑬ 密度検層
- ⑭ 温度検層
- ⑮ ルジオン試験
- ⑯ 現場透水試験
- ⑰ 孔内水平載荷試験

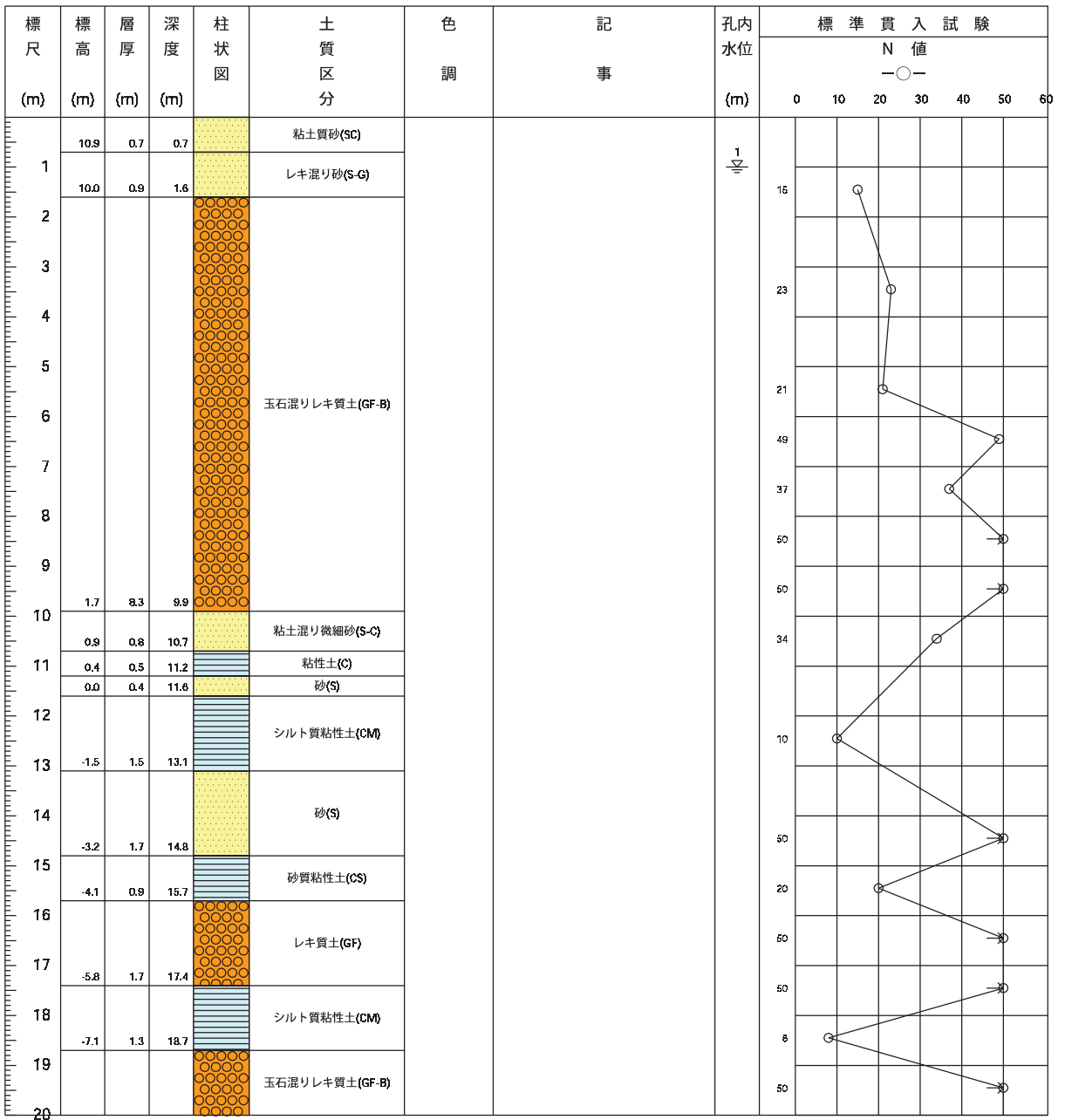
(JR-53)

(参考53-1)

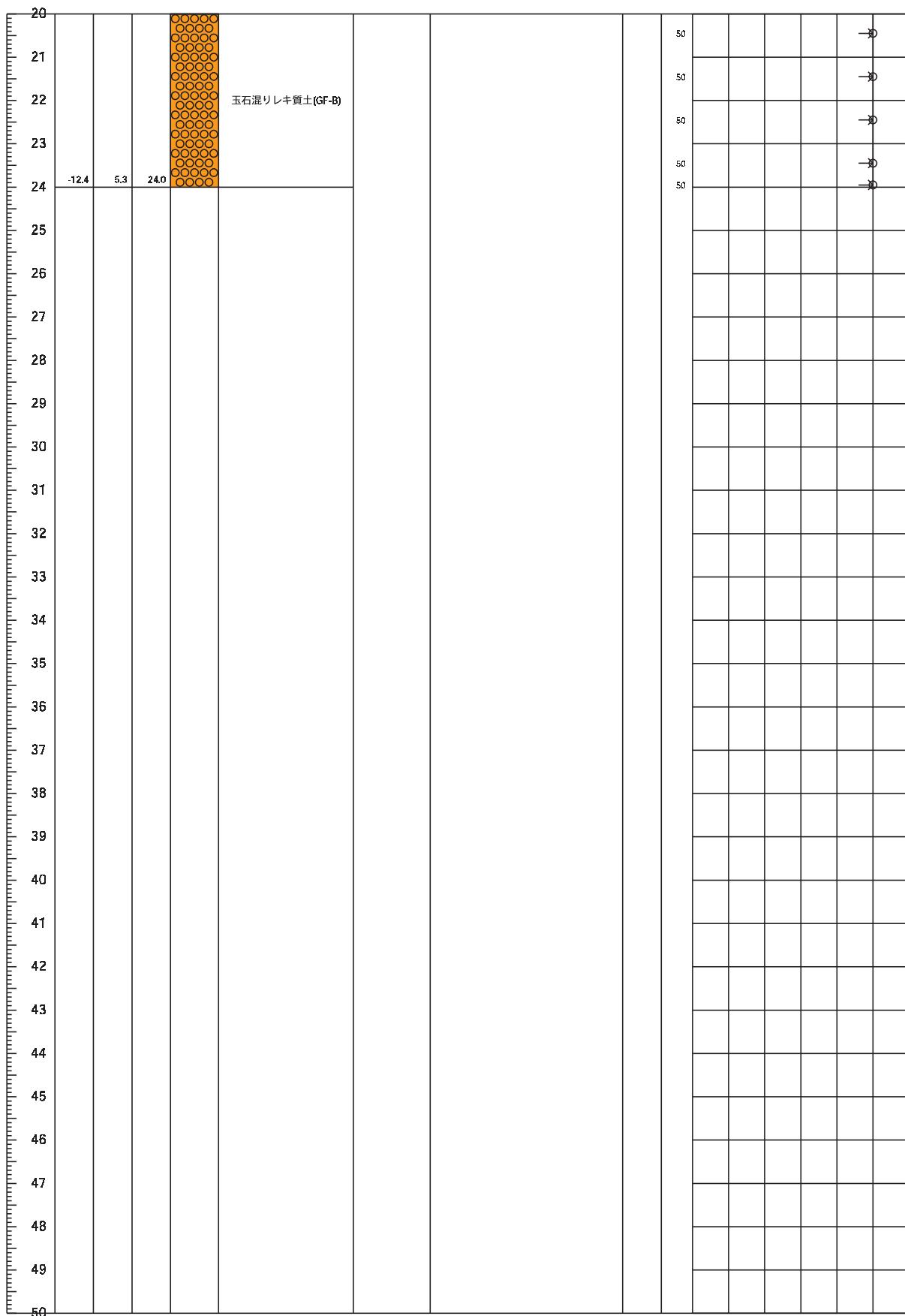
ボーリング柱状図

参考53-1

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	T.P. 11.61 m	総掘進長	24 m



(参考53-1)



(参考53-2)

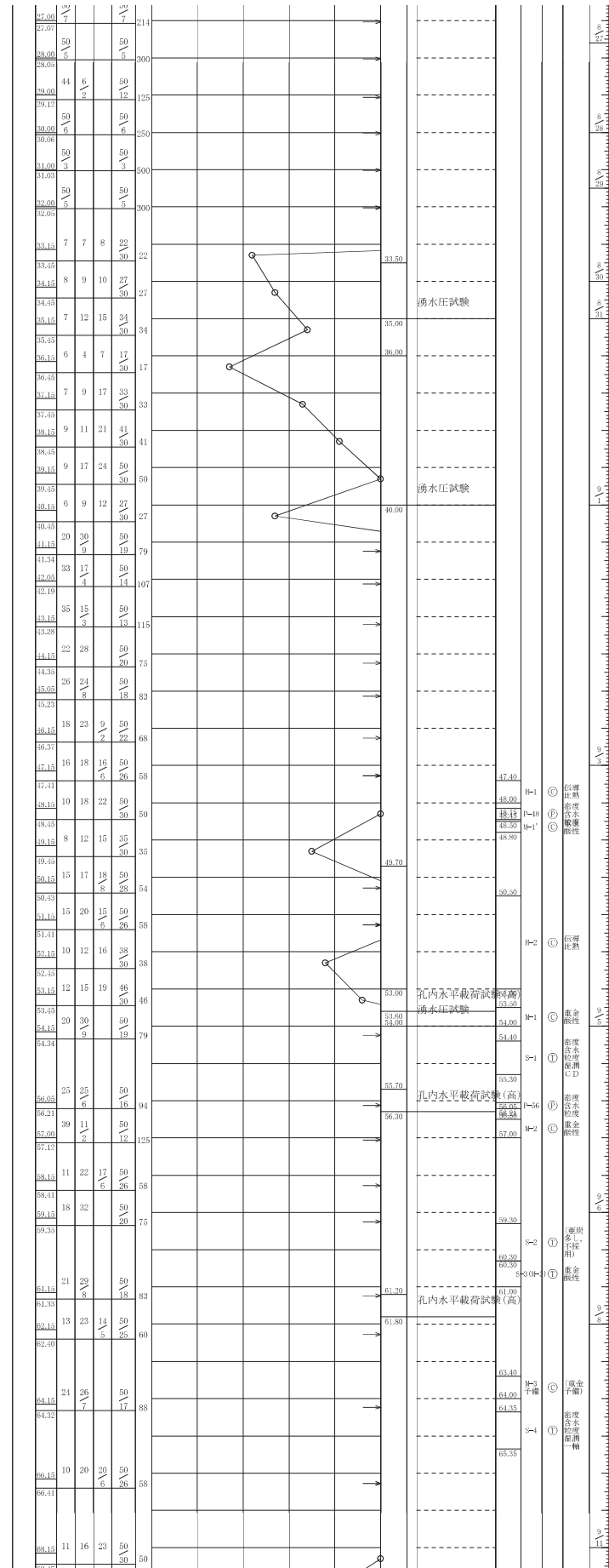
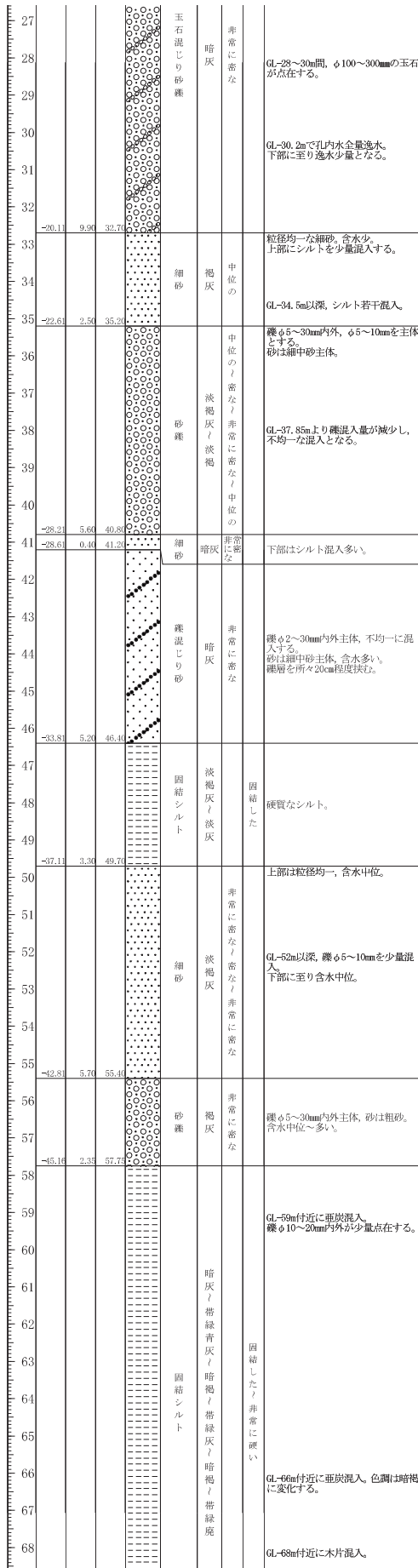
参考53-2

井戸の位置							
所有者又は 管理者の氏名		1/5万地図図幅名		メッシュコード番号		緯度 - 経度	
施工業者の氏名		さく井開始					
機械の種類		さく井完了					
地形		自然水位				GL-m	
地盤高		12.8 [*] m		揚水水位		GL-m	
使用目的							
深 度		100.00 m		揚水量		m ³ /d	
スクリーン		層					
		m					
口 径		mm		自噴量			
深 度 m		化石		化石		化石	
		動 植		動 植		動 植	
		地 質 名 称		深 度 m		地 質 名 称	
0.00～ 1.00		表土		～			
1.00～ 2.50		粘土		～			
2.50～ 11.00		礫交り砂利		～			
11.00～ 21.50		粘土		～			
21.50～ 27.00		礫交り砂利		～			
27.00～ 36.00		粘土		～			
36.00～ 43.00		砂利		～			
43.00～ 68.00		粘土		～			
68.00～ 77.00		粘土交り砂利		～			
77.00～ 78.00		粘土		～			
78.00～ 89.50		砂利		～			
89.50～ 100.00		粘土		～			
スクリーンの位置 GL-m				～ =		～ =	
				～ =		～ =	
		～ =		～ =		～ =	
水 質		水 温		塩 素		カルシウム	
		P H		蒸発残留物		マグネシウム	
		硝酸性窒素		総 硬 度		硫 酸	
		亜硝酸性窒素		鉄		Mアルカリ度	
		アンモニア性窒素		飲料の可否		過マンガン酸カリウム	

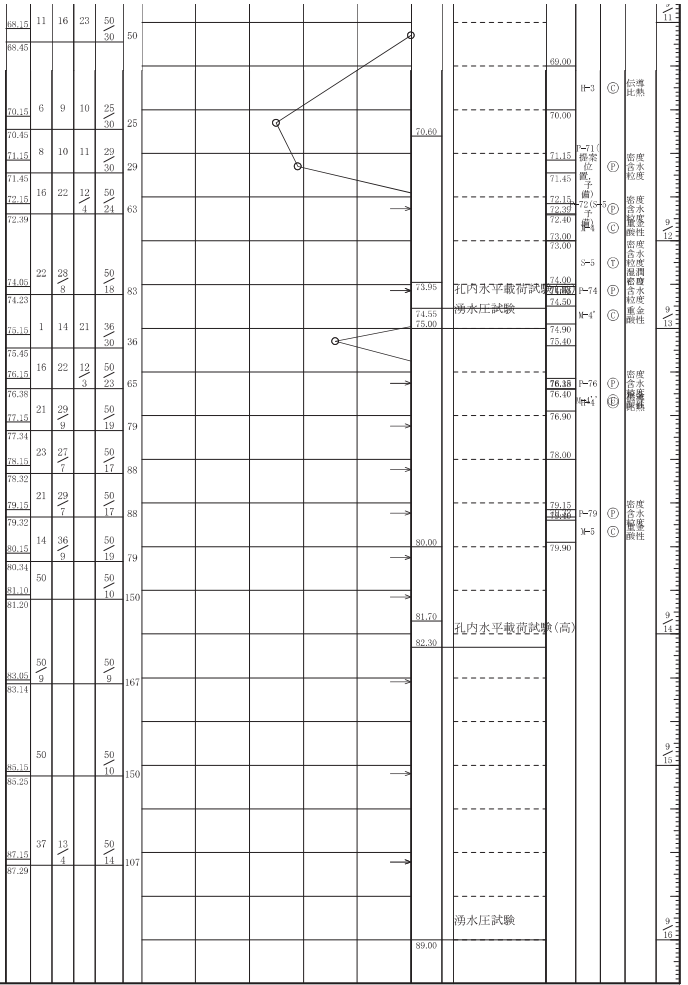
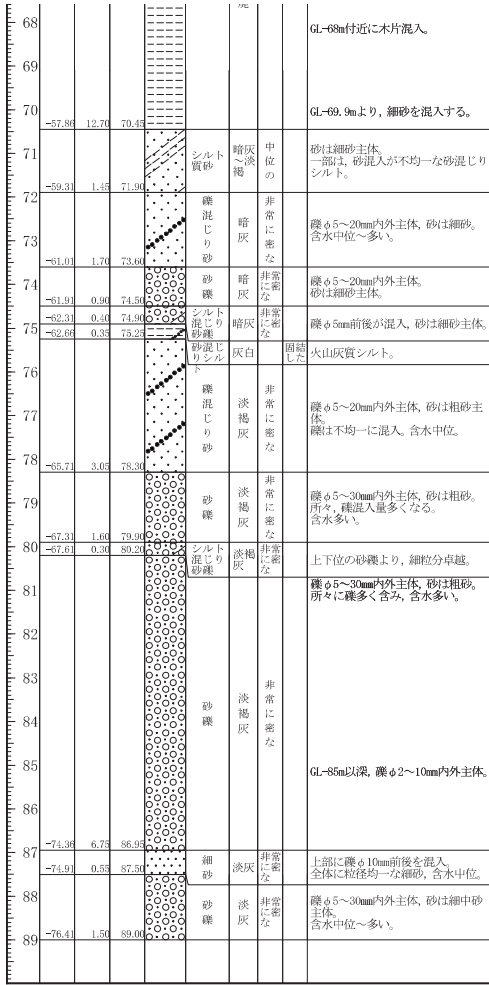
※地盤高は、国土地理院発行の地理院地図（電子国土Web）より取得した値を表示しています。

(参考53-2)

さく井地層柱状図及び検層図																
工事件名					北緯				施工							
工事地点					東経											
口径		深度			標高		m		掘削機械							
主任技術者		自然水位			揚水水位				揚水量							
水温		水質判定			施工開始				施工終了							
検層		測定方法			ケーシング				ポンプ形式							
モータ形式		スクリーン種類			揚水管				接続方式							
納入年月日																
標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	地質記号	地質名	色調	観察記事	ケーシング プログラム	比抵抗値 R (Ω-m)				水温 °C			
									----- a1 = a2 = -----				自然電位 mV-----			
									50	100	150	200	20	40	60	80
	-1.00	1.00	1.00		粘土											
	-2.50	2.50	1.50		粘土											
10	-11.00	11.00	8.50		礫交り砂利											
					粘土			▽								
20	-21.50	21.50	10.50		礫交り砂利											
	-27.00	27.00	5.50		粘土											
30	-36.00	36.00	9.00		粘土											
40	-43.00	43.00	7.00		砂利			▽								
					粘土											
50																
60																
70	-68.00	68.00	25.00		粘土交り砂利											
	-72.00	72.00	4.00		粘土											
80	-78.00	78.00	1.00		砂利											
	-89.50	89.50	11.50		粘土											
90																
	-100.00	100.00	10.50		粘土											



(JR-54)



(JR-54)

(参考54-1)

参考54-1

井戸の位置							
所有者又は 管理者の氏名		1/5万地図図幅名		メッシュコード番号		緯度 - 経度	
施工業者の氏名		さく井開始					
機械の種類		さく井完了					
地形		自然水位				GL-m	
地盤高		11.7 * m		揚水水位		GL-m	
使用目的							
深 度		60.00 m		揚水量		m3/d	
スクリーン		層					
		m					
口 径		mm		自噴量			
深 度 m		化石		化石		化石	
		動 植		動 植		動 植	
		地 質 名 称		深 度 m		地 質 名 称	
0.00～ 1.00		表土		43.50～ 49.00		粘土混じり砂利	
1.00～ 4.00		粘土		49.00～ 50.00		粘土	
4.00～ 13.00		粘土混じり砂利		50.00～ 60.00		粘土混じり砂礫	
13.00～ 14.50		粘土		～			
14.50～ 18.00		粘土		～			
18.00～ 20.00		粘土混じり砂利		～			
20.00～ 21.00		粘土		～			
21.00～ 22.00		砂		～			
22.00～ 32.50		粘土混じり砂利		～			
32.50～ 34.50		粘土		～			
34.50～ 41.50		粘土混じり砂利		～			
41.50～ 43.50		粘土		～			
スクリーンの位置 GL-m				～ =		～ =	
				～ =		～ =	
		～ =		～ =		～ =	
水 質		水 温		塩 素		カルシウム	
		P H		蒸発残留物		マグネシウム	
		硝酸性窒素		総 硬 度		硫 酸	
		亜硝酸性窒素		鉄		Mアルカリ度	
		アンモニア性窒素		飲料の可否		過マンガン酸カリウム	

※地盤高は、国土地理院発行の地理院地図（電子国土Web）より取得した値を表示しています。

(参考54-1)

さく井地層柱状図及び検層図																
工事件名						北緯										
工事地点						東経										
口径		深度		GL- 60.00 m		標高		+50.000 m		掘削機械						
主任技術者		自然水位				揚水水位		揚水量								
水温		水質判定				施工開始		施工終了								
検層		測定方法				ケーシング		ポンプ形式								
モータ形式		スクリーン種類				揚水管		接続方式								
納入年月日																
標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	地質記号	地質名	色調	観察記事	ケーシング プログラム	比抵抗値 R (Ω-m)				水温 °C			
									----- a1 = a2 = -----				自然電位 mV-----			
									50	100	150	200	20	40	60	80
	49.00	1.00	1.00		表土											
	46.00	4.00	3.00		粘土											
10					粘土混じり砂利			▽								
	37.00	13.00	9.00		粘土											
	35.50	14.50	1.50		粘土											
	32.00	18.00	3.50		粘土											
20					粘土混じり砂利											
	30.00	20.00	2.00		粘土											
	29.00	21.00	1.00		砂											
	28.00	22.00	1.00		粘土混じり砂利											
30					粘土											
	17.50	32.50	10.50		粘土混じり砂利											
	15.50	34.50	2.00		粘土											
40					粘土混じり砂利											
	8.50	41.50	7.00		粘土											
	6.50	43.50	2.00		粘土											
	1.00	49.00	5.50		粘土混じり砂利											
50					粘土											
	0.00	50.00	1.00		粘土											
	-10.00	60.00	10.00		粘土混じり砂礫											

(参考54-2)

参考54-2

井戸の位置							
所有者又は 管理者の氏名		1/5万地図図幅名		メッシュコード番号		緯度 - 経度	
施工業者の氏名		さく井開始					
機械の種類		さく井完了					
地形		自然水位				GL-m	
地盤高		+12.000 m		揚水水位		GL-m	
使用目的							
深 度		90.00 m		揚水量		m ³ /d	
スクリーン		層					
		m					
口 径		mm		自噴量			
深 度 m		化石		深 度 m		化石	
		動 植				動 植	
		地 質 名 称				地 質 名 称	
0.00～ 1.50				88.00～ 90.00		粘土	
1.50～ 8.00				～			
8.00～ 22.00				～			
22.00～ 26.00				～			
26.00～ 35.00				～			
35.00～ 50.00				～			
50.00～ 54.00				～			
54.00～ 59.00				～			
59.00～ 63.00				～			
63.00～ 69.50				～			
69.50～ 83.50				～			
83.50～ 88.00				～			
スクリーンの位置 GL-m				～ =		～ =	
				～ =		～ =	
		～ =		～ =		～ =	
水 質		水 温		塩 素		カルシウム	
		P H		蒸発残留物		マグネシウム	
		硝酸性窒素		総 硬 度		硫 酸	
		亜硝酸性窒素		鉄		Mアルカリ度	
		アンモニア性窒素		飲料の可否		過マンガン酸カリウム	

ボーリング柱状図

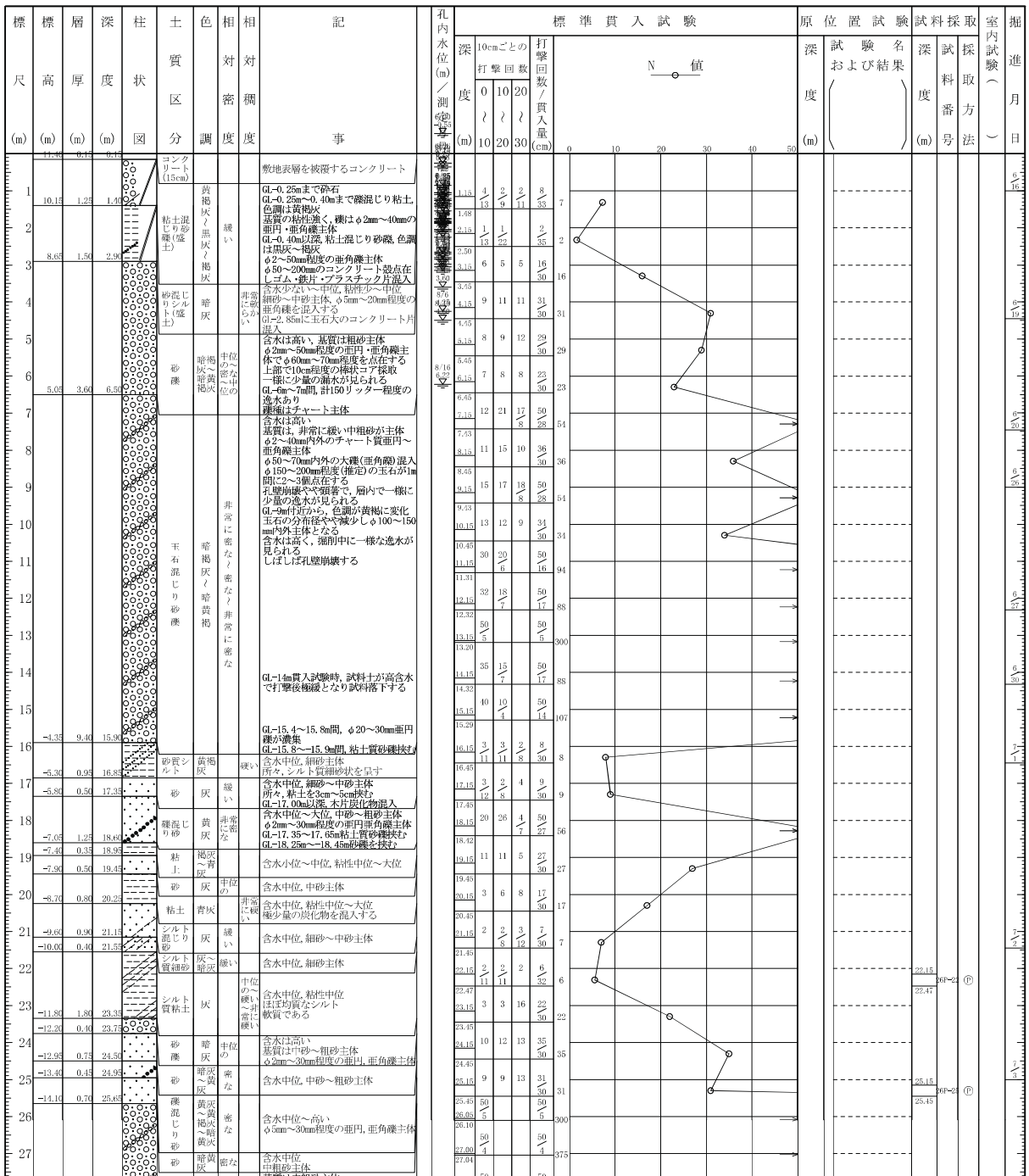
調査名

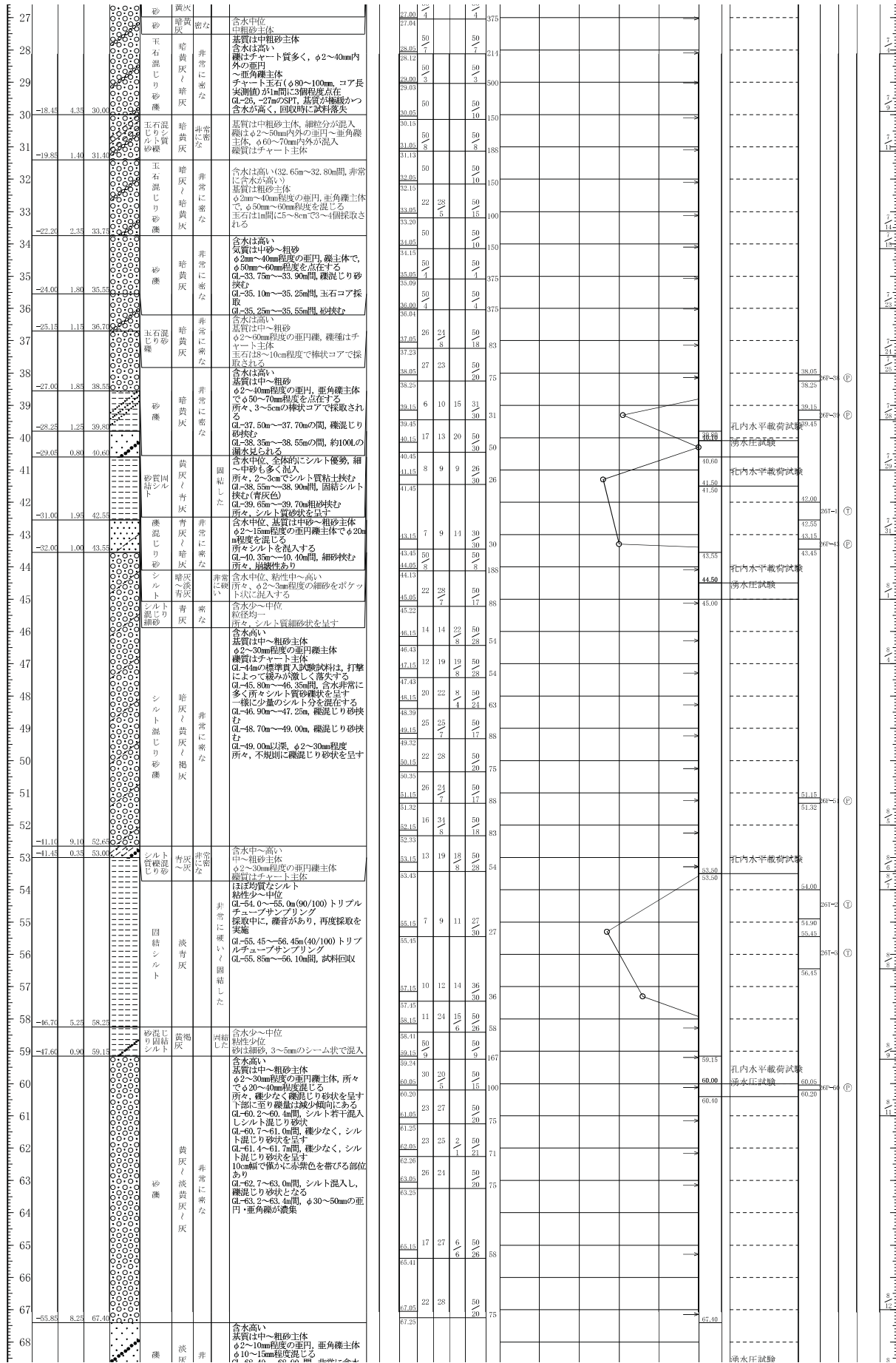
ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

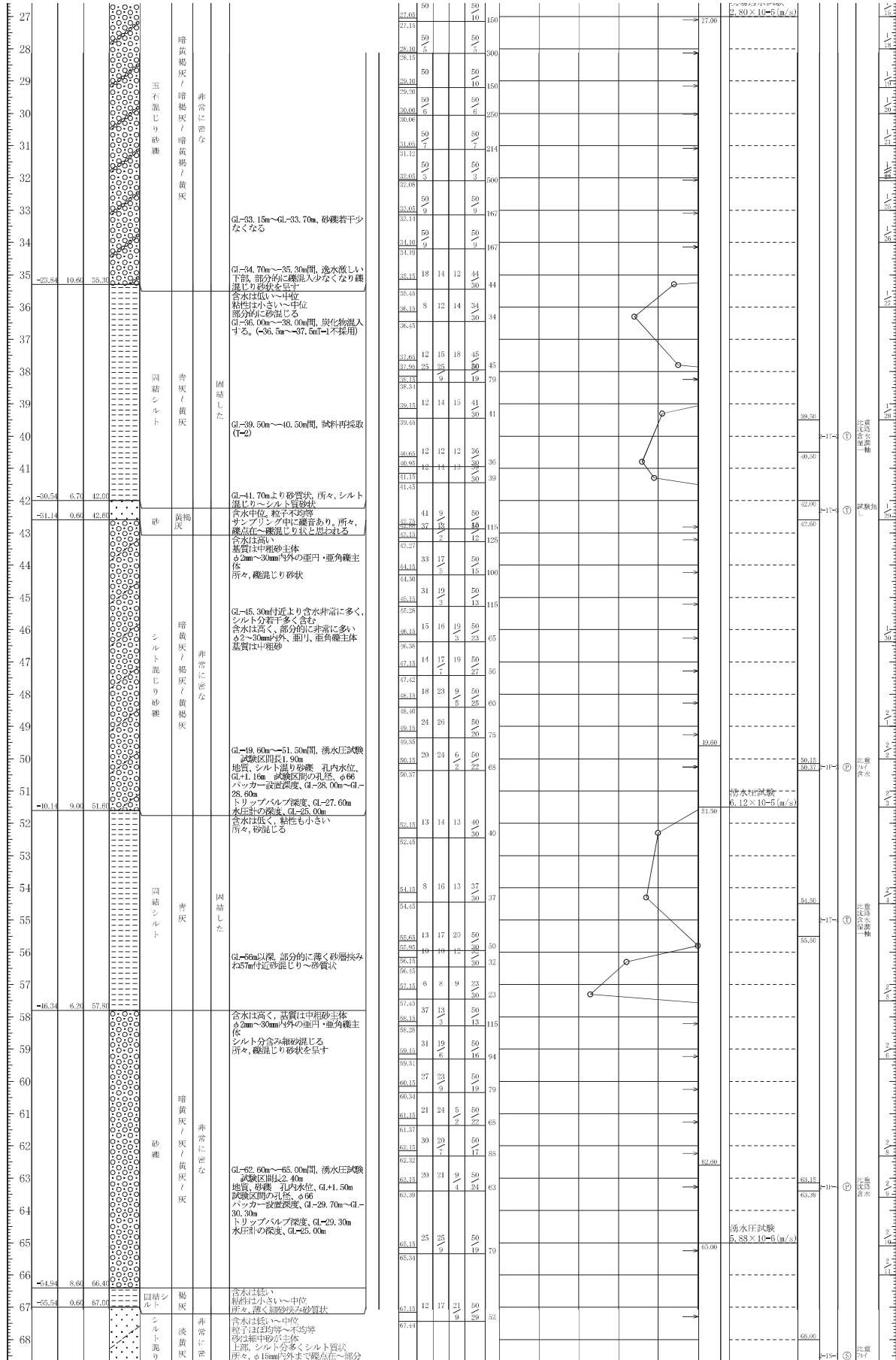
シートNo

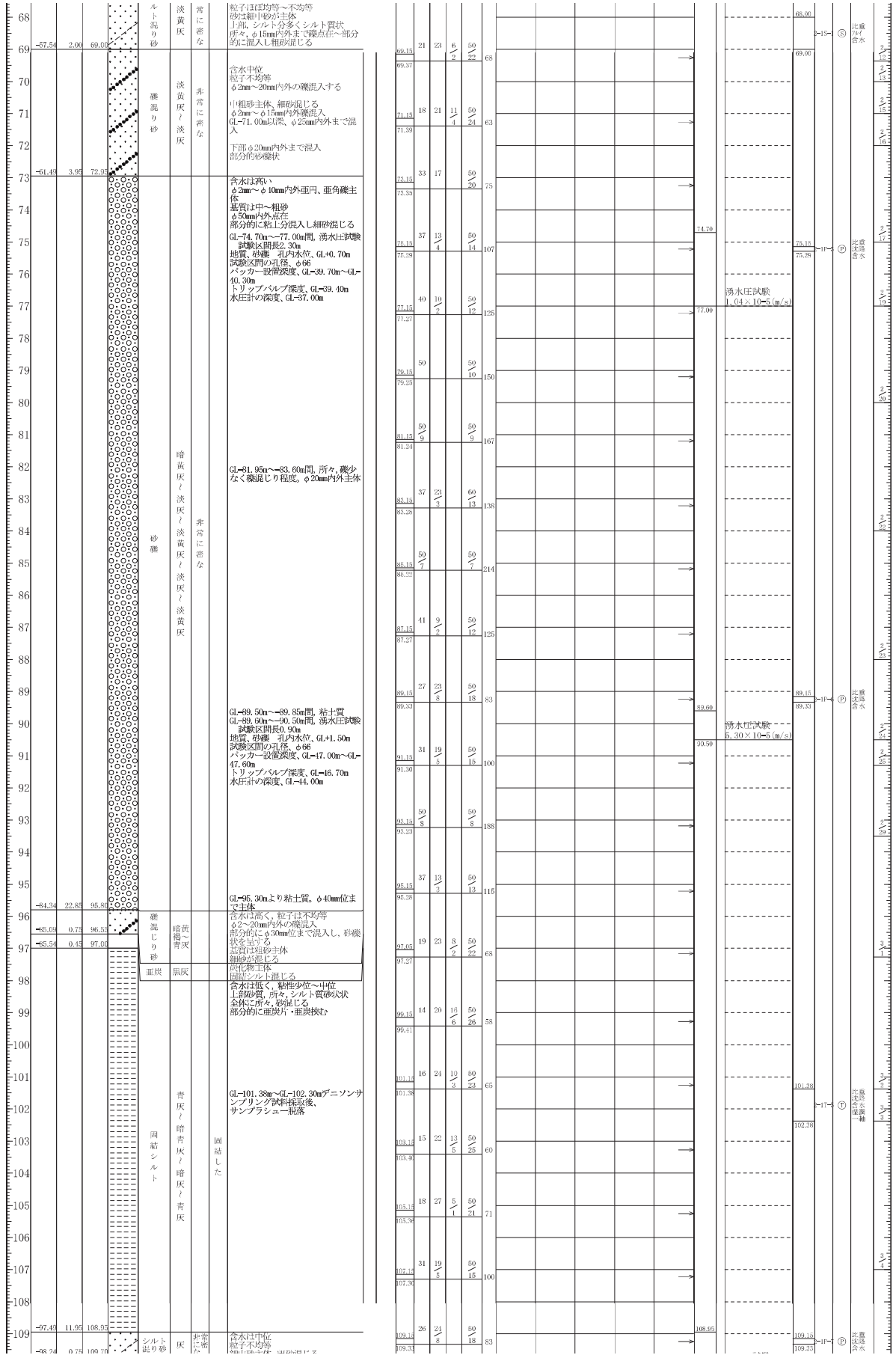
ボーリング名	調査位置				北緯
発注機関	調査期間				東経
調査業者名	主任技師		現場代理人		ボーリング責任者
孔口標高	11.55m	角	北 0° 東 90° 南 0° 西 0°	方	270° 北 90° 東 180° 南
総掘進長	79.15m	地盤勾配	使用機種		ハンマー落下用具
		鉛直 90°	エンジン		ポンプ

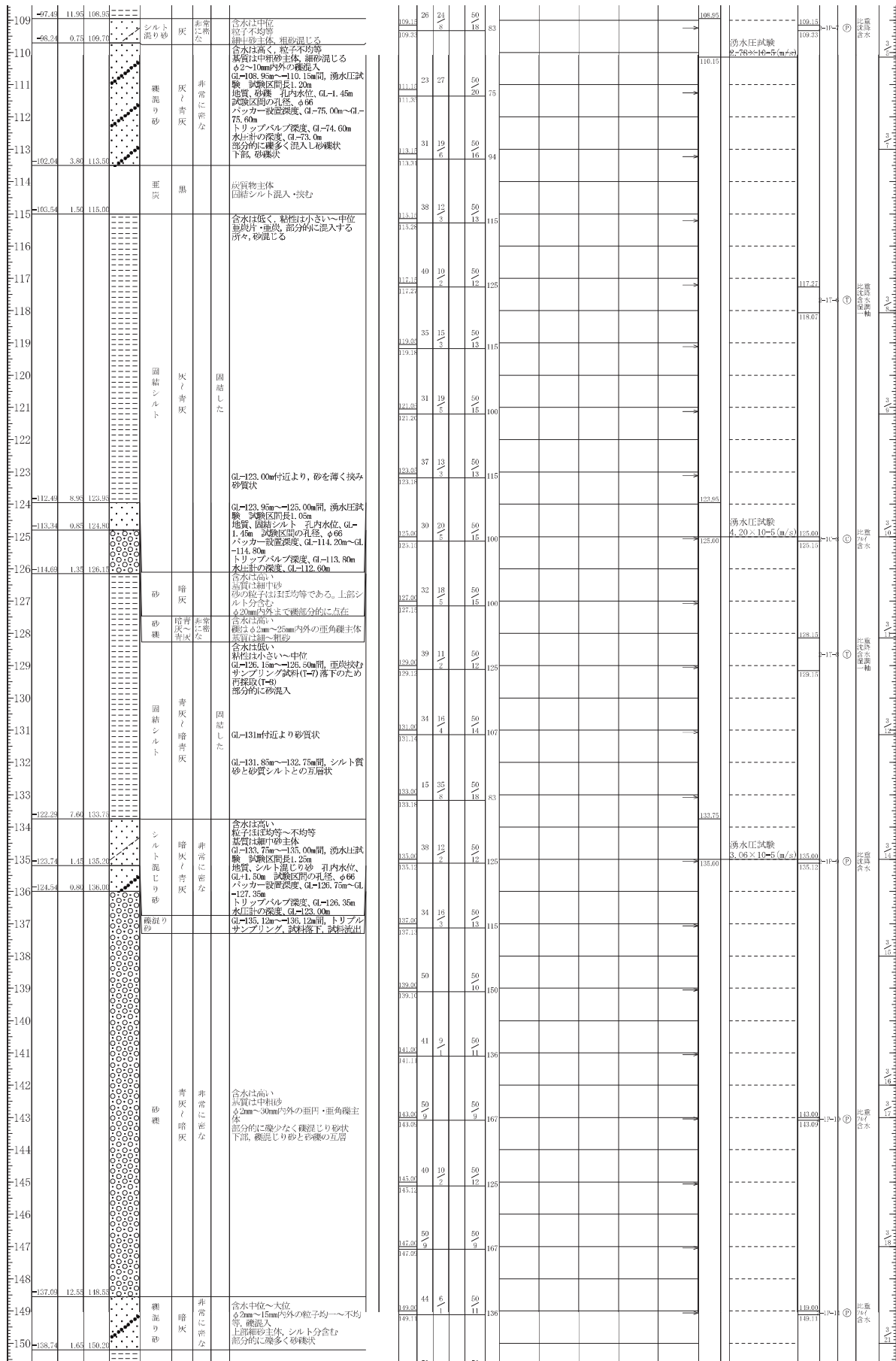


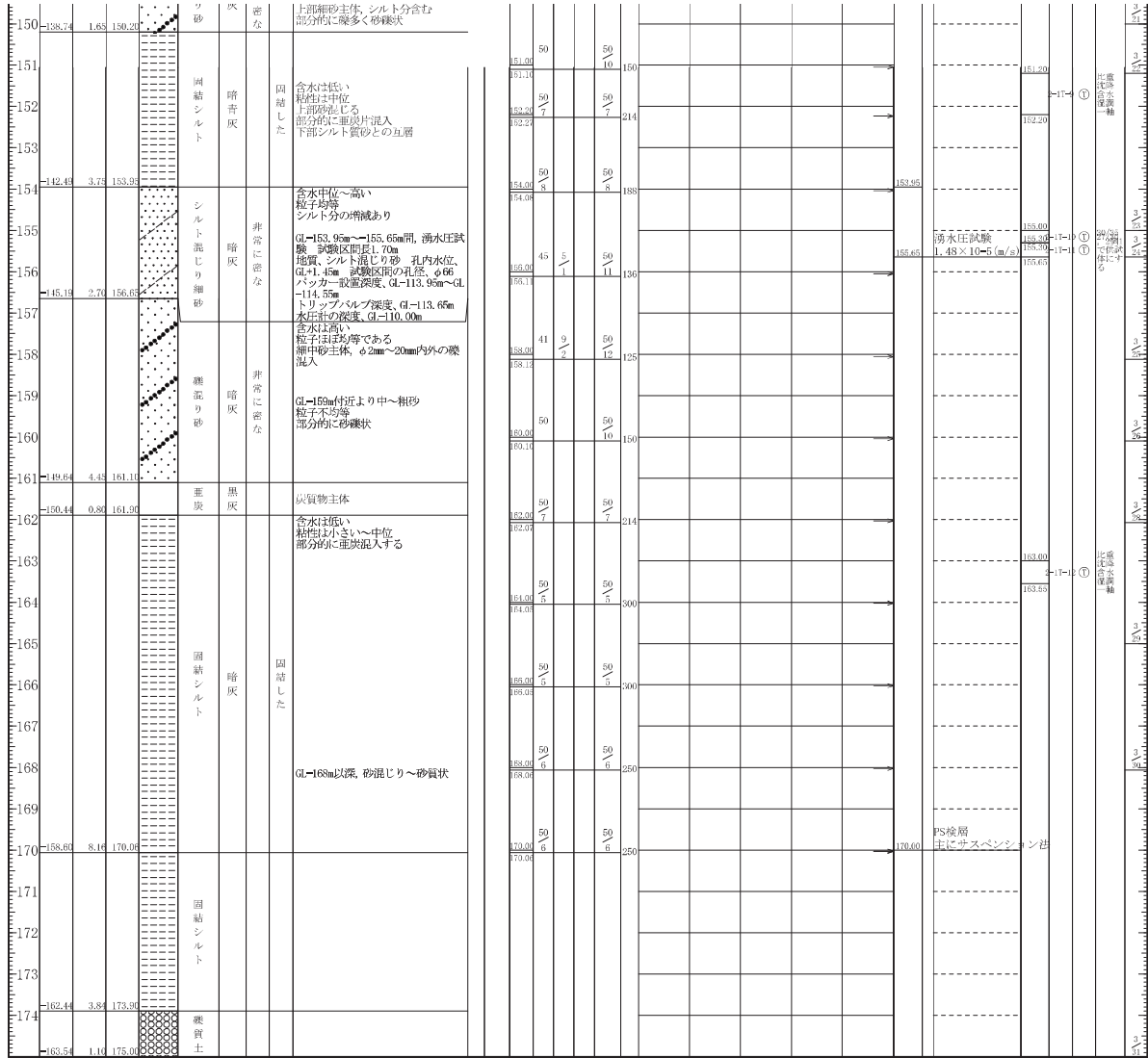


(JR-55-)









(JR-55-)